

日野市 子ども・子育て支援に関するニーズ調査 調査結果報告書

平成 31 年 2 月

日 野 市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査区分と主な調査目的	1
3	調査期間	1
4	回収状況	1
5	調査結果の表示方法	2
II	調査結果	3
1	就学前	3
	(1) 子育て環境や子育て支援の現状について	3
	(2) 子育て環境について	7
	(3) 地域での子育て状況について	10
	(4) あて名のお子さんの保護者の就労状況について	13
	(5) 育児休業や短時間勤務制度など仕事と子育ての両立支援制度について	20
	(6) 保育サービスの利用状況について	24
	(7) 封筒のあて名のお子さんご家族の状況について	57
	(8) 日野市の子育て支援策について	61
2	小学生の保護者	64
	(1) 子育て環境や子育て支援の現状について	64
	(2) 子育て環境について	67
	(3) 地域での子育て状況について	68
	(4) あて名のお子さんの健康について	70
	(5) あて名のお子さんの保護者の就労状況について	71
	(6) あて名のお子さんが病気の際の対応について	79
	(7) 仕事と子育ての両立支援について	87
	(8) 小学校の放課後の過ごし方について	93
	(9) 封筒のあて名のお子さんご家族の状況について	103
	(10) 日野市の子育て支援策について	108

3	中学生	111
	(1) あなたの事について	111
	(2) あなたと親（保護者）の関係について	117
	(3) 学校や友人について	119
	(4) 放課後や休日について	126
	(5) あなたの将来について	130
	(6) 子どもの権利について	132
	(7) 社会環境について	133
	(8) 最後に	137
4	高校生	139
	(1) あなたの事について	139
	(2) あなたと親（保護者）の関係について	144
	(3) 学校や友人について	146
	(4) 放課後や休日の過ごし方について	151
	(5) あなたの将来について	156
	(6) 子どもの権利について	160
	(7) 社会環境について	161
	(8) 最後に	164
5	18歳から30歳代	166
	(1) あなたと家族について	166
	(2) 家庭と仕事について	169
	(3) 家庭や地域の養育力について	173
6	子育て関連事業者・団体	177
	(1) 施設・グループの概要について	177
	(2) 家庭や地域での子育ての実態について	179
	(3) サービスの動向について	182
	(4) 子育て支援活動について	188
7	企業	191
	(1) 事業所の概要について	191
	(2) 子育ての実態・必要な対策について	192
8	小学生本人	198

I 調査の概要

1 調査の目的

次期「新！ひのっ子すくすくプラン（日野市子ども・子育て支援事業計画）（計画期間：平成 32 年度～平成 36 年度）」を策定するにあたって、市民の方の子ども・子育てに関する考えや意見を聞き、調査結果を計画策定を進める上での基礎資料として活用するために調査を実施する。

2 調査区分と主な調査目的

未就学児童保護者	：教育・保育及び地域子育て支援事業量のニーズ量を把握する。
小学校児童保護者	：地域子育て支援事業量のニーズ量（学童クラブ）を把握する。
中学生	：子ども本人の生活状況と意識、将来に対する意識を把握する。
高校生	：子ども本人の生活状況と意識、将来に対する意識を把握する。
成人男女	：将来のライフコース、ワーク・ライフ・バランスの現状を把握する。
関連事業者・団体	：子育てに関する担い手の現状を把握する。
市内の企業	：子育て支援策の実施状況を把握する。
小学生本人	：放課後の居場所など、生活実態と意識を把握する。

3 調査期間

平成 30 年 10 月から平成 30 年 12 月

4 回収状況

区分	調査対象	配布数	回収数	回収率
未就学児童保護者	0～5 歳の子どもの保護者	1,600 通	990 通	61.9%
小学校児童保護者	1～6 年生の子どもの保護者	1,200 通	740 通	61.7%
中学生	中学 1～3 年生の本人	400 通	209 通	52.3%
高校生	高校 1 年生の本人	320 通	319 通	99.6%
成人男女	子どものいない 18～30 代の成人	400 通	100 通	25.0%
関連事業者・団体	保育園、幼稚園、子育て活動グループ、NPO など	50 通	48 通	96.0%
市内の企業	日野市商工会議所加入事業所	100 通	33 通	33.0%
小学生本人	5 年生の子ども	1,529 通	1,409 通	92.2%

5 調査結果の表示方法

- 回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の回答者数の合計と単純集計（全体）の回答者数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- 調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）

Ⅱ 調査結果

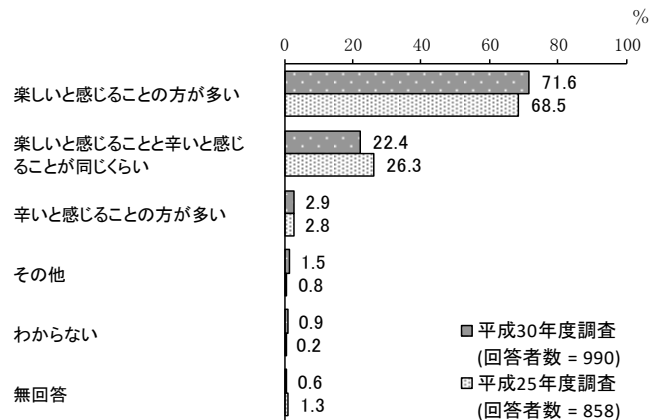
1 就学前

(1) 子育て環境や子育て支援の現状について

問1 あなたは、子育てを楽しいと感じることが多いですか。それとも辛いと感じることが多いですか。(あてはまるもの1つに○)

「楽しいと感じることの方が多い」の割合が71.6%と最も高く、次いで「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」の割合が22.4%、「辛いと感じることの方が多い」の割合が2.9%となっています。

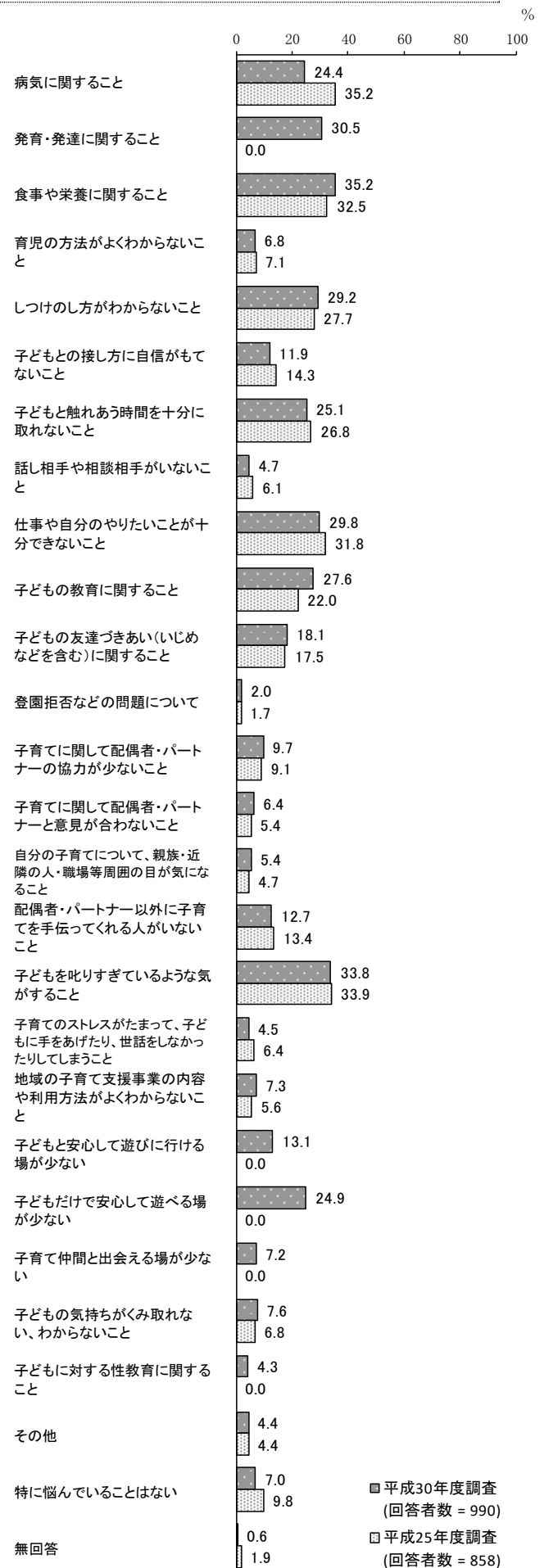
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問2 子育てに関して日常悩んでいること、または、気になることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

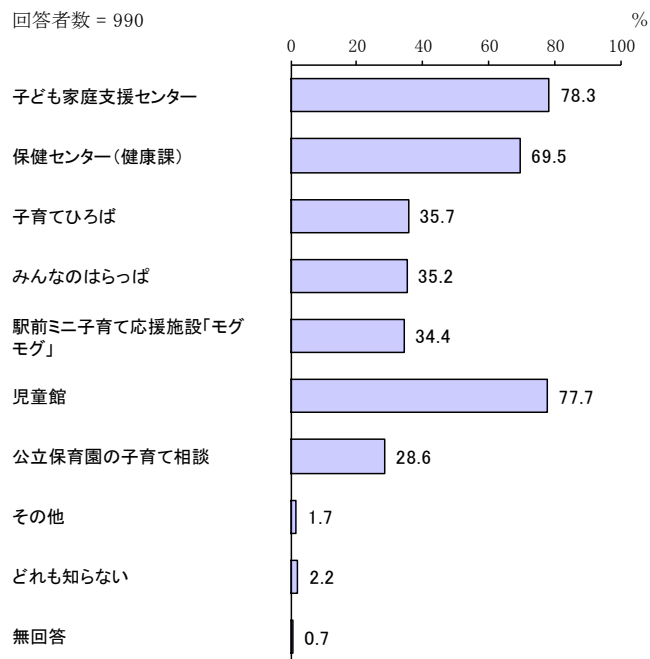
「食事や栄養に関すること」の割合が35.2%と最も高く、次いで「子どもを叱りすぎているような気がする」との割合が33.8%、「発達・発達に関すること」の割合が30.5%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「発達・発達に関すること」「子どもの教育に関すること」「子どもと安心して遊びに行ける場が少ない」「子どもだけで安心して遊べる場が少ない」「子育て仲間と出会える場が少ない」の割合が増加しています。一方、「病気に関すること」の割合が減少しています。



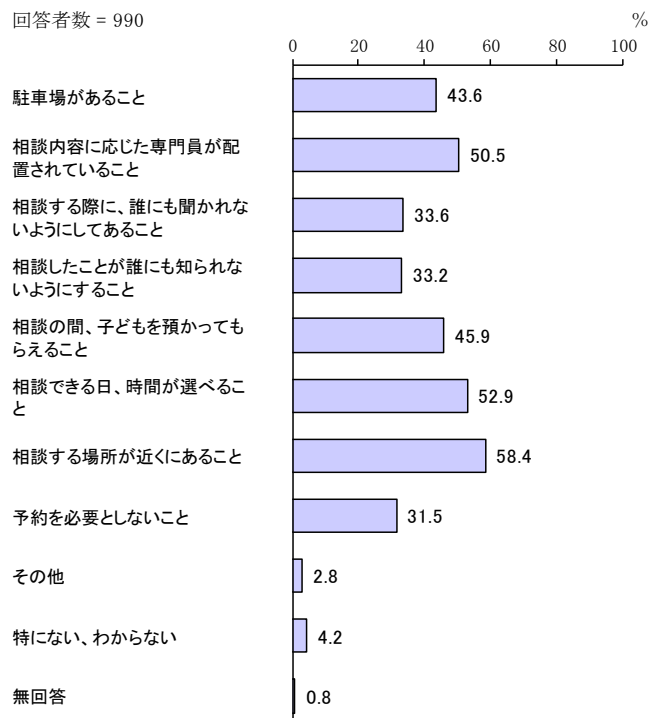
**問3 あなたは、子育てに関する以下の相談窓口を知っていますか。
(あてはまるものすべてに○)**

「子ども家庭支援センター」の割合が78.3%と最も高く、次いで「児童館」の割合が77.7%、「保健センター（健康課）」の割合が69.5%となっています。



問4 相談窓口を利用するために必要な条件は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

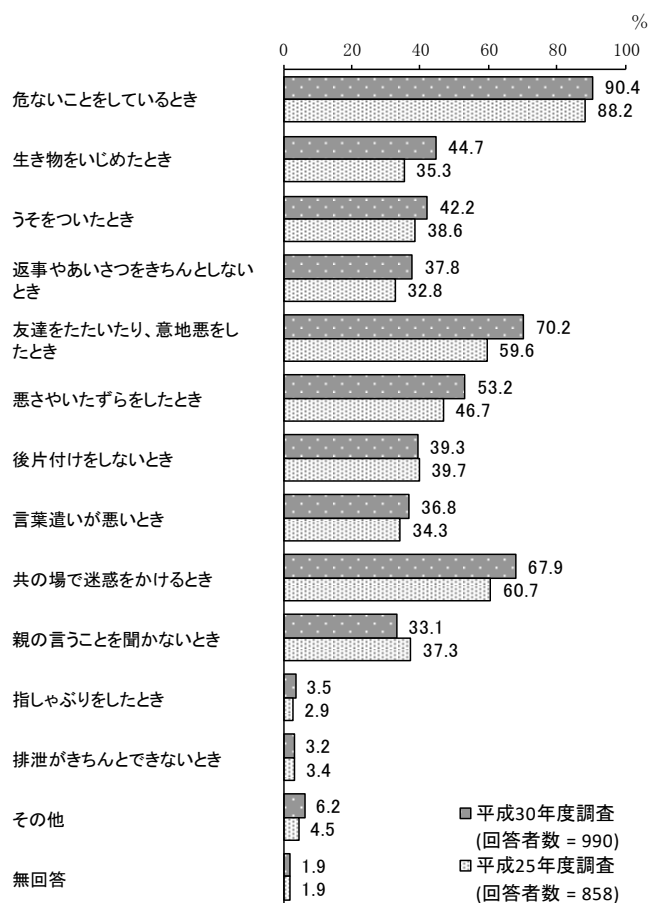
「相談する場所が近くにあること」の割合が58.4%と最も高く、次いで「相談できる日、時間が選べること」の割合が52.9%、「相談内容に応じた専門員が配置されていること」の割合が50.5%となっています。



問5 ご家庭では、あて名のお子さんを、どのようなときに叱りますか。
(あてはまるものすべてに○)

「危ないことをしているとき」の割合が90.4%と最も高く、次いで「友達をたたいたり、意地悪をしたとき」の割合が70.2%、「共の場で迷惑をかけるとき」の割合が67.9%となっています。

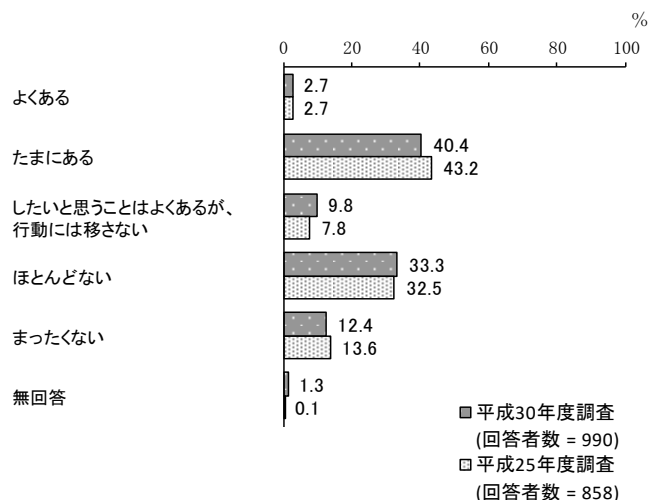
平成25年度調査と比較すると、「生き物をいじめたとき」「返事やあいさつをきちんとしないとき」「友達をたたいたり、意地悪をしたとき」「悪さやいたずらをしたとき」「共の場で迷惑をかけるとき」の割合が増加しています。



問6 子どもに対して、思わずたたいたり、子どもの心を傷つけてしまうような言動をしたり、子どもの相手や世話をしないことがありますか。
(あてはまるもの1つに○)

「たまにある」の割合が40.4%と最も高く、次いで「ほとんどない」の割合が33.3%、「まったくない」の割合が12.4%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

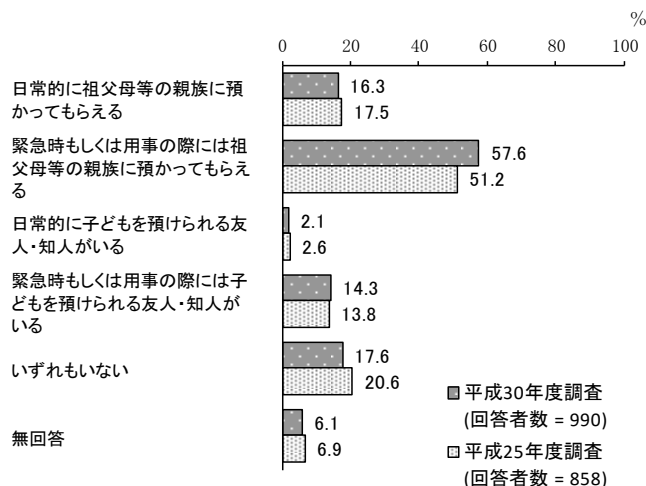


(2) 子育て環境について

問7 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。
(あてはまるものすべてに○)

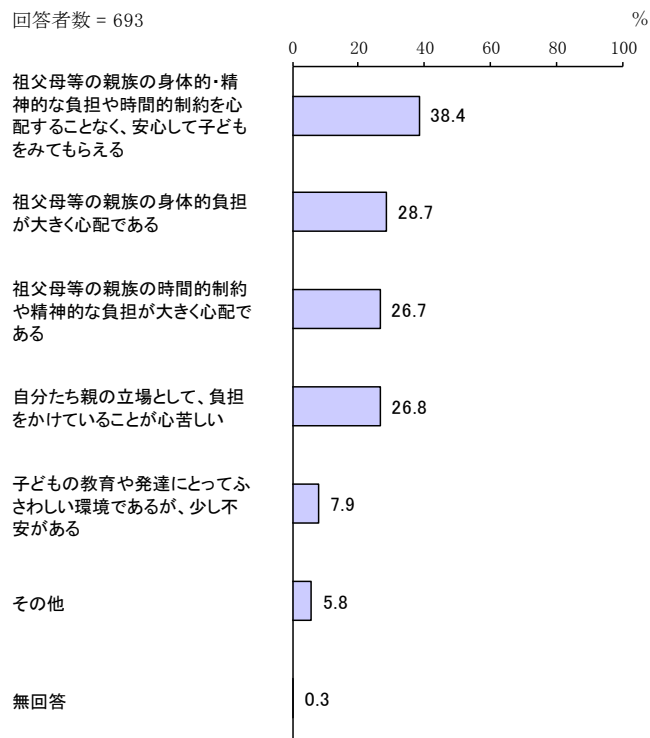
「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」の割合が57.6%と最も高く、次いで「いずれもない」の割合が17.6%、「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」の割合が16.3%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」の割合が増加しています。



問8 問7で「1.」または「2.」に○をつけた方にお伺いします。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が38.4%と最も高く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」の割合が28.7%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が26.8%となっています。



問9 問7で「3.」または「4.」に○をつけた方にお伺いします。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が42.6%と最も高く、次いで「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が31.0%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が25.2%となっています。

回答者数 = 155

友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる

友人・知人の身体的負担が大きく心配である

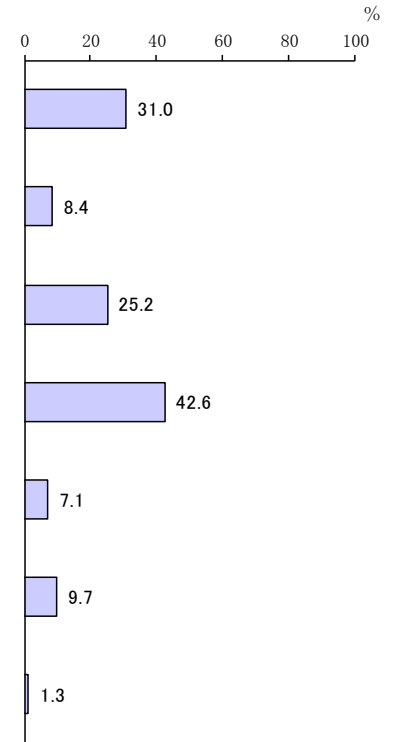
友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である

自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい

子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるが、少し不安がある

その他

無回答



問10 子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。（あてはまるもの1つに○）

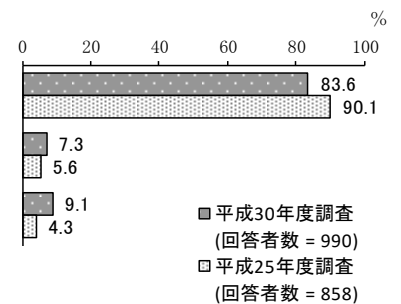
「いる／ある」の割合が83.6%、「いない／ない」の割合が7.3%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「いる／ある」の割合が減少しています。

いる／ある

いない／ない

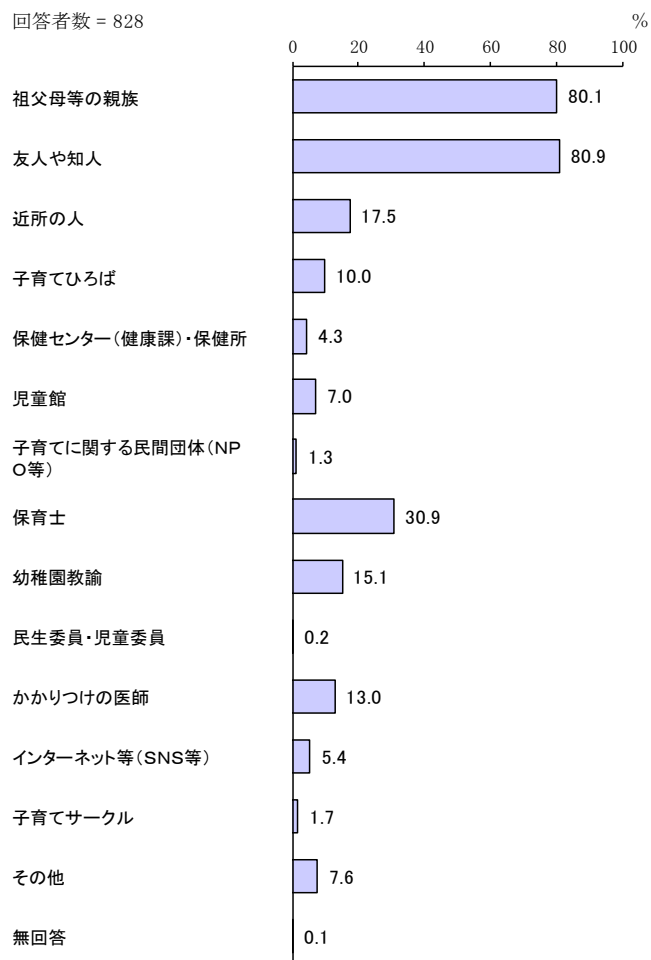
無回答



問 11 問 10 で「1. いる／ある」に○をつけた方にお伺いします。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）

「友人や知人」の割合が 80.9%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」の割合が 80.1%、「保育士」の割合が 30.9%となっています。

回答者数 = 828

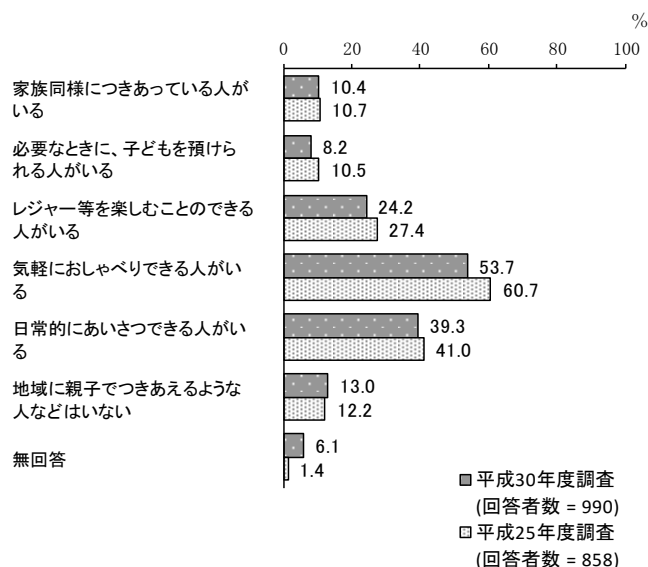


(3) 地域での子育て状況について

問 12 地域に親子でつきあえる知人または友人などがいますか。(2つまで○)

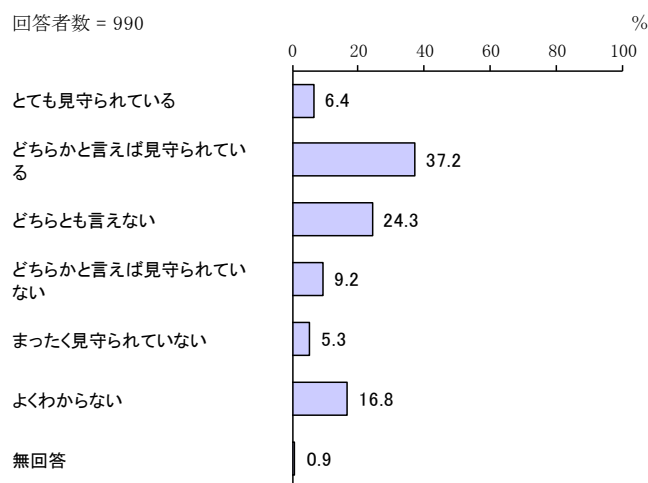
「気軽にしゃべりできる人がいる」の割合が 53.7%と最も高く、次いで「日常的にあいさつできる人がいる」の割合が 39.3%、「レジャー等を楽しむことのできる人がいる」の割合が 24.2%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「気軽にしゃべりできる人がいる」の割合が減少しています。



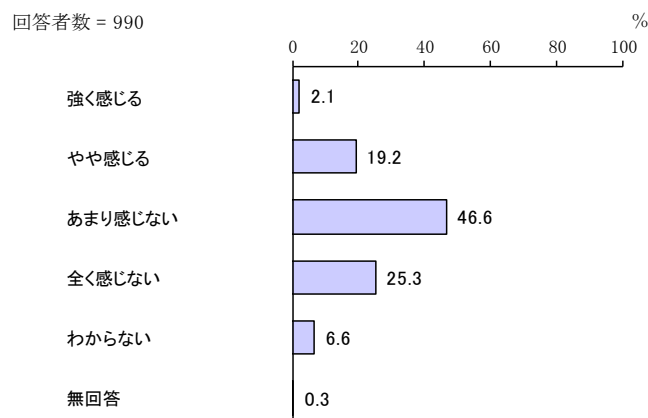
問 13 あなたは、地域の人から見守られていると感じますか。(あてはまるもの1つに○)

「どちらかと言えば見守られている」の割合が 37.2%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」の割合が 24.3%、「よくわからない」の割合が 16.8%となっています。



問 14 あなたは日常生活において孤立感を感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

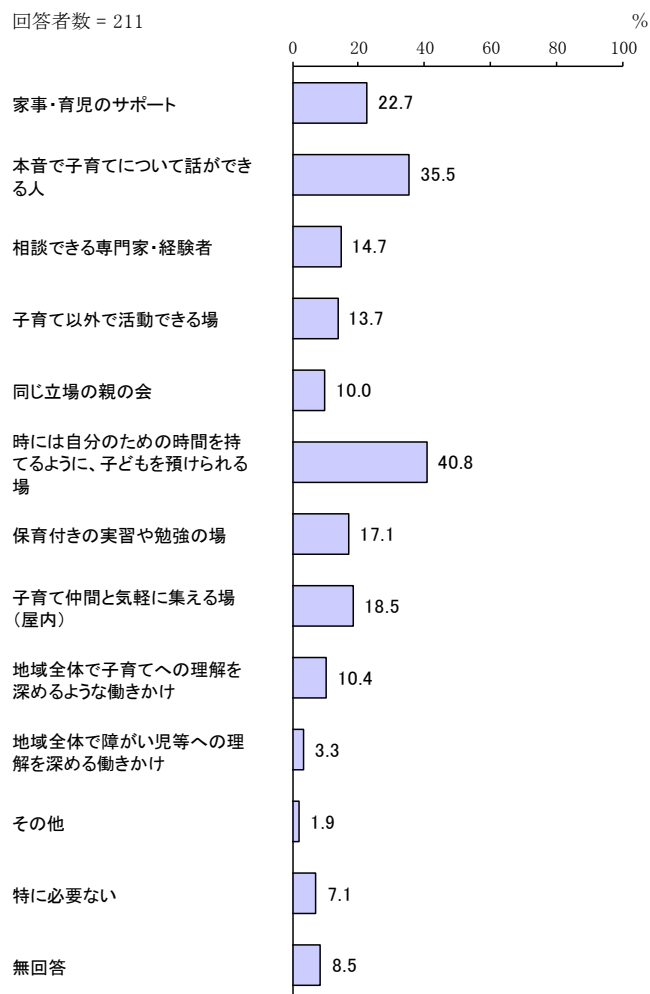
「あまり感じない」の割合が 46.6%と最も高く、次いで「全く感じない」の割合が 25.3%、「やや感じる」の割合が 19.2%となっています。



問 15 問 14 で「1. 強く感じる」、「2. やや感じる」に○をつけた方にお伺いします。孤立感を和らげるためにどんなことが地域で必要ですか。
(あてはまるもの3つまでに○)

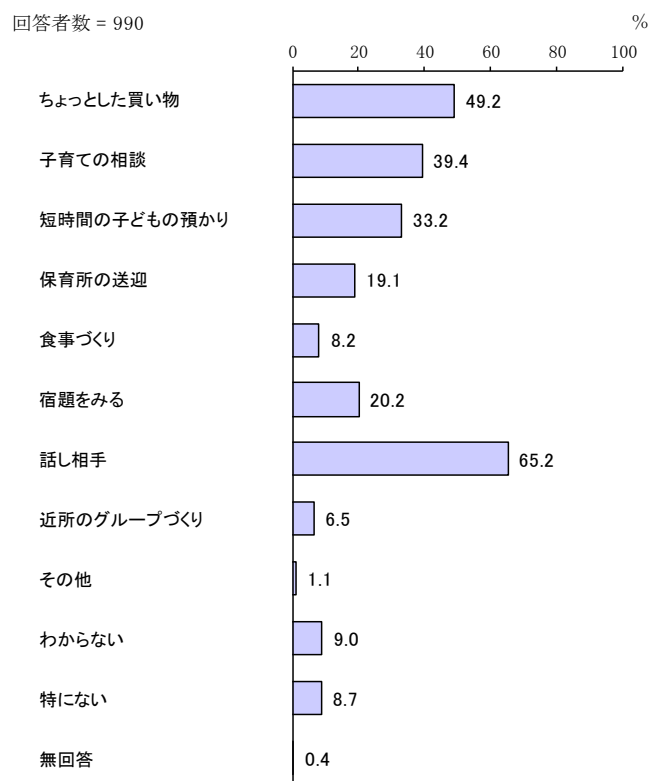
「時には自分のための時間を持てるように、子どもを預けられる場」の割合が 40.8%と最も高く、次いで「本音で子育てについて話ができる人」の割合が 35.5%、「家事・育児のサポート」の割合が 22.7%となっています。

回答者数 = 211



問 16 地域の人にちょっと頼まれた場合に、私にもできると思うことはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

「話し相手」の割合が 65.2%と最も高く、次いで「ちょっとした買い物」の割合が 49.2%、「子育ての相談」の割合が 39.4%となっています。



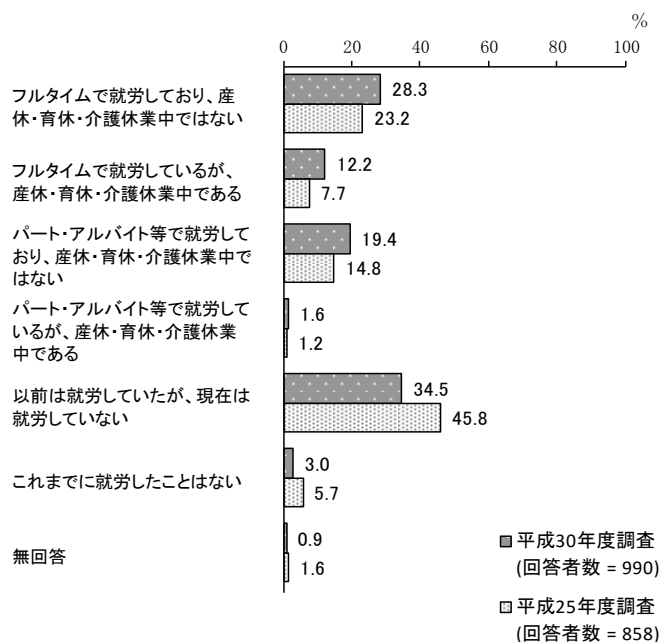
(4) あて名のお子さんの保護者の就労状況について

問 17 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）を伺います。

ア 母親

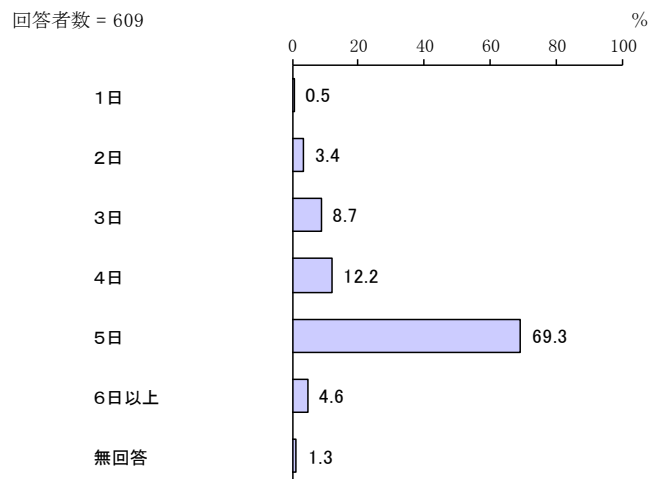
「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が34.5%と最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が28.3%、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が19.4%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が増加しています。一方、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少しています。



(ア) 母親の1週あたりの就労日数

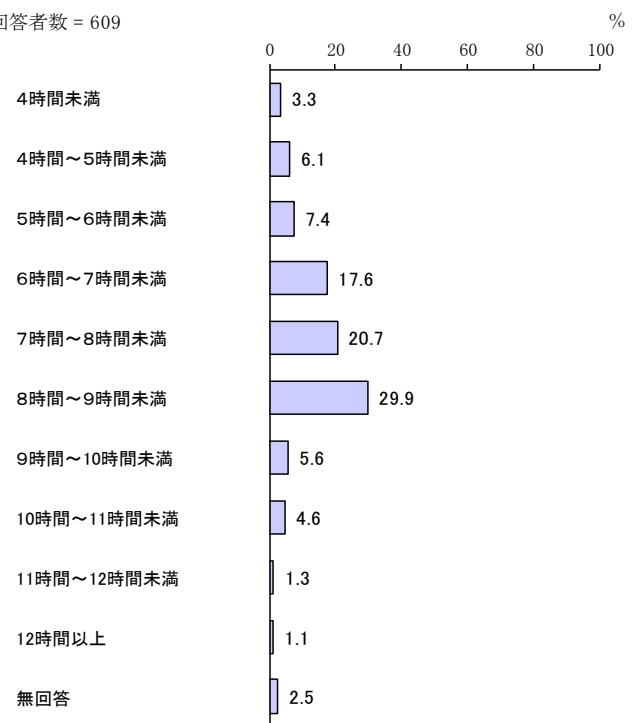
「5日」の割合が69.3%と最も高く、次いで「4日」の割合が12.2%、「3日」の割合が8.7%となっています。



(イ) 母親の1日あたり就労時間

「8時間～9時間未満」の割合が29.9%と最も高く、次いで「7時間～8時間未満」の割合が20.7%、「6時間～7時間未満」の割合が17.6%となっています。

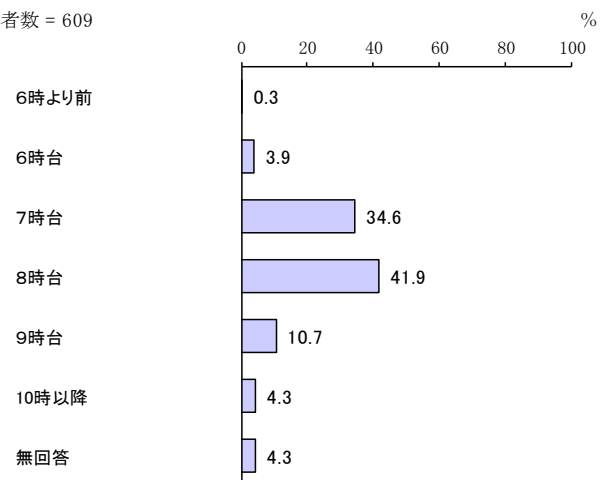
回答者数 = 609



(ウ) 母親の家を出る時間

「8時台」の割合が41.9%と最も高く、次いで「7時台」の割合が34.6%、「9時台」の割合が10.7%となっています。

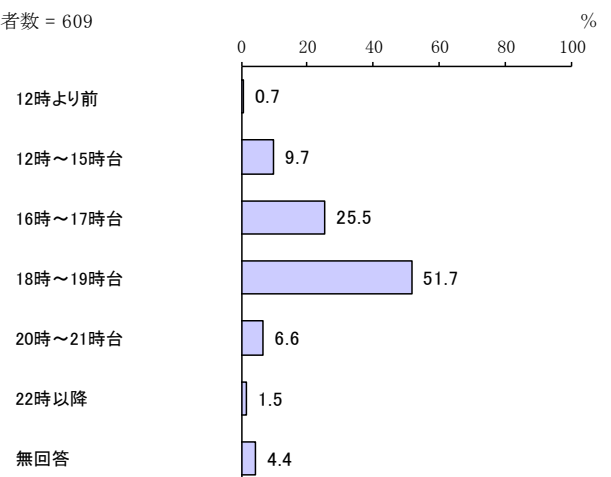
回答者数 = 609



(エ) 母親の帰宅時間

「18時～19時台」の割合が51.7%と最も高く、次いで「16時～17時台」の割合が25.5%、「12時～15時台」の割合が9.7%となっています。

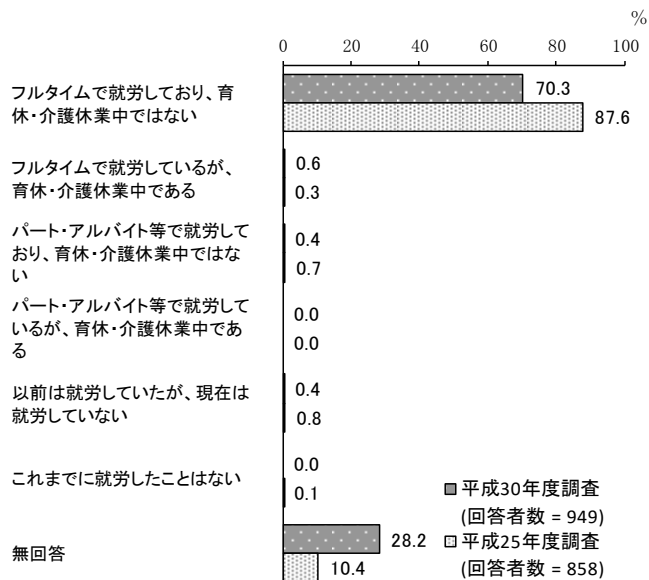
回答者数 = 609



イ 父親

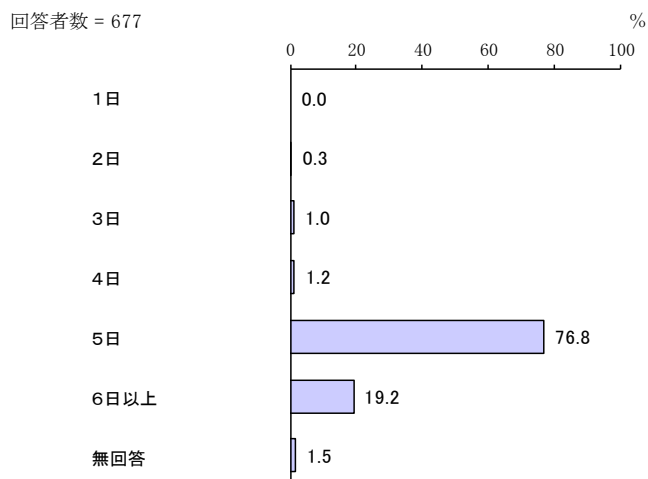
「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が70.3%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が減少しています。



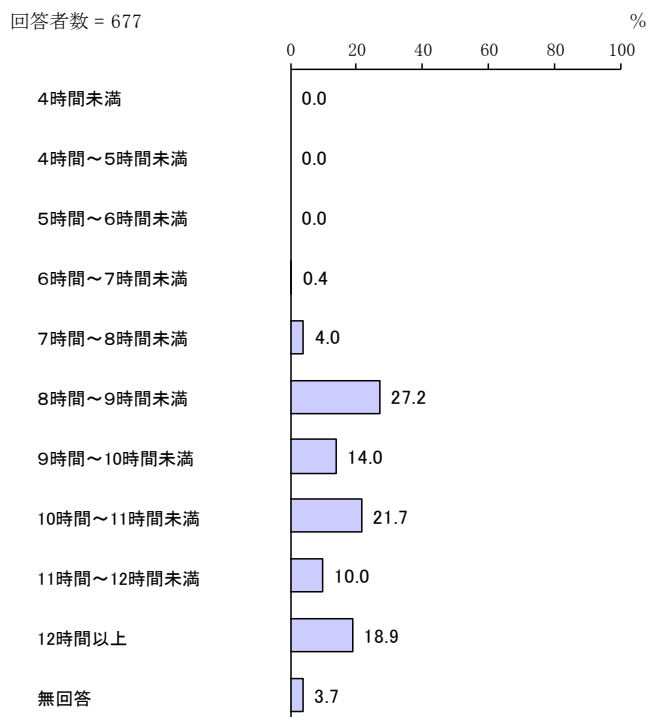
(ア) 父親の1週あたり就労日数

「5日」の割合が76.8%と最も高く、次いで「6日以上」の割合が19.2%となっています。



(イ) 父親の1日あたり就労時間

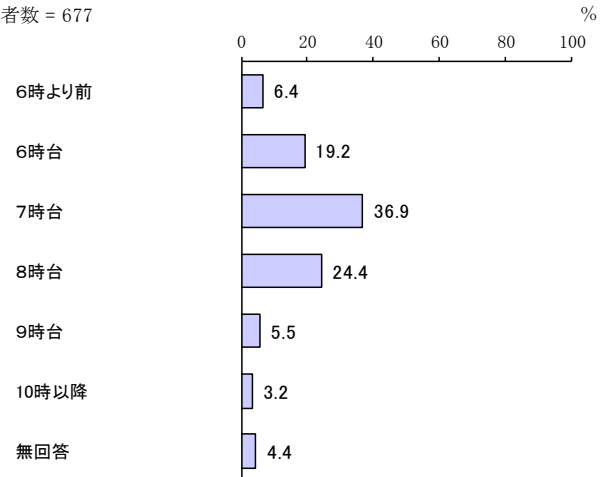
「8時間～9時間未満」の割合が27.2%と最も高く、次いで「10時間～11時間未満」の割合が21.7%、「12時間以上」の割合が18.9%となっています。



(ウ) 父親の家を出る時間

「7時台」の割合が36.9%と最も高く、次いで「8時台」の割合が24.4%、「6時台」の割合が19.2%となっています。

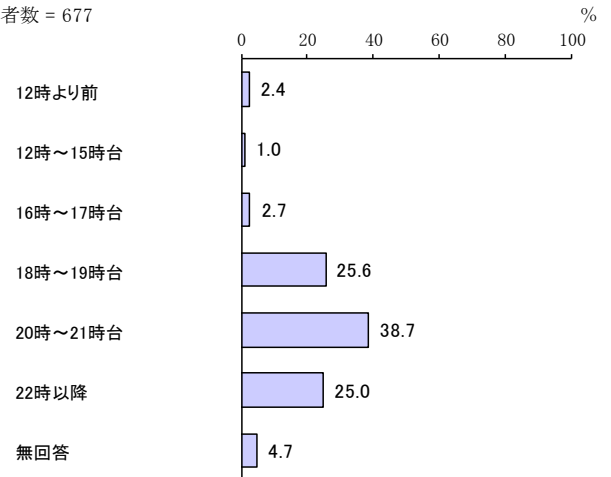
回答者数 = 677



(エ) 父親の帰宅時間

「20時～21時台」の割合が38.7%と最も高く、次いで「18時～19時台」の割合が25.6%、「22時以降」の割合が25.0%となっています。

回答者数 = 677

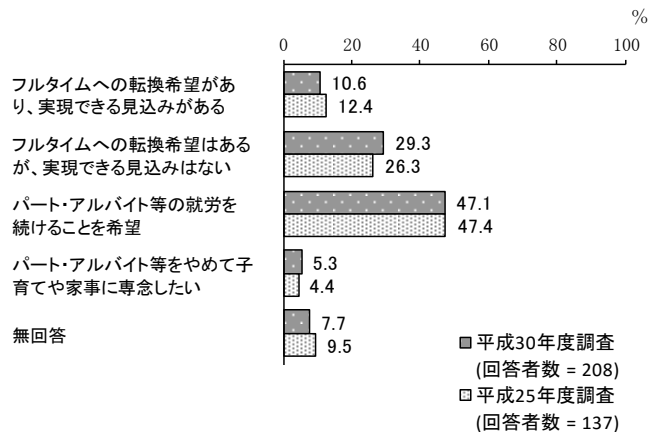


問 18 問 17 の (1) 母親または (2) 父親で「3. 4.」(パート・アルバイト等で就労している) に○をつけた方にお伺いします。フルタイムへの転換希望はありますか。(母親) と (父親) それぞれについてお答えください。
(あてはまるもの1つに○)

ア 母親

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が47.1%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が29.3%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が10.6%となっています。

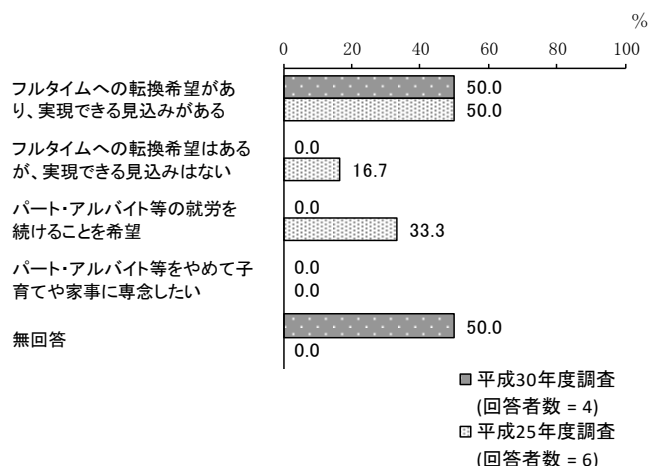
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



イ 父親

「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が2件となっています。

平成25年度調査と比較すると、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が減少しています。

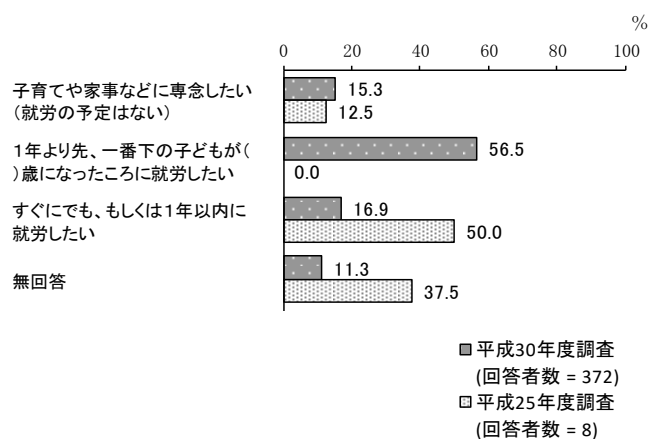


問19 問17の(1)母親または(2)父親で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまでに就労したことがない」に○をつけた方にお伺いします。就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する()内に数字をご記入ください。

ア 母親

「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」の割合が56.5%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が16.9%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が15.3%となっています。

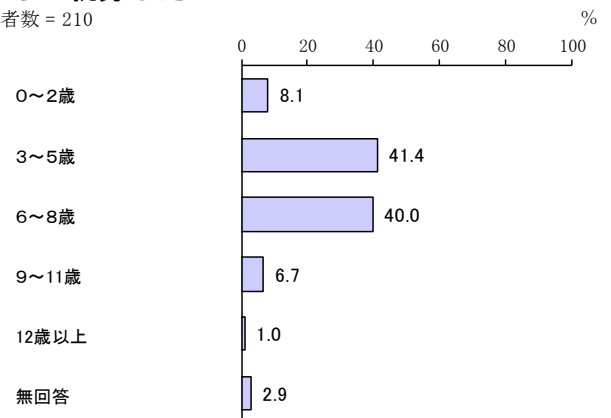
平成25年度調査と比較すると、「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」の割合が増加しています。一方、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が減少しています。



(ア) 1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい

「3～5歳」の割合が41.4%と最も高く、次いで「6～8歳」の割合が40.0%、「0～2歳」の割合が8.1%となっています。

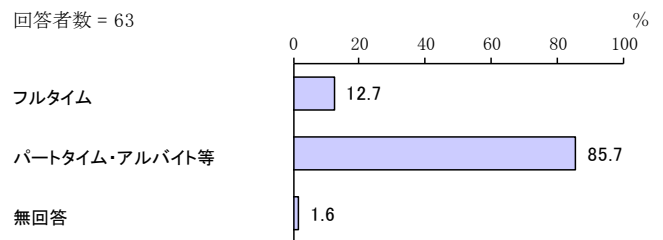
回答者数 = 210



(イ) 希望する就労形態

「フルタイム」の割合が12.7%、「パートタイム・アルバイト等」の割合が85.7%となっています。

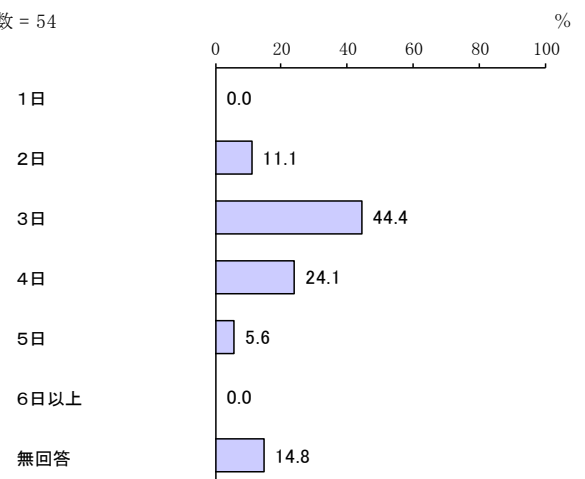
回答者数 = 63



(ウ) 希望する1週あたり就労日数

「3日」の割合が44.4%と最も高く、次いで「4日」の割合が24.1%となっています。

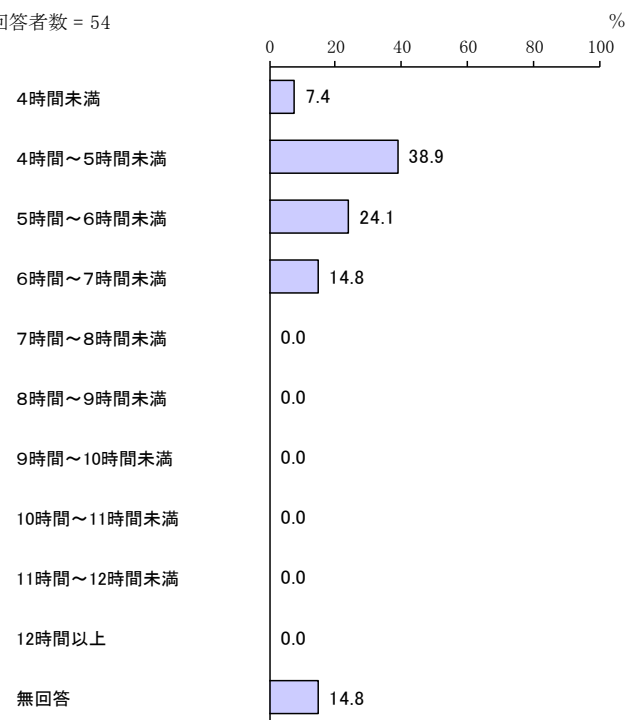
回答者数 = 54



(エ) 希望する1日あたり就労時間

「4時間～5時間未満」の割合が38.9%と最も高く、次いで「5時間～6時間未満」の割合が24.1%となっています。

回答者数 = 54



イ 父親

有効回答がありませんでした。

(ア) 1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい

有効回答がありませんでした。

(イ) 希望する就労形態

有効回答がありませんでした。

(ウ) 希望する1週あたり就労日数

有効回答がありませんでした。

(エ) 希望する1日あたり就労時間

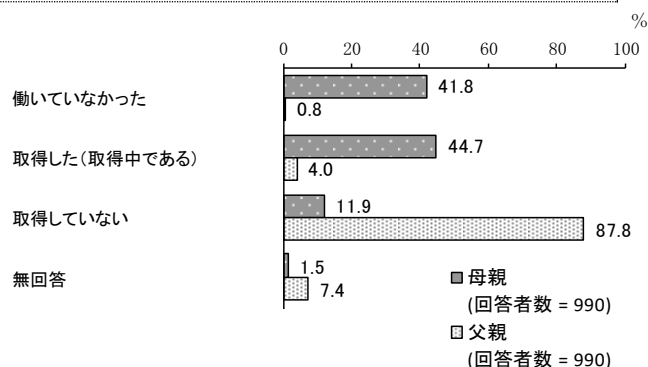
有効回答がありませんでした。

(5) 育児休業や短時間勤務制度など仕事と子育ての両立支援制度について

問 20 あて名のお子さんが生まれた時、母親又は父親もしくは双方が育児休業制度を取得しましたか。(母親)と(父親)それぞれについてお答えください。(あてはまるもの1つに○) また、「3. 取得していない」に○をつけた方は、その理由をご記入ください。

母親では「取得した(取得中である)」の割合が44.7%と最も高く、次いで「働いていなかった」の割合が41.8%、「取得していない」の割合が11.9%となっています。

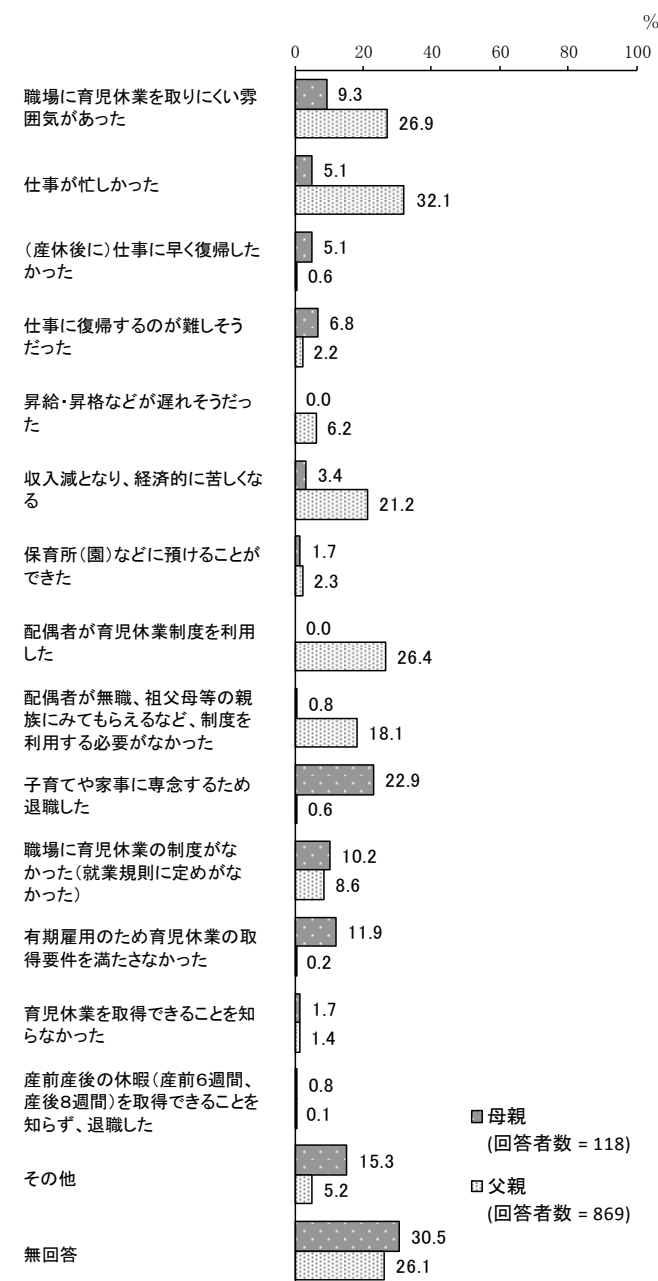
父親では「取得していない」の割合が87.8%と最も高く、次いで「取得した(取得中である)」の割合が4.0%となっています。



取得していない理由

母親では「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が22.9%と最も高く、次いで「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」の割合が11.9%、「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」の割合が10.2%となっています。

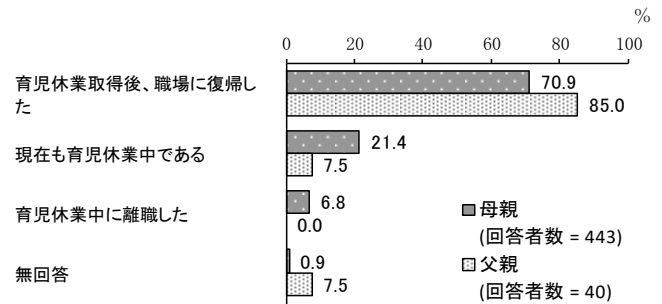
父親では「仕事が忙しかった」の割合が32.1%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が26.9%、「配偶者が育児休業制度を利用した」の割合が26.4%となっています。



問 21 問 20 で「2. 取得した（取得中である）」に○をつけた方にお伺いします。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（あてはまるもの1つに○）

母親では「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が70.9%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」の割合が21.4%、「育児休業中に離職した」の割合が6.8%となっています。

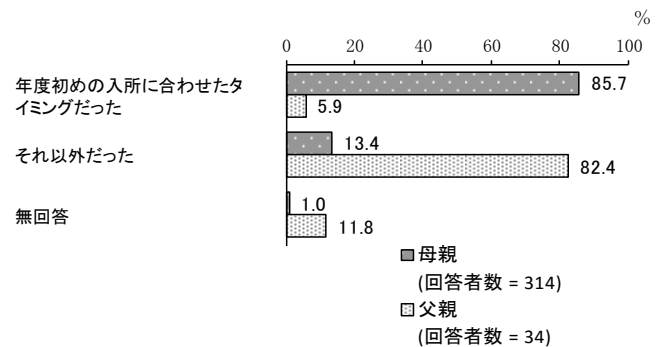
父親では「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が85.0%と最も高くなっています。



問 22 問 21 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にお伺いします。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいは、それ以外でしたか。（あてはまるもの1つに○）

母親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が85.7%、「それ以外だった」の割合が13.4%となっています。

父親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が5.9%、「それ以外だった」の割合が82.4%となっています。

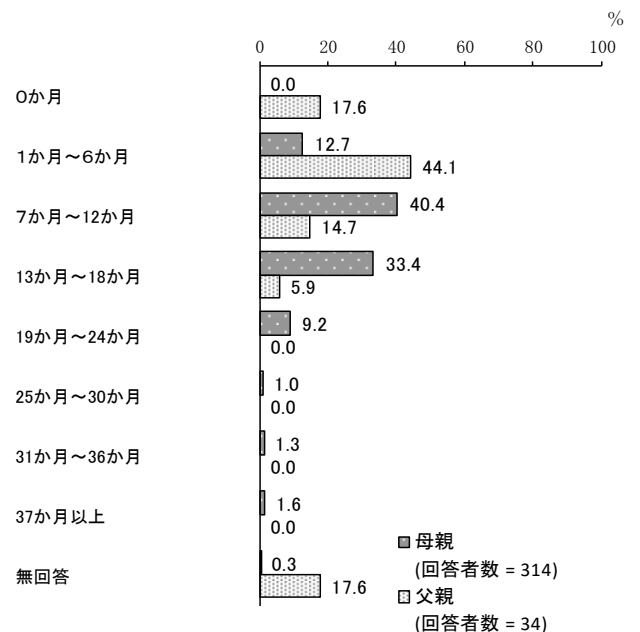


問 23 問 21 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にお伺いします。育児休業から、「実際」に職場復帰したのはお子さんが何歳何ヵ月の時でしたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヵ月のときまで取りなかったですか。（ ）内に数字でご記入ください。

ア 実際の取得期間（母親・父親）

母親では「7 か月～12 か月」の割合が40.4%と最も高く、次いで「13 か月～18 か月」の割合が33.4%、「1 か月～6 か月」の割合が12.7%となっています。

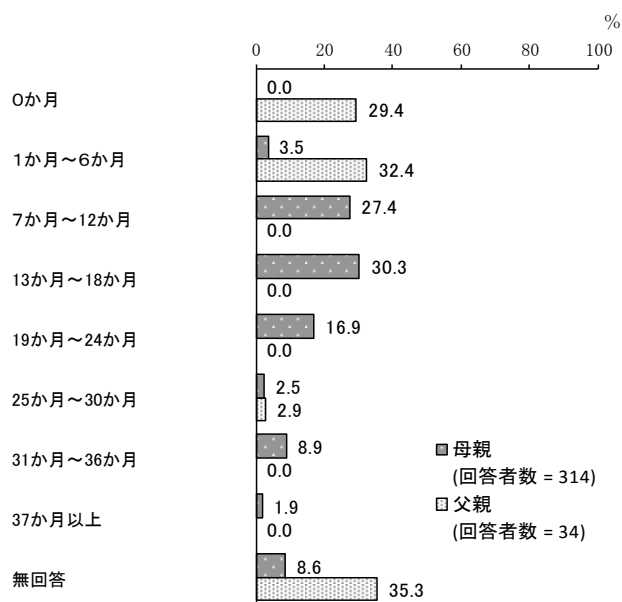
父親では「1 か月～6 か月」の割合が44.1%と最も高くなっています。



イ 希望の取得期間（母親・父親）

母親では「13 か月～18 か月」の割合が 30.3%と最も高く、次いで「7 か月～12 か月」の割合が 27.4%、「19 か月～24 か月」の割合が 16.9%となっています。

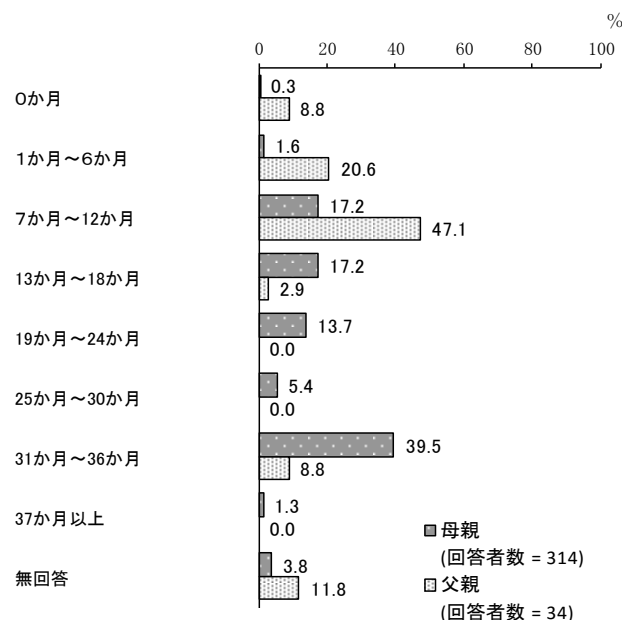
父親では「1 か月～6 か月」の割合が 32.4%と最も高く、次いで「0 か月」の割合が 29.4%となっています。



問 24 問 21 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にお伺いします。お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヵ月のときまで取りたかったですか。

母親では「31 か月～36 か月」の割合が 39.5%と最も高く、次いで「7 か月～12 か月」、「13 か月～18 か月」の割合が 17.2%となっています。

父親では「7 か月～12 か月」の割合が 47.1%と最も高くなっています。

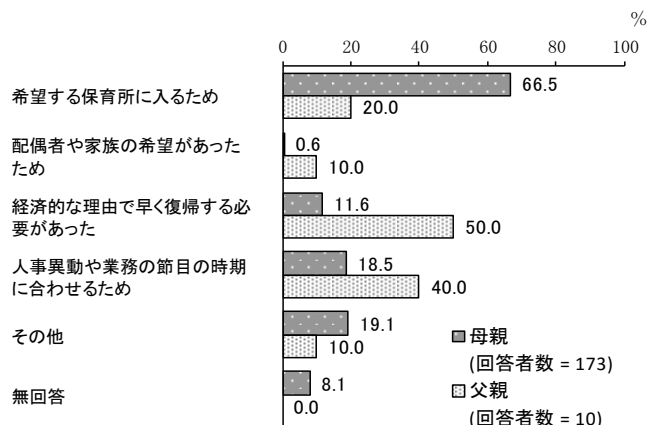


問 25 問 23 で実際の復帰と希望の復帰が異なる方にお伺いします。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてお伺いします。

ア 「希望」より早く復帰した方

母親では「希望する保育所に入るため」の割合が 66.5%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 18.5%、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が 11.6%となっています。

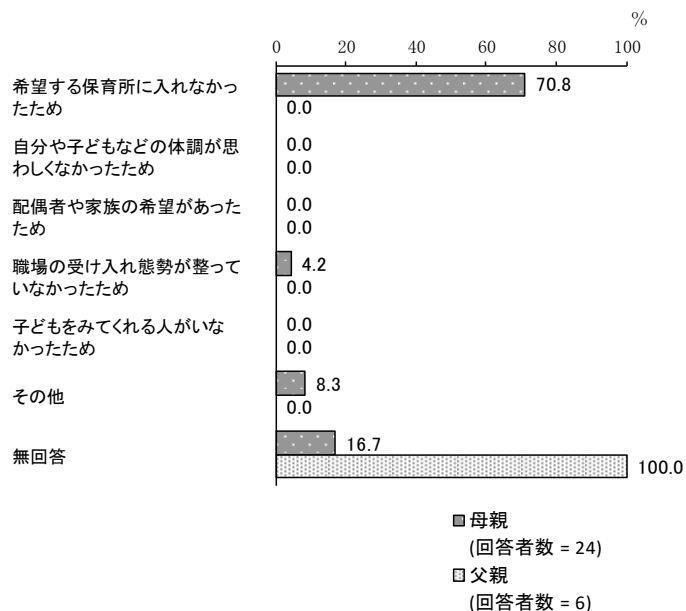
父親では「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が 50.0%と最も高くなっています。



イ 「希望」より遅く復帰した方

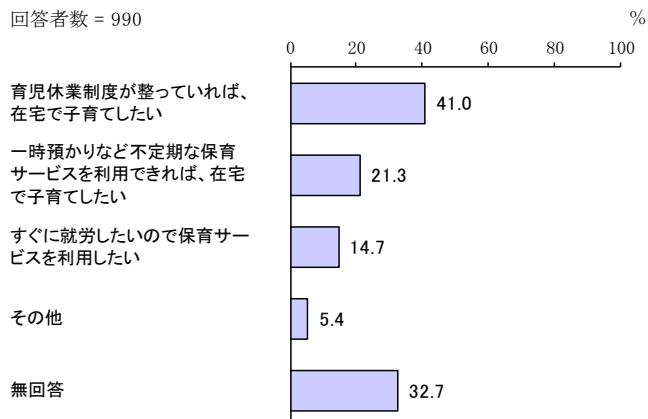
母親では「希望する保育所に入れなかったため」の割合が 70.8%と最も高くなっています。

父親では有効回答がありませんでした。



問 26 0～2歳期における子育てに対する考えを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

「育児休業制度が整っていれば、在宅で子育てしたい」の割合が 41.0%と最も高く、次いで「一時預かりなど不規則な保育サービスを利用できれば、在宅で子育てしたい」の割合が 21.3%、「すぐに就労したいので保育サービスを利用したい」の割合が 14.7%となっています。

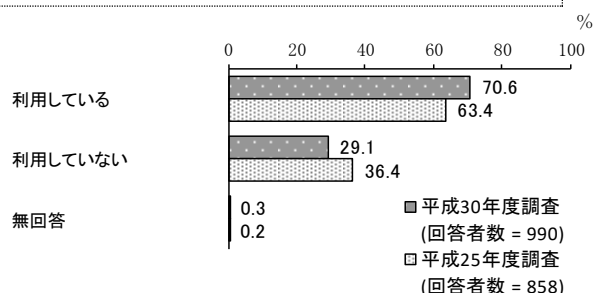


(6) 保育サービスの利用状況について

問 27 幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」の利用状況についてお伺いします。あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。(あてはまるもの1つに○)

「利用している」の割合が70.6%、「利用していない」の割合が29.1%となっています。

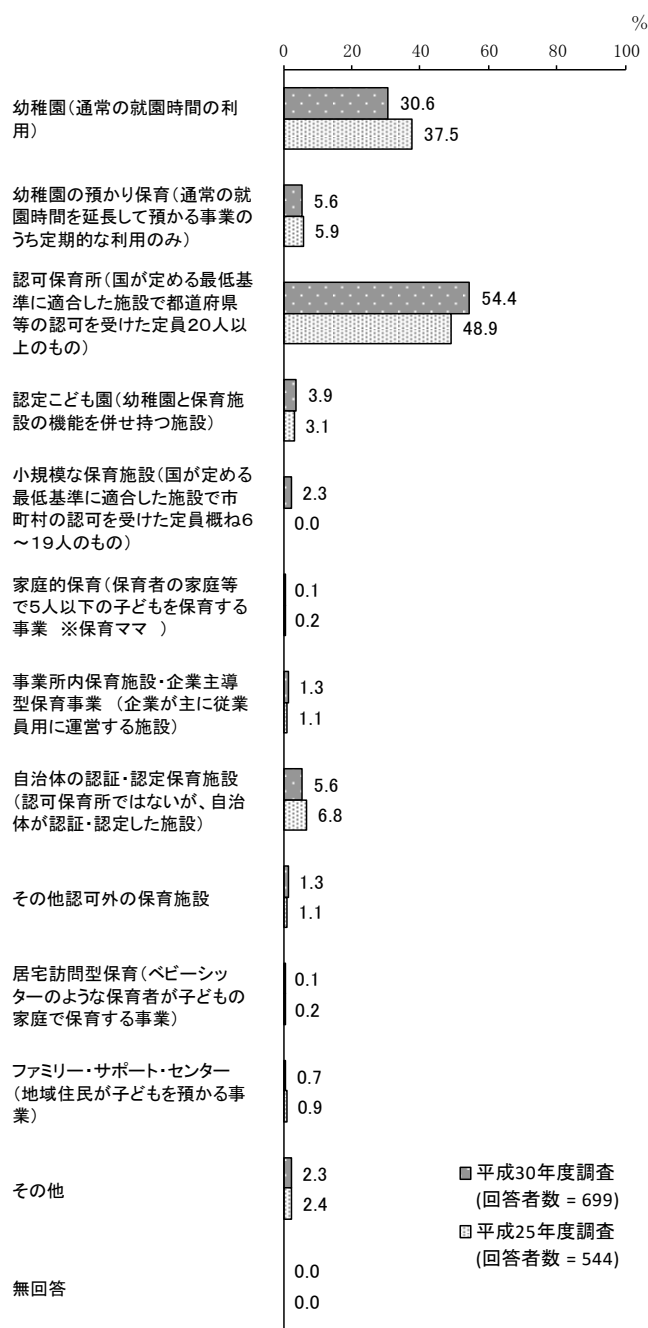
平成25年度調査と比較すると、「利用している」の割合が増加しています。一方、「利用していない」の割合が減少しています。



問 28 問 27 で「1. 利用している」に○をつけた方にお伺いします。あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

「認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)」の割合が54.4%と最も高く、次いで「幼稚園(通常就園時間の利用)」の割合が30.6%、「幼稚園の預かり保育(通常就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)」の割合が5.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)」の割合が増加しています。一方、「幼稚園(通常就園時間の利用)」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、他に比べ、0歳、1歳で「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）」の割合が、3歳以上で「幼稚園（通常の就園時間の利用）」の割合が高くなっています。

単位：％

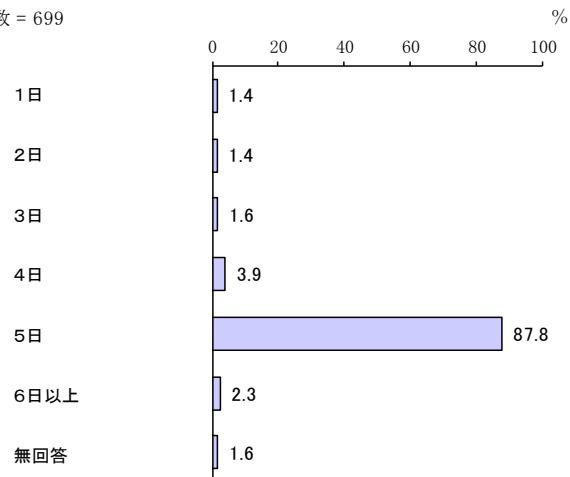
区分	回答者数（件）	幼稚園（通常の就園時間の利用）	幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）	認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）	認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）	小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のも）	家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業 ※保育ママ）	事業所内保育施設・企業主導型保育事業（企業が主に従業員用に運営する施設）	自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）	その他認可外の保育施設	居宅訪問型保育（ベビシッターのような保育者が子ども家庭で保育する事業）	ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	その他	無回答
0歳	19	—	—	73.7	—	—	—	15.8	10.5	—	—	—	—	—
1歳	89	2.2	—	77.5	1.1	7.9	1.1	2.2	10.1	1.1	—	—	—	—
2歳	111	10.8	0.9	66.7	0.9	3.6	—	2.7	9.9	2.7	0.9	2.7	7.2	—
3歳	148	39.9	4.1	48.0	4.1	1.4	—	0.7	3.4	0.7	—	—	2.7	—
4歳	159	42.8	10.1	44.7	6.9	0.6	—	—	4.4	0.6	—	—	0.6	—
5歳	150	45.3	10.0	43.3	4.7	0.7	—	—	3.3	2.0	—	1.3	2.0	—

問 29 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週あたり何日、1 日あたり何時間（何時から何時まで）かを、() 内に具体的な数字でお答えください。

ア 現在の 1 週あたり利用日数

「5 日」の割合が 87.8%と最も高く、次いで「4 日」の割合が 3.9%、「6 日以上」の割合が 2.3%となっています。

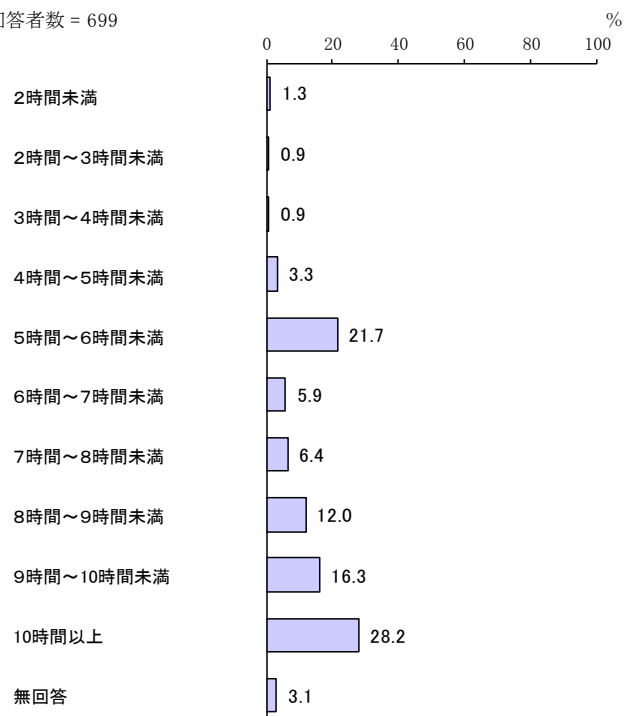
回答者数 = 699



イ 現在の 1 日あたり利用時間

「10 時間以上」の割合が 28.2%と最も高く、次いで「5 時間～6 時間未満」の割合が 21.7%、「9 時間～10 時間未満」の割合が 16.3%となっています。

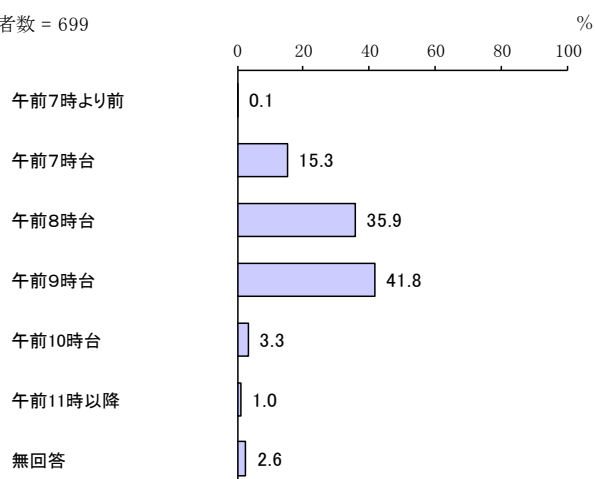
回答者数 = 699



ウ 現在の利用開始時刻

「午前9時台」の割合が41.8%と最も高く、次いで「午前8時台」の割合が35.9%、「午前7時台」の割合が15.3%となっています。

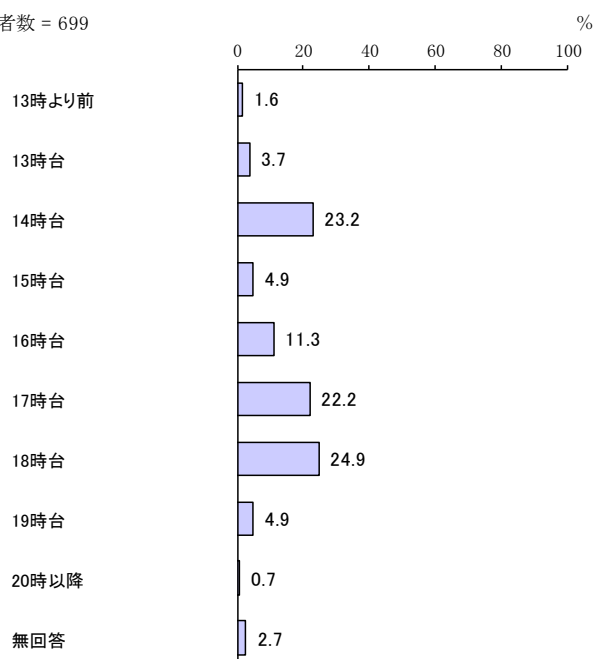
回答者数 = 699



エ 現在の利用終了時刻

「18時台」の割合が24.9%と最も高く、次いで「14時台」の割合が23.2%、「17時台」の割合が22.2%となっています。

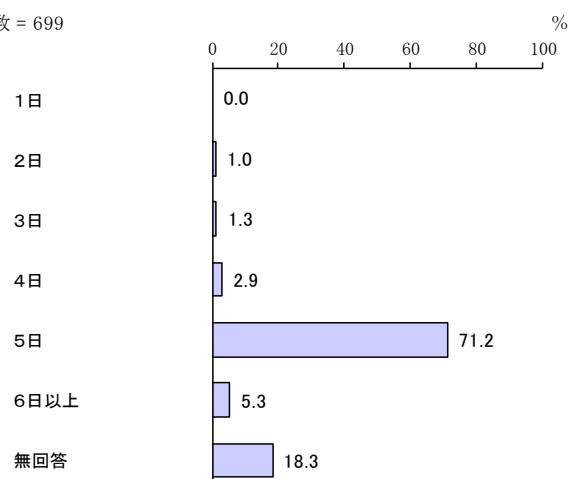
回答者数 = 699



オ 希望の1週当たり利用日数

「5日」の割合が71.2%と最も高く、次いで「6日以上」の割合が5.3%、「4日」の割合が2.9%となっています。

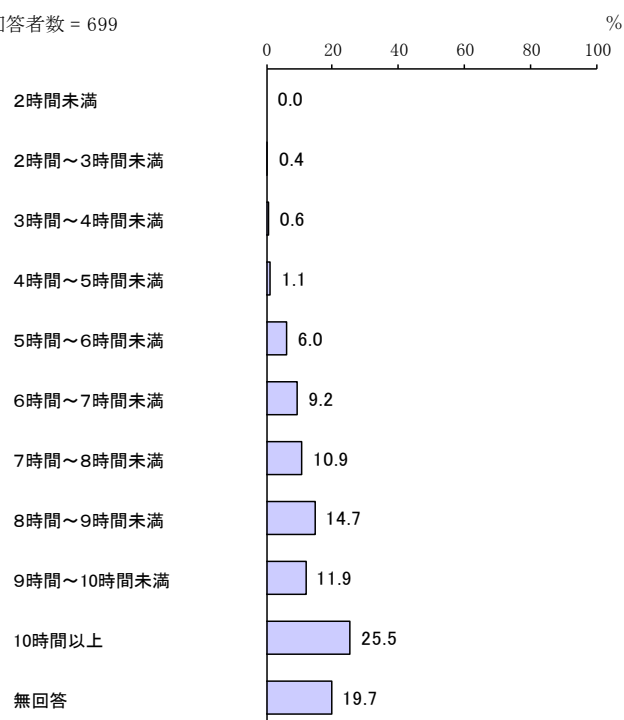
回答者数 = 699



カ 希望の1日当たり利用時間

「10 時間以上」の割合が 25.5%と最も高く、次いで「8 時間～9 時間未満」の割合が 14.7%、「9 時間～10 時間未満」の割合が 11.9%となっています。

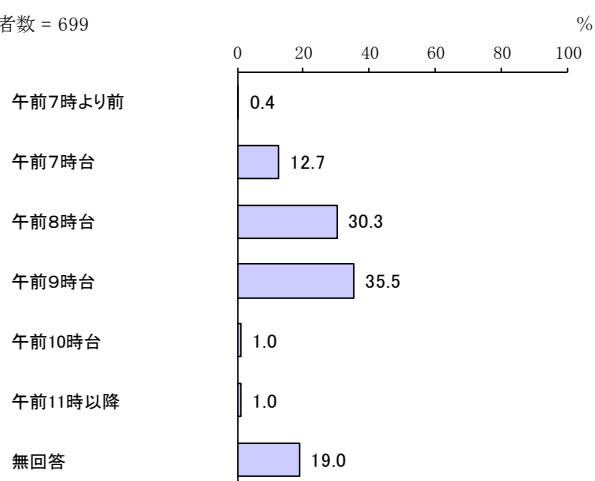
回答者数 = 699



キ 希望の利用開始時刻

「午前9 時台」の割合が 35.5%と最も高く、次いで「午前8 時台」の割合が 30.3%、「午前7 時台」の割合が 12.7%となっています。

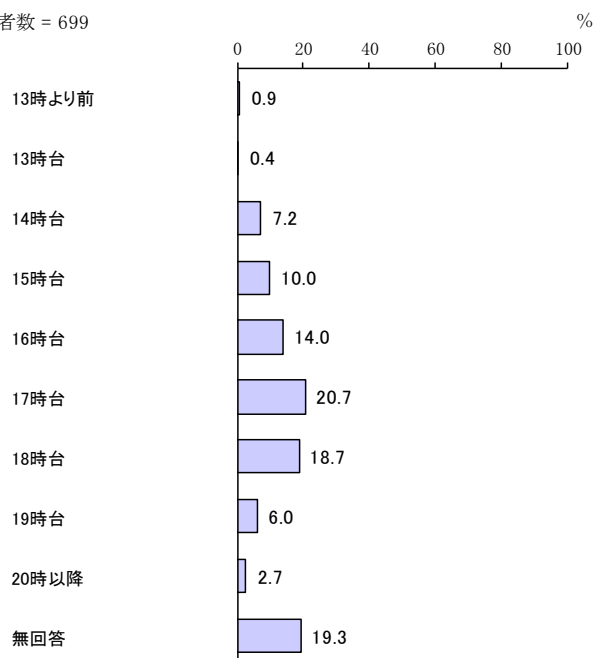
回答者数 = 699



ク 希望の利用終了時刻

「17 時台」の割合が 20.7%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 18.7%、「16 時台」の割合が 14.0%となっています。

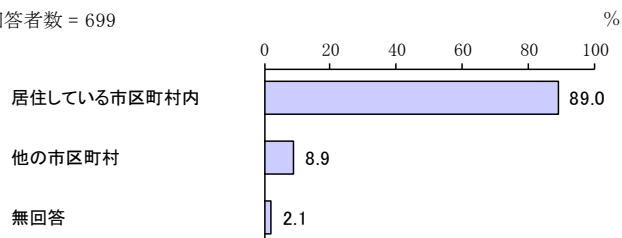
回答者数 = 699



問 30 現在、利用されている教育・保育の事業の実施場所についてお答えください。
(あてはまるもの 1 つに○)

「居住している市区町村内」の割合が 89.0%、
「他の市区町村」の割合が 8.9%となっています。

回答者数 = 699



問 31 問 27 で「2. 利用していない」に○をつけた方にお伺いします。利用していない
主な理由をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

「子どもがまだ小さいため。（ 歳くらい
になったら預けようと考えている）」の割合が
50.0%と最も高く、次いで「(子どもの教育や発
達のため、子どもの母親か父親が就労してい
ないなどの理由で) 利用する必要がある」の割合が
40.3%、「利用したいが、教育・保育の事業に空
きがない」の割合が 17.0%となっています。

回答者数 = 288

(子どもの教育や発達のため、
子どもの母親か父親が就労し
ていないなどの理由で) 利用す
る必要がある

子どもの祖父母や親戚の人が
みている

近所の人や父母の友人・知人
がみている

利用したいが、教育・保育の事
業に空きがない

利用したいが、経済的な理由で
事業を利用できない

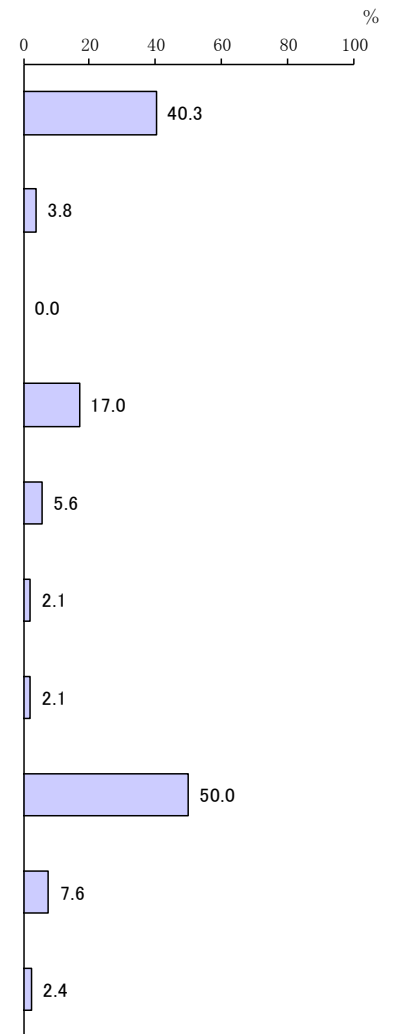
利用したいが、延長・夜間等の
場所や時間帯の条件が合わない

利用したいが、事業の質や場所
など、納得できる事業がない

子どもがまだ小さいため。（
歳くらいになったら預けようと思
っている）

その他

無回答



何歳くらいになったら預けようと考えている

「3歳」の割合が 35.4%と最も高く、次いで
「1歳」の割合が 28.5%、「2歳」の割合が 11.1%
となっています。

回答者数 = 144

1歳未満

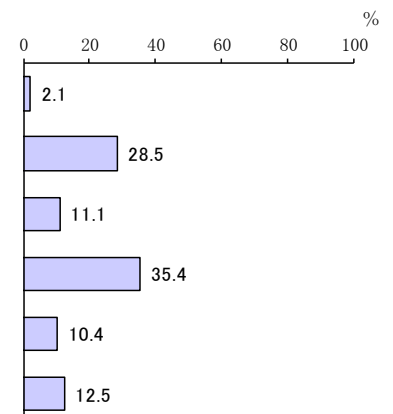
1歳

2歳

3歳

4歳以降

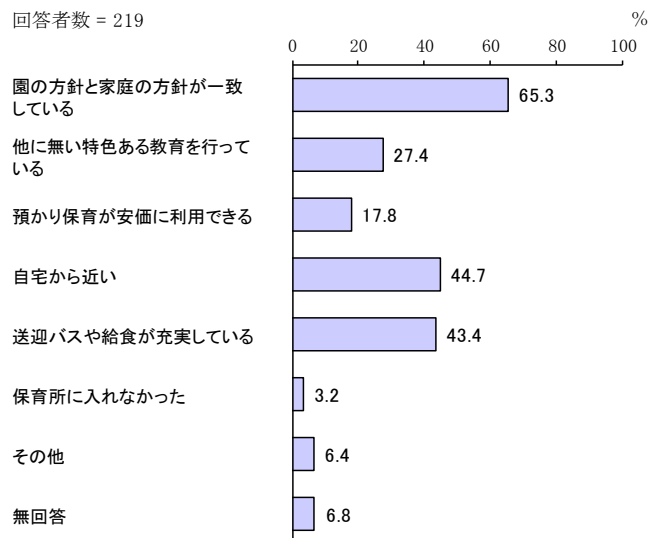
無回答



問 32 問 28 で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」「2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）」に○をつけた方にお伺いします。幼稚園を利用する理由・条件を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

「園の方針と家庭の方針が一致している」の割合が 65.3%と最も高く、次いで「自宅から近い」の割合が 44.7%、「送迎バスや給食が充実している」の割合が 43.4%となっています。

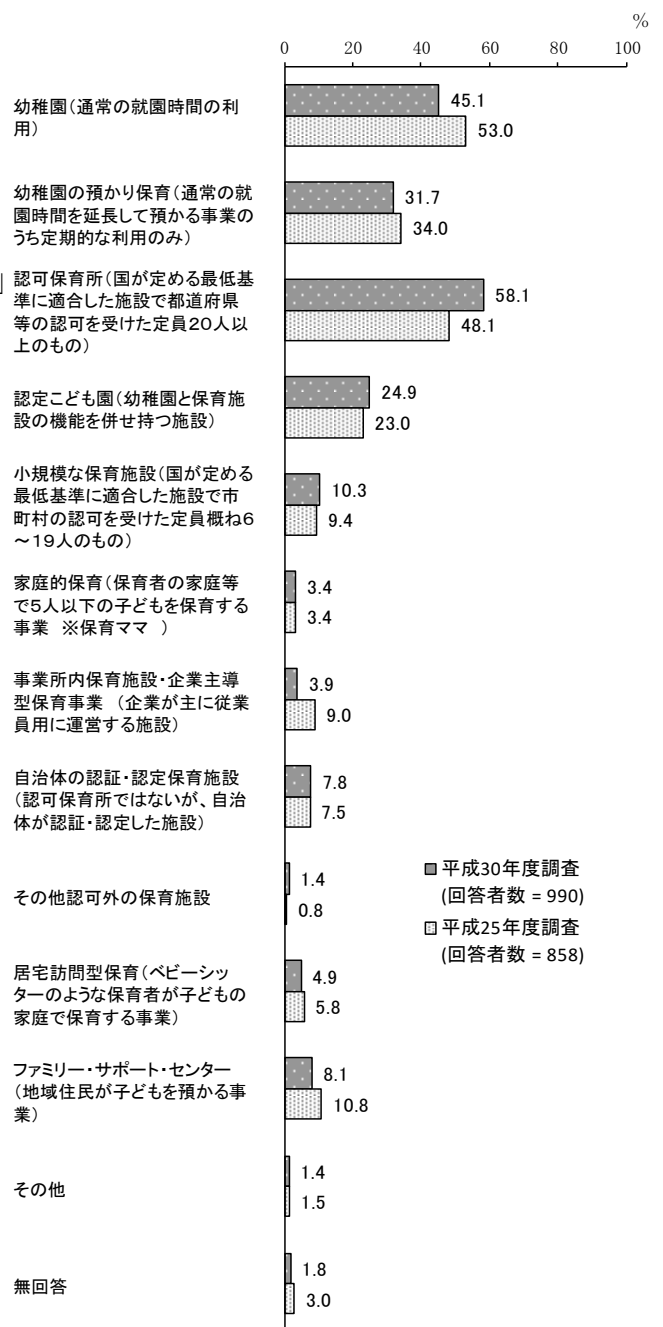
回答者数 = 219



問 33 すべての方に伺います。現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。なお、これらの「保育サービス」の利用には、一定の利用者負担が発生します。（あてはまるものすべてに○）

「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）」の割合が58.1%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」の割合が45.1%、「幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）」の割合が31.7%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）」の割合が増加しています。一方、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」「事業所内保育施設・企業主導型保育事業（企業が主に従業員用に運営する施設）」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、年齢が低くなるにつれて「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）」「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」「小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの）」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：％

区分	回答者数（件）	幼稚園（通常の就園時間の利用）	幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）	認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）	認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）	小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの）	家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業 ※保育ママ）	事業所内保育施設・企業主導型保育事業（企業が主に従業員用に運営する施設）	自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）	その他認可外の保育施設	居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子ども家庭で保育する事業）	ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	その他	無回答
0歳	163	38.7	27.0	74.2	32.5	22.7	3.1	5.5	13.5	1.8	4.3	4.9	0.6	2.5
1歳	163	40.5	26.4	61.3	27.6	13.5	3.7	3.7	8.0	3.1	8.0	12.3	1.8	1.8
2歳	165	50.3	32.1	57.0	23.6	7.9	2.4	2.4	7.3	1.8	5.5	9.7	3.6	0.6
3歳	158	49.4	32.3	52.5	25.9	3.8	1.9	2.5	5.1	0.6	4.4	4.4	0.6	0.6
4歳	162	46.9	38.3	52.5	21.6	6.8	3.1	3.7	5.6	—	7.4	12.3	1.2	1.9
5歳	151	47.0	35.1	51.0	20.5	7.9	6.0	6.6	7.9	1.3	—	4.6	0.7	2.0

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中であるで「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）」の割合が、以前は就労していたが、現在は就労していない、これまでに就労したことはないで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」の割合が高くなっています。

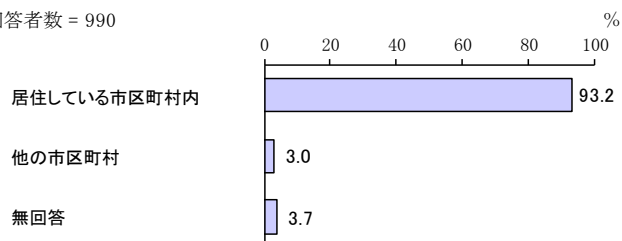
単位：％

区分	回答者数（件）	幼稚園（通常の就園時間の利用）	幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）	認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）	認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）	小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人もの）	家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業 ※保育ママ）	事業所内保育施設・企業主導型保育事業（企業が主に従業員用に運営する施設）	自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）	その他認可外の保育施設	居宅訪問型保育（ベビシッターのような保育者が子どもを預かる事業）	ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	その他	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	280	11.1	15.7	86.4	19.3	8.9	3.2	2.5	9.3	1.4	8.6	12.1	1.1	1.4
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	121	19.0	20.7	93.4	24.8	19.8	2.5	5.8	12.4	1.7	2.5	6.6	—	—
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	192	37.0	31.8	62.5	27.6	7.3	2.6	5.2	7.3	0.5	3.1	5.2	—	1.6
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	16	25.0	25.0	87.5	37.5	18.8	6.3	—	12.5	—	12.5	—	—	6.3
以前は就労していたが、現在は就労していない	342	84.5	49.4	23.4	28.4	9.4	3.5	3.5	5.3	1.5	3.8	7.0	3.2	1.2
これまでに就労したことはない	30	86.7	36.7	10.0	20.0	10.0	13.3	10.0	3.3	—	3.3	10.0	—	13.3

問 34 教育・保育の事業を利用したい場所についてお答えください。
(あてはまるもの 1 つに○)

「居住している市区町村内」の割合が 93.2%、
「他の市区町村」の割合が 3.0%となっています。

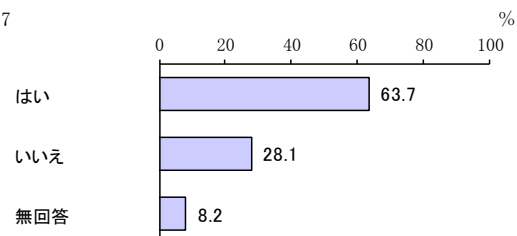
回答者数 = 990



問 35 問 33 で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」「2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）」に○をつけ、かつ 3～12 にも○をつけた方にお伺いします。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。
(あてはまるもの 1 つに○)

「はい」の割合が 63.7%、「いいえ」の割合が 28.1%となっています。

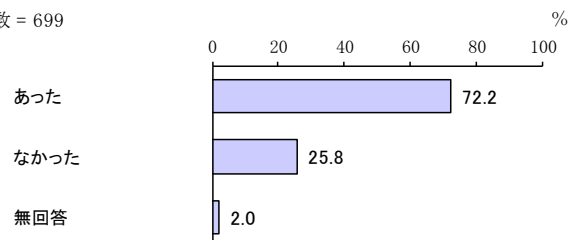
回答者数 = 267



問 36 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 27 で「1. 利用している」に○をつけた方）にお伺いします。この 1 年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。（あてはまるもの 1 つに○）

「あった」の割合が 72.2%、「なかった」の割合が 25.8%となっています。

回答者数 = 699



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、他に比べ、0歳、1歳で「あった」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	あった	なかった	無回答
0歳	19	84.2	15.8	—
1歳	89	84.3	13.5	2.2
2歳	111	78.4	18.0	3.6
3歳	148	68.2	30.4	1.4
4歳	159	71.7	26.4	1.9
5歳	150	63.3	35.3	1.3

【母親の就労状況別】

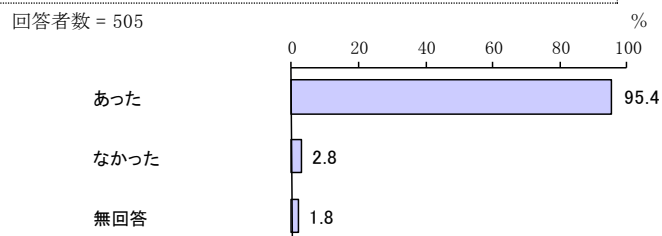
母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない、フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中であるで「あった」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	あった	なかった	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	275	85.8	13.1	1.1
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	44	88.6	11.4	—
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	176	71.0	28.4	0.6
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	2	—	100.0	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	179	54.2	41.3	4.5
これまでに就労したことはない	16	18.8	75.0	6.3

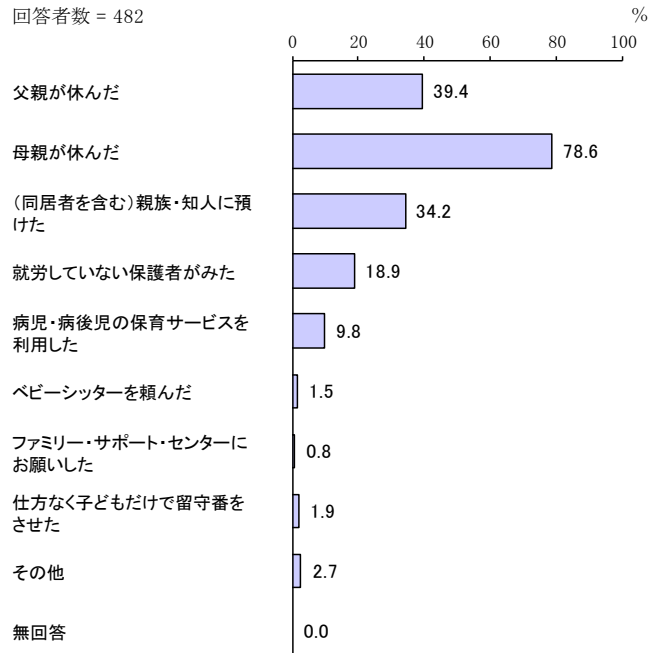
問 37 あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。）

「あった」の割合が95.4%、「なかった」の割合が2.8%となっています。



ア 利用できない日があった

「母親が休んだ」の割合が78.6%と最も高く、次いで「父親が休んだ」の割合が39.4%、「(同居者を含む) 親族・知人に預けた」の割合が34.2%となっています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、他に比べ、2歳以下で「母親が休んだ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	父親が休んだ	母親が休んだ	知人（同居者を含む）に預けた	親族・	就労していない保護者がみた	病児・病後児の保育サービスを利用した	ベビーシッターを頼んだ	ファミリー・サポート・センターにお願いした	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
0歳	16	50.0	100.0	31.3	—	12.5	—	—	—	—	—	—
1歳	75	46.7	98.7	37.3	2.7	6.7	2.7	—	1.3	2.7	—	—
2歳	84	50.0	86.9	38.1	7.1	14.3	2.4	3.6	1.2	4.8	—	—
3歳	95	41.1	67.4	30.5	30.5	9.5	—	—	2.1	2.1	—	—
4歳	106	32.1	72.6	30.2	26.4	7.5	1.9	—	1.9	1.9	—	—
5歳	89	31.5	70.8	37.1	27.0	9.0	1.1	1.1	3.4	2.2	—	—

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない、フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である、パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではないで「母親が休んだ」の割合が、以前は就労していたが、現在は就労していないで「就労していない保護者がみた」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	父親が休んだ	母親が休んだ	知人に預けた (同居者を含む) 親族・	就労していない保護者がみた	病児・病後児の保育サービスを利用した	ベビーシッターを頼んだ	ファミリー・サポート・センターにお願いした	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	231	57.1	95.2	46.8	1.7	17.3	2.6	0.9	1.7	3.5	—
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	37	37.8	91.9	29.7	8.1	5.4	—	—	—	—	—
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	123	25.2	93.5	31.7	8.9	4.1	0.8	0.8	3.3	2.4	—
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	83	13.3	8.4	4.8	83.1	—	—	1.2	1.2	2.4	—
これまでに就労したことはない	3	33.3	—	33.3	66.7	—	—	—	—	—	—

1 年間の対処方法の日数

1 年間の対処方法としては、『オ. 病児・病後児の保育サービスを利用した』で「1 日～4 日」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	1 日 ～ 4 日	5 日 ～ 9 日	10 日 ～ 14 日	15 日 ～ 19 日	20 日 以上	無回答
ア. 父親が休んだ	190	58.4	23.7	6.3	—	2.6	8.9
イ. 母親が休んだ	379	29.6	26.1	18.2	5.5	10.8	9.8
ウ. (同居者を含む)親族・知人に預けた	165	45.5	20.6	14.5	2.4	7.3	9.7
エ. 就労していない保護者がみた	91	19.8	31.9	25.3	2.2	8.8	12.1
オ. 病児・病後児の保育サービスを利用した	47	70.2	12.8	4.3	6.4	—	6.4
カ. ベビーシッターを頼んだ	7	71.4	—	—	—	—	28.6
キ. ファミリー・サポート・センターにお願いした	4	—	—	—	—	—	100.0
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	9	55.6	—	—	—	—	44.4
ケ. その他	13	30.8	15.4	—	7.7	—	46.2

問 38 問 37 で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にお伺いします。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等に預けたい」と思われましたか。(あてはまるもの 1 つに○) また、「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方は、日数も () 内に数字でご記入ください。

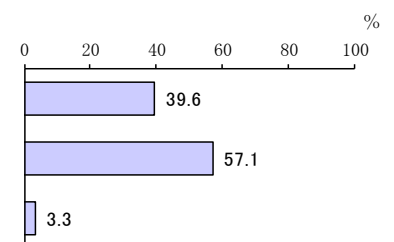
「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が 39.6%、「利用したいとは思わない」の割合が 57.1%となっています。

回答者数 = 394

できれば病児・病後児保育施設等を利用したい

利用したいとは思わない

無回答



ア できれば病児・病後児保育施設等を利用したい日数

「1 日～4 日」の割合が 39.7%と最も高く、次いで「5 日～9 日」の割合が 17.9%、「10 日～14 日」の割合が 14.7%となっています。

回答者数 = 156

1 日～4 日

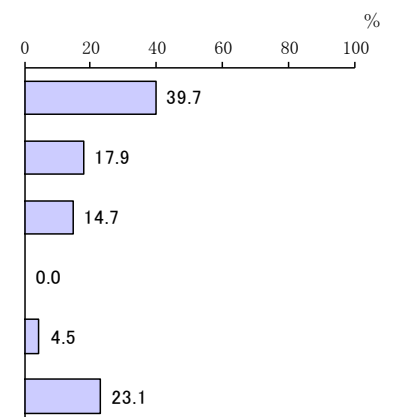
5 日～9 日

10 日～14 日

15 日～19 日

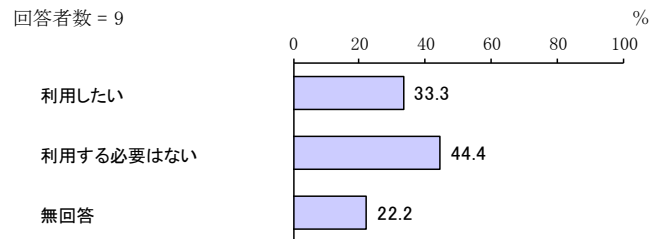
20 日以上

無回答



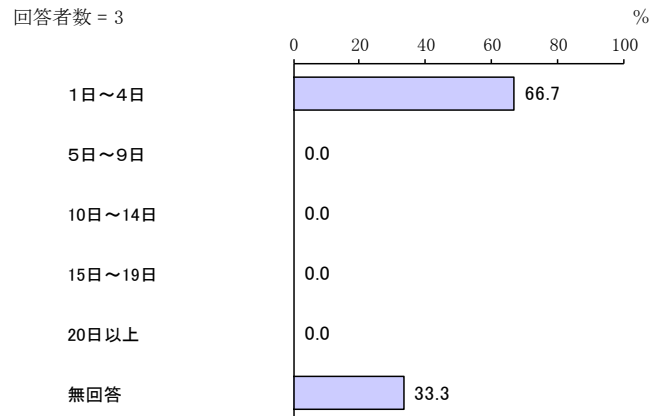
問 39 問 37 で「ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた」に○をつけた方に伺います。ショートステイの利用意向はありますか。(あてはまるもの1つに○)

「利用したい」が3件、「利用する必要はない」が4件となっています。



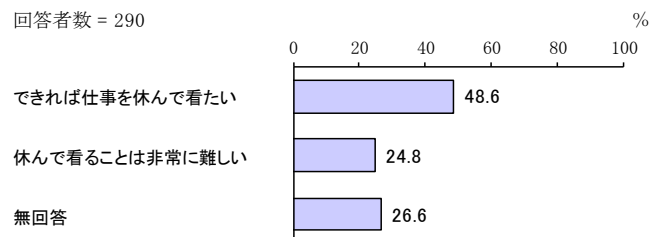
ア 利用したい日数

「1日～4日」が2件となっています。



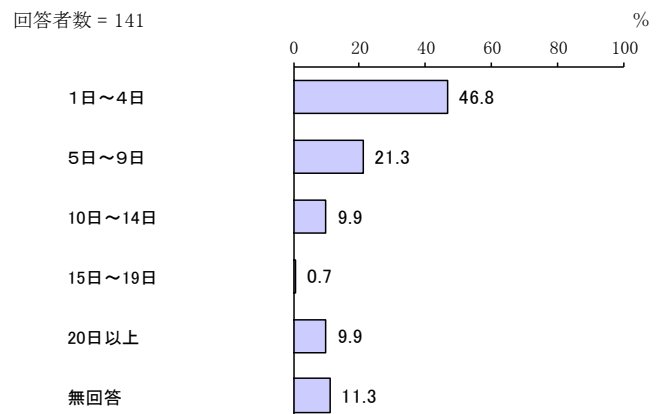
問 40 問 37 で「ウ. ～ケ.」のいずれかに○をつけた方にお伺いします。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。(あてはまるもの1つに○)

「できれば仕事を休んで看たい」の割合が48.6%、「休んで看することは非常に難しい」の割合が24.8%となっています。



ア できれば仕事を休んで看たい日数

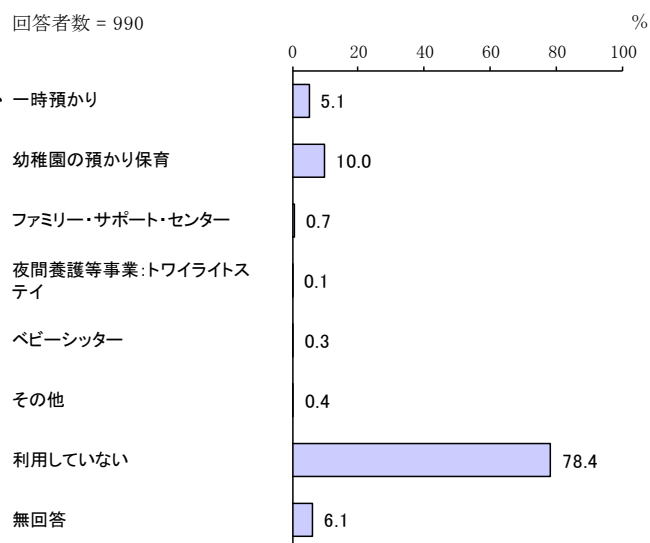
「1日～4日」の割合が46.8%と最も高く、次いで「5日～9日」の割合が21.3%、「10日～14日」、「20日以上」の割合が9.9%となっています。



問 41 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用（冠婚葬祭、リフレッシュ等）、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。（あてはまるものすべてに○）また、○をつけた各項目に、日数も（ ）内に数字でご記入ください。

「利用していない」の割合が 78.4%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」の割合が 10.0%、「一時預かり」の割合が 5.1%となっています。

回答者数 = 990



利用している事業・日数（年間）

利用している事業としては、『1. 一時預かり』で「1日～4日」の割合が高くなっています。

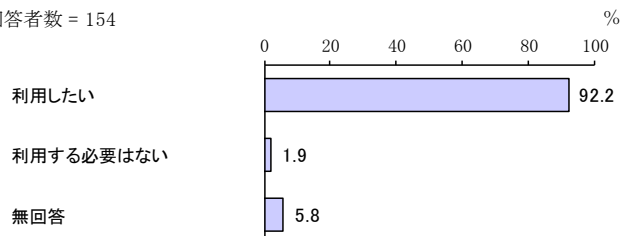
単位：％

区分	回答者数 (件)	1日 ～ 4日	5日 ～ 9日	10日 ～ 14日	15日 ～ 19日	20日 以上	無回答
1. 一時預かり	50	42.0	22.0	12.0	2.0	12.0	10.0
2. 幼稚園の預かり保育	99	29.3	18.2	20.2	4.0	18.2	10.1
3. ファミリー・サポート・センター	7	14.3	28.6	14.3	—	42.9	—
4. 夜間養護等事業:トワイライトステイ	1	—	—	—	—	100.0	—
5. ベビーシッター	3	33.3	—	66.7	—	—	—

問 42 問 41 で「1. ～6.」のいずれかに○をつけた方にお伺いします。あて名のお子さんについて、私用（冠婚葬祭、リフレッシュ等）、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。（あてはまるものすべてに○）また、○をつけた各項目に、日数も（ ）内に数字でご記入ください。

「利用したい」の割合が 92.2%、「利用する必要はない」の割合が 1.9%となっています。

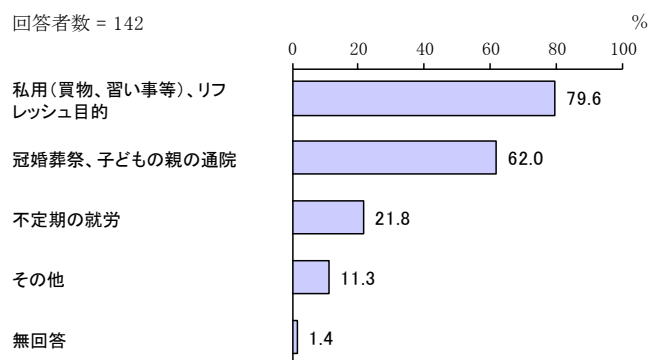
回答者数 = 154



ア 利用したい目的

「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」の割合が 79.6%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、子どもの親の通院」の割合が 62.0%、「不定期の就労」の割合が 21.8%となっています。

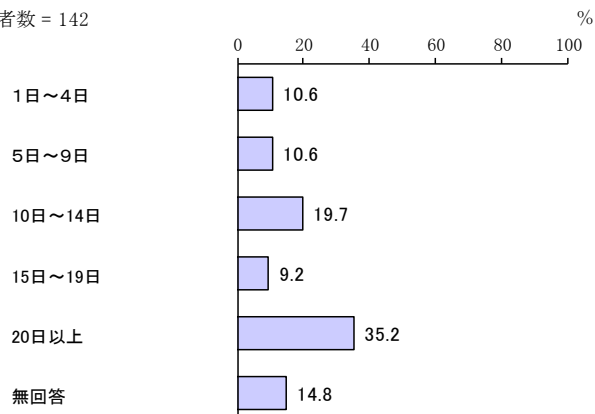
回答者数 = 142



イ 利用したい日数の合計

「20 日以上」の割合が 35.2%と最も高く、次いで「10 日～14 日」の割合が 19.7%、「1 日～4 日」、「5 日～9 日」の割合が 10.6%となっています。

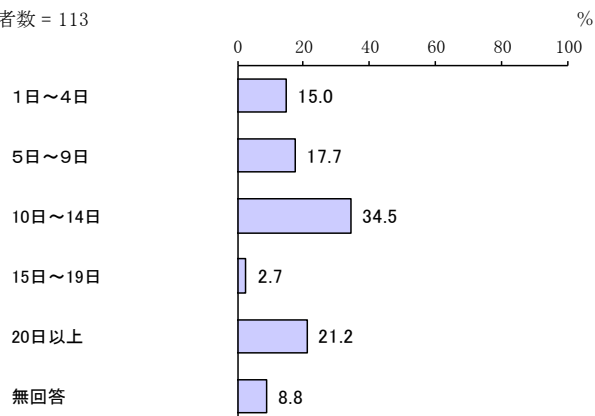
回答者数 = 142



（ア） 私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的

「10 日～14 日」の割合が 34.5%と最も高く、次いで「20 日以上」の割合が 21.2%、「5 日～9 日」の割合が 17.7%となっています。

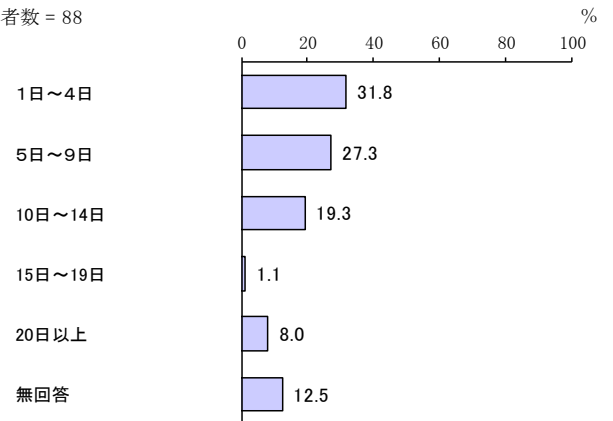
回答者数 = 113



(イ) 冠婚葬祭、子どもの親の通院

「1日～4日」の割合が31.8%と最も高く、次いで「5日～9日」の割合が27.3%、「10日～14日」の割合が19.3%となっています。

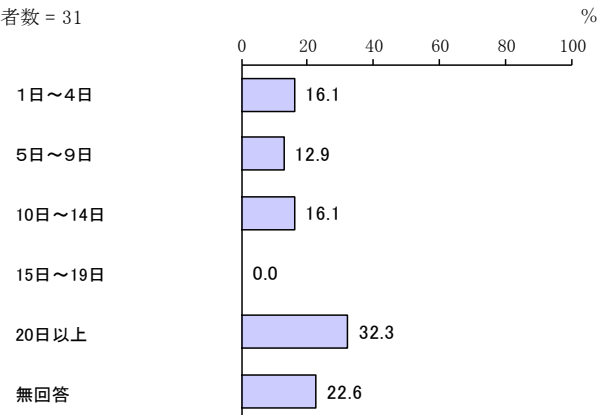
回答者数 = 88



(ウ) 不定期の就労

「20日以上」の割合が32.3%と最も高くなっています。

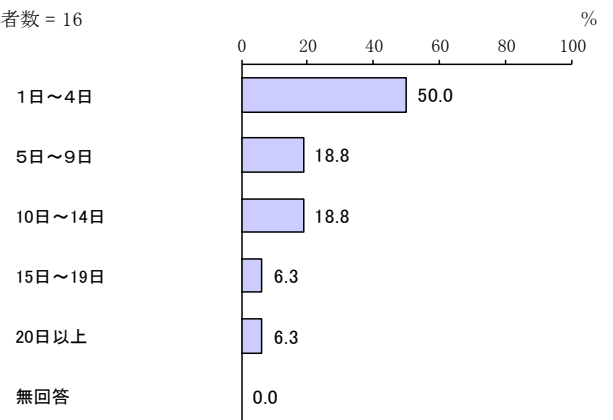
回答者数 = 31



(エ) その他

「1日～4日」の割合が50.0%と最も高くなっています。

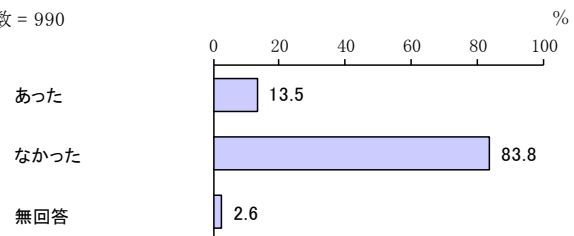
回答者数 = 16



問 43 この１年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この１年間の対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。

「あった」の割合が13.5%、「なかった」の割合が83.8%となっています。

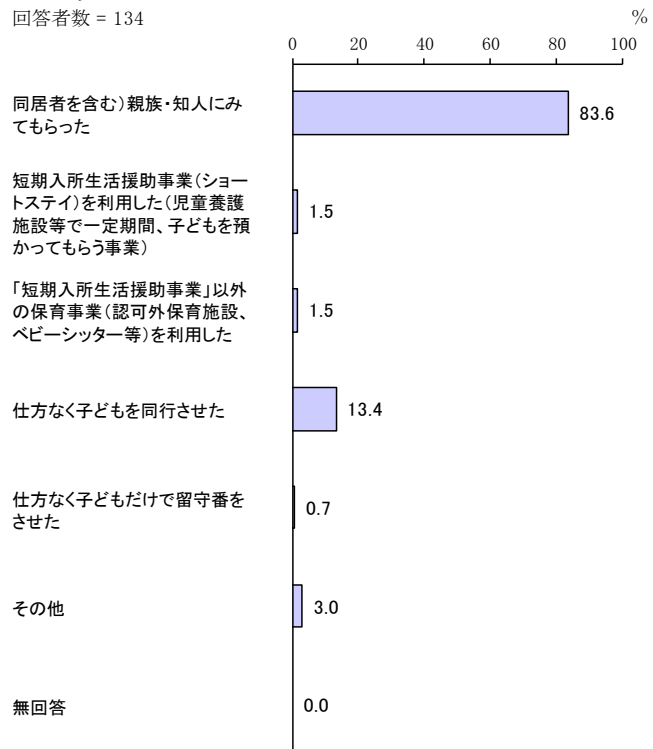
回答者数 = 990



ア 泊りがけで家族以外に預けなければならないことがあった

「同居者を含む）親族・知人にみてもらった」の割合が83.6%と最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」の割合が13.4%となっています。

回答者数 = 134



イ 対処方法の日数

対処方法としては、『ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった』で「1日～4日」の割合が高くなっています。

単位：％

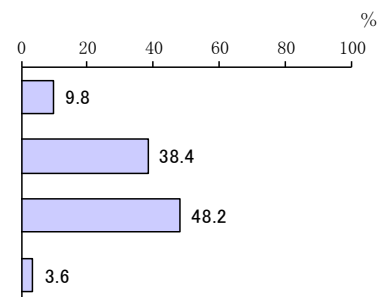
区分	回答者数 (件)	1泊 ～ 4泊	5泊 ～ 9泊	10泊 ～ 14泊	15泊 ～ 19泊	20泊 以上	無回答
ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	112	61.6	19.6	4.5	—	2.7	11.6
イ. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した	2	—	—	—	—	—	100.0
ウ. 短期入所生活援助事業以外の保育事業	2	—	50.0	—	—	—	50.0
エ. 仕方なく子どもを同行させた	18	38.9	16.7	—	—	5.6	38.9
オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	1	—	100.0	—	—	—	—
カ. その他	4	—	25.0	—	—	—	75.0

問 44 問 43 で「1. あった ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」に○をつけた方にお伺いします。その場合の困難度はどの程度でしたか。（あてはまるものの1つに○）

「特に困難ではない」の割合が48.2％と最も高く、次いで「どちらかという困難」の割合が38.4％、「非常に困難」の割合が9.8％となっています。

回答者数 = 112

非常に困難
どちらかという困難
特に困難ではない
無回答

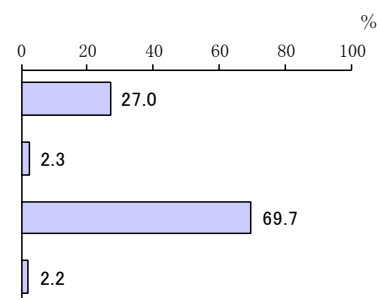


問 45 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、地域子ども家庭支援センター、保育園、児童館などで開設され、「子育てひろば」と呼ばれています）を利用していますか。（あてはまるものすべてに○）また、「1. 地域子育て支援拠点事業」「2. その他」に○をつけた方は、おおよその数字（頻度）もご記入ください。

「地域子育て支援拠点事業」の割合が27.0％、「利用していない」の割合が69.7％となっています。

回答者数 = 990

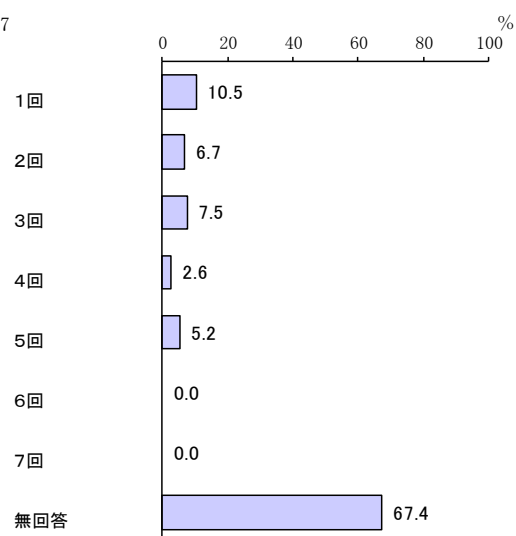
地域子育て支援拠点事業
その他
利用していない
無回答



ア 地域子育て支援拠点事業の利用回数

「1回」の割合が10.5%と最も高く、次いで「3回」の割合が7.5%、「2回」の割合が6.7%となっています。

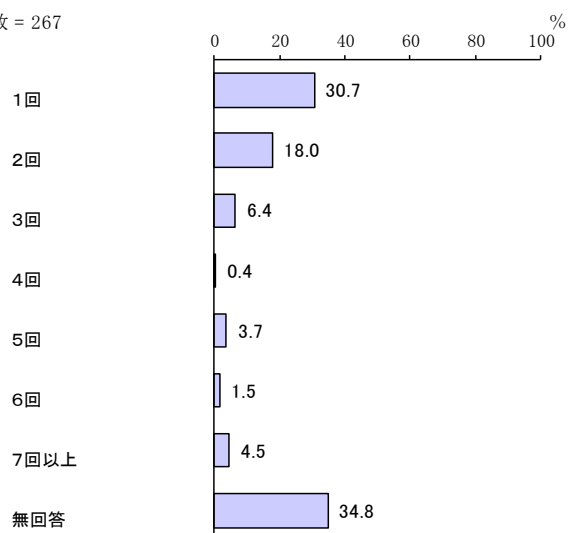
回答者数 = 267



イ 地域子育て支援拠点事業の1か月あたり利用日数

「1回」の割合が30.7%と最も高く、次いで「2回」の割合が18.0%、「3回」の割合が6.4%となっています。

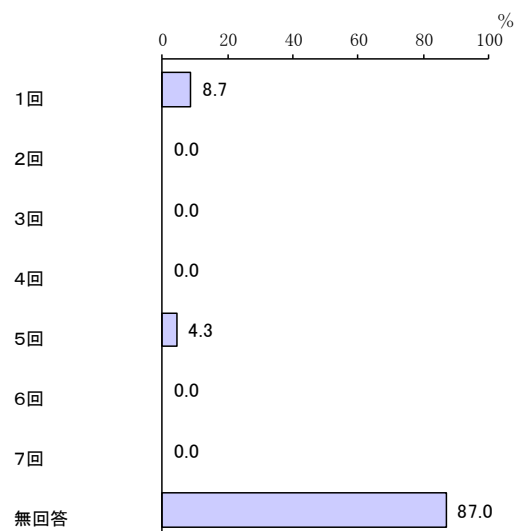
回答者数 = 267



ウ その他の利用回数

「1回」の割合が8.7%と最も高くなっています。

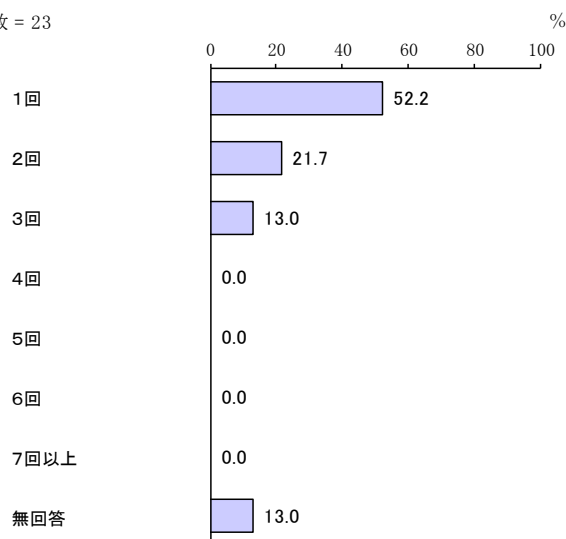
回答者数 = 23



エ その他の1か月あたり利用日数

「1回」の割合が52.2%と最も高くなっています。

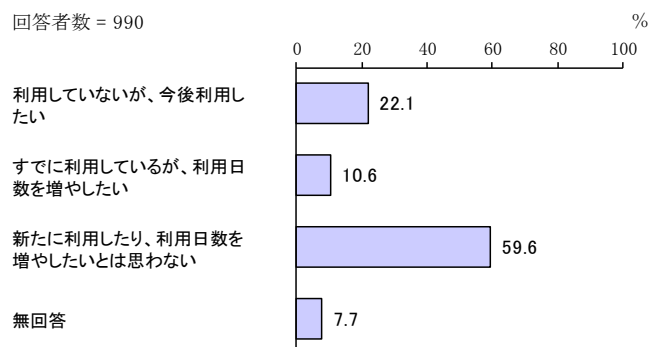
回答者数 = 23



問 46 問 45 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。（あてはまるもの1つに○）また、「1. 2.」に○をつけた方は、おおよその数字（頻度）もご記入ください。

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が59.6%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が22.1%、「すでに利用しているが、利用日数を増やしたい」の割合が10.6%となっています。

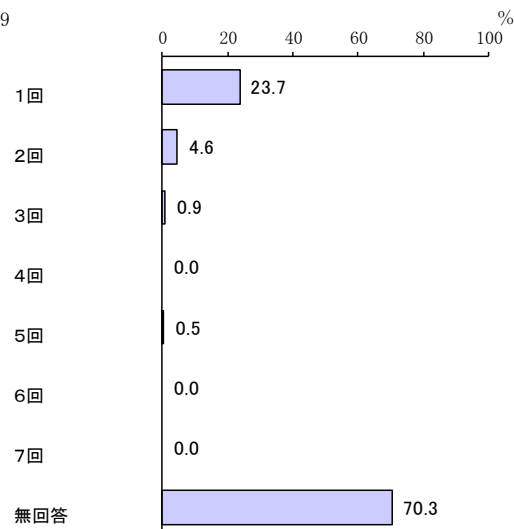
回答者数 = 990



ア 利用していないが、今後利用したい回数

「1回」の割合が23.7%と最も高く、次いで「2回」の割合が4.6%となっています。

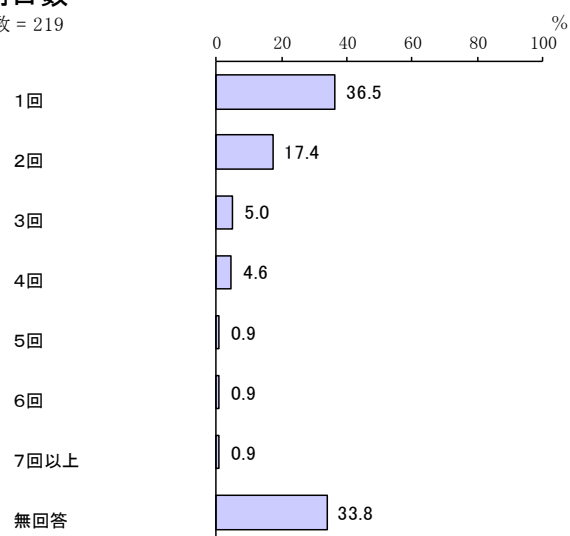
回答者数 = 219



イ 利用していないが、今後利用したい1か月あたり利用日数

「1回」の割合が36.5%と最も高く、次いで
「2回」の割合が17.4%、「3回」の割合が5.0%
となっています。

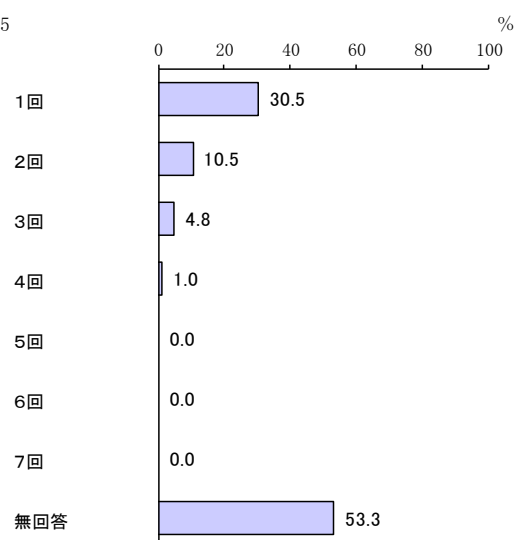
回答者数 = 219



ウ すでに利用しているが、利用日数を増やしたい回数

「1回」の割合が30.5%と最も高く、次いで
「2回」の割合が10.5%となっています。

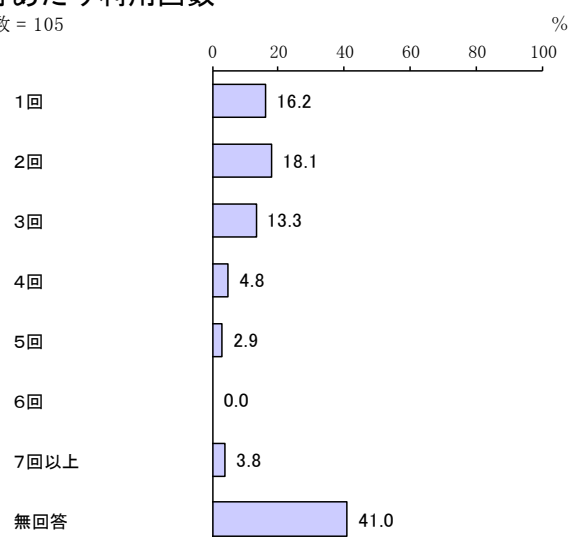
回答者数 = 105



エ すでに利用しているが、利用日数を増やしたい1か月あたり利用回数

「2回」の割合が18.1%と最も高く、次いで
「1回」の割合が16.2%、「3回」の割合が13.3%
となっています。

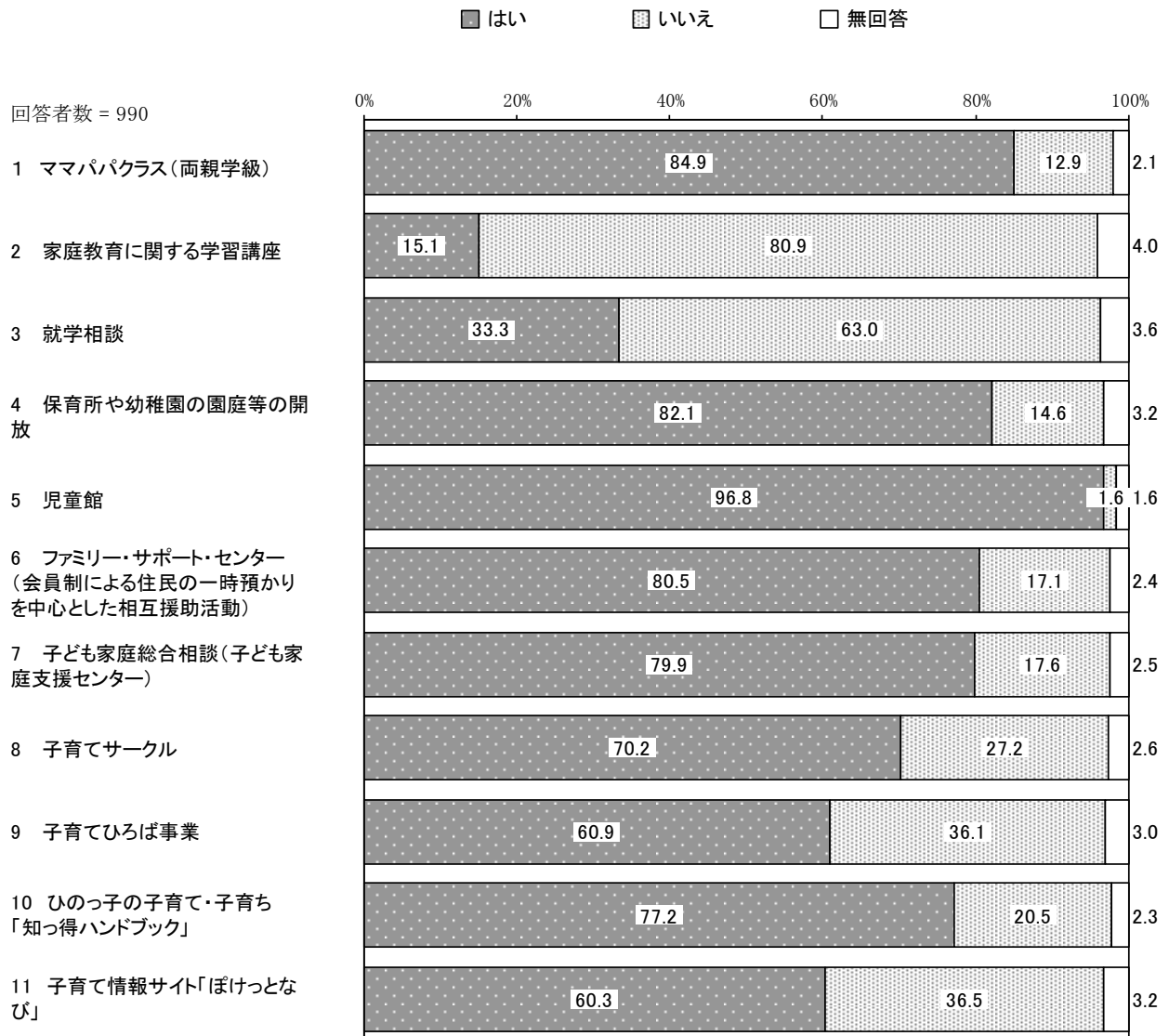
回答者数 = 105



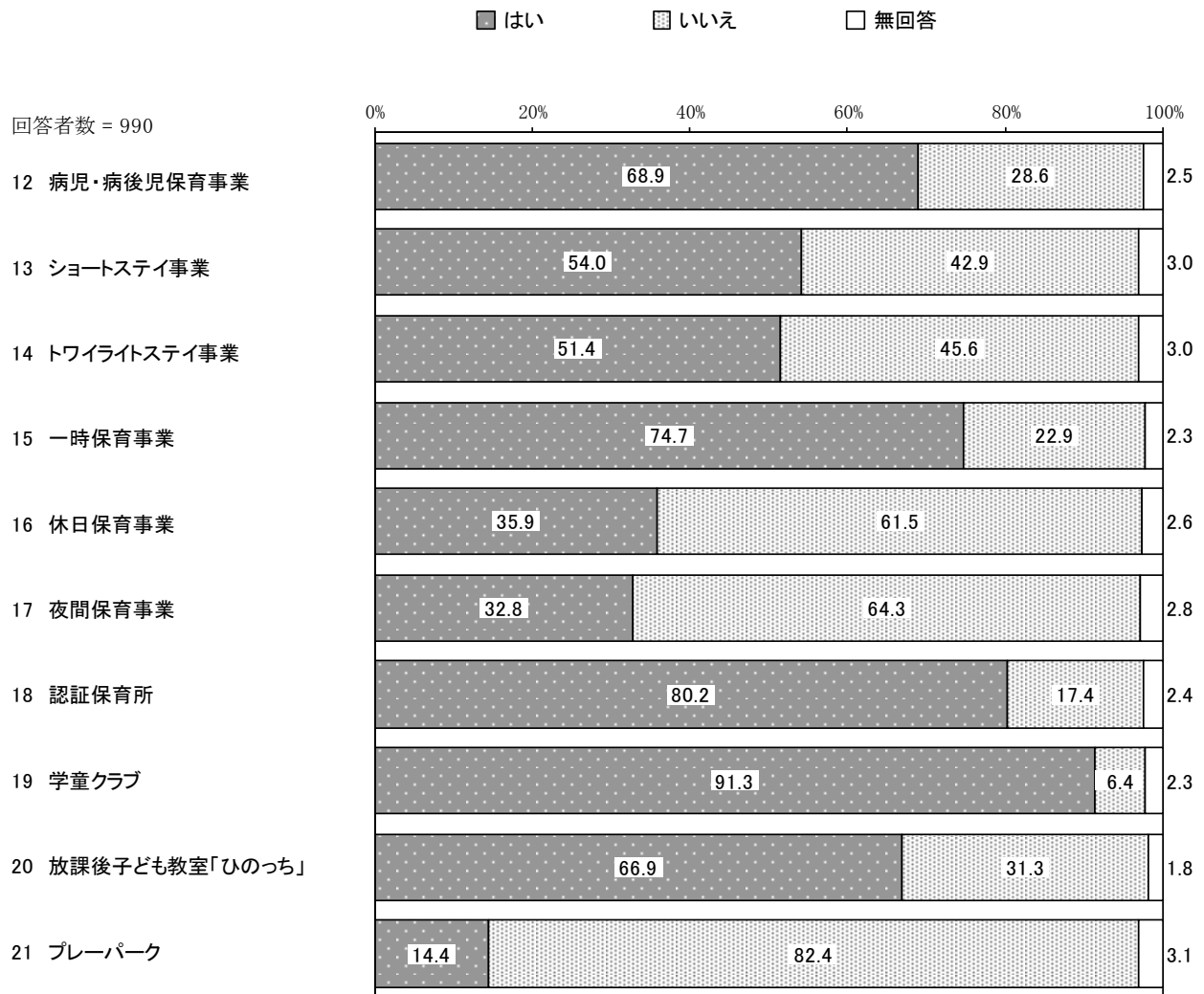
問 47 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。A～Cすべてについて「はい」「いいえ」のどちらかに○をしてください。

ア 知っている

『5 児童館』『19 学童クラブ』で「はい」の割合が高くなっています。また、『2 家庭教育に関する学習講座』『21 プレーパーク』で「いいえ」の割合が高くなっています。

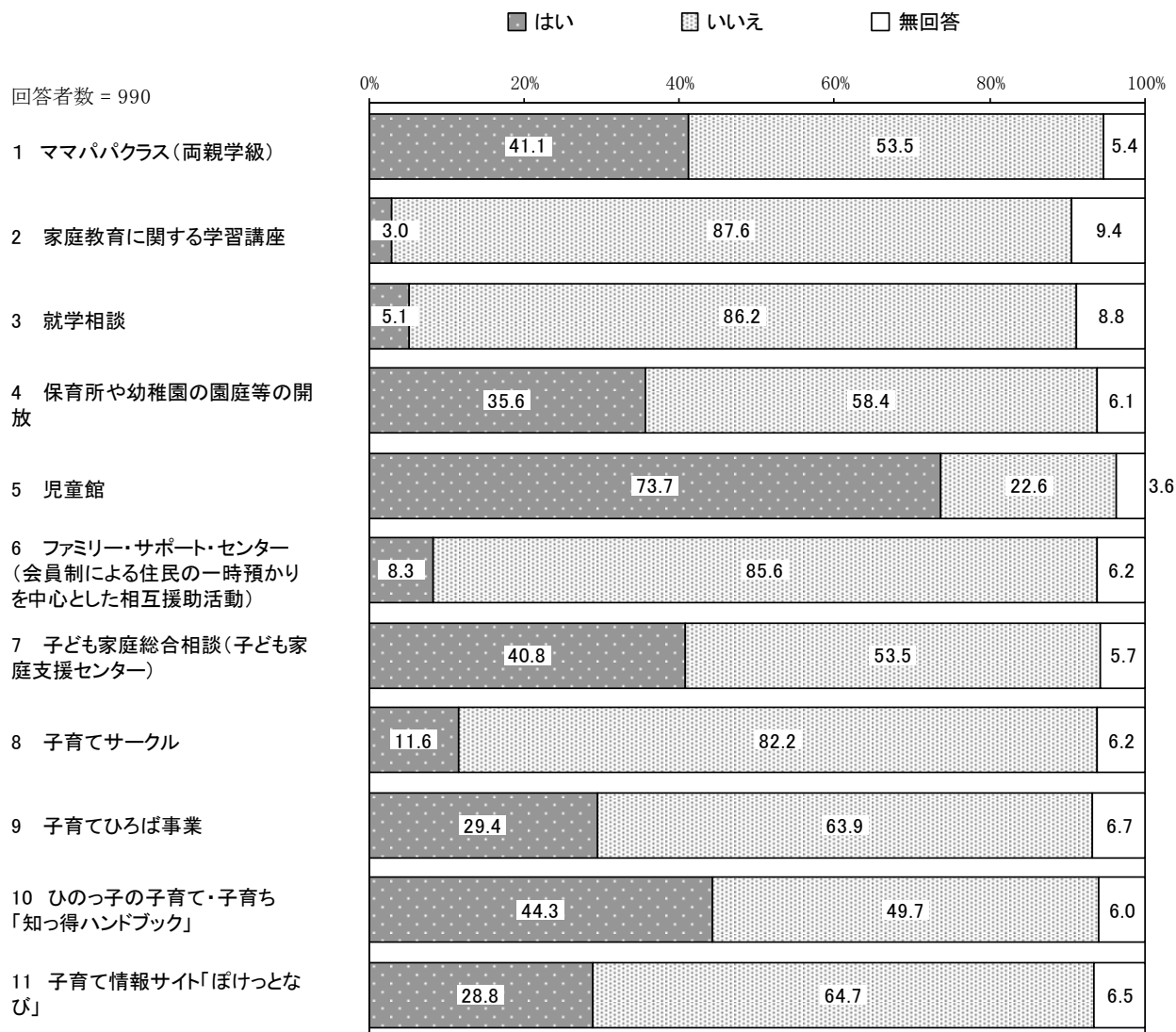


ア 知っている（つづき）

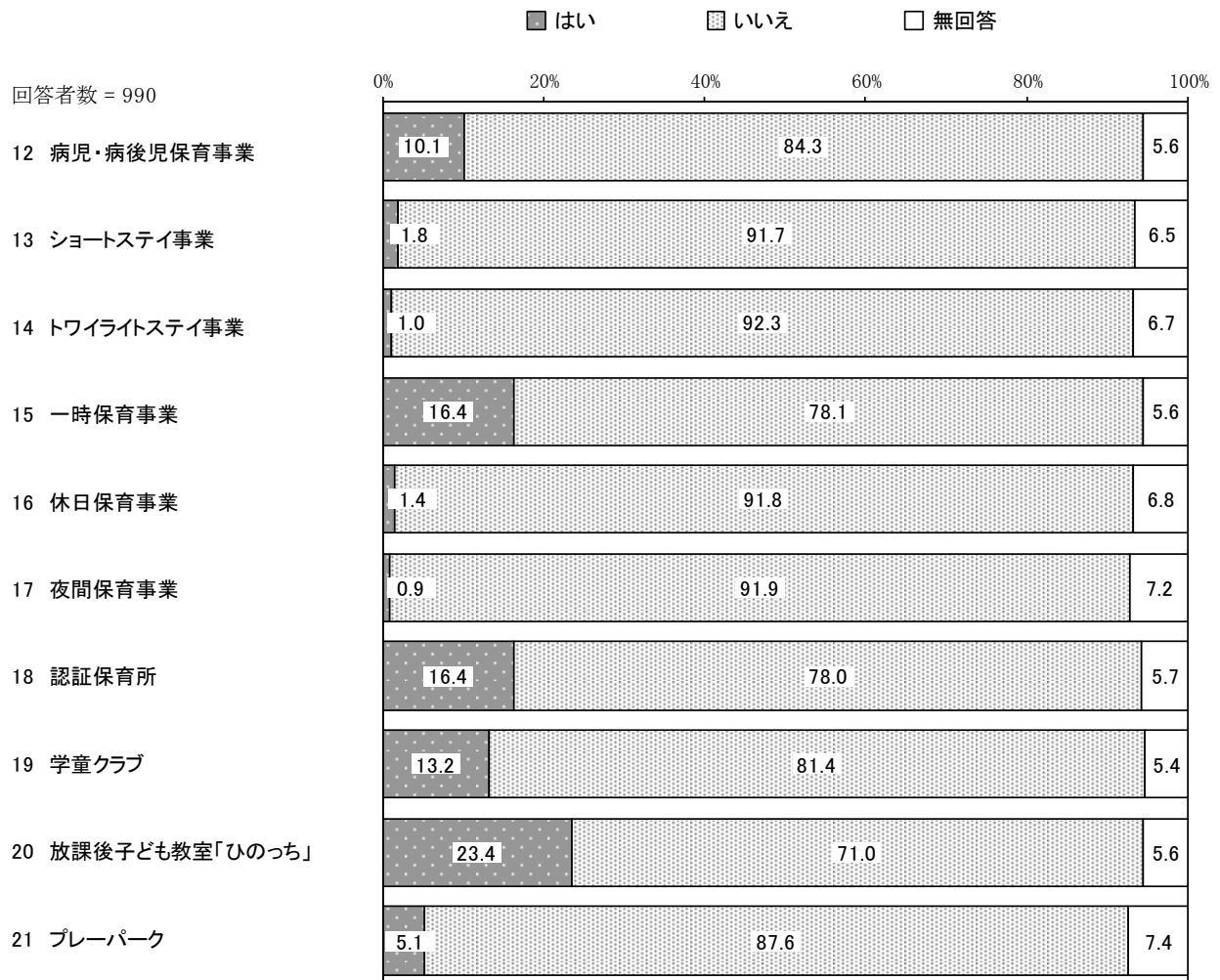


イ これまでに利用したことがある

『5 児童館』で「はい」の割合が高くなっています。また、『13 ショートステイ事業』『14 トワイライトステイ事業』『16 休日保育事業』『17 夜間保育事業』で「いいえ」の割合が高くなっています。

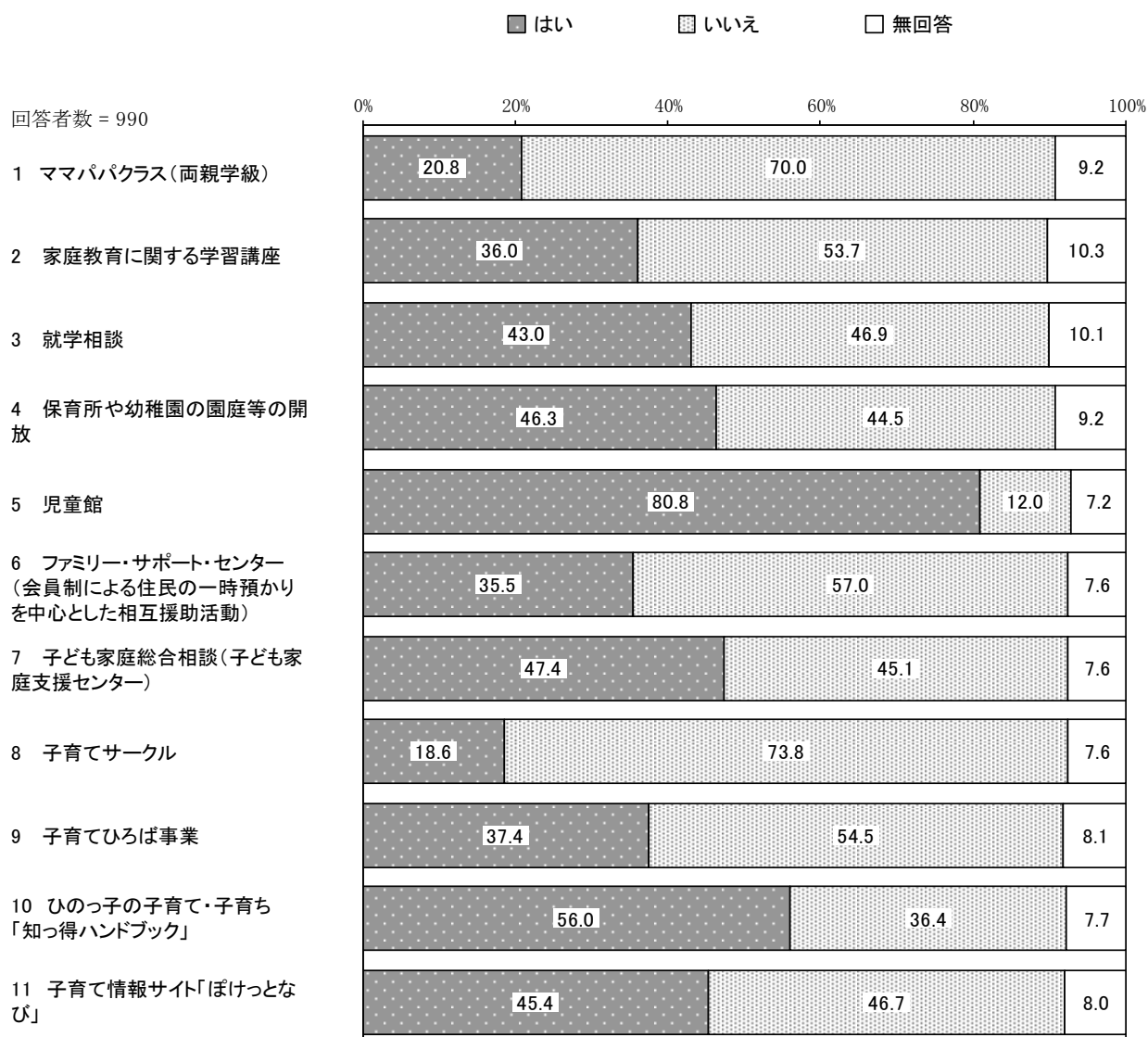


イ これまでに利用したことがある（つづき）

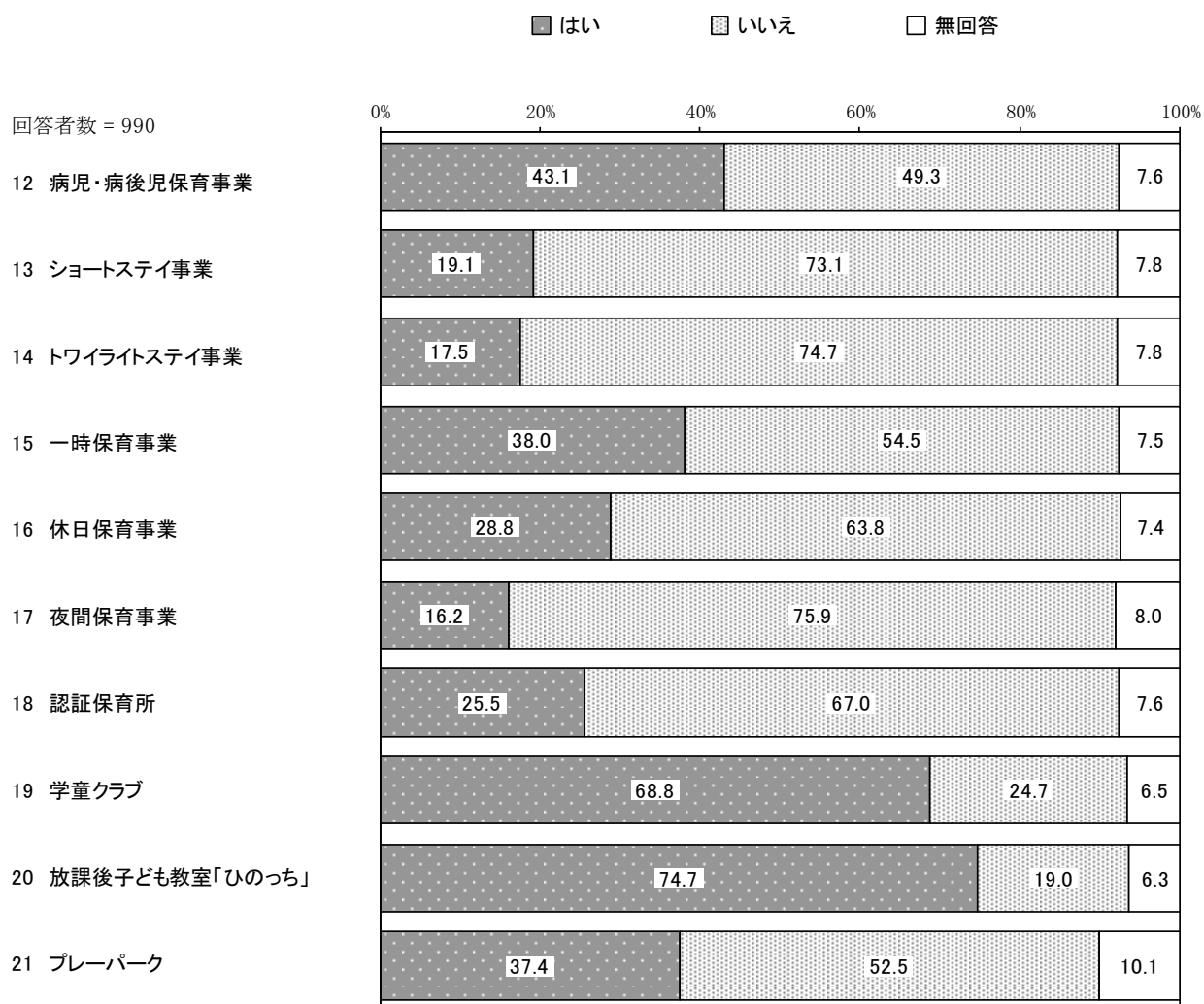


ウ 今後利用したい

『5 児童館』で「はい」の割合が高くなっています。また、『1 ママパパクラス（両親学級）』『8 子育てサークル』『13 ショートステイ事業』『14 トワイライトステイ事業』『17 夜間保育事業』で「いいえ」の割合が高くなっています。



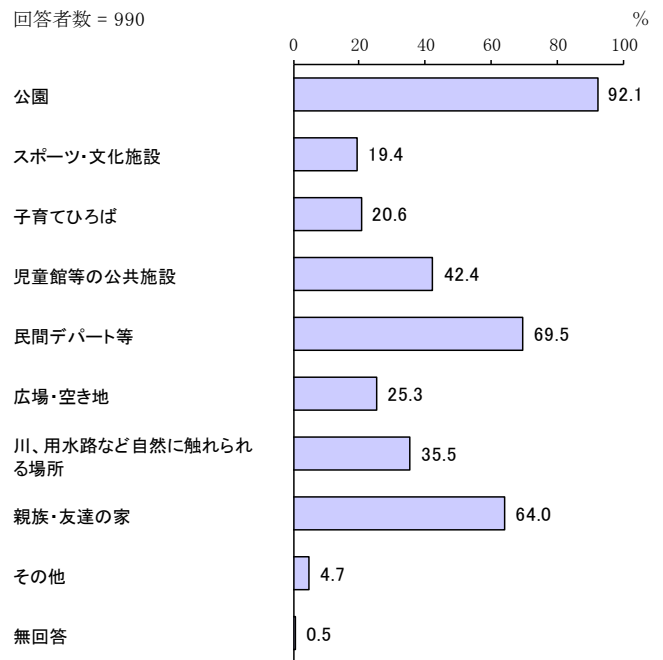
ウ 今後利用したい（つづき）



問 48 普段どのような場所に遊びに行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

「公園」の割合が 92.1%と最も高く、次いで「民間デパート等」の割合が 69.5%、「親族・友達の家」の割合が 64.0%となっています。

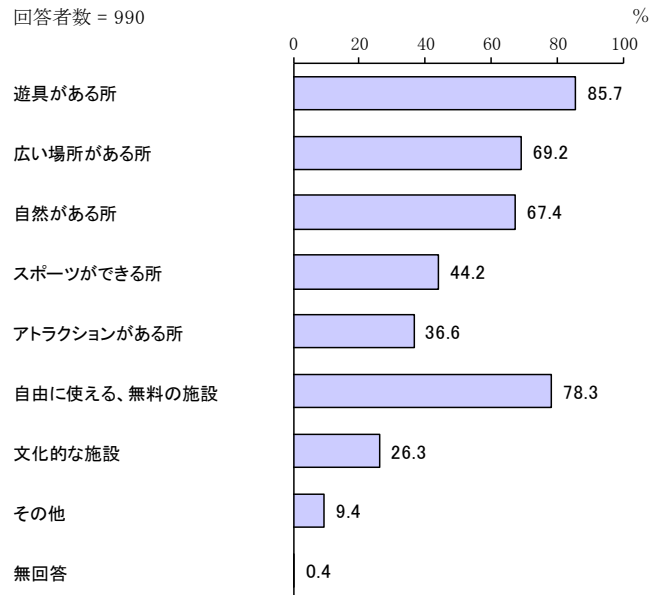
回答者数 = 990



問 49 どのような遊び場が欲しいですか。(あてはまるものすべてに○)

「遊具がある所」の割合が 85.7%と最も高く、次いで「自由に使える、無料の施設」の割合が 78.3%、「広い場所がある所」の割合が 69.2%となっています。

回答者数 = 990

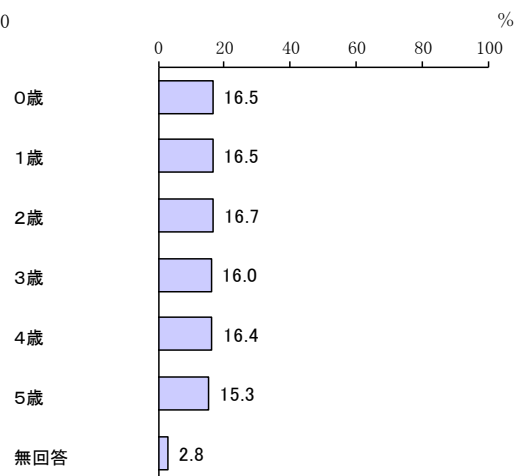


(7) 封筒のあて名のお子さんご家族の状況について

問 50 封筒のあて名のお子さんの生年月をお伺いします。
(平成 30 年 4 月 1 日現在の年齢)

「2 歳」の割合が 16.7%と最も高く、次いで
「0 歳」、「1 歳」の割合が 16.5%となっています。

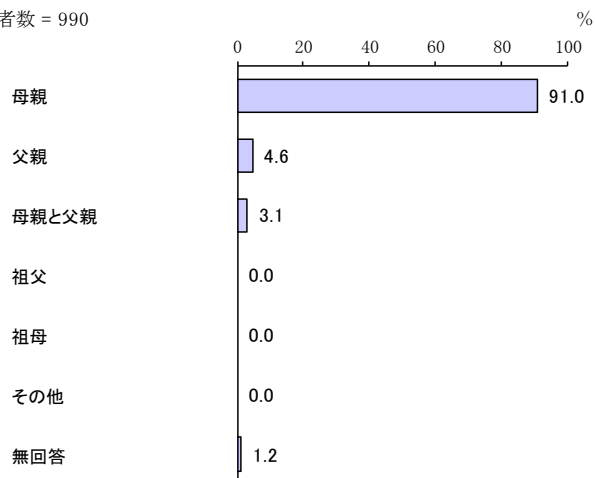
回答者数 = 990



問 51 あて名のお子さんから見て、この記入票を記入したのはどなたですか。
(あてはまるもの 1 つに○)

「母親」の割合が 91.0%と最も高く、次いで
「父親」の割合が 4.6%、「母親と父親」の割合が
3.1%となっています。

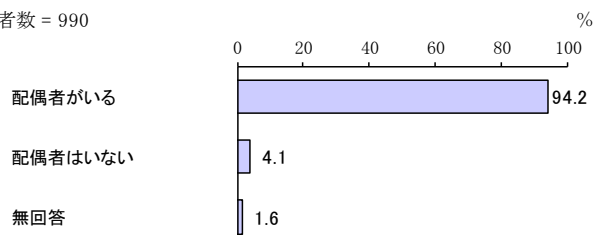
回答者数 = 990



問 52 この調査票に回答いただいている方の配偶関係について伺います。
(あてはまるもの 1 つに○)

「配偶者がいる」の割合が 94.2%、「配偶者は
いない」の割合が 4.1%となっています。

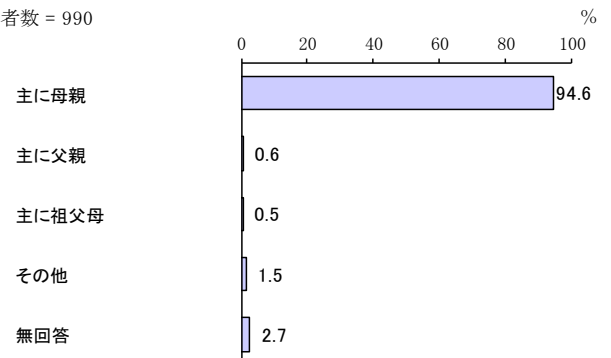
回答者数 = 990



問 53 あて名のお子さんの身の回りの世話などを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係を教えてください。（あてはまるもの1つに○）

「主に母親」の割合が94.6%と最も高くなっています。

回答者数 = 990



問 54 あなたはどの小学校の学区域にお住まいですか。（1つに○）

「豊田小学校」の割合が10.2%と最も高く、次いで「平山小学校」の割合が9.2%、「潤徳小学校」の割合が8.3%となっています。

回答者数 = 990

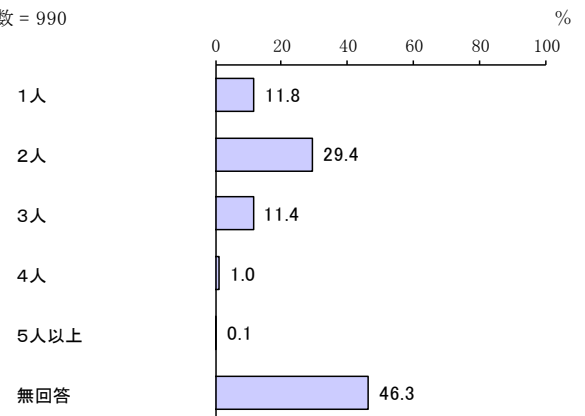


問 55 あなたは、あて名のお子さんや兄弟姉妹に対して、学校以外の教育（学習塾や習い事）に、1月当たりどのくらい費用を使っていますか。（ ）内に具体的な数字でお答えください。

ア きょうだいの人数

「2人」の割合が29.4%と最も高く、次いで「1人」の割合が11.8%、「3人」の割合が11.4%となっています。

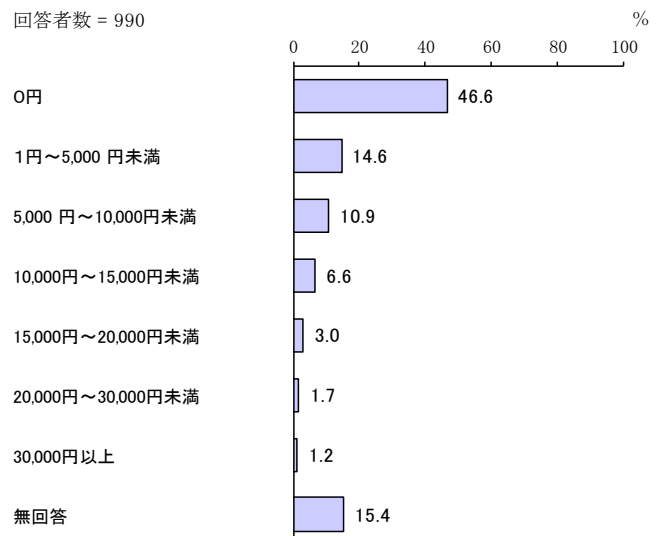
回答者数 = 990



イ あて名のお子さんの費用

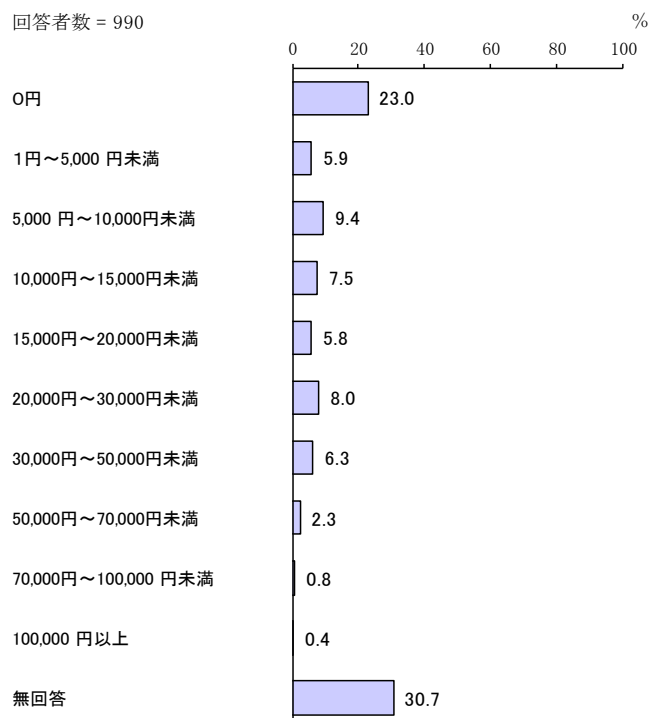
「0円」の割合が46.6%と最も高く、次いで「1円～5,000円未満」の割合が14.6%、「5,000円～10,000円未満」の割合が10.9%となっています。

回答者数 = 990



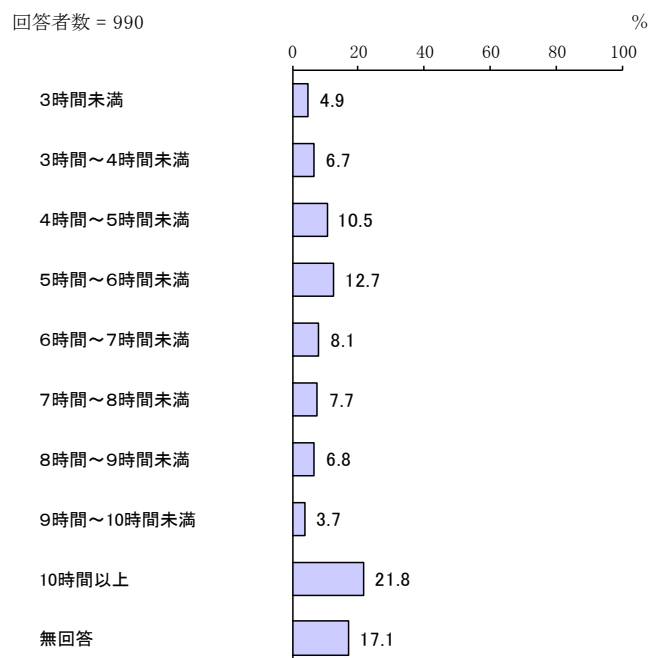
ウ あて名のお子さんを含む、子ども全員の費用

「0円」の割合が23.0%と最も高く、次いで「5,000円～10,000円未満」の割合が9.4%、「20,000円～30,000円未満」の割合が8.0%となっています。



問 56 あなたが1日にお子さんと接する平均的な時間を教えてください。

「10時間以上」の割合が21.8%と最も高く、次いで「5時間～6時間未満」の割合が12.7%、「4時間～5時間未満」の割合が10.5%となっています。

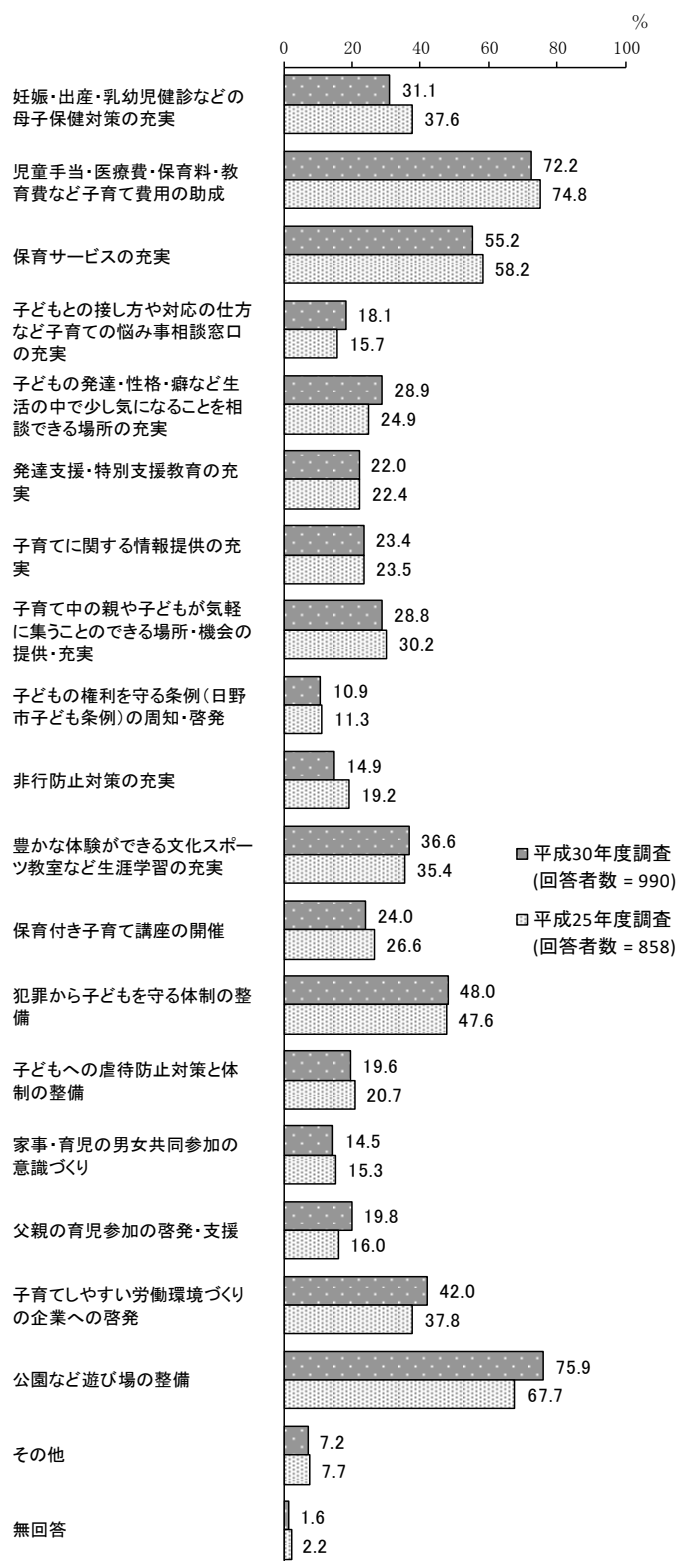


(8) 日野市の子育て支援策について

問 57 市の子育て支援策として、今後何に力を入れていくべきだと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

「公園など遊び場の整備」の割合が 75.9%と最も高く、次いで「児童手当・医療費・保育料・教育費など子育て費用の助成」の割合が 72.2%、「保育サービスの充実」の割合が 55.2%となっています。

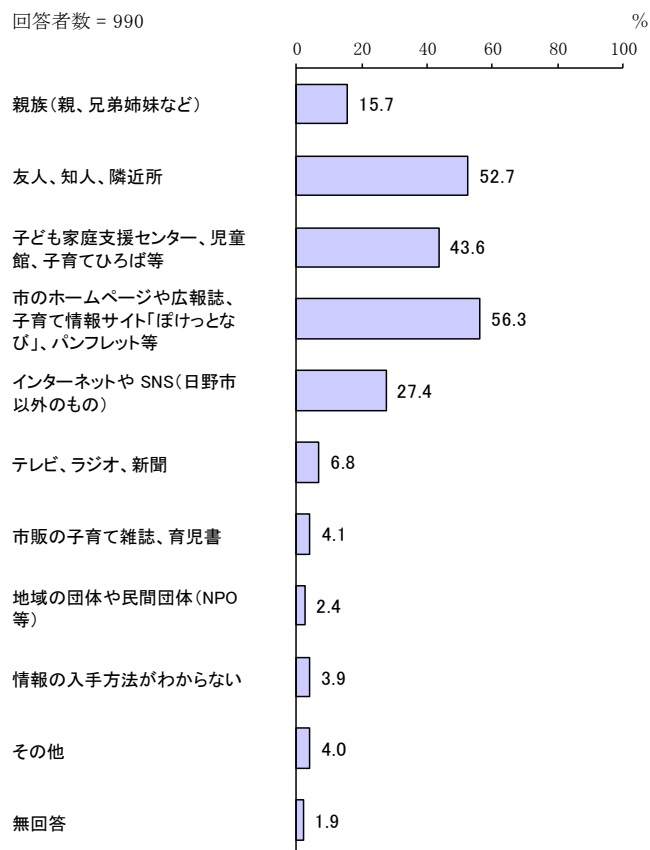
平成 25 年度調査と比較すると、「公園など遊び場の整備」の割合が増加しています。一方、「妊娠・出産・乳幼児健診などの母子保健対策の充実」の割合が減少しています。



問 58 子育て支援事業の情報はどこから入手しますか。(あてはまるものすべてに○)

「市のホームページや広報誌、子育て情報サイト「ぽけっとなび」、パンフレット等」の割合が56.3%と最も高く、次いで「友人、知人、隣近所」の割合が52.7%、「子ども家庭支援センター、児童館、子育てひろば等」の割合が43.6%となっています。

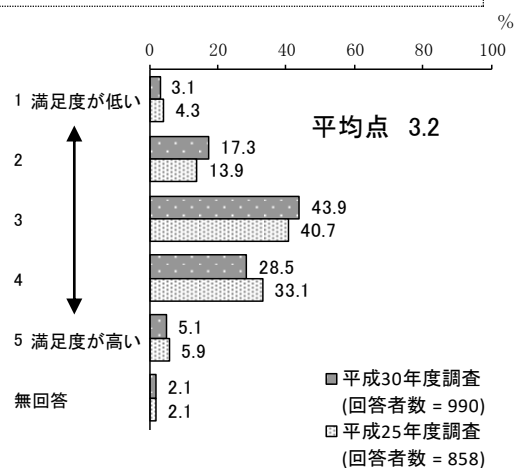
回答者数 = 990



問 59 日野市における子育て環境や支援への満足度についてお答えください。(あてはまるもの1つに○)

「3」の割合が43.9%と最も高く、次いで「4」の割合が28.5%、「2」の割合が17.3%となっています。

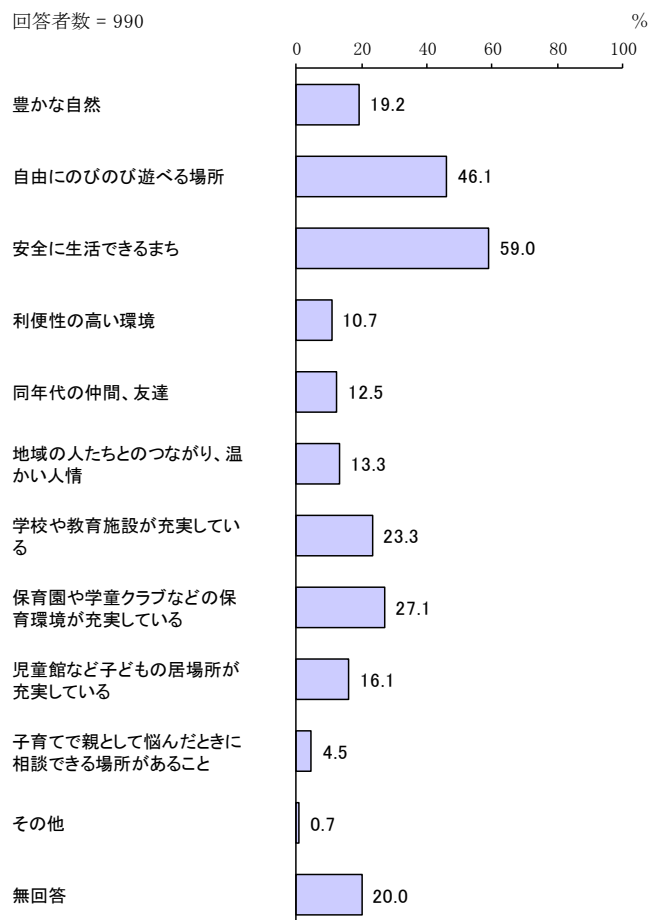
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 60 子どもを育てる環境として何を重視しますか。(あてはまるもの3つまで○)

「安全に生活できるまち」の割合が 59.0%と最も高く、次いで「自由にのびのび遊べる場所」の割合が 46.1%、「保育園や学童クラブなどの保育環境が充実している」の割合が 27.1%となっています。

回答者数 = 990



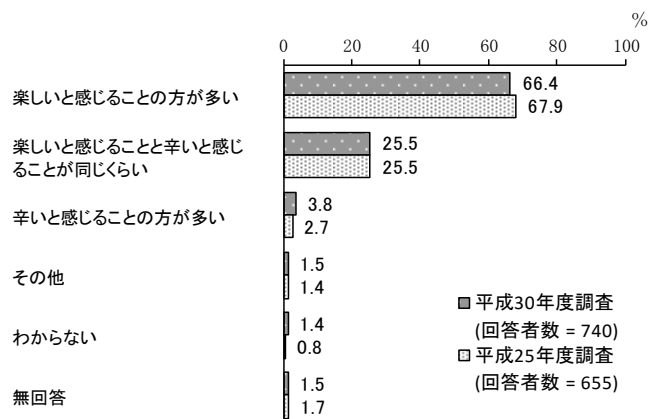
2 小学生の保護者

(1) 子育て環境や子育て支援の現状について

問1 あなたは、子育てを楽しいと感じることが多いですか。それとも辛いと感じることが多いですか。(あてはまるもの1つに○)

「楽しいと感じることの方が多い」の割合が66.4%と最も高く、次いで「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」の割合が25.5%となっています。

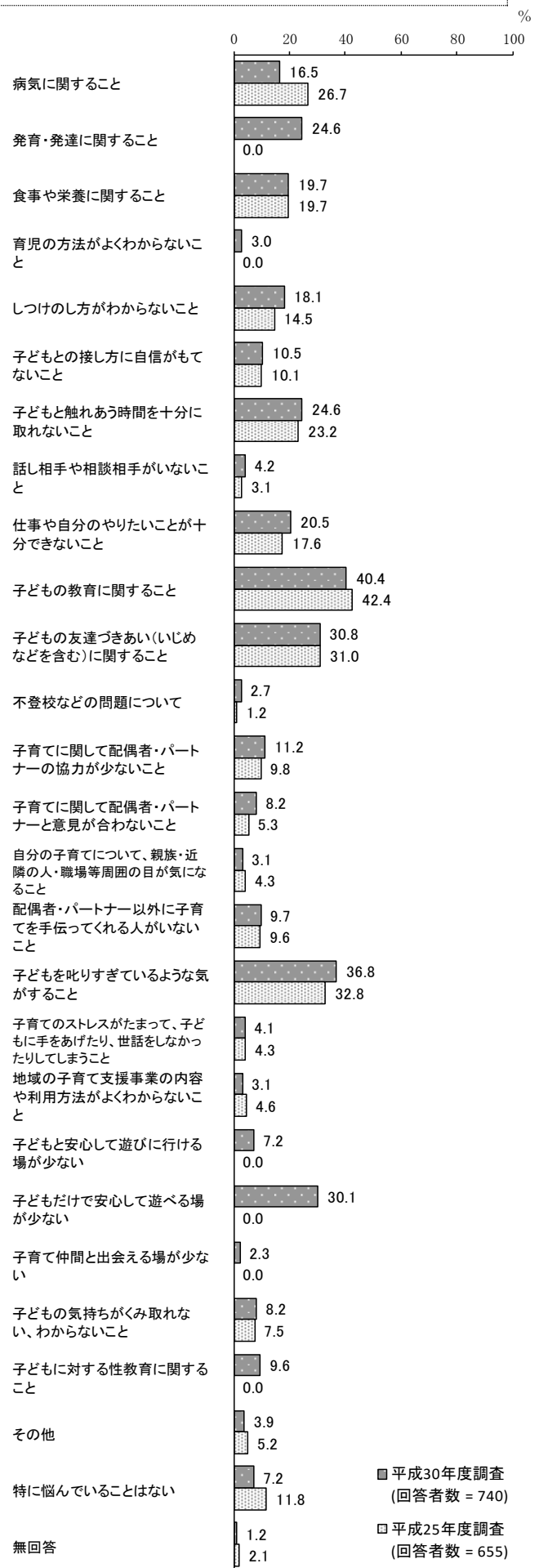
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問2 子育てに関して日常悩んでいること、または、気になることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

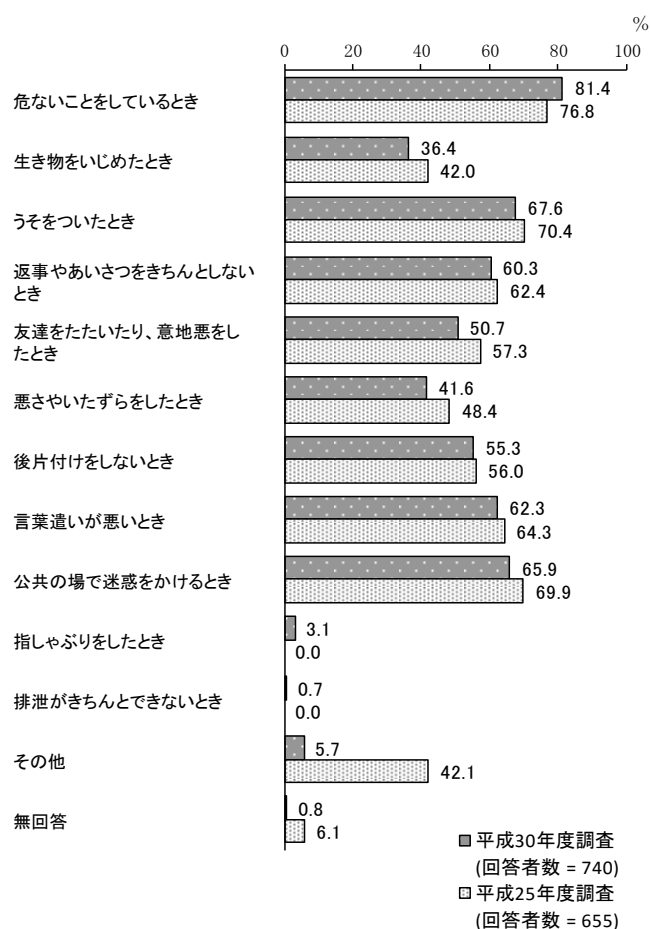
「子どもの教育に関すること」の割合が40.4%と最も高く、次いで「子どもを叱りすぎているような気がする」との割合が36.8%、「子どもの友達つきあい(いじめなどを含む)に関すること」の割合が30.8%、「子どもと安心して遊びに行ける場が少ない」「子どもだけで安心して遊べる場が少ない」の割合が30.1%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「発育・発達に関すること」「子どもと安心して遊びに行ける場が少ない」「子どもだけで安心して遊べる場が少ない」「子どもに対する性教育に関すること」の割合が増加しています。一方、「病気に関すること」の割合が減少しています。



問3 ご家庭では、あて名のお子さんを、どのようなときに叱りますか。
(あてはまるものすべてに○)

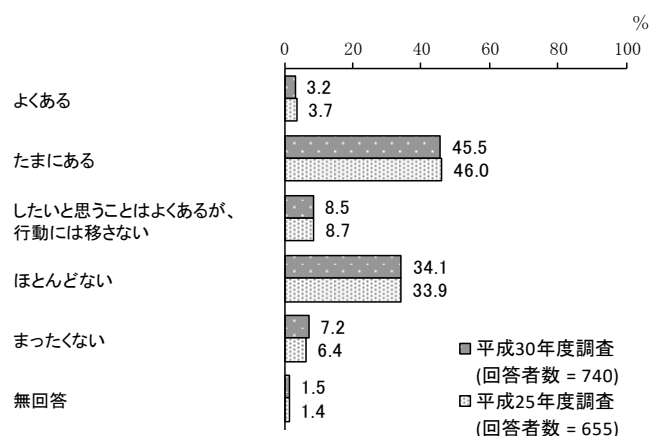
平成25年度調査と比較すると、「生き物をいじめたとき」「友達をたたいたり、意地悪をしたとき」「悪さやいたずらをしたとき」の割合が減少しています。



問4 子どもに対して、思わずたたいたり、子どもの心を傷つけてしまうような言動をしたり、子どもの相手や世話をしないことがありますか。
(あてはまるもの1つに○)

「たまにある」の割合が45.5%と最も高く、次いで「ほとんどない」の割合が34.1%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

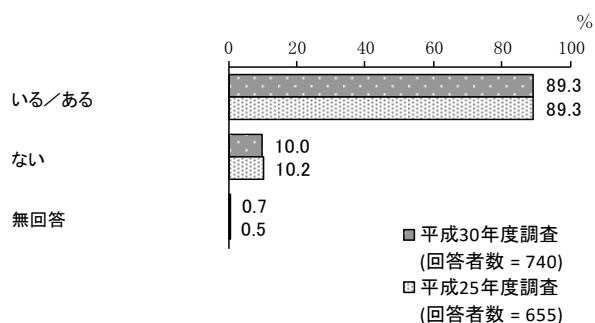


(2) 子育て環境について

問5 子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。（あてはまるもの1つに○）

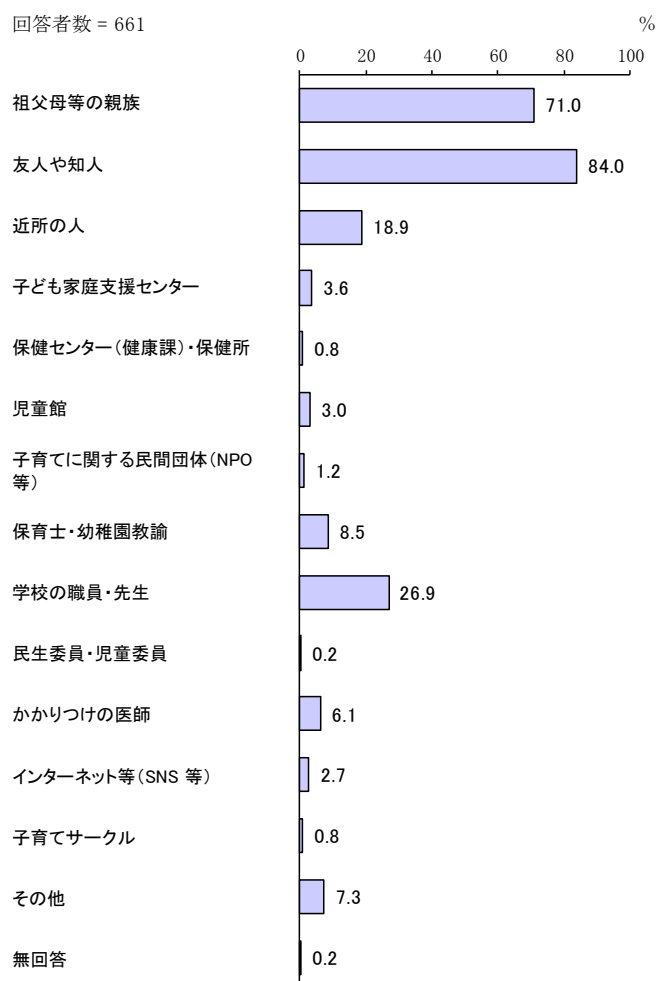
「いる／ある」の割合が89.3%、「ない」の割合が10.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問6 問5で「1. いる／ある」に○をつけた方にお伺いします。
お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）

「友人や知人」の割合が84.0%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」の割合が71.0%、「学校の職員・先生」の割合が26.9%となっています。

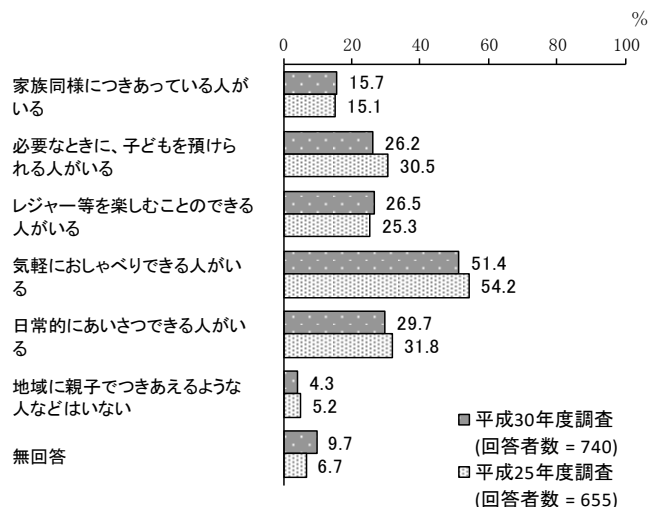


(3) 地域での子育て状況について

問7 地域に親子でつきあえる知人または友人などがいますか。(2つまで○)

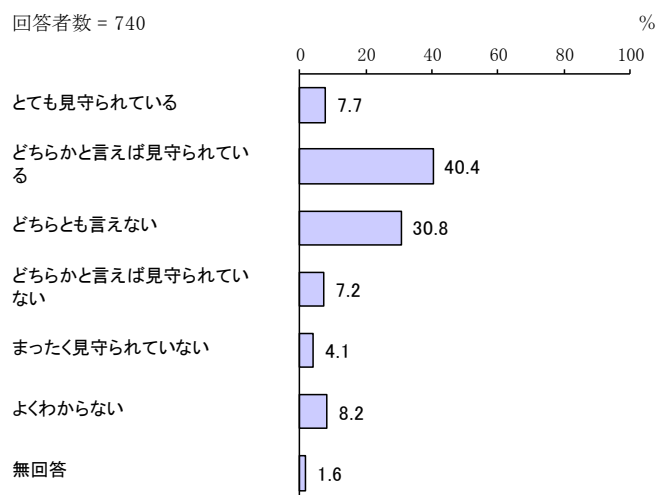
「気軽にしゃべりできる人がいる」の割合が51.4%と最も高く、次いで「日常的にあいさつできる人がいる」の割合が29.7%、「レジャー等を楽しむことのできる人がいる」の割合が26.5%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



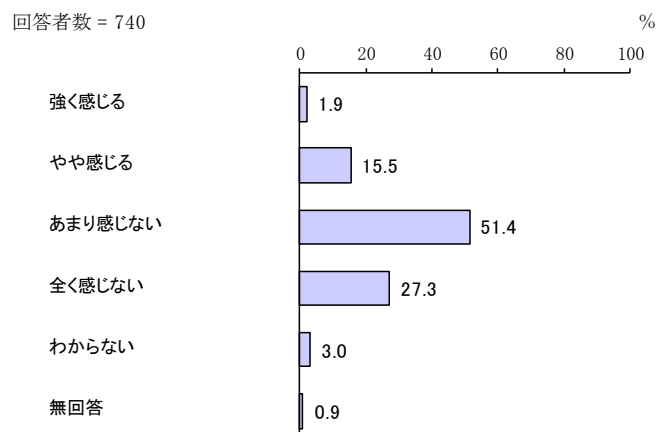
問8 あなたは、地域の人から見守られていると感じますか。(あてはまるもの1つに○)

「どちらかと言えば見守られている」の割合が40.4%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」の割合が30.8%となっています。



問9 あなたは日常生活において孤立感を感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

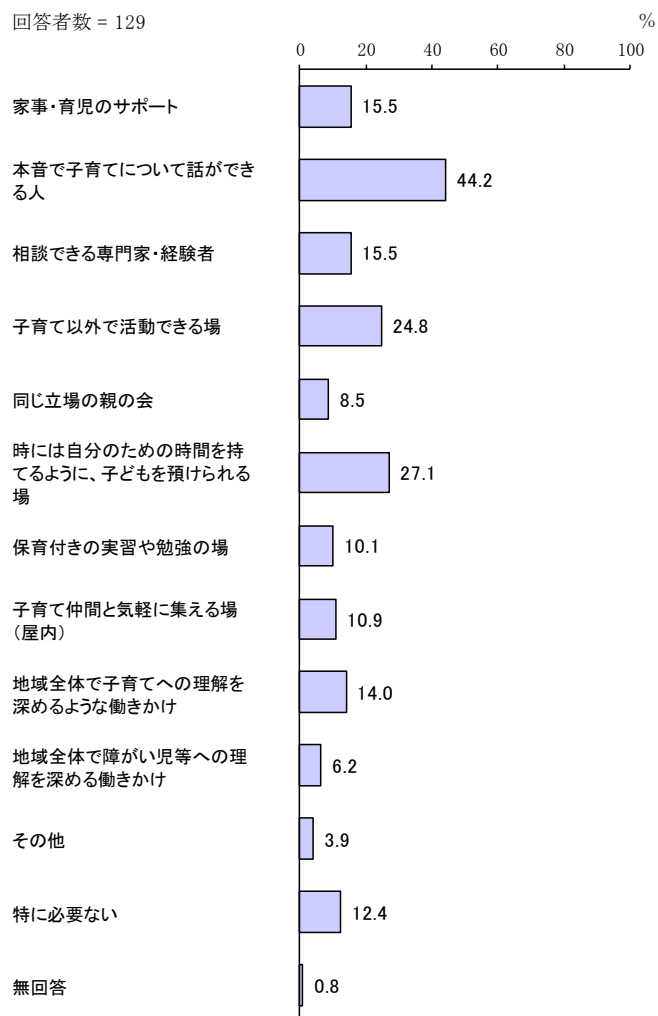
「あまり感じない」の割合が51.4%と最も高く、次いで「全く感じない」の割合が27.3%、「やや感じる」の割合が15.5%となっています。



問 10 問 9で「1. 強く感じる」、「2. やや感じる」に○をつけた方にお伺いします。
孤立感を和らげるためにどんなことが地域で必要ですか。
(あてはまるもの3つまでに○)

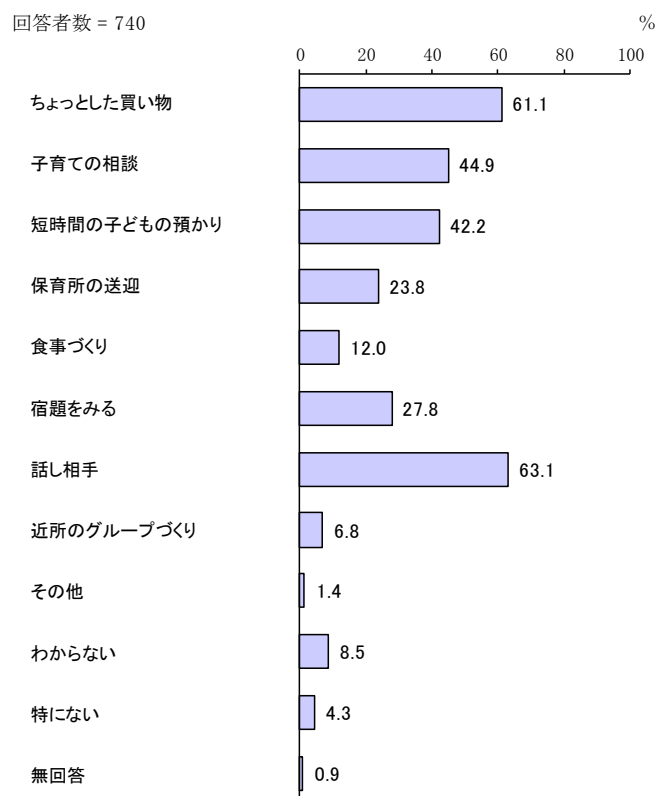
「本音で子育てについて話ができる人」の割合が44.2%と最も高く、次いで「時には自分のための時間を持てるように、子どもを預けられる場」の割合が27.1%、「子育て以外で活動できる場」の割合が24.8%となっています。

回答者数 = 129



問 11 地域の人にちょっと頼まれた場合に、私にもできると思うことはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

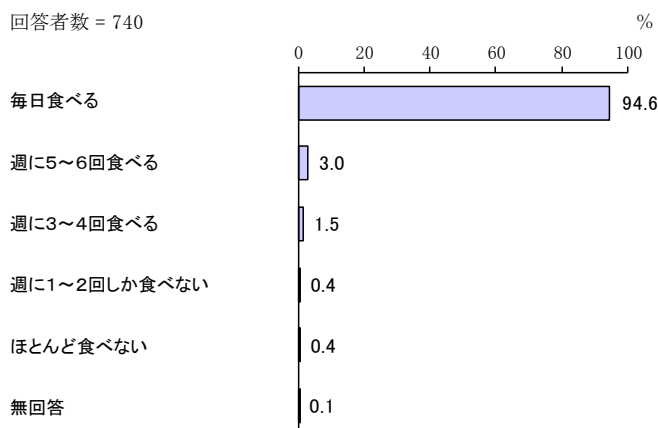
「話し相手」の割合が 63.1%と最も高く、次いで「ちょっとした買い物」の割合が 61.1%、「子育ての相談」の割合が 44.9%となっています。



(4) あて名のお子さんの健康について

問 12 お子さんの朝食のとり方についてお答えください。(あてはまるもの 1 つに○)

「毎日食べる」の割合が 94.6%と最も高くなっています。



(5) あて名のお子さんの保護者の就労状況について

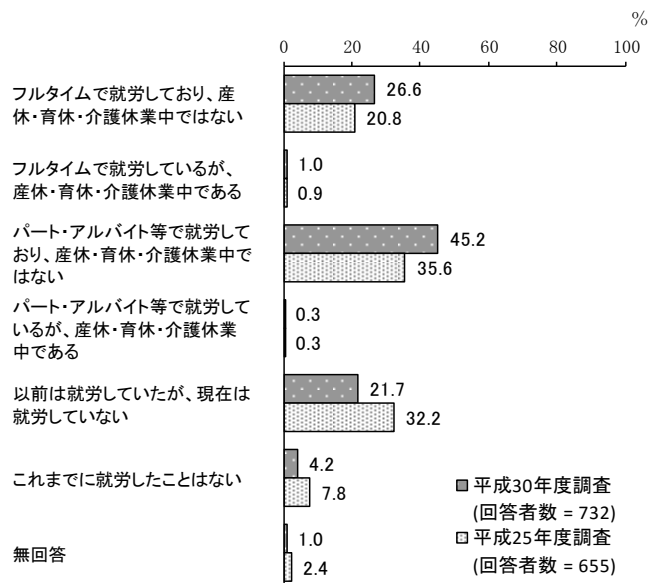
問 13 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）を伺います。

ア 母親

「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 45.2%と最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 26.6%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が 21.7%となっています。

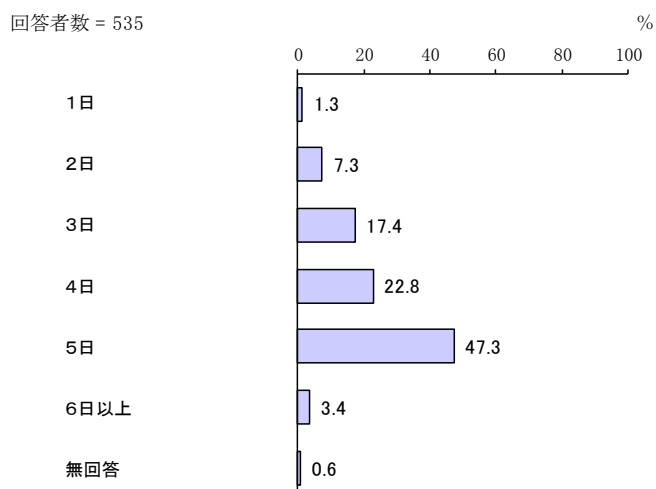
平成 25 年度調査と比較すると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」

「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が増加しています。一方、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少しています。



(ア) 母親の1週あたり就労日数

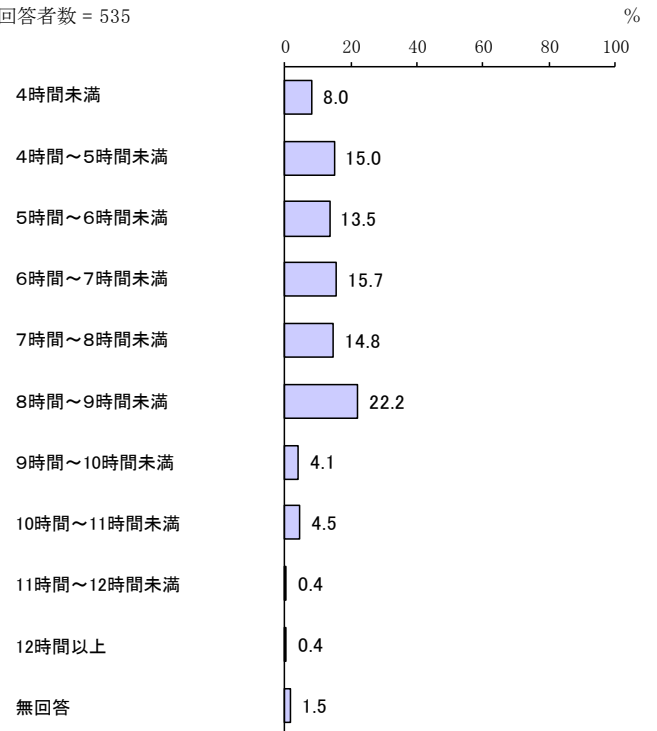
「5日」の割合が 47.3%と最も高く、次いで「4日」の割合が 22.8%、「3日」の割合が 17.4%となっています。



(イ) 母親の1日あたり就労時間

「8時間～9時間未満」の割合が22.2%と最も高く、次いで「6時間～7時間未満」の割合が15.7%、「4時間～5時間未満」の割合が15.0%となっています。

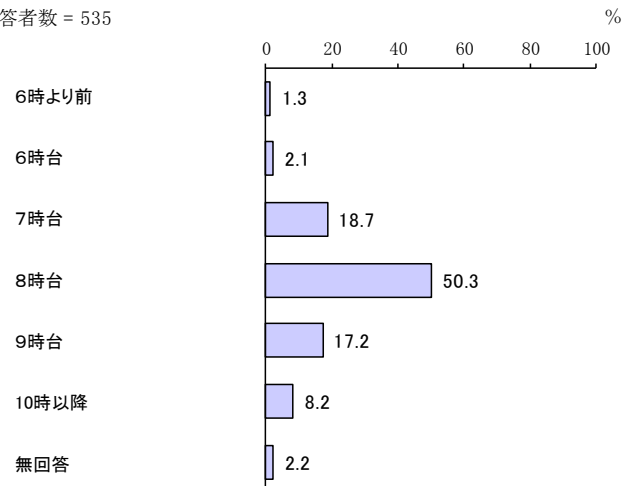
回答者数 = 535



(ウ) 母親の家を出る時間

「8時台」の割合が50.3%と最も高く、次いで「7時台」の割合が18.7%、「9時台」の割合が17.2%となっています。

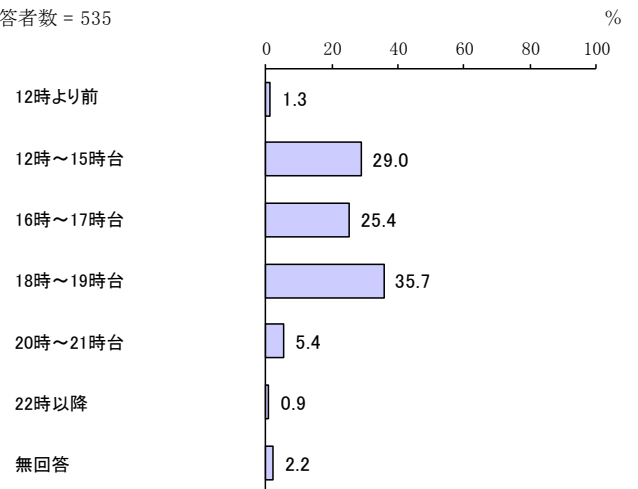
回答者数 = 535



(エ) 母親の帰宅時間

「18 時～19 時台」の割合が 35.7%と最も高く、次いで「12 時～15 時台」の割合が 29.0%、「16 時～17 時台」の割合が 25.4%となっています。

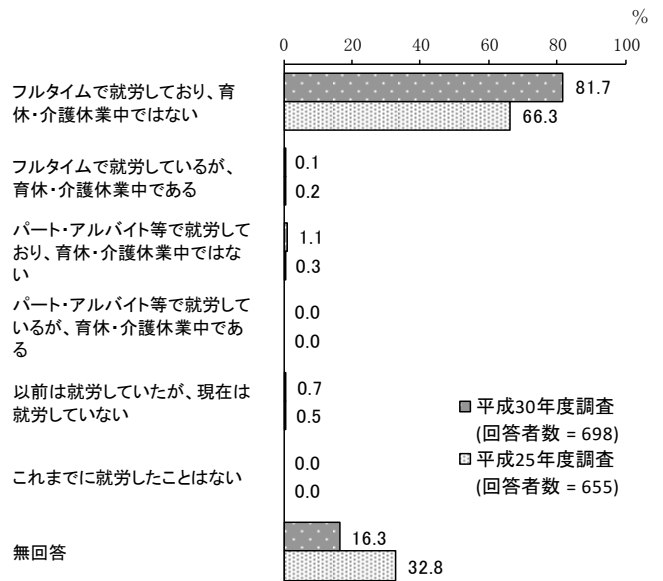
回答者数 = 535



イ 父親

「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が 81.7%と最も高くなっています。

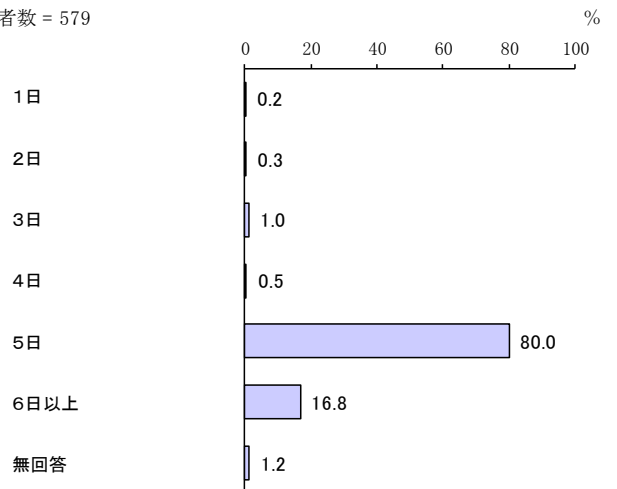
平成 25 年度調査と比較すると、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が増加しています。



(ア) 父親の1週あたり就労日数

「5日」の割合が80.0%と最も高く、次いで「6日以上」の割合が16.8%となっています。

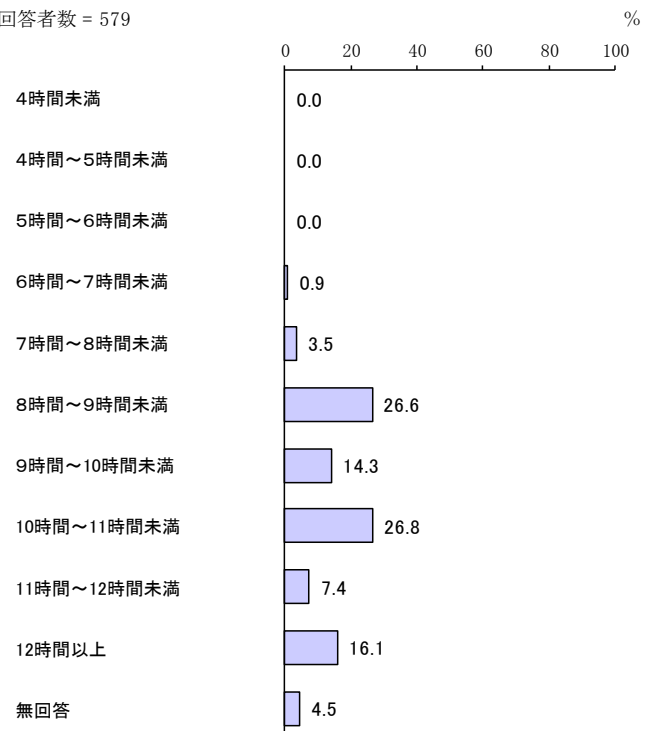
回答者数 = 579



(イ) 父親の1日あたり就労時間

「10時間～11時間未満」の割合が26.8%と最も高く、次いで「8時間～9時間未満」の割合が26.6%、「12時間以上」の割合が16.1%となっています。

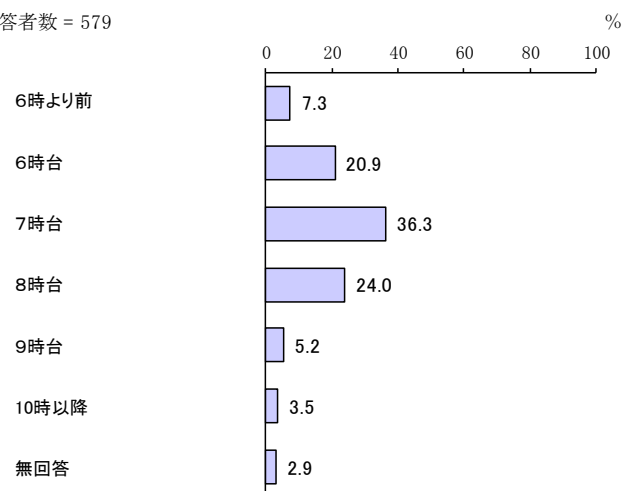
回答者数 = 579



(ウ) 父親の家を出る時間

「7時台」の割合が36.3%と最も高く、次いで「8時台」の割合が24.0%、「6時台」の割合が20.9%となっています。

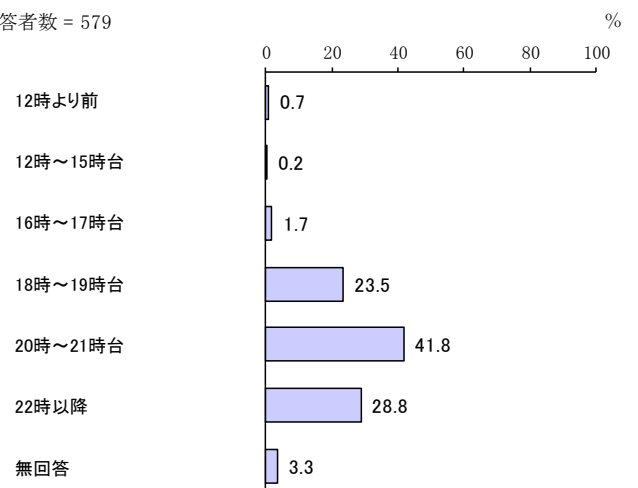
回答者数 = 579



(エ) 父親の帰宅時間

「20時～21時台」の割合が41.8%と最も高く、次いで「22時以降」の割合が28.8%、「18時～19時台」の割合が23.5%となっています。

回答者数 = 579

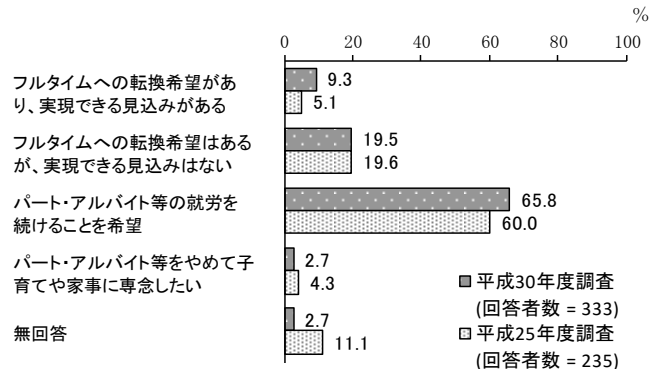


問 14 問 13 の（１）母親または（２）父親で「３．４．」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にお伺いします。
フルタイムへの転換希望はありますか。（母親）と（父親）それぞれについてお答えください。（あてはまるもの１つに○）

ア 母親

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が 65.8%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が 19.5%となっています。

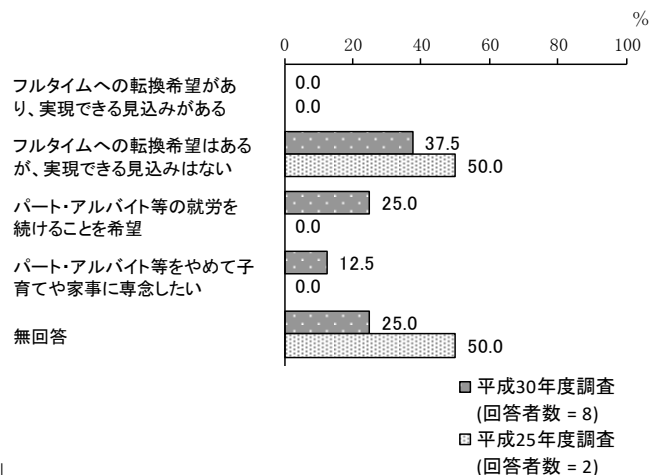
平成 25 年度調査と比較すると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が増加しています。



イ 父親

「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 3 件となっています。「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 2 件、「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」が 1 件となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」の割合が増加しています。一方、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が減少しています。

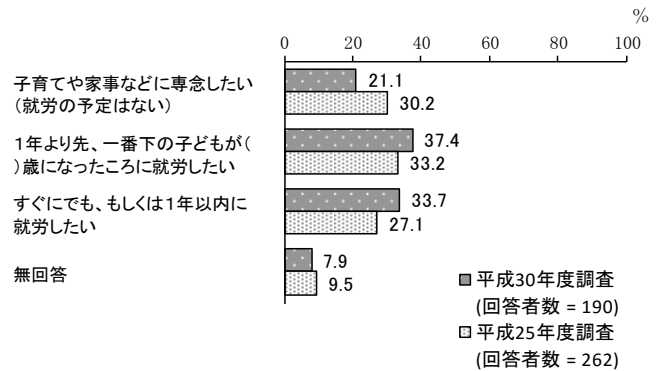


問 15 問 13 の（１）母親または（２）父親で「５．以前は就労していたが、現在は就労していない」または「６．これまでに就労したことがない」に○をつけた方にお伺いします。就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ１つに○をつけ、該当する（ ）内に数字をご記入ください

ア 母親

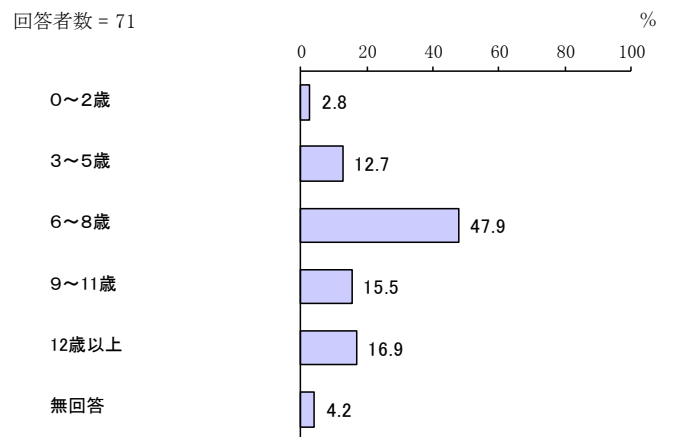
「１年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい」の割合が 37.4%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」の割合が 33.7%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が 21.1%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」の割合が増加しています。一方、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が減少しています。



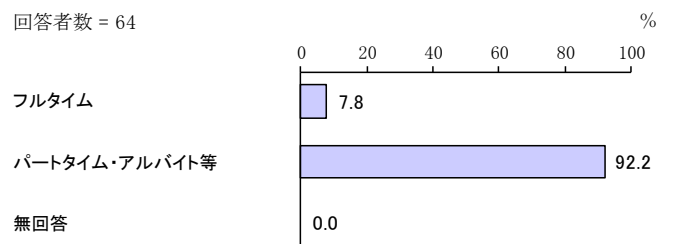
(ア) １年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい

「６～８歳」の割合が 47.9%と最も高く、次いで「12歳以上」の割合が 16.9%、「９～11歳」の割合が 15.5%となっています。



(イ) 希望する就労形態

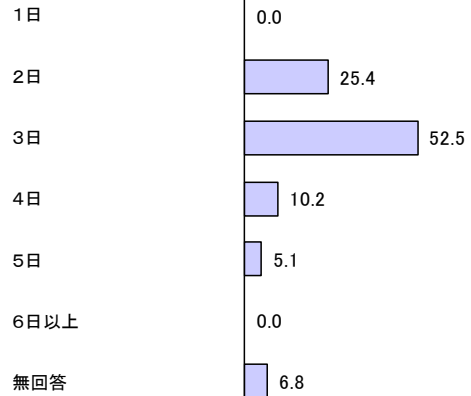
「フルタイム」の割合が 7.8%、「パートタイム・アルバイト等」の割合が 92.2%となっています。



(ウ) 希望の1週あたり就労日数

「3日」の割合が52.5%と最も高く、次いで「2日」の割合が25.4%、「4日」の割合が10.2%となっています。

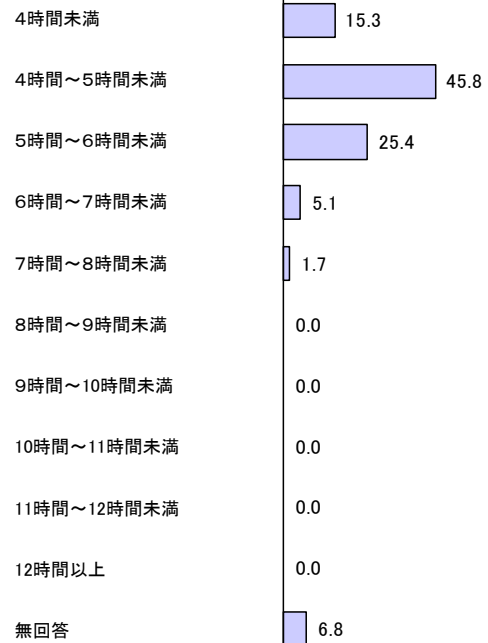
回答者数 = 59



(エ) 希望の1日あたり就労

「4時間～5時間未満」の割合が45.8%と最も高く、次いで「5時間～6時間未満」の割合が25.4%、「4時間未満」の割合が15.3%となっています。

回答者数 = 59

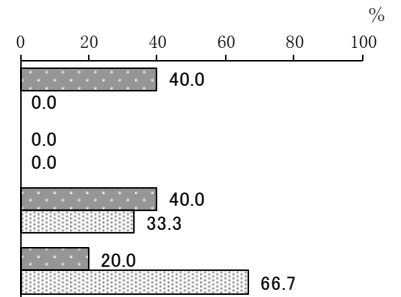


イ 父親

「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が2件となっています。

平成25年度調査と比較すると、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が増加しています。

子育てや家事などに専念したい
(就労の予定はない)
1年より先、一番下の子どもが()
歳になったころに就労したい
すぐにでも、もしくは1年以内に
就労したい
無回答



■ 平成30年度調査
(回答者数 = 5)
□ 平成25年度調査
(回答者数 = 3)

(ア) 1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい

有効回答がありませんでした。

(イ) 希望する就労形態

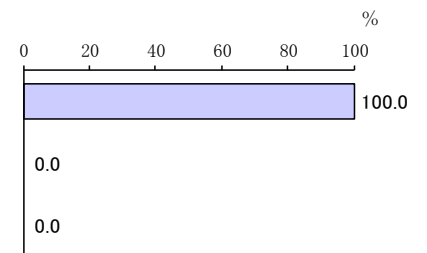
「フルタイム」が2件となっています。

回答者数 = 2

フルタイム

パートタイム・アルバイト等

無回答



(ウ) パートタイム・アルバイト 希望1週あたり就労日数

有効回答がありませんでした。

(エ) パートタイム・アルバイト 希望1日あたり就労

有効回答がありませんでした。

(6) あて名のお子さんが病気の際の対応について

問 16 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。(あてはまるもの1つに○)

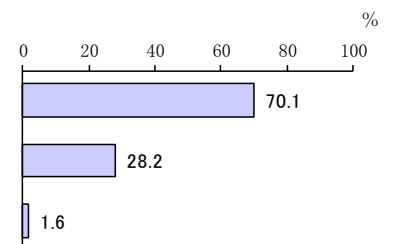
「あった」の割合が70.1%、「なかった」の割合が28.2%となっています。

回答者数 = 740

あった

なかった

無回答



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、年齢が高くなつて「あった」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	あった	なかった	無回答
小学1年生(6歳)	118	75.4	22.9	1.7
小学2年生(7歳)	123	73.2	24.4	2.4
小学3年生(8歳)	110	72.7	24.5	2.7
小学4年生(9歳)	117	72.6	25.6	1.7
小学5年生(10歳)	134	69.4	30.6	—
小学6年生(11歳)	114	56.1	43.0	0.9

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではないで「あった」の割合が低くなっています。

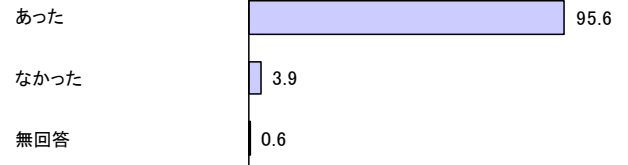
単位：％

区分	回答者数 (件)	あった	なかった	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	195	66.2	31.8	2.1
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	7	57.1	42.9	—
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	331	71.6	27.2	1.2
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	2	100.0	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	159	74.2	24.5	1.3
これまでに就労したことはない	31	71.0	29.0	—

問 17 あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかった場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。）

「あった」の割合が95.6%、「なかった」の割合が3.9%となっています。

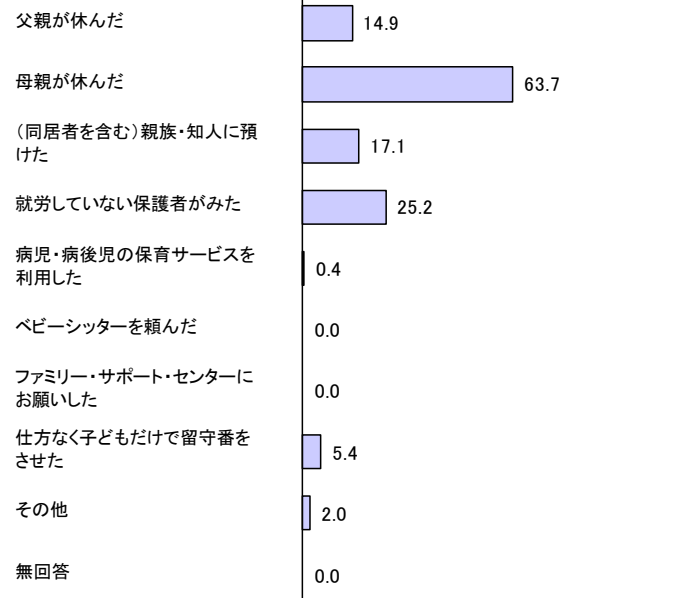
回答者数 = 519



ア 休まなければならなかった日があった

「母親が休んだ」の割合が63.7%と最も高く、次いで「就労していない保護者がみた」の割合が25.2%、「(同居者を含む) 親族・知人に預けた」の割合が17.1%となっています。

回答者数 = 496



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、他に比べ、小学4年生（9歳）、小学5年生（10歳）で「母親が休んだ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	父親が休んだ	母親が休んだ	（同居者を含む）親族・知人に預けた	就労していない保護者がみた	病児・病後児の保育サービスを利用した	ベビーシッターを頼んだ	ファミリー・サポート・センターにお願いした	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
小学1年生(6歳)	83	16.9	59.0	14.5	34.9	1.2	—	—	—	2.4	—
小学2年生(7歳)	86	15.1	58.1	18.6	27.9	—	—	—	2.3	2.3	—
小学3年生(8歳)	80	17.5	60.0	15.0	28.8	1.3	—	—	1.3	1.3	—
小学4年生(9歳)	83	19.3	69.9	24.1	18.1	—	—	—	3.6	2.4	—
小学5年生(10歳)	88	6.8	69.3	18.2	20.5	—	—	—	10.2	—	—
小学6年生(11歳)	59	13.6	64.4	13.6	20.3	—	—	—	16.9	3.4	—

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない、パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではないで「母親が休んだ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	父親が休んだ	母親が休んだ	（同居者を含む）親族・知人に預けた	就労していない保護者がみた	病児・病後児の保育サービスを利用した	ベビーシッターを頼んだ	ファミリー・サポート・センターにお願いした	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	127	33.1	83.5	35.4	1.6	1.6	—	—	11.0	1.6	—
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	4	25.0	50.0	—	—	—	—	—	—	25.0	—
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	230	10.0	82.6	16.5	4.8	—	—	—	5.7	3.0	—
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	2	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	108	3.7	13.0	—	87.0	—	—	—	—	—	—
これまでに就労したことはない	18	5.6	11.1	—	88.9	—	—	—	—	—	—

イ 1年間の対処方法の日数

1年間の対処方法としては、『ウ．（同居者を含む）親族・知人に預けた』で「1日～4日」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	1日 ～ 4日	5日 ～ 9日	10日 ～ 14日	15日 ～ 19日	20日 以上	無回答
ア．父親が休んだ	74	75.7	10.8	2.7	1.4	1.4	8.1
イ．母親が休んだ	316	69.0	15.5	5.4	0.9	1.9	7.3
ウ．（同居者を含む）親族・知人に預けた	85	81.2	9.4	2.4	－	1.2	5.9
エ．就労していない保護者がみた	125	54.4	27.2	6.4	－	1.6	10.4
オ．病児・病後児の保育サービスを利用した	2	100.0	－	－	－	－	－
カ．ベビーシッターを頼んだ	－	－	－	－	－	－	－
キ．ファミリー・サポート・センターにお願いした	－	－	－	－	－	－	－
ク．仕方なく子どもだけで留守番をさせた	27	77.8	11.1	7.4	－	－	3.7
ケ．その他	10	60.0	10.0	－	－	－	30.0

問 18 問 17 で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にお伺いします。
 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等に預けたい」と思われましたか。（1つだけ○）また、「1.」に○をつけた方は、日数も（ ）内に数字でご記入ください。

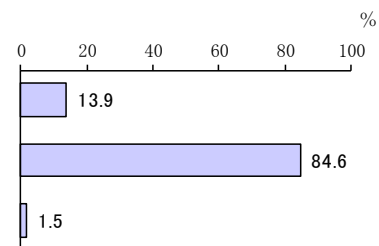
「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が 13.9%、「利用したいとは思わない」の割合が 84.6%となっています。

回答者数 = 331

できれば病児・病後児保育施設等を利用したい

利用したいとは思わない

無回答



できれば病児・病後児保育施設等を利用したい日数

「1日～4日」の割合が 65.2%と最も高く、次いで「5日～9日」の割合が 15.2%となっています。

回答者数 = 46

1日～4日

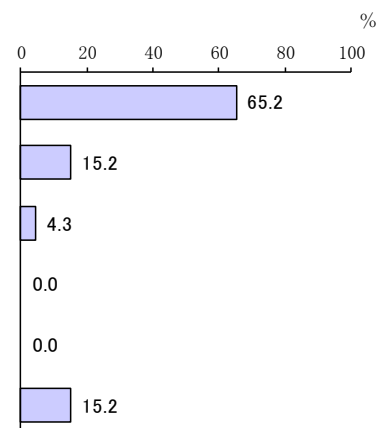
5日～9日

10日～14日

15日～19日

20日以上

無回答



問 19 問 17 で「ウ.～ケ.」のいずれかに○をつけた方にお伺いします。
 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。（あてはまるもの1つに○）

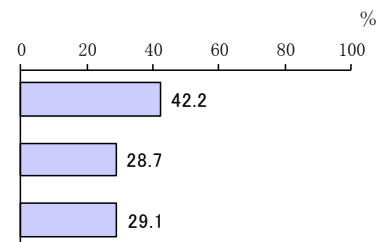
「できれば仕事を休んで看たい」の割合が 42.2%、「休んで看することは非常に難しい」の割合が 28.7%となっています。

回答者数 = 237

できれば仕事を休んで看たい

休んで看することは非常に難しい

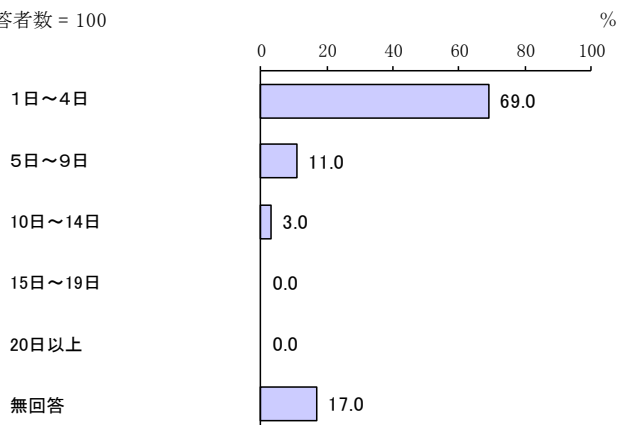
無回答



できれば仕事を休んで看たい日数

「1日～4日」の割合が69.0%と最も高く、次いで「5日～9日」の割合が11.0%となっています。

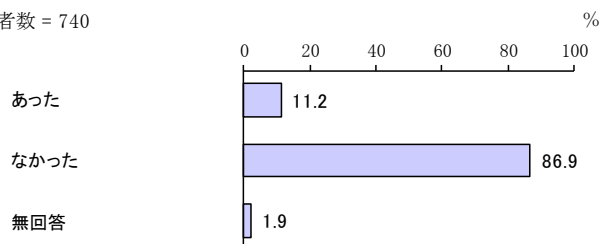
回答者数 = 100



問 20 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。

「あった」の割合が11.2%、「なかった」の割合が86.9%となっています。

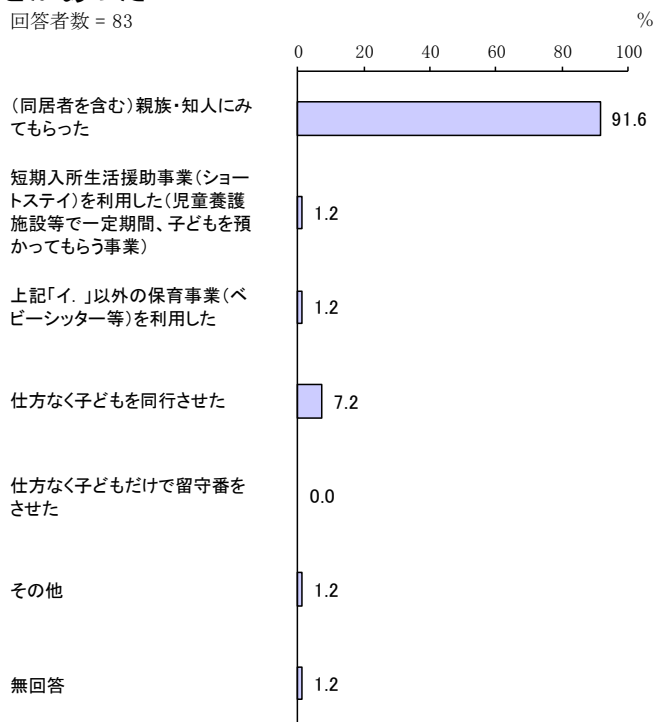
回答者数 = 740



ア 泊りがけで家族以外に預けなければならないことがあった

「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」の割合が91.6%と最も高くなっています。

回答者数 = 83



イ 対処方法

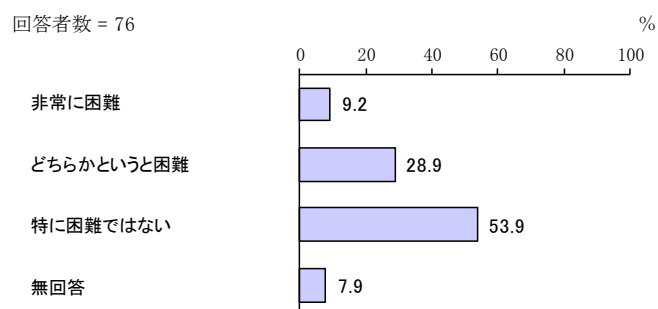
回答者数が少ないため、コメントは控えます。

単位：％

区分	回答者数 (件)	1泊 ～ 4泊	5泊 ～ 9泊	10泊 ～ 14泊	15泊 ～ 19泊	20泊 以上	無回答
ア. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった	76	64.5	10.5	3.9	3.9	6.6	10.5
イ. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した	1	－	－	－	－	－	100.0
ウ. 「短期入所生活支援事業」以外の保育事業 (ベビーシッター等)を利用した	1	－	－	－	－	100.0	－
エ. 仕方なく子どもを同行させた	6	100.0	－	－	－	－	－
オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	－	－	－	－	－	－	－
カ. その他	1	－	－	－	－	－	100.0

問 21 問 20 で「1 . あった ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」に○をつけた方にお伺いします。
その場合の困難度はどの程度でしたか。(あてはまるもの1つに○)

「特に困難ではない」の割合が 53.9%と最も高く、次いで「どちらかというと困難」の割合が 28.9%となっています。

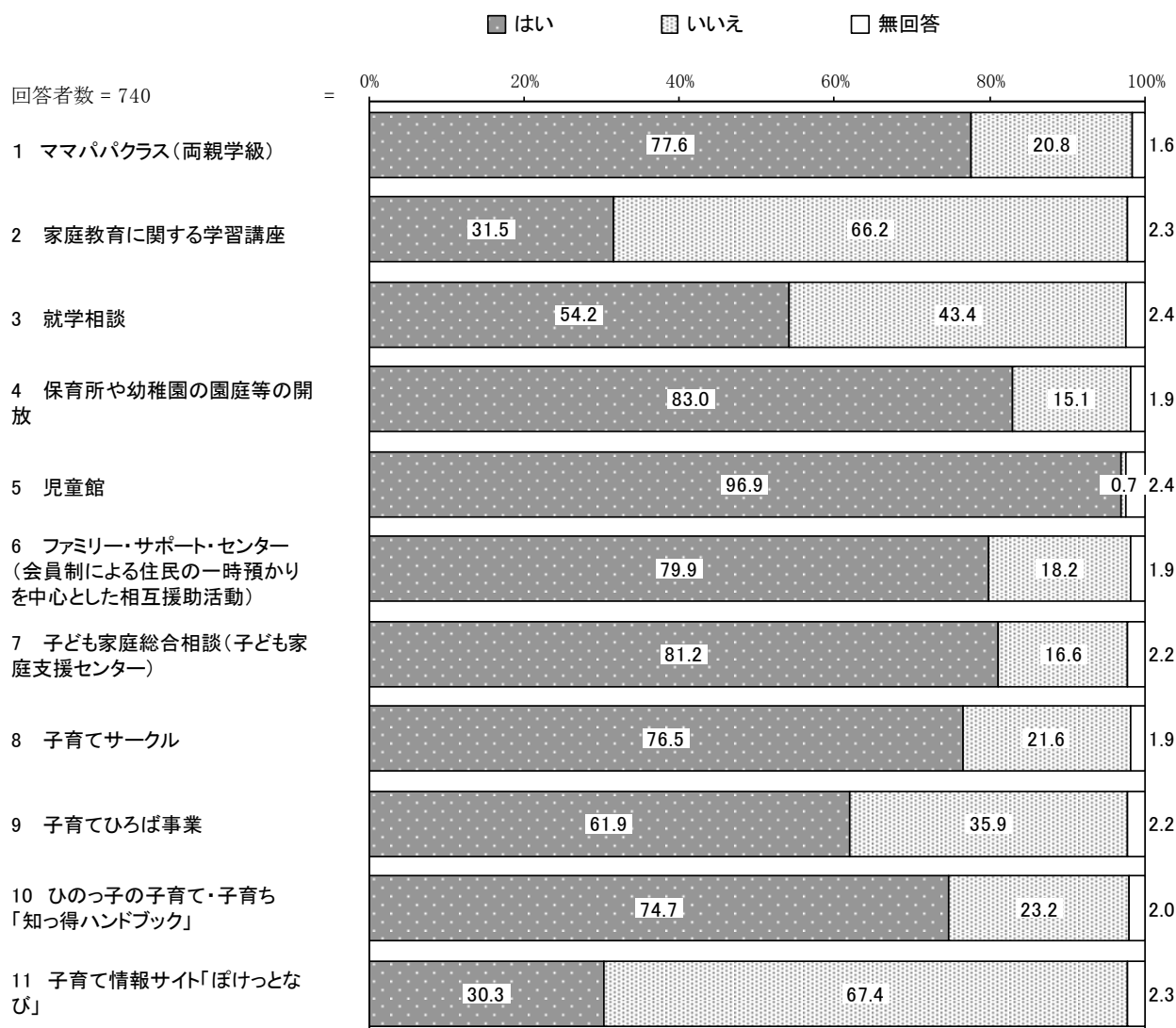


(7) 仕事と子育ての両立支援について

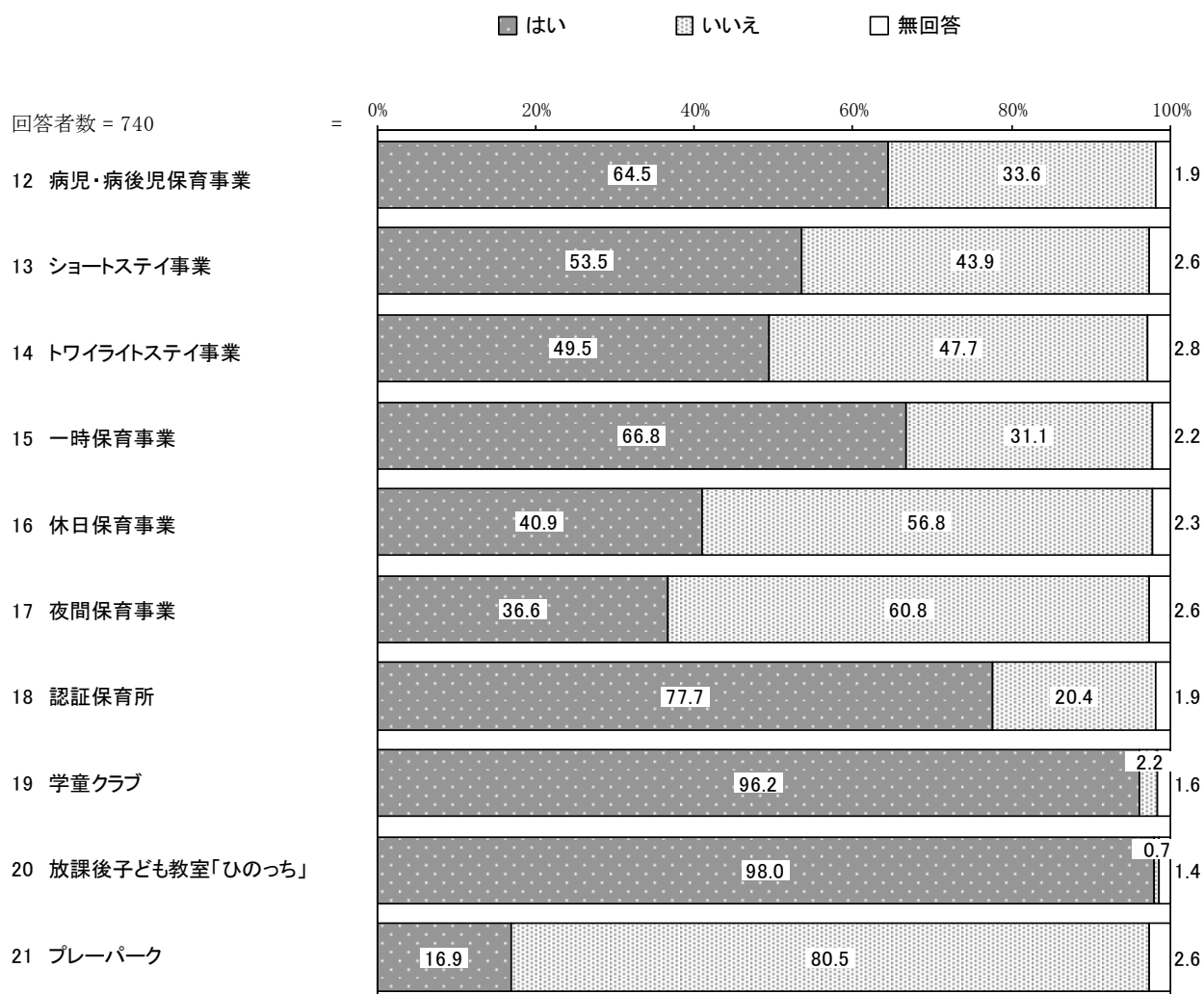
問 22 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。A～Cすべてについて「はい」「いいえ」のどちらかに○をしてください。

ア 知っている

『5 児童館』『19 学童クラブ』『20 放課後子ども教室「ひのっち」』で「はい」の割合が高くなっています。また、『21 プレーパーク』で「いいえ」の割合が高くなっています。

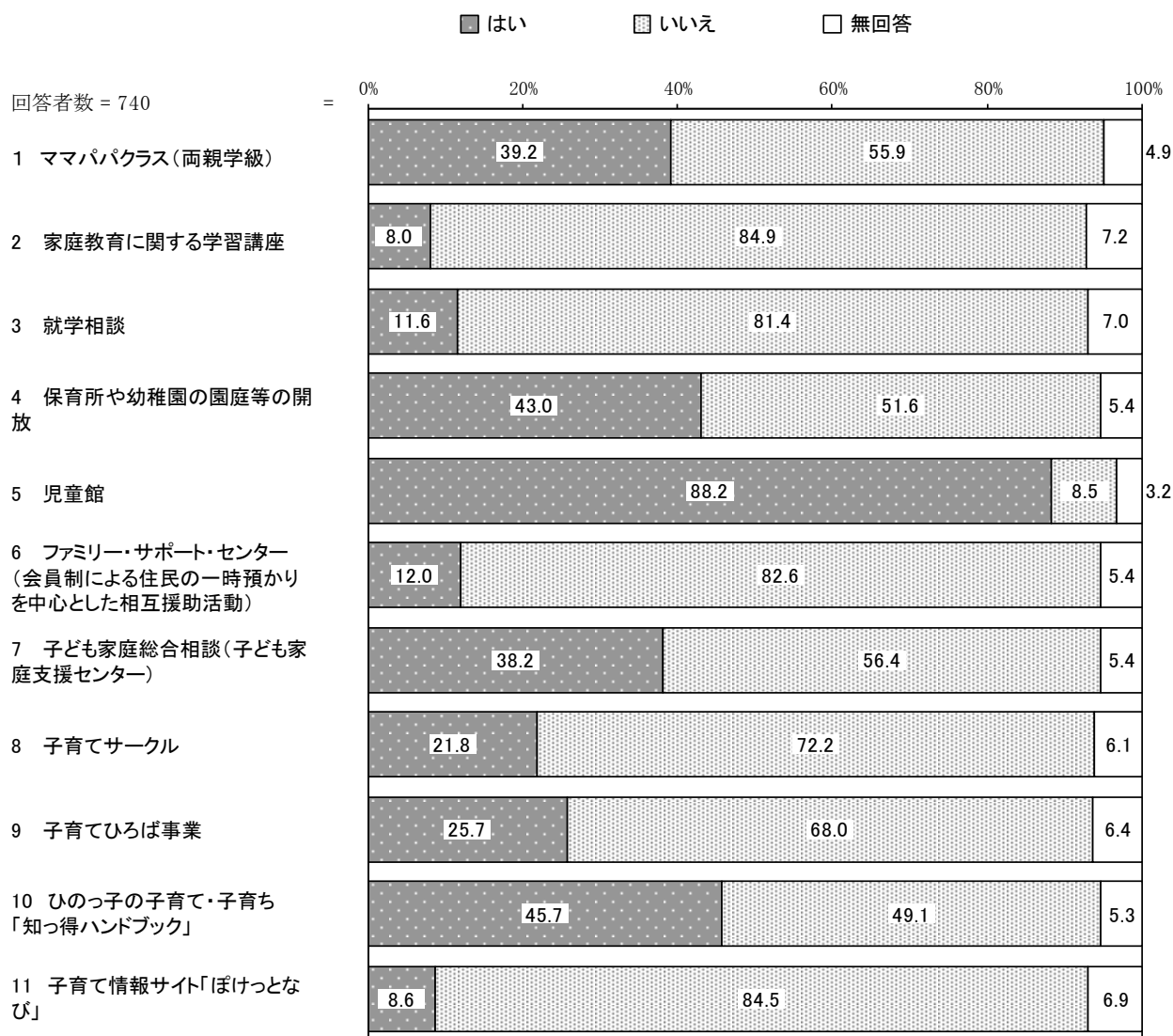


ア 知っている（つづき）

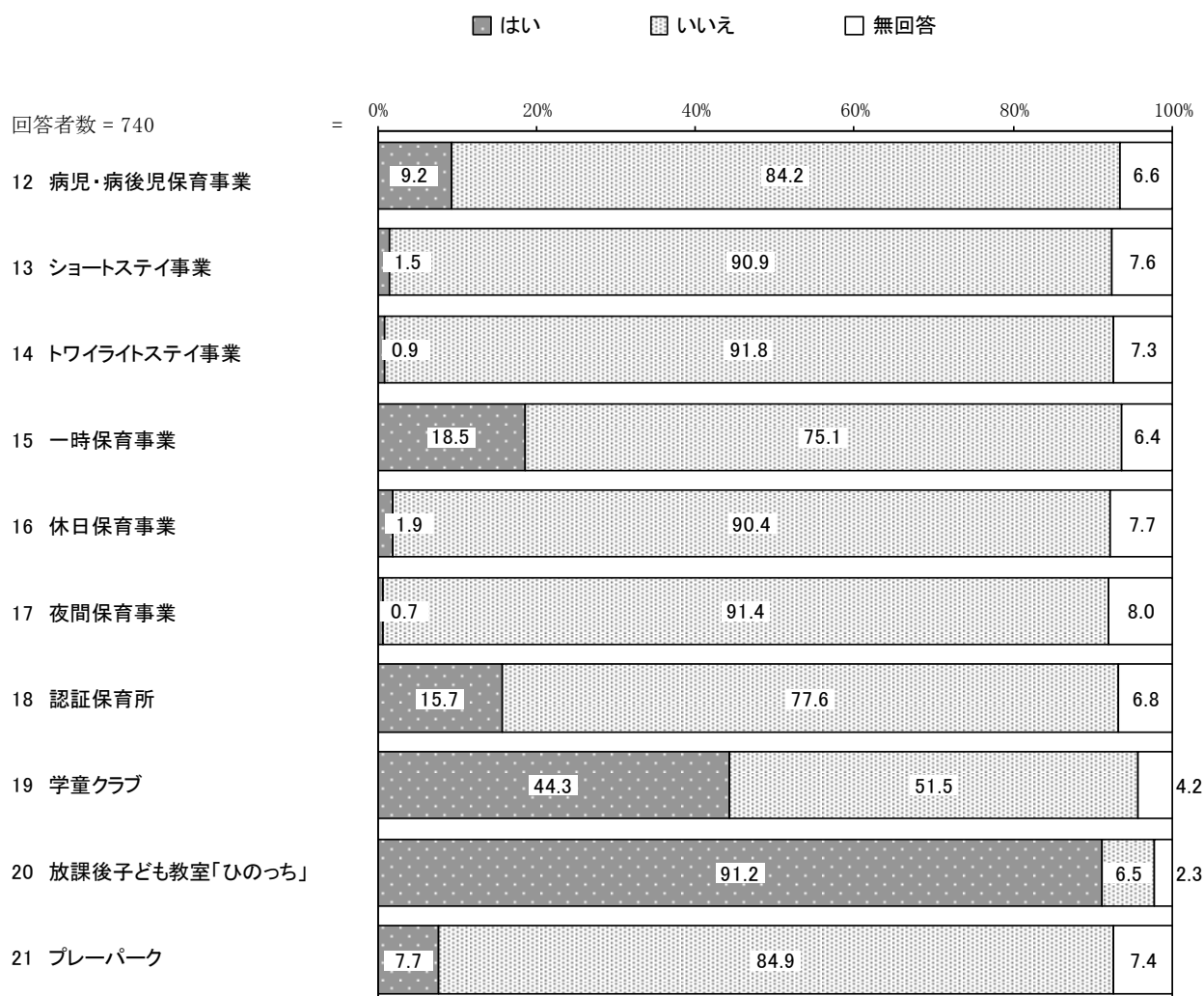


イ これまでに利用したことがある

『5 児童館』『20 放課後子ども教室「ひのっち」』で「はい」の割合が高くなっています。また、『13 ショートステイ事業』『14 トワイライトステイ事業』『16 休日保育事業』『17 夜間保育事業』で「いいえ」の割合が高くなっています。

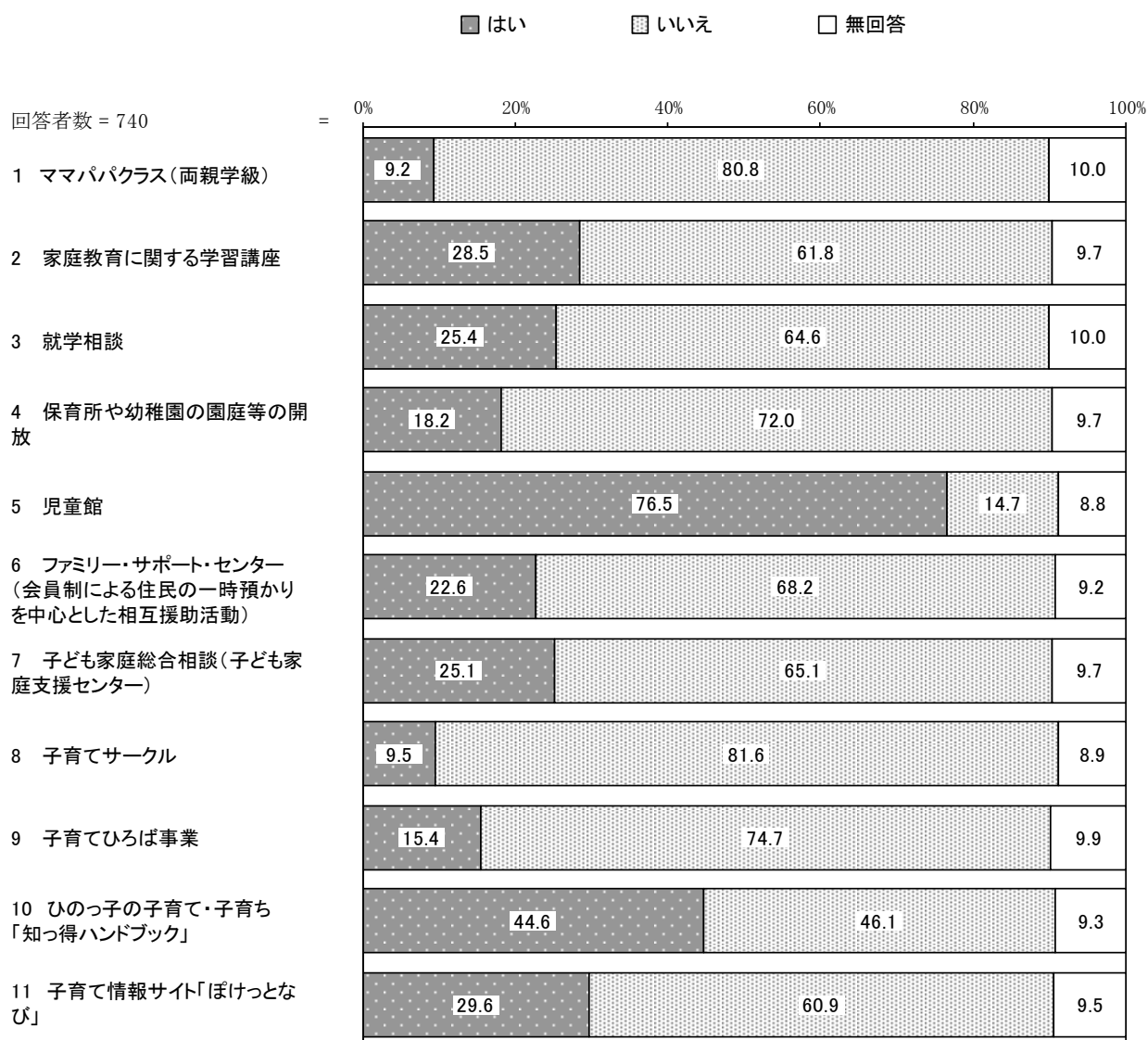


イ これまでに利用したことがある（つづき）

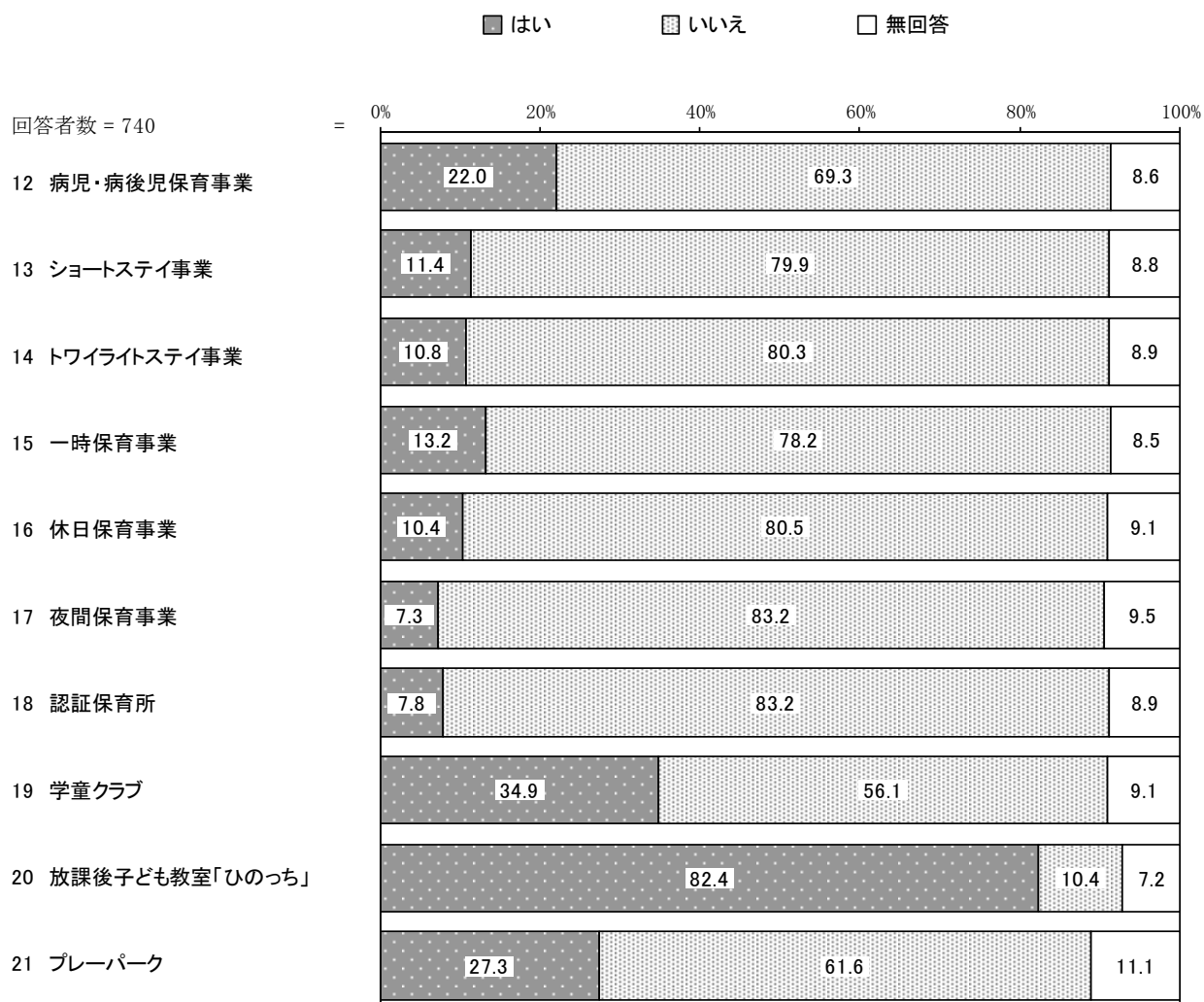


ウ 今後利用したい

『20 放課後子ども教室「ひのっち」』で「はい」の割合が高くなっています。また、『8 子育てサークル』『14 トワイライトステイ事業』『16 休日保育事業』『17 夜間保育事業』『18 認証保育所』で「いいえ」の割合が高くなっています。



ウ 今後利用したい（つづき）



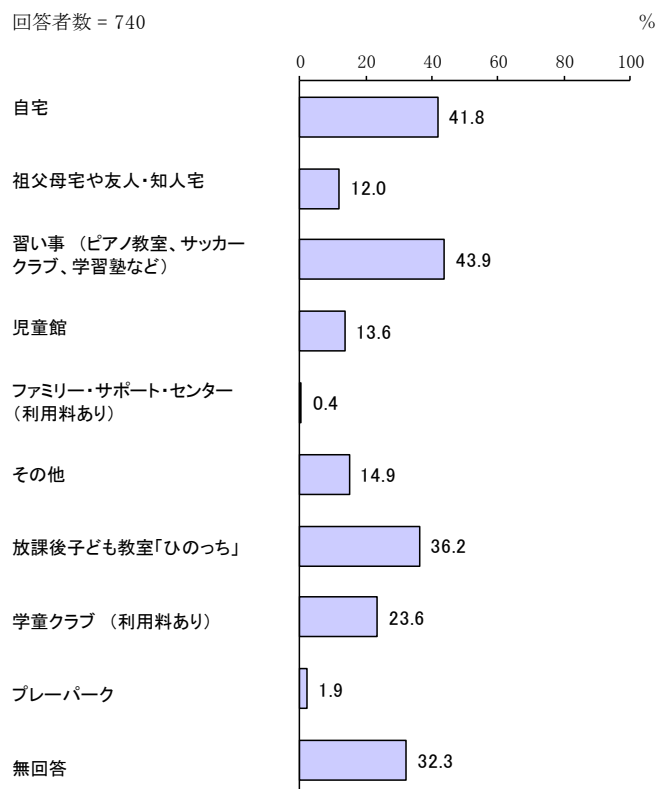
(8) 小学校の放課後の過ごし方について

問 23 あて名のお子さんについて、小学校低学年（１～３年生）は、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

（あてはまるものすべてに○）なお、「１．～７．」に○をつけた方は、それぞれ希望する週あたりの日数を（ ）内に数字でご記入ください。また、「８．学童クラブ」に○をつけた方は、利用を希望する週あたりの日数と希望する時間を（ ）内に数字でご記入ください。（※時間は必ず 24 時間制でお答えください）

「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が 43.9%と最も高く、次いで「自宅」の割合が 41.8%、「放課後子ども教室「ひのっち」」の割合が 36.2%となっています。

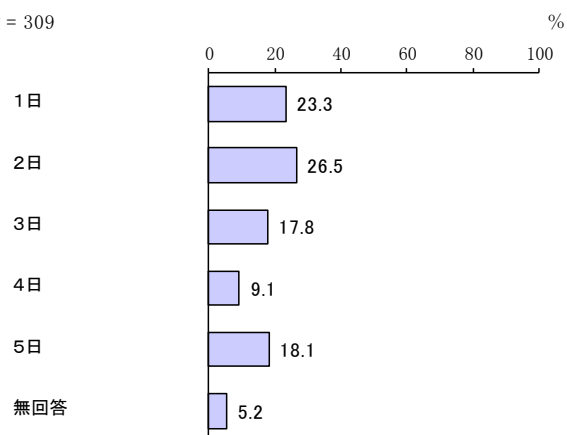
回答者数 = 740



ア 自宅

「2日」の割合が26.5%と最も高く、次いで「1日」の割合が23.3%、「5日」の割合が18.1%となっています。

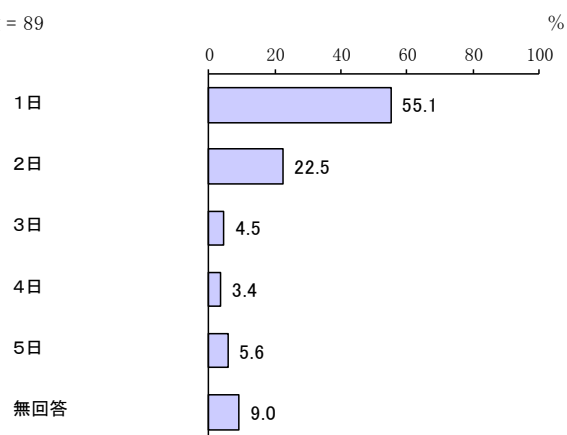
回答者数 = 309



イ 祖父母宅や友人・知人宅

「1日」の割合が55.1%と最も高く、次いで「2日」の割合が22.5%となっています。

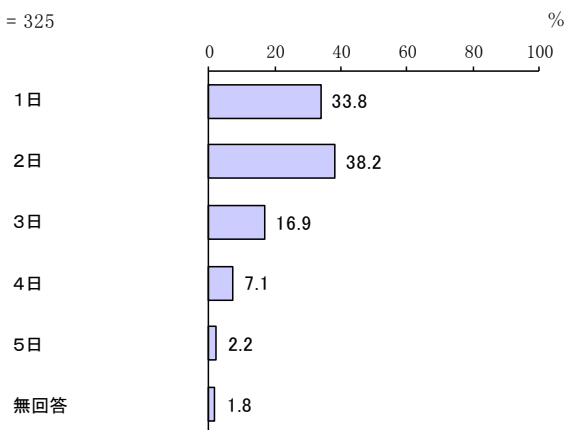
回答者数 = 89



ウ 習い事

「2日」の割合が38.2%と最も高く、次いで「1日」の割合が33.8%、「3日」の割合が16.9%となっています。

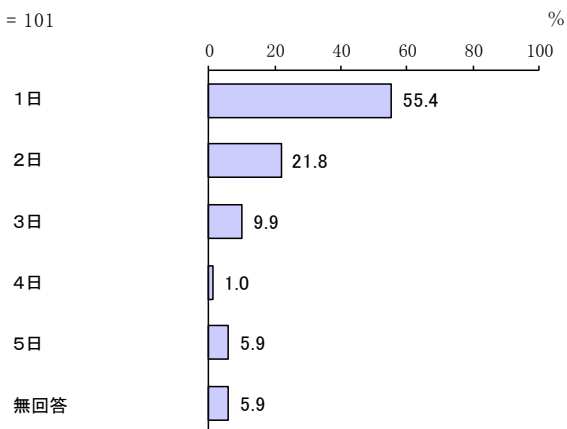
回答者数 = 325



エ 児童館

「1日」の割合が55.4%と最も高く、次いで「2日」の割合が21.8%となっています。

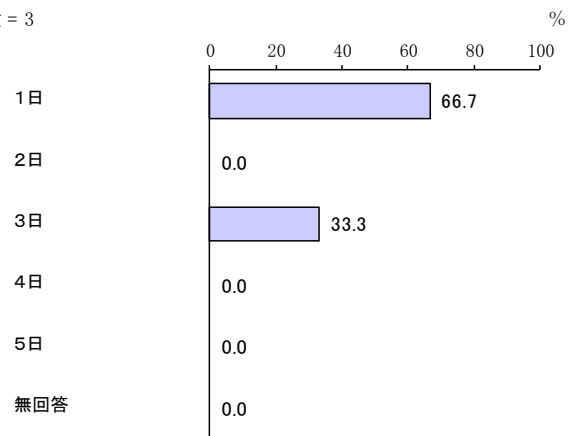
回答者数 = 101



オ ファミリー・サポート・センター（利用料あり）

「1日」が2件となっています。「3日」が1件
となっています。

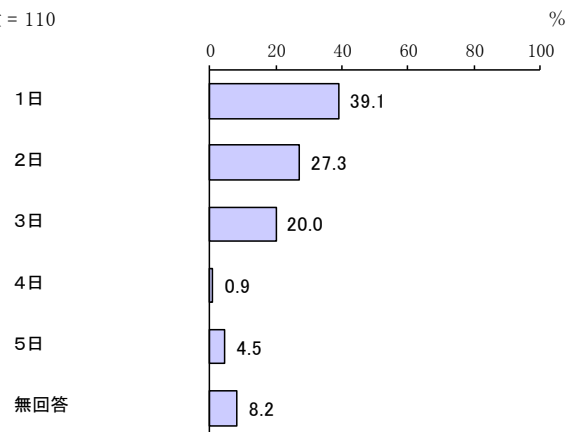
回答者数 = 3



カ その他

「1日」の割合が 39.1%と最も高く、次いで
「2日」の割合が 27.3%、「3日」の割合が 20.0%
となっています。

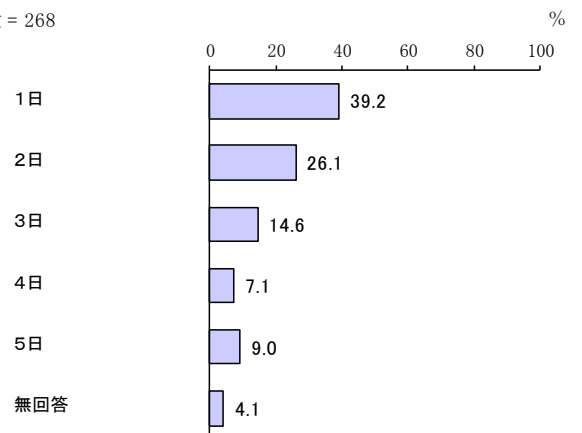
回答者数 = 110



キ 放課後子ども教室「ひのっち」

「1日」の割合が 39.2%と最も高く、次いで
「2日」の割合が 26.1%、「3日」の割合が 14.6%
となっています。

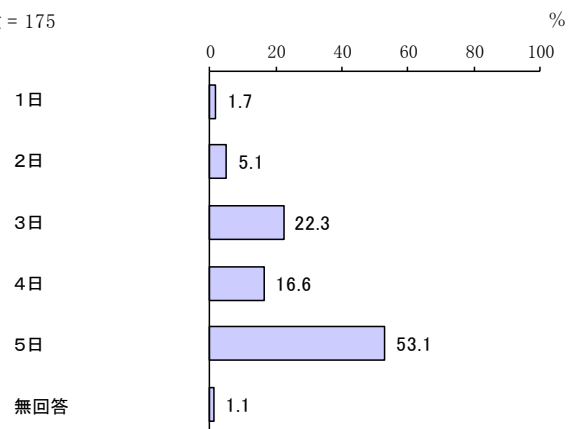
回答者数 = 268



ク 学童クラブ

「5日」の割合が 53.1%と最も高く、次いで
「3日」の割合が 22.3%、「4日」の割合が 16.6%
となっています。

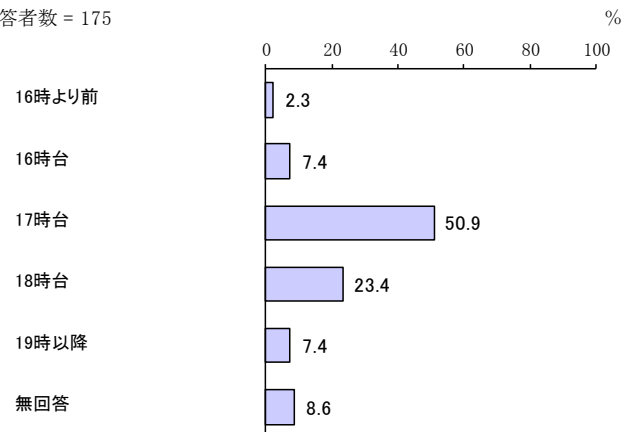
回答者数 = 175



利用終了時刻

「17 時台」の割合が 50.9%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 23.4%となっています。

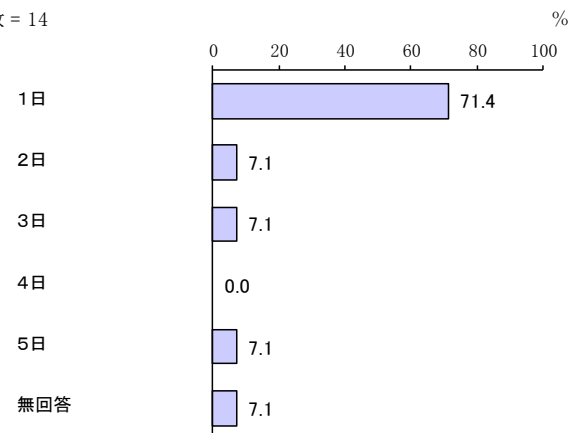
回答者数 = 175



コ プレーパーク 週あたり利用日数

「1 日」の割合が 71.4%と最も高くなっています。

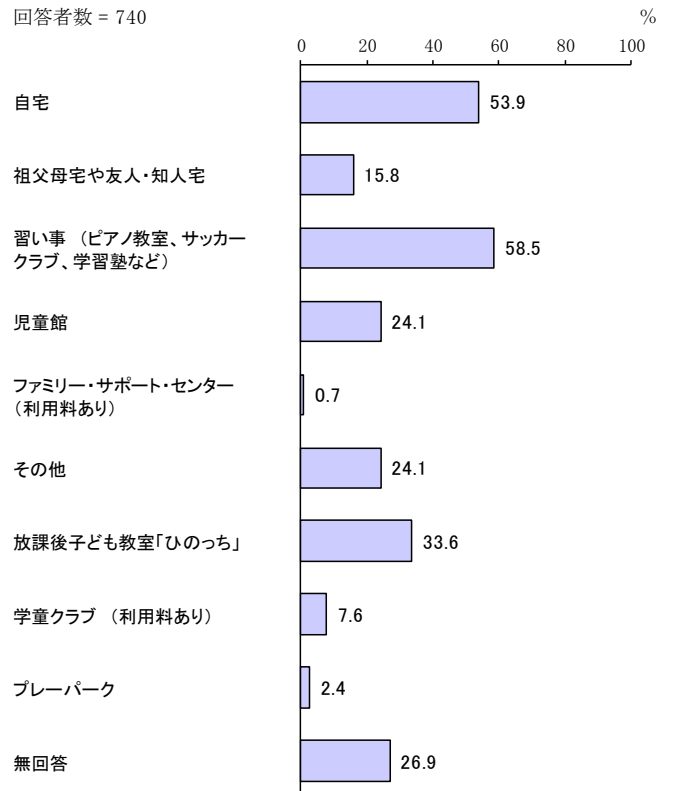
回答者数 = 14



問 24 あて名のお子さんについて、小学校高学年（４～６年生）は、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。
 （あてはまるものすべてに○）なお、「１．～７．」に○をつけた方は、それぞれ希望する週あたりの日数を（ ）内に数字でご記入ください。また、「８．学童クラブ」に○をつけた方は、利用を希望する週あたりの日数と希望する時間を（ ）内に数字でご記入ください。（※時間は必ず 24 時間制でお答えください）

「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が 58.5%と最も高く、次いで「自宅」の割合が 53.9%、「放課後子ども教室「ひのっち」」の割合が 33.6%となっています。

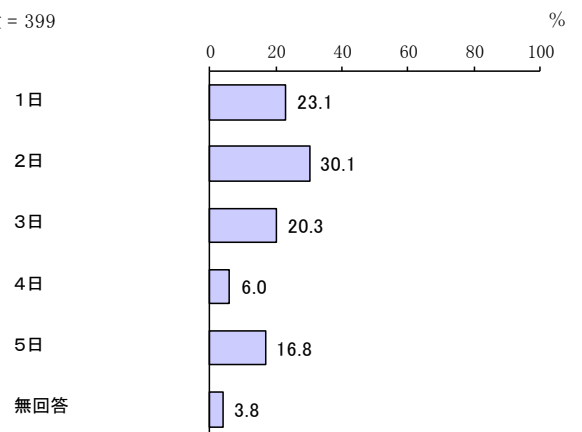
回答者数 = 740



ア 自宅

「２日」の割合が 30.1%と最も高く、次いで「１日」の割合が 23.1%、「３日」の割合が 20.3%となっています。

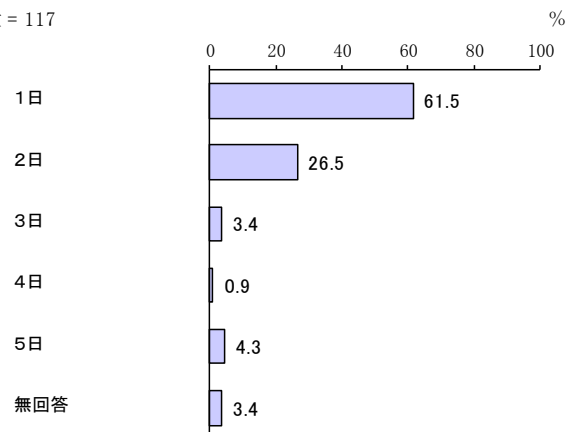
回答者数 = 399



イ 祖父母宅や友人・知人宅

「1日」の割合が61.5%と最も高く、次いで「2日」の割合が26.5%となっています。

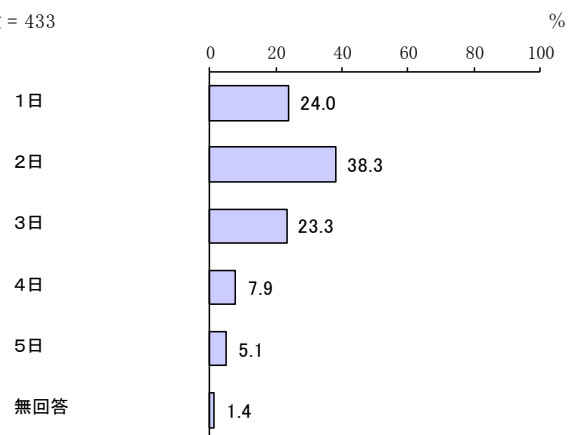
回答者数 = 117



ウ 習い事

「2日」の割合が38.3%と最も高く、次いで「1日」の割合が24.0%、「3日」の割合が23.3%となっています。

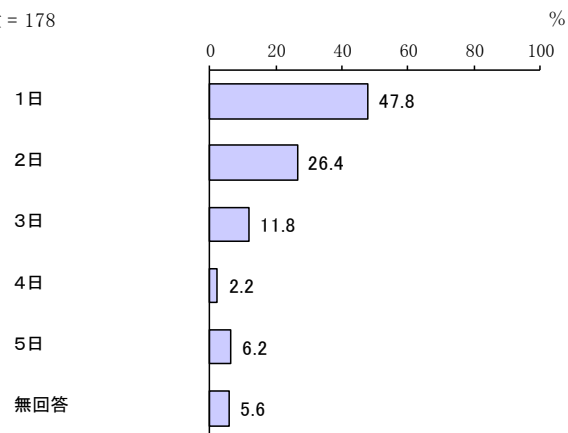
回答者数 = 433



エ 児童館

「1日」の割合が47.8%と最も高く、次いで「2日」の割合が26.4%、「3日」の割合が11.8%となっています。

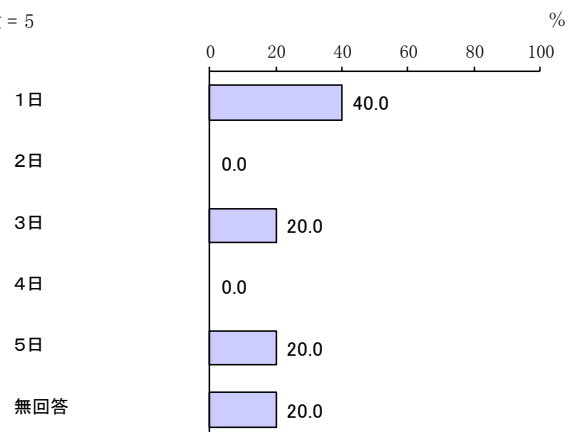
回答者数 = 178



オ ファミリー・サポート・センター

「1日」が2件となっています。「3日」、「5日」が1件となっています。

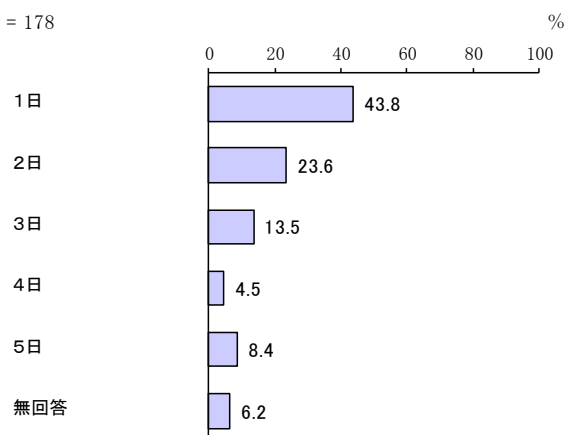
回答者数 = 5



カ その他

「1日」の割合が43.8%と最も高く、次いで「2日」の割合が23.6%、「3日」の割合が13.5%となっています。

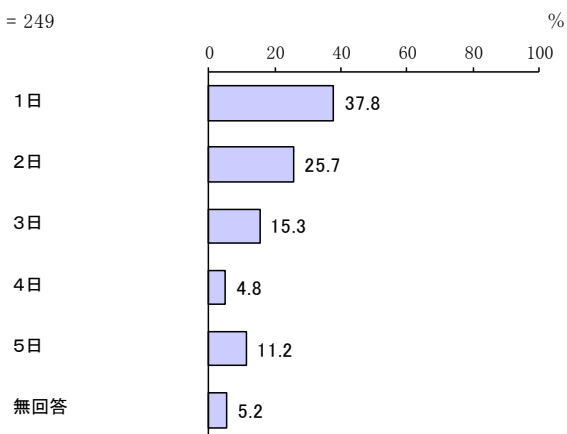
回答者数 = 178



キ 放課後子ども教室「ひのっち」

「1日」の割合が37.8%と最も高く、次いで「2日」の割合が25.7%、「3日」の割合が15.3%となっています。

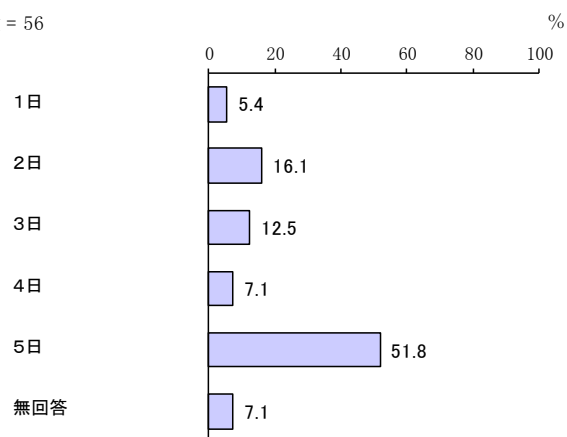
回答者数 = 249



ク 学童クラブ

「5日」の割合が51.8%と最も高く、次いで「2日」の割合が16.1%、「3日」の割合が12.5%となっています。

回答者数 = 56



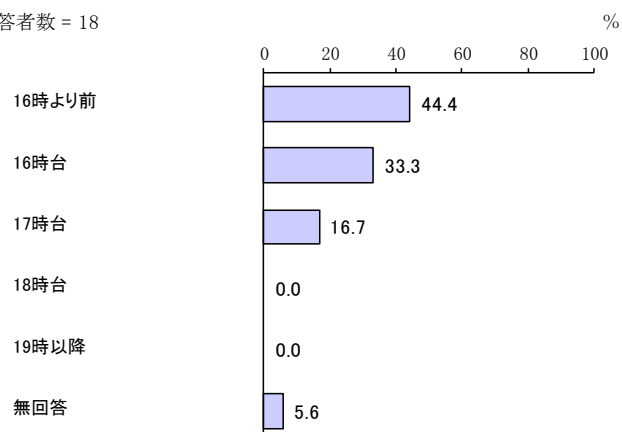
ケ 学童クラブ 利用終了時刻

有効回答がありませんでした。

コ プレーパーク

「16 時より前」の割合が 44.4%と最も高く、次いで「16 時台」の割合が 33.3%、「17 時台」の割合が 16.7%となっています。

回答者数 = 18

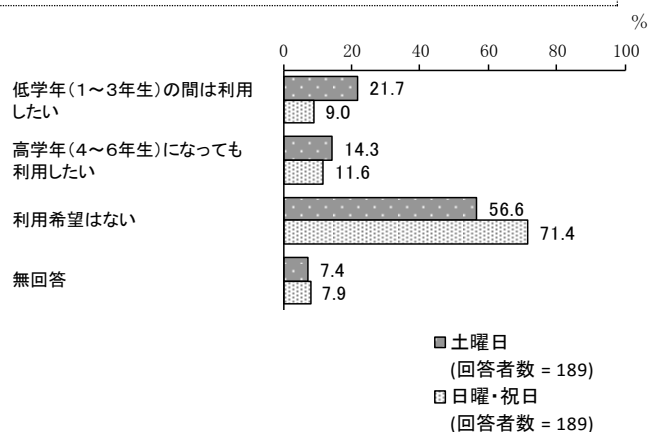


問 25 問 23 または問 24 で「8. 学童クラブ」に○をつけた方にお伺いします。

あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童クラブの利用希望はありますか。「(1) 土曜日」、「(2) 日曜日・祝日」それぞれあてはまるもの 1 つに○ また、利用したい時間帯 (何時から何時まで) を () 内に数字でお答えください。(※時間は必ず 24 時間制でお答えください) なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

土曜日では「利用希望はない」の割合が 56.6%と最も高く、次いで「低学年 (1～3 年生) の間は利用したい」の割合が 21.7%、「高学年 (4～6 年生) になっても利用したい」の割合が 14.3%となっています。

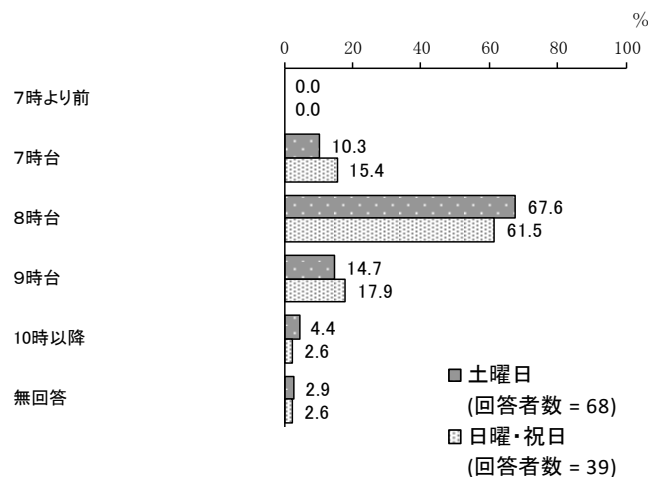
日曜・祝日では「利用希望はない」の割合が 71.4%と最も高く、次いで「高学年 (4～6 年生) になっても利用したい」の割合が 11.6%となっています。



ア 利用開始時刻

土曜日では「8 時台」の割合が 67.6%と最も高く、次いで「9 時台」の割合が 14.7%、「7 時台」の割合が 10.3%となっています。

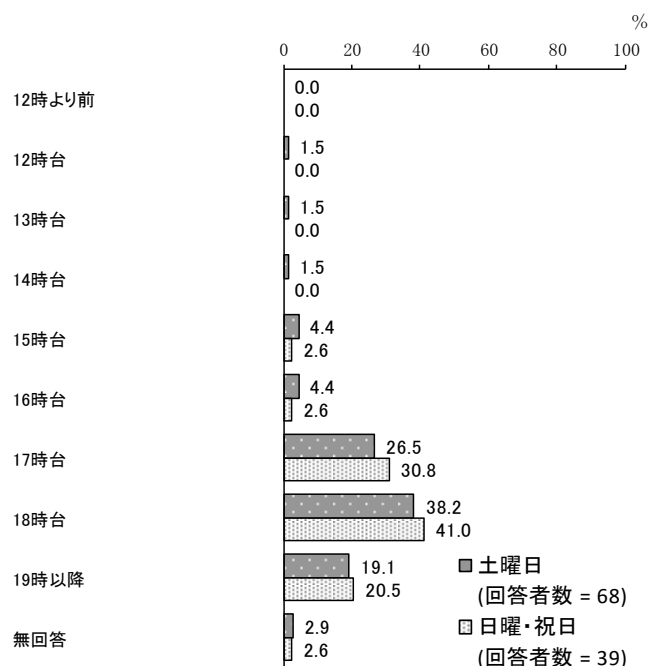
日曜・祝日では「8 時台」の割合が 61.5%と最も高く、次いで「9 時台」の割合が 17.9%、「7 時台」の割合が 15.4%となっています。



イ 利用終了時刻

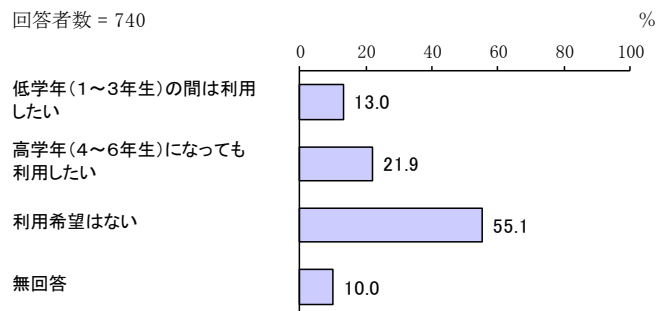
土曜日では「18 時台」の割合が 38.2%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 26.5%、「19 時以降」の割合が 19.1%となっています。

日曜・祝日では「18 時台」の割合が 41.0%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 30.8%、「19 時以降」の割合が 20.5%となっています。



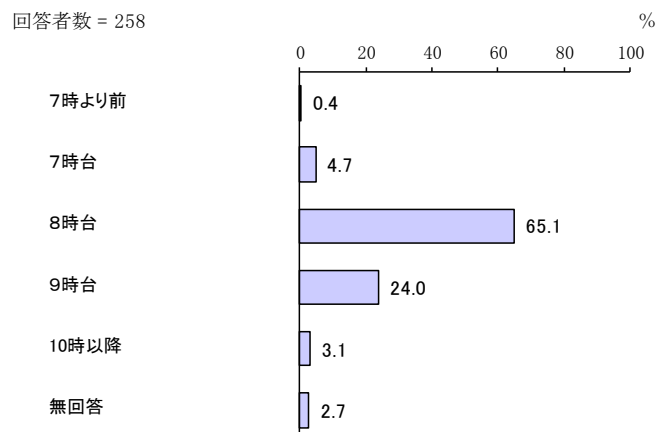
問 26 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童クラブの利用希望はありますか。(あてはまるもの 1 つに○) また、利用したい時間帯(何時から何時まで)を() 内に数字でお答えください。(※時間は必ず 24 時間制でお答えください) なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

「利用希望はない」の割合が 55.1%と最も高く、次いで「高学年(4～6 年生)になっても利用したい」の割合が 21.9%、「低学年(1～3 年生)の間は利用したい」の割合が 13.0%となっています。



ア 利用開始時刻

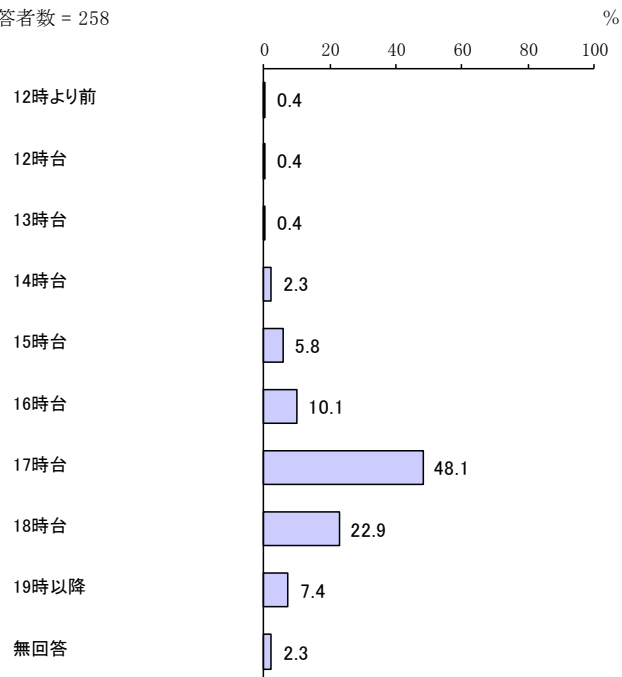
「8 時台」の割合が 65.1%と最も高く、次いで「9 時台」の割合が 24.0%となっています。



イ 利用終了時刻

「17 時台」の割合が 48.1%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 22.9%、「16 時台」の割合が 10.1%となっています。

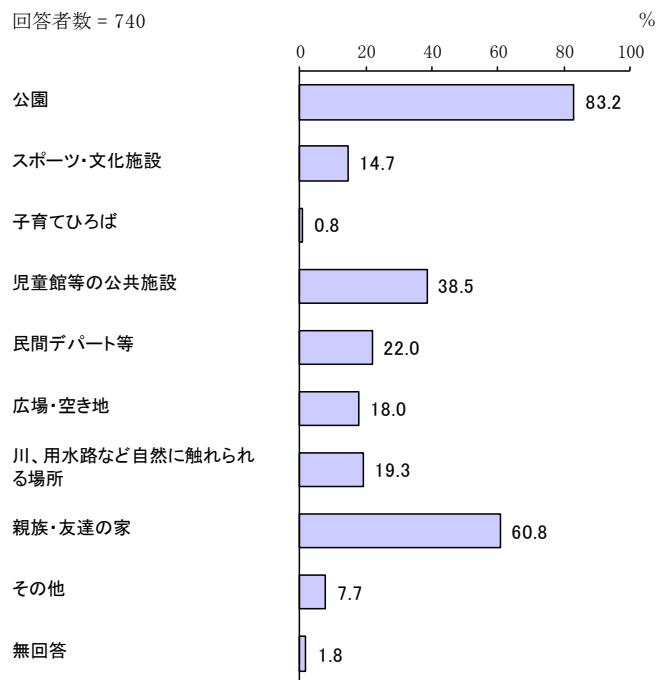
回答者数 = 258



問 27 普段どのような場所に遊びに行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

「公園」の割合が 83.2%と最も高く、次いで「親族・友達の家」の割合が 60.8%、「児童館等の公共施設」の割合が 38.5%となっています。

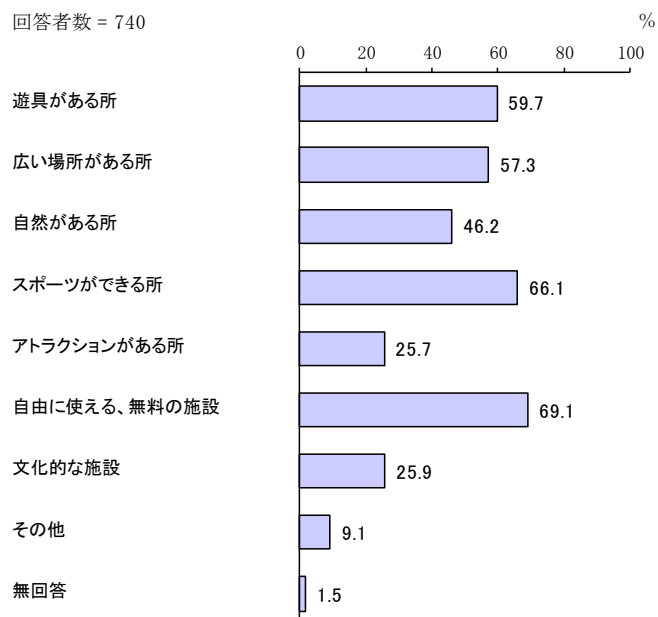
回答者数 = 740



問 28 どのような遊び場が欲しいですか。（あてはまるものすべてに○）

「自由に使える、無料の施設」の割合が 69.1%と最も高く、次いで「スポーツができる所」の割合が 66.1%、「遊具がある所」の割合が 59.7%となっています。

回答者数 = 740

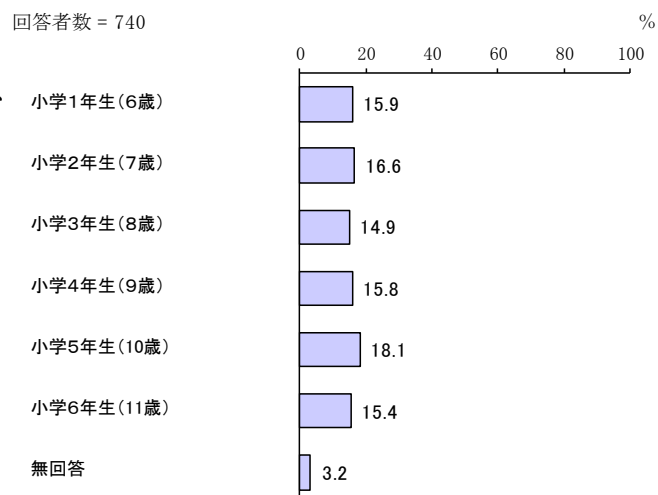


（9）封筒のあて名のお子さんをご家族の状況について

問 29 封筒のあて名のお子さんの生年月をお伺いします。（学年）

「小学5年生（10歳）」の割合が 18.1%と最も高く、次いで「小学2年生（7歳）」の割合が 16.6%、「小学1年生（6歳）」の割合が 15.9%となっています。

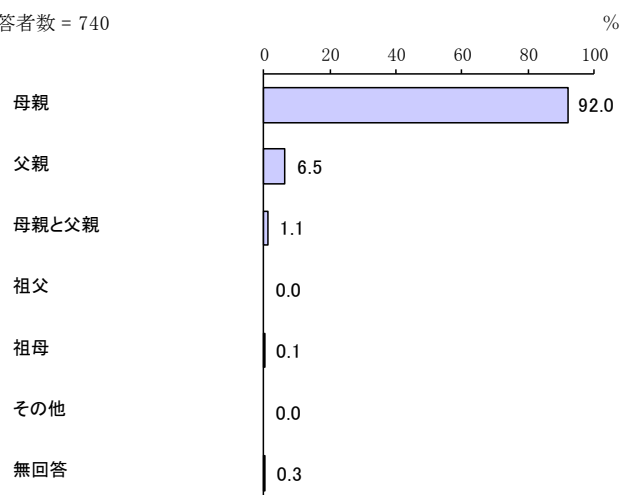
回答者数 = 740



問 30 あて名のお子さんから見て、この記入票を記入したのはどなたですか。
(あてはまるもの1つに○)

「母親」の割合が92.0%と最も高くなっています。

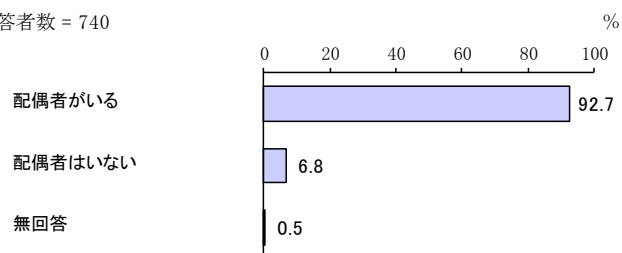
回答者数 = 740



問 31 この調査票に回答いただいている方の配偶関係についてお伺いします。
(あてはまるもの1つに○)

「配偶者がいる」の割合が92.7%、「配偶者がいない」の割合が6.8%となっています。

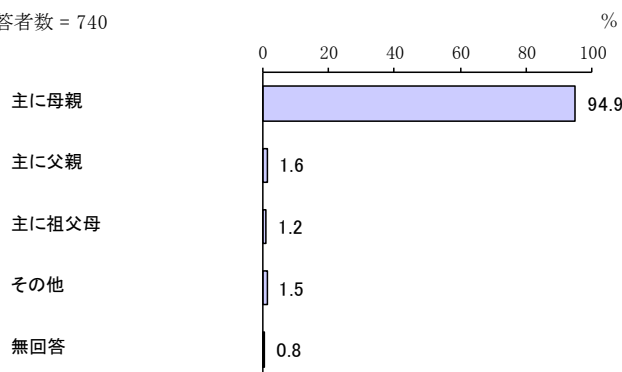
回答者数 = 740



問 32 あて名のお子さんの身の回りの世話などを主に行っているのはどなたですか。
お子さんからみた関係を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

「主に母親」の割合が94.9%と最も高くなっています。

回答者数 = 740



問 33 あなたはどの小学校の学区域にお住まいですか。（1つに○）

「豊田小学校」の割合が 10.8%と最も高くなっています。

回答者数 = 740

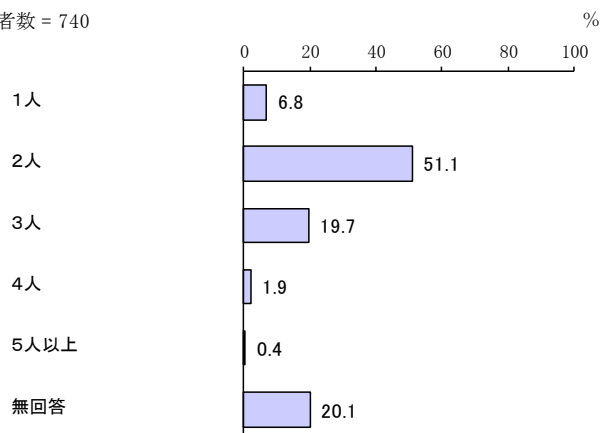


問 34 あなたは、あて名のお子さんや兄弟姉妹に対して、学校以外の教育（学習塾や習い事）に、1月当たりどのくらい費用を使っていますか。
（ ）内に具体的な数字でお答えください

ア 子どもの人数

「2人」の割合が 51.1%と最も高く、次いで
「3人」の割合が 19.7%となっています。

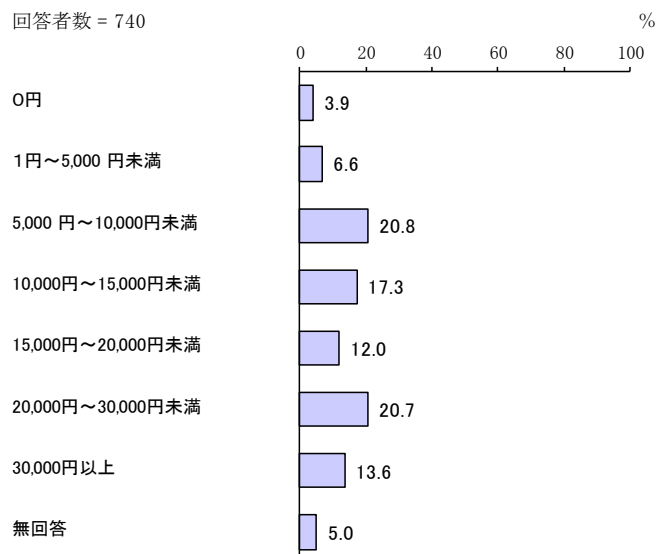
回答者数 = 740



イ 学校以外の教育費

「5,000 円～10,000 円未満」の割合が 20.8%
と最も高く、次いで「20,000 円～30,000 円未満」
の割合が 20.7%、「10,000 円～15,000 円未満」の
割合が 17.3%となっています。

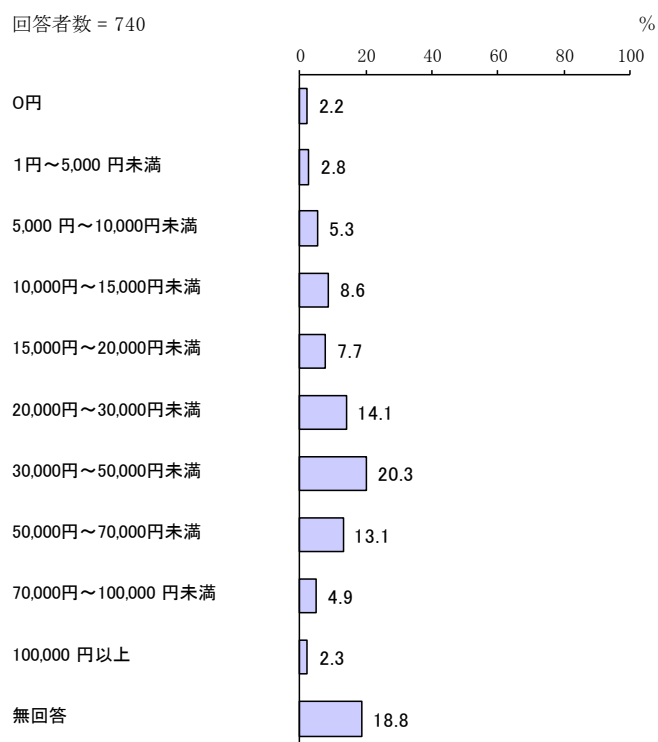
回答者数 = 740



ウ あて名のお子さんを含む、子ども全員の費用

「30,000 円～50,000 円未満」の割合が 20.3%と最も高く、次いで「20,000 円～30,000 円未満」の割合が 14.1%、「50,000 円～70,000 円未満」の割合が 13.1%となっています。

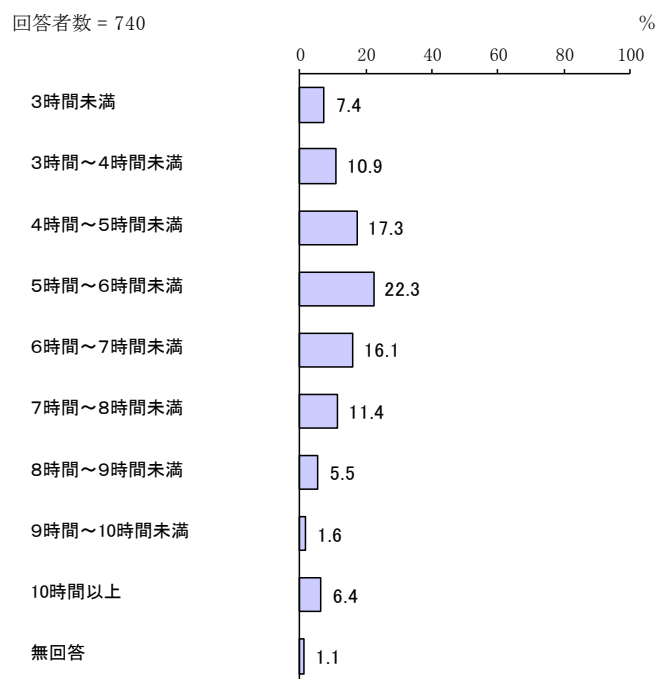
回答者数 = 740



問 35 あなたが1日にお子さんと接する平均的な時間を教えてください。
() 内に具体的な数字でお答えください。

「5 時間～6 時間未満」の割合が 22.3%と最も高く、次いで「4 時間～5 時間未満」の割合が 17.3%、「6 時間～7 時間未満」の割合が 16.1%となっています。

回答者数 = 740

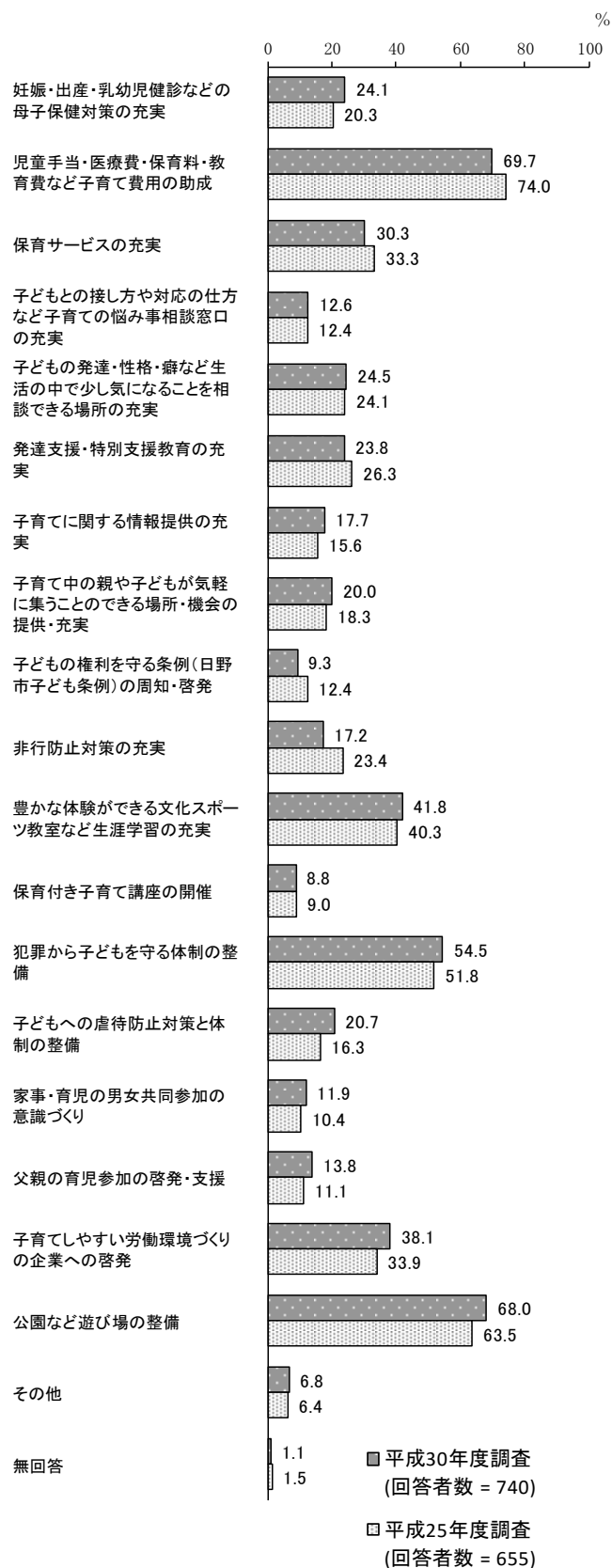


(10) 日野市の子育て支援策について

問 36 市の子育て支援策として、今後何に力を入れていくべきだと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

「児童手当・医療費・保育料・教育費など子育て費用の助成」の割合が 69.7%と最も高く、次いで「公園など遊び場の整備」の割合が 68.0%、「犯罪から子どもを守る体制の整備」の割合が 54.5%となっています。

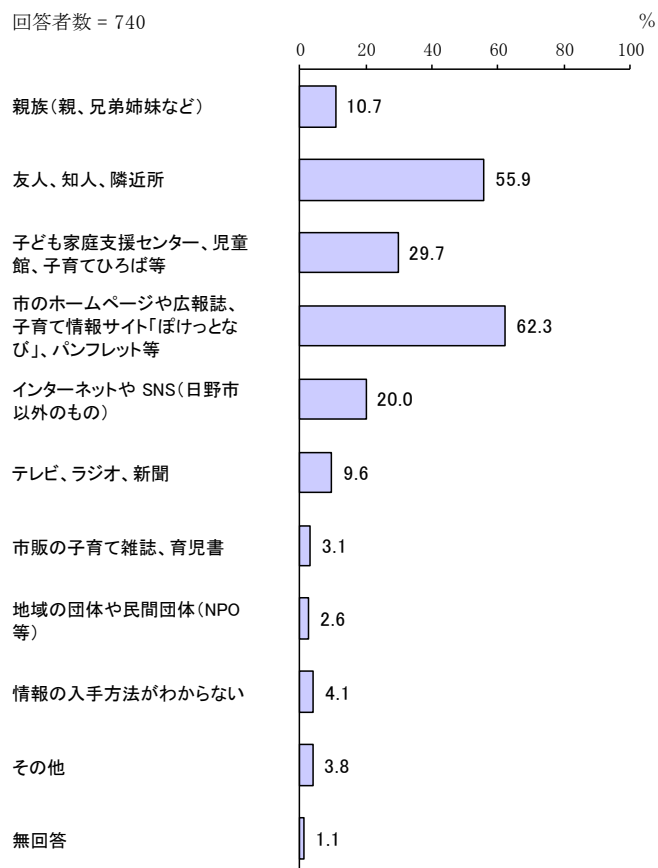
平成 25 年度調査と比較すると、「非行防止対策の充実」の割合が減少しています。



問 37 子育て支援事業の情報はどこから入手しますか。(あてはまるものすべてに○)

「市のホームページや広報誌、子育て情報サイト「ぽけっとなび」、パンフレット等」の割合が62.3%と最も高く、次いで「友人、知人、隣近所」の割合が55.9%、「子ども家庭支援センター、児童館、子育てひろば等」の割合が29.7%となっています。

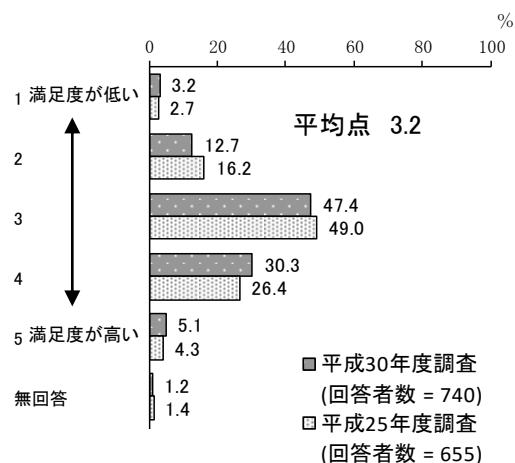
回答者数 = 740



問 38 日野市における子育て環境や支援への満足度についてお答えください。(あてはまるもの1つに○)

「3」の割合が47.4%と最も高く、次いで「4」の割合が30.3%、「2」の割合が12.7%となっています。

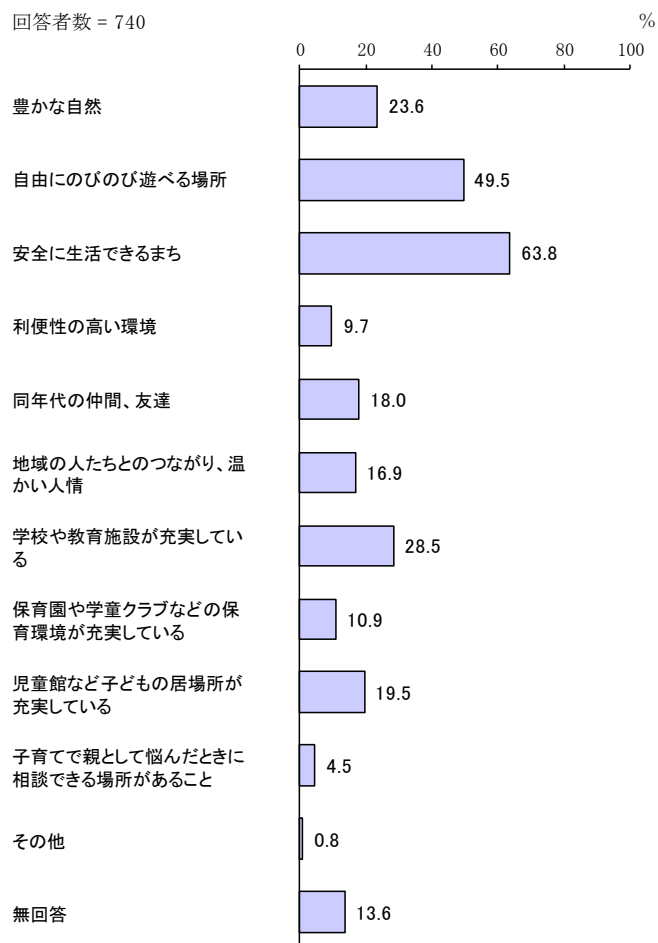
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 39 子どもを育てる環境として何を重視しますか。(あてはまるもの3つまで○)

「安全に生活できるまち」の割合が 63.8%と最も高く、次いで「自由にのびのび遊べる場所」の割合が 49.5%、「学校や教育施設が充実している」の割合が 28.5%となっています。

回答者数 = 740



3 中学生

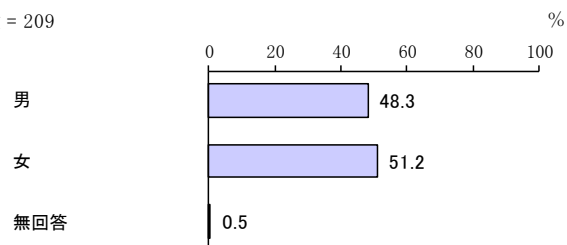
(1) あなたの事について

問1 あなたの性別・学年をお答えください。

ア 性別

「男」の割合が 48.3%、「女」の割合が 51.2%
となっています。

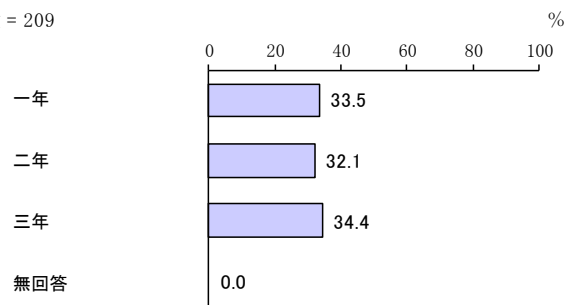
回答者数 = 209



イ 学年

「三年」の割合が 34.4%と最も高く、次いで
「一年」の割合が 33.5%、「二年」の割合が 32.1%
となっています。

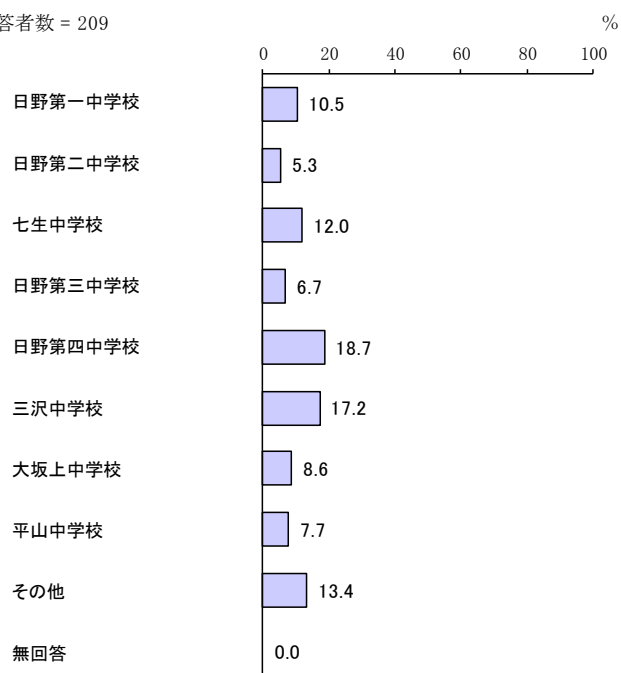
回答者数 = 209



ウ 学校

「日野第四中学校」の割合が 18.7%と最も高
く、次いで「三沢中学校」の割合が 17.2%、「七
生中学校」の割合が 12.0%となっています。

回答者数 = 209

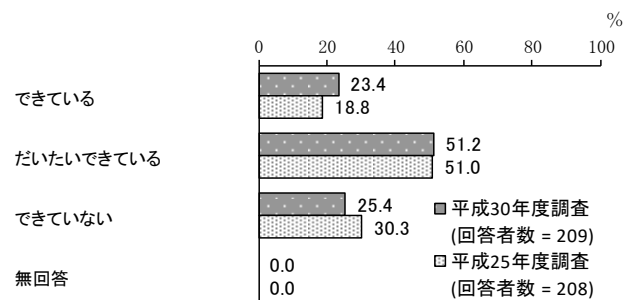


問2 普段から次のことをしていますか。(それぞれにあてはまるものを選んで○)

ア 早寝早起きをする。

「だいたいできている」の割合が51.2%と最も高く、次いで「できていない」の割合が25.4%、「できている」の割合が23.4%となっています。

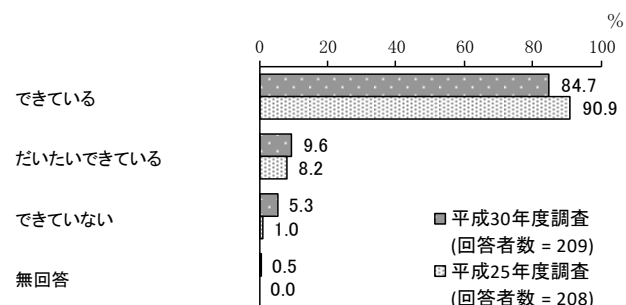
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



イ 朝食をとる。

「できている」の割合が84.7%と最も高くなっています。

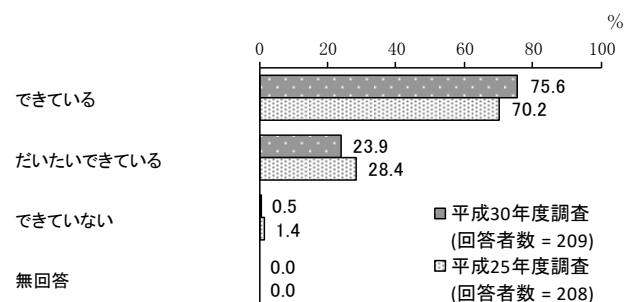
平成25年度調査と比較すると、「できている」の割合が減少しています。



ウ あいさつ・お礼をする。

「できている」の割合が75.6%と最も高く、次いで「だいたいできている」の割合が23.9%となっています。

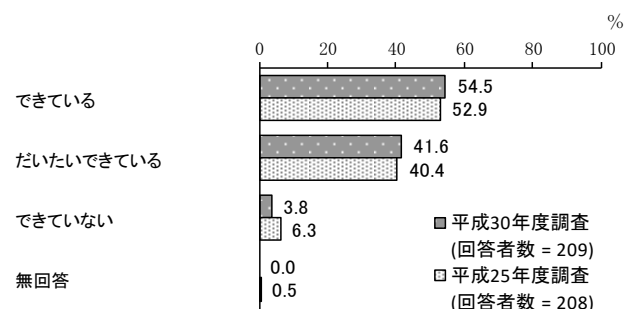
平成25年度調査と比較すると、「できている」の割合が増加しています。



エ 物を大切にする。

「できている」の割合が54.5%と最も高く、次いで「だいたいできている」の割合が41.6%となっています。

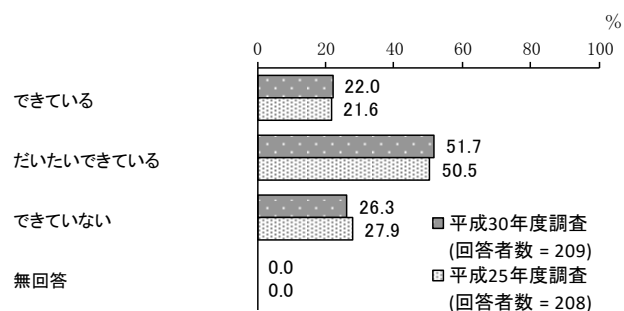
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



オ お手伝いをする。

「だいたいできている」の割合が51.7%と最も高く、次いで「できている」の割合が26.3%、「できていない」の割合が22.0%となっています。

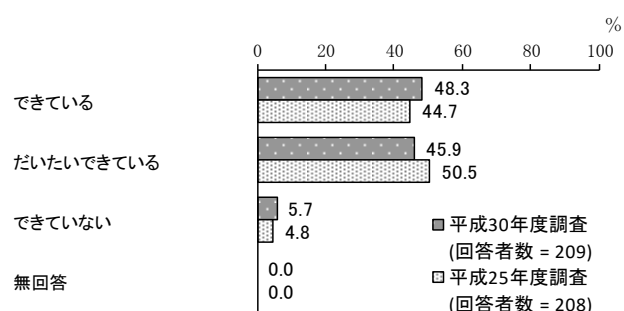
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



カ 約束を守る。

「できている」の割合が48.3%と最も高く、次いで「だいたいできている」の割合が45.9%となっています。

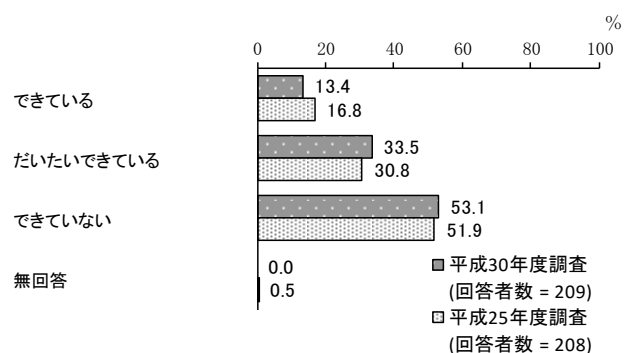
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



キ 料理をする。

「できていない」の割合が53.1%と最も高く、次いで「だいたいできている」の割合が33.5%、「できている」の割合が13.4%となっています。

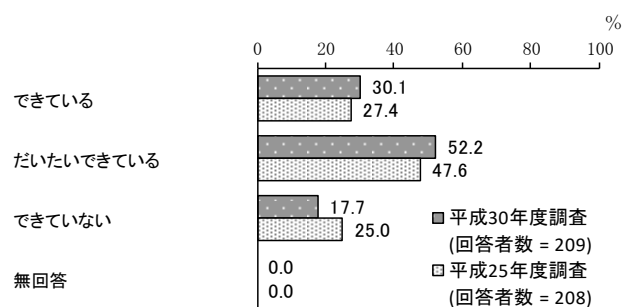
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



ク 後片付けをする。

「だいたいできている」の割合が52.2%と最も高く、次いで「できている」の割合が30.1%、「できていない」の割合が17.7%となっています。

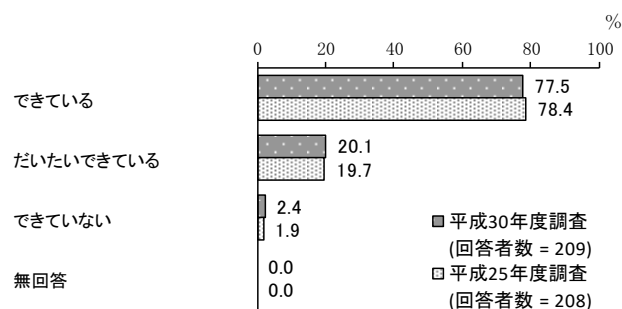
平成25年度調査と比較すると、「できていない」の割合が減少しています。



ケ からだを清潔に保つ。

「できている」の割合が77.5%と最も高く、次いで「だいたいできている」の割合が20.1%となっています。

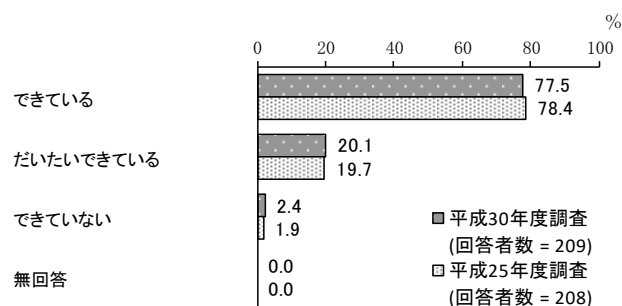
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



コ 公共の場所で騒がない。

「できている」の割合が75.6%と最も高く、次いで「だいたいできている」の割合が22.5%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

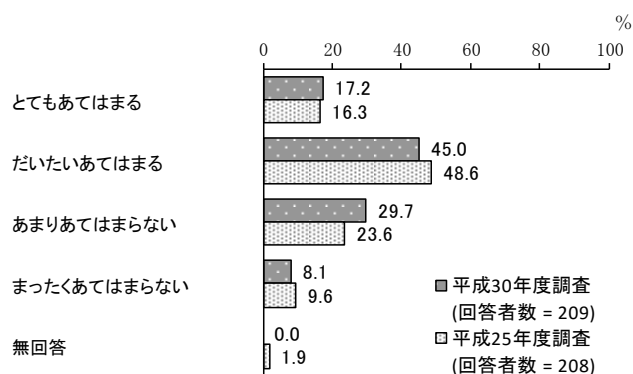


問3 次のことはあなたにどのくらいあてはまりますか。
(それぞれにあてはまるものを選んで○)

ア 自分のことが好きである。

「だいたいあてはまる」の割合が45.0%と最も高く、次いで「あまりあてはまらない」の割合が29.7%、「とてもあてはまる」の割合が17.2%となっています。

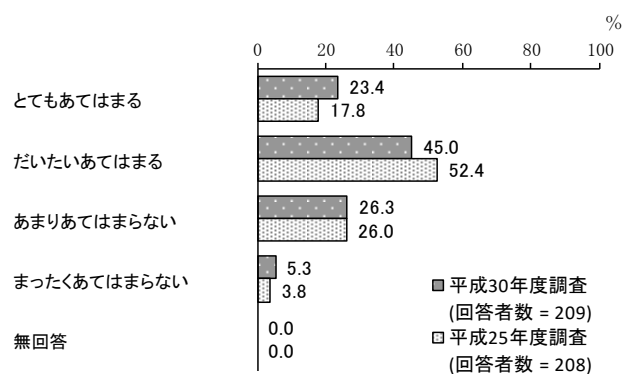
平成25年度調査と比較すると、「あまりあてはまらない」の割合が増加しています。



イ 人前で自分の意見をきちんと言える。

「だいたいあてはまる」の割合が45.0%と最も高く、次いで「あまりあてはまらない」の割合が26.3%、「とてもあてはまる」の割合が23.4%となっています。

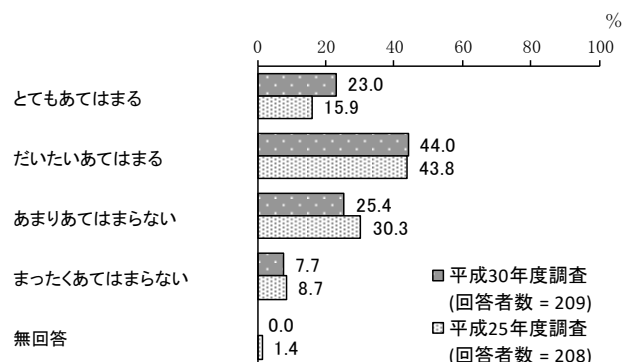
平成25年度調査と比較すると、「とてもあてはまる」の割合が増加しています。一方、「だいたいあてはまる」の割合が減少しています。



ウ 自分に自信がなくなる時がある。

「だいたいあてはまる」の割合が44.0%と最も高く、次いで「あまりあてはまらない」の割合が25.4%、「とてもあてはまる」の割合が23.0%となっています。

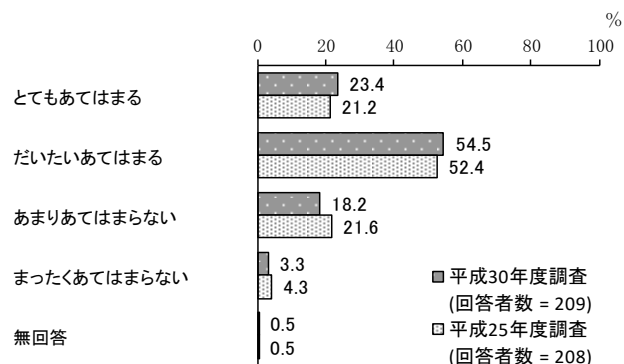
平成25年度調査と比較すると、「とてもあてはまる」の割合が増加しています。



エ 困難があっても最後までやりとげようとする。

「だいたいあてはまる」の割合が54.5%と最も高く、次いで「とてもあてはまる」の割合が23.4%、「あまりあてはまらない」の割合が18.2%となっています。

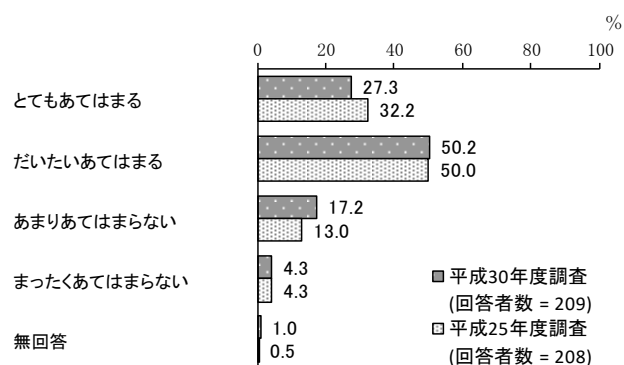
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



オ 自分は愛されていると感じる。

「だいたいあてはまる」の割合が 50.2%と最も高く、次いで「とてもあてはまる」の割合が 27.3%、「あまりあてはまらない」の割合が 17.2%となっています。

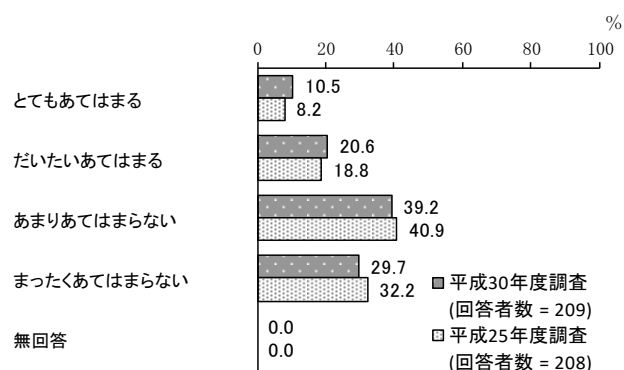
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



カ 新しい友達をつくる自信がない。

「あまりあてはまらない」の割合が 39.2%と最も高く、次いで「まったくあてはまらない」の割合が 29.7%、「だいたいあてはまる」の割合が 20.6%となっています。

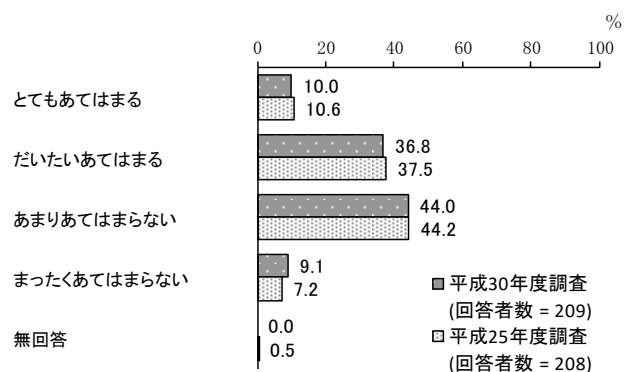
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



キ 人並み以上に物事をうまくやれる。

「あまりあてはまらない」の割合が 44.0%と最も高く、次いで「だいたいあてはまる」の割合が 36.8%、「とてもあてはまる」の割合が 10.0%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

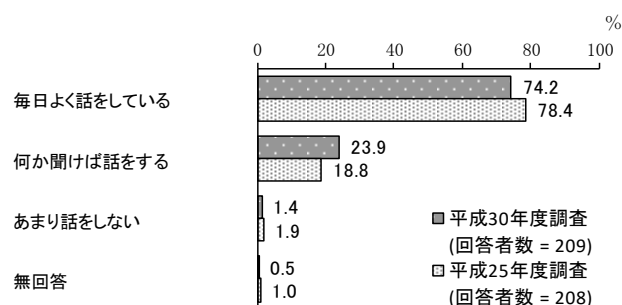


(2) あなたと親（保護者）の関係について

問4 あなたは親（保護者）とどのくらい話をしていますか。（あてはまるもの1つに○）

「毎日よく話をしている」の割合が74.2%と最も高く、次いで「何か聞けば話をする」の割合が23.9%となっています。

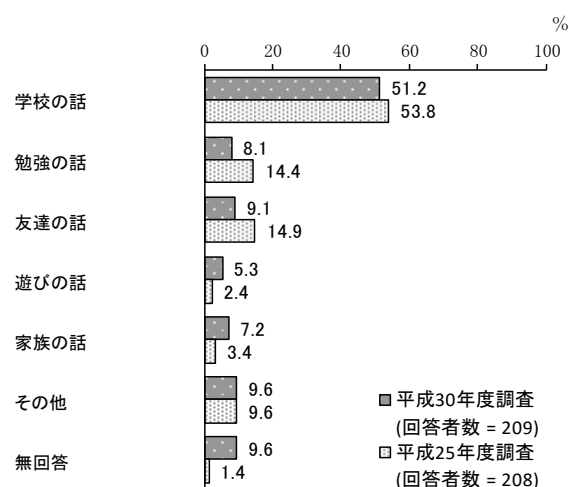
平成25年度調査と比較すると、「何か聞けば話をする」の割合が増加しています。



問5 親（保護者）とどんな話をしますか。（あてはまるもの1つに○）

「学校の話」の割合が51.2%と最も高くなっています。

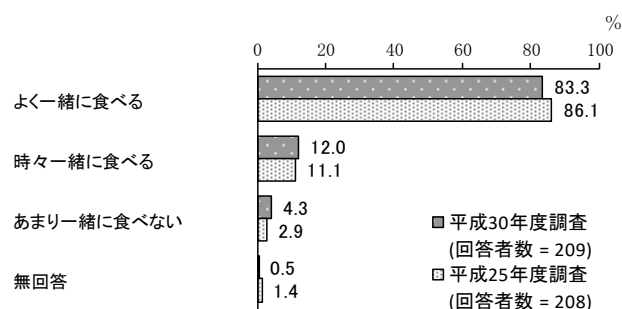
平成25年度調査と比較すると、「勉強の話」「友達の話」の割合が減少しています。



問6 親（保護者）と一緒に御飯を食べますか。（あてはまるもの1つに○）

「よく一緒に食べる」の割合が83.3%と最も高く、次いで「時々一緒に食べる」の割合が12.0%となっています。

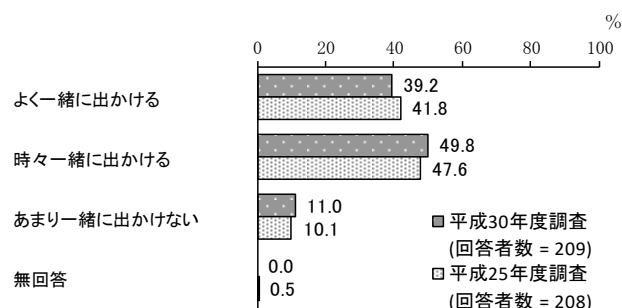
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問7 親（保護者）と一緒に出かけることはありますか。（あてはまるもの1つに○）

「時々一緒に出かける」の割合が49.8%と最も高く、次いで「よく一緒に出かける」の割合が39.2%、「あまり一緒に出かけない」の割合が11.0%となっています。

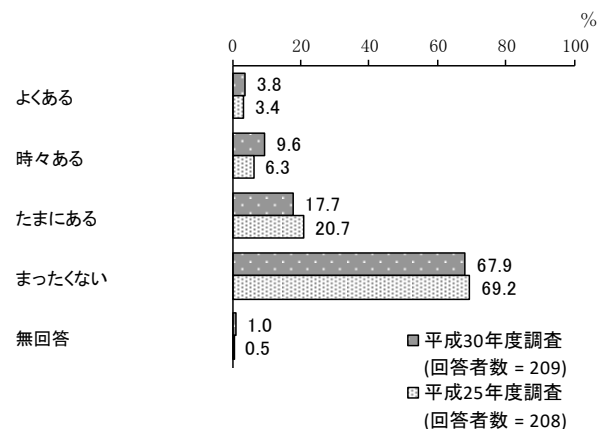
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 8 親（保護者）からきつい言葉で怒られたり、強くたたかれたり食事をもらえなかったりしたことはありますか。（あてはまるもの 1 つに○）

「まったくない」の割合が 67.9%と最も高く、次いで「たまにある」の割合が 17.7%となっています。

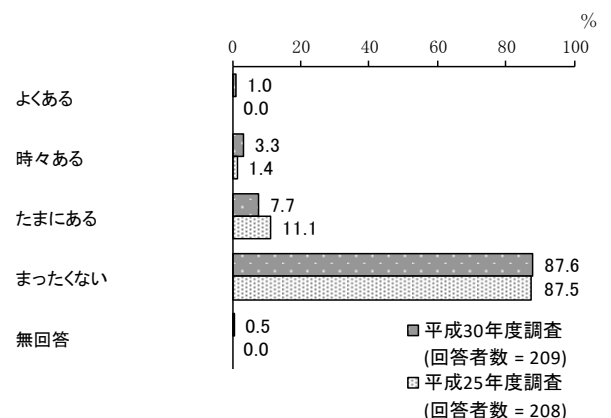
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 9 親（保護者）に暴力をふるってしまったことはありますか。（あてはまるもの 1 つに○）

「まったくない」の割合が 87.6%と最も高くなっています。

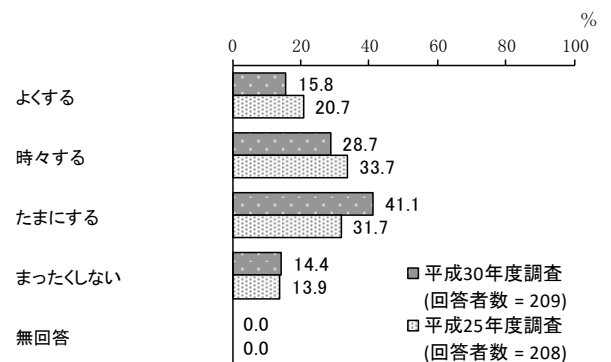
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 10 家の手伝いをしていますか。（あてはまるもの 1 つに○）

「たまにする」の割合が 41.1%と最も高く、次いで「時々する」の割合が 28.7%、「よくする」の割合が 15.8%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「たまにする」の割合が増加しています。

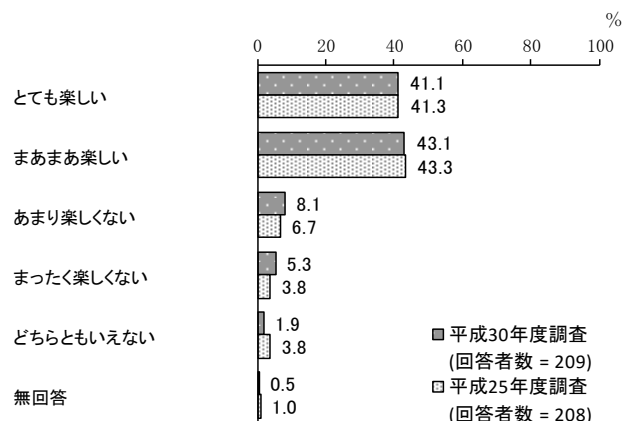


(3) 学校や友人について

問11 学校は毎日楽しいですか。(あてはまるもの1つに○)

「まあまあ楽しい」の割合が43.1%と最も高く、次いで「とても楽しい」の割合が41.1%となっています。

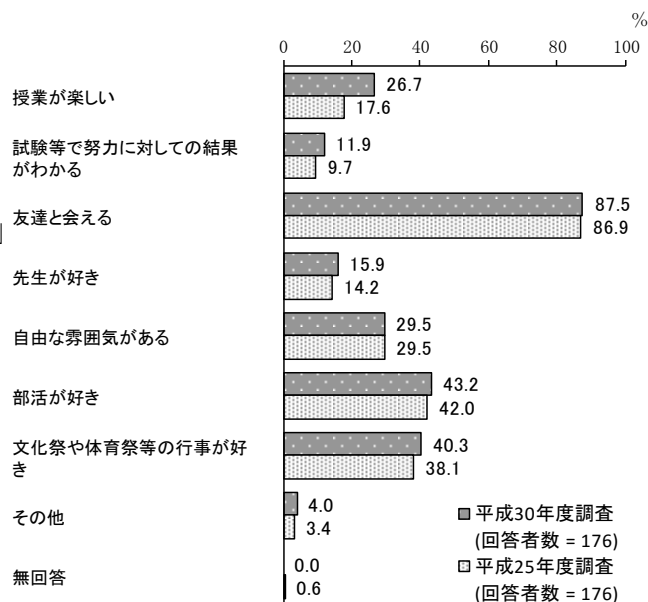
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問12 問11で「1. とても楽しい」か「2. まあまあ楽しい」に○をした方に伺います。楽しい理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

「友達と会える」の割合が87.5%と最も高く、次いで「部活が好き」の割合が43.2%、「文化祭や体育祭等の行事が好き」の割合が40.3%となっています。

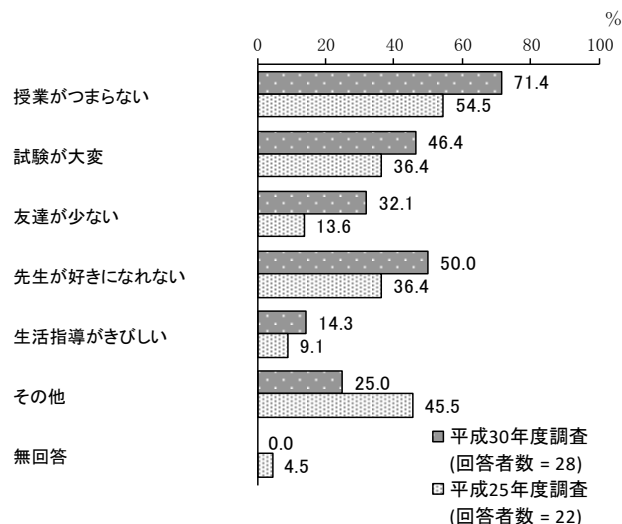
平成25年度調査と比較すると、「授業が楽しい」の割合が増加しています。



問13 問11で「3. あまり楽しくない」か「4. まったく楽しくない」に○をした方に伺います。楽しくない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

「授業がつまらない」の割合が71.4%と最も高く、次いで「先生が好きになれない」の割合が50.0%、「試験が大変」の割合が46.4%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「授業がつまらない」「試験が大変」「友達が少ない」「先生が好きになれない」「生活指導がきびしい」の割合が増加しています。

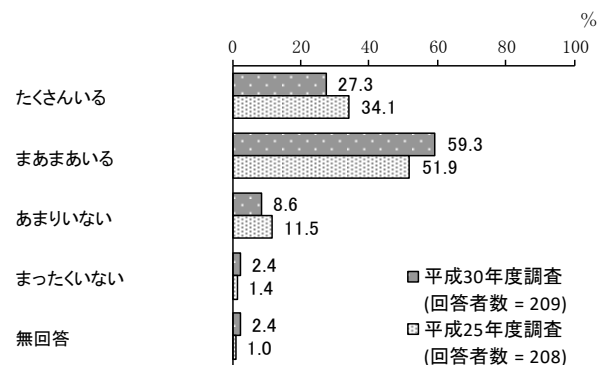


問 14 あなたと友達・クラス・学校との距離について下記の項目それぞれにあてはまるものをお答えください。(それぞれにあてはまるものを選んで○)

ア 自分の気持ちをわかってくれる友達がいる。

「まあまあいる」の割合が 59.3%と最も高く、次いで「たくさんいる」の割合が 27.3%となっています。

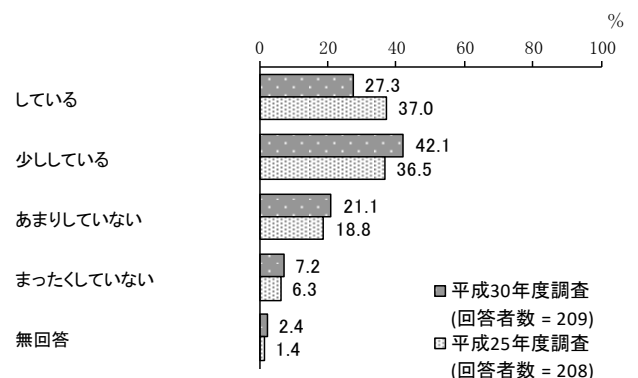
平成 25 年度調査と比較すると、「まあまあいる」の割合が増加しています。一方、「たくさんいる」の割合が減少しています。



イ 自分を友達に理解してもらおうと努力している。

「少ししている」の割合が 42.1%と最も高く、次いで「している」の割合が 27.3%、「あまりしていない」の割合が 21.1%となっています。

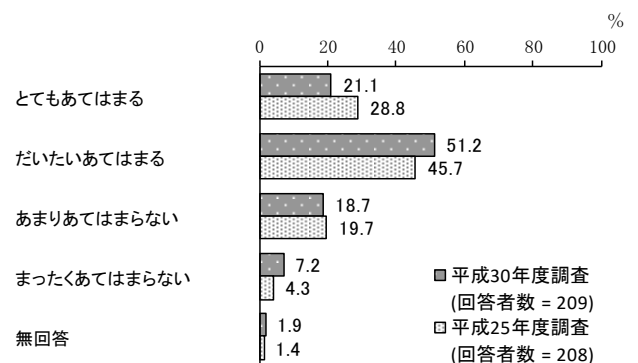
平成 25 年度調査と比較すると、「少ししている」の割合が増加しています。一方、「している」の割合が減少しています。



ウ 誰とでも仲良くなれる。

「だいたいあてはまる」の割合が 51.2%と最も高く、次いで「とてもあてはまる」の割合が 21.1%、「あまりあてはまらない」の割合が 18.7%となっています。

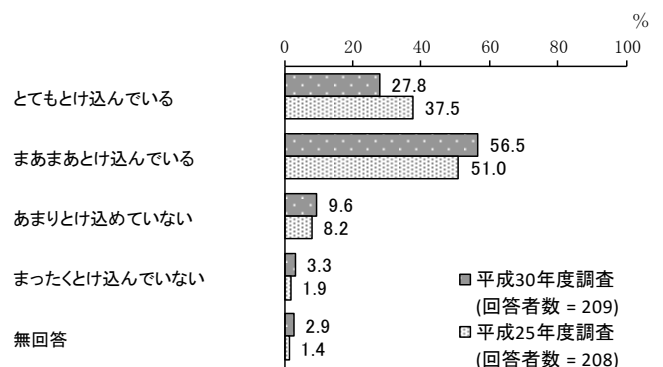
平成 25 年度調査と比較すると、「だいたいあてはまる」の割合が増加しています。一方、「とてもあてはまる」の割合が減少しています。



エ 自分はクラスにとけ込んでいる。

「まあまあとけ込んでいる」の割合が 56.5%と最も高く、次いで「とてもとけ込んでいる」の割合が 27.8%となっています。

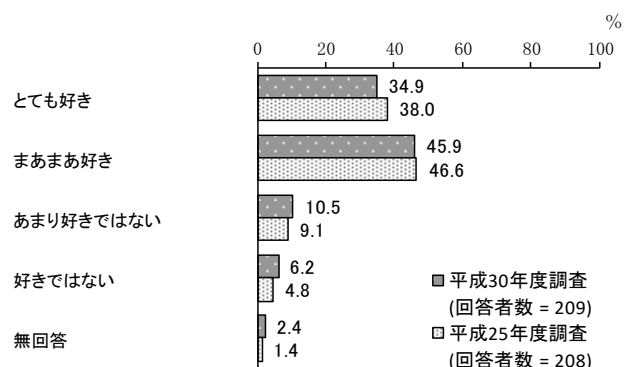
平成 25 年度調査と比較すると、「まあまあとけ込んでいる」の割合が増加しています。一方、「とてもとけ込んでいる」の割合が減少しています。



オ 今回のクラスは好きだ。

「まあまあ好き」の割合が 45.9%と最も高く、次いで「とても好き」の割合が 34.9%、「あまり好きではない」の割合が 10.5%となっています。

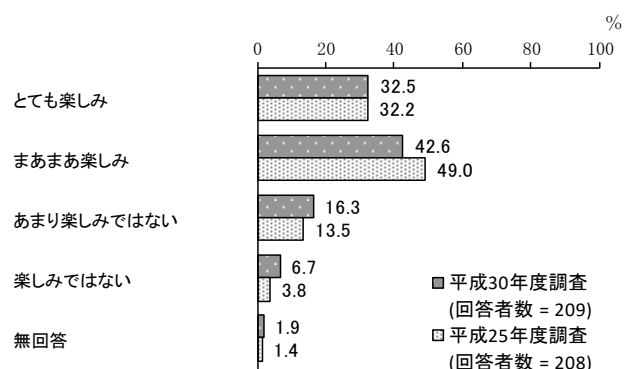
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



カ 学校に行くことが楽しみだ。

「まあまあ楽しみ」の割合が 42.6%と最も高く、次いで「とても楽しみ」の割合が 32.5%、「あまり楽しみではない」の割合が 16.3%となっています。

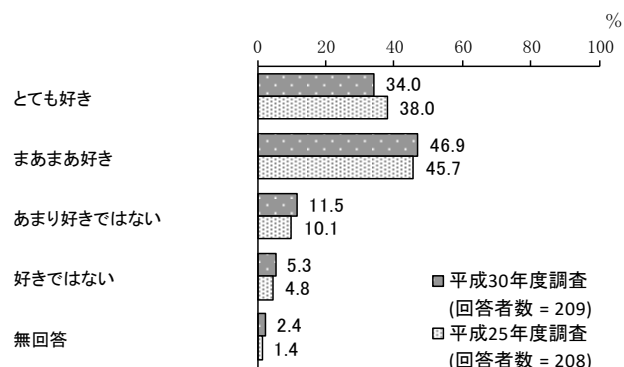
平成 25 年度調査と比較すると、「まあまあ楽しみ」の割合が減少しています。



キ 今回の学校は好きだ。

「まあまあ好き」の割合が 46.9%と最も高く、次いで「とても好き」の割合が 34.0%、「あまり好きではない」の割合が 11.5%となっています。

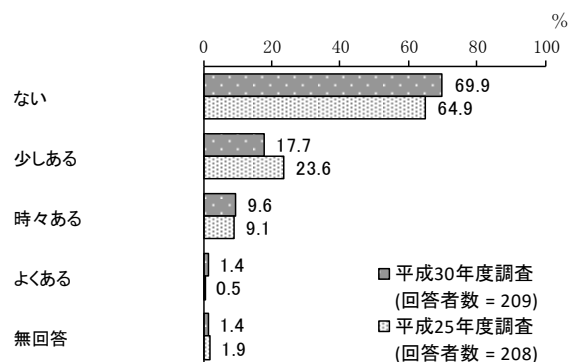
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 15 人をいじめたり、無視したことがありますか。(あてはまるもの 1 つに○)

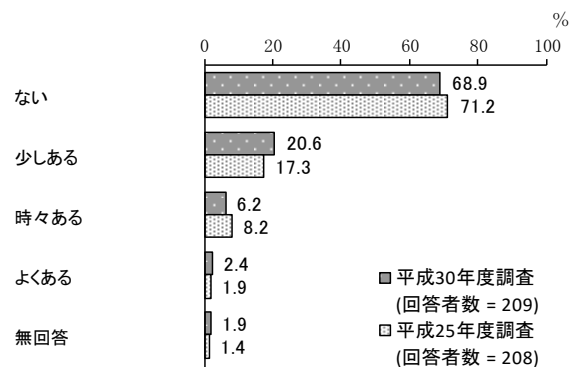
「ない」の割合が 69.9%と最も高く、次いで「少しある」の割合が 17.7%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「少しある」の割合が減少しています。



問 16 誰かにいじめられたり、無視されたことがありますか。
(あてはまるもの1つに○)

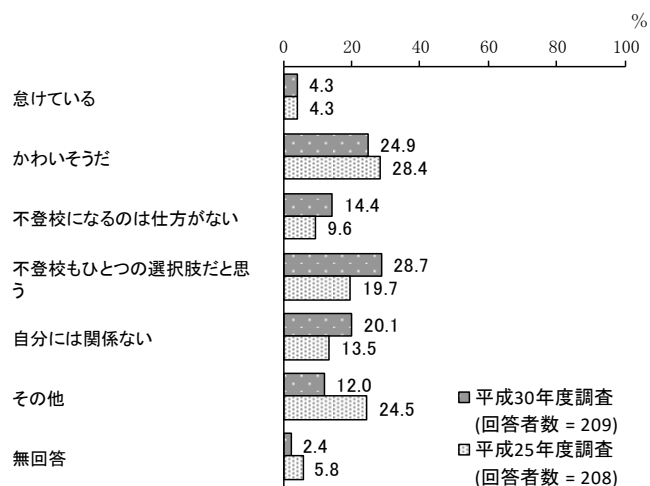
「ない」の割合が 68.9%と最も高く、次いで
「少しある」の割合が 20.6%となっています。
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化は
みられません。



問 17 身近な人で不登校になっている人について。
(それぞれにあてはまるものを選んで○)

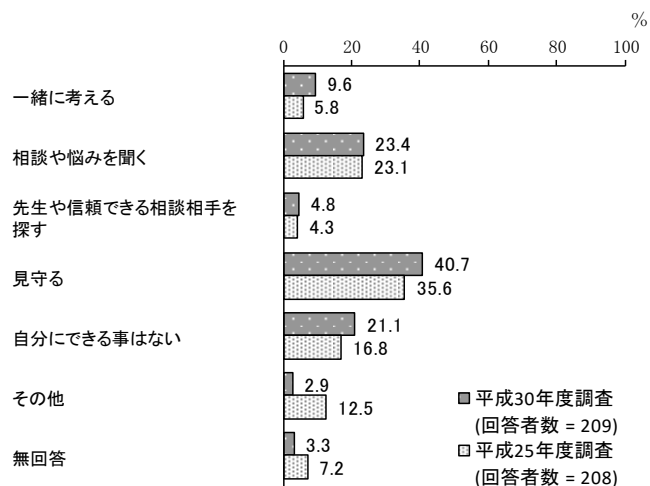
ア 不登校の人についてあなたはどのように感じていますか。

「不登校もひとつの選択肢だと思う」の割合が
28.7%と最も高く、次いで「かわいそうだ」の割
合が 24.9%、「自分には関係ない」の割合が
20.1%となっています。
平成 25 年度調査と比較すると、「不登校もひと
つの選択肢だと思う」「自分には関係ない」の割
合が増加しています。



イ 不登校の人に対して自分にできることは何だと感じていますか。

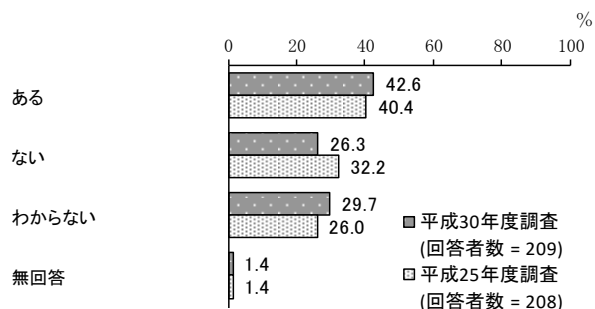
「見守る」の割合が 40.7%と最も高く、次いで
「相談や悩みを聞く」の割合が 23.4%、「自分に
できる事はない」の割合が 21.1%となっていま
す。
平成 25 年度調査と比較すると、「見守る」の割
合が増加しています。



問 18 あなたは今、悩みがありますか。(あてはまるもの 1 つに○)

「ある」の割合が 42.6%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 29.7%、「ない」の割合が 26.3%となっています。

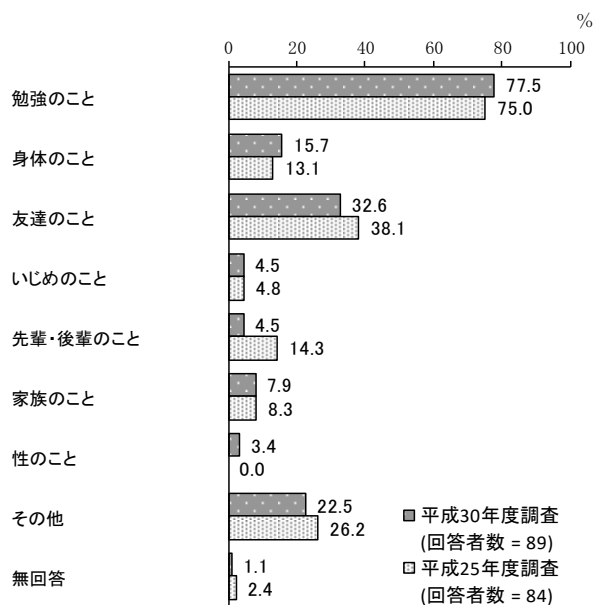
平成 25 年度調査と比較すると、「ない」の割合が減少しています。



問 19 問 18 で「1. ある」に○をした方に伺います。
どんなことに悩んでいるかをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

「勉強のこと」の割合が 77.5%と最も高く、次いで「友達のこと」の割合が 32.6%、「身体のこと」の割合が 15.7%となっています。

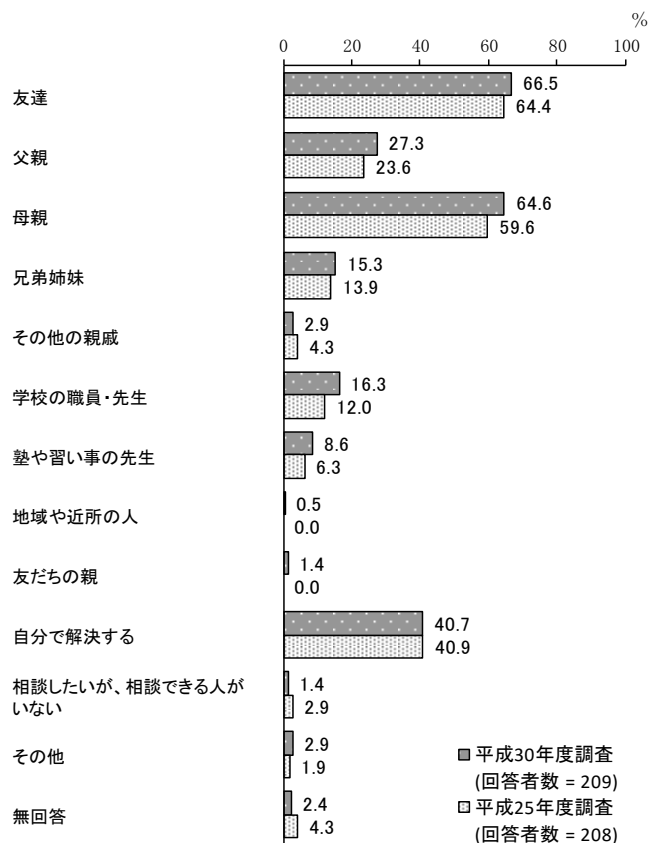
平成 25 年度調査と比較すると、「友達のこと」「先輩・後輩のこと」の割合が減少しています。



問 20 困ったとき、誰に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

「友達」の割合が 66.5%と最も高く、次いで「母親」の割合が 64.6%、「自分で解決する」の割合が 40.7%となっています。

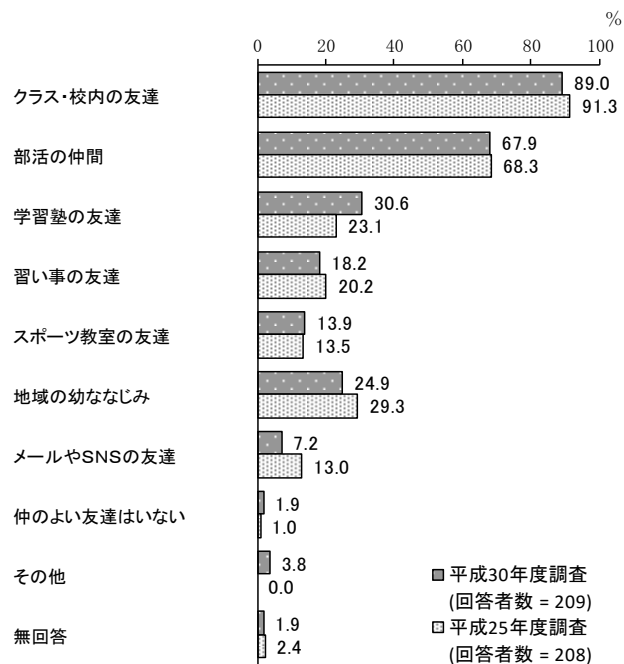
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 21 どのような仲のよい友達がありますか。(あてはまるものすべてに○)

「クラス・校内の友達」の割合が 89.0%と最も高く、次いで「部活の仲間」の割合が 67.9%、「学習塾の友達」の割合が 30.6%となっています。

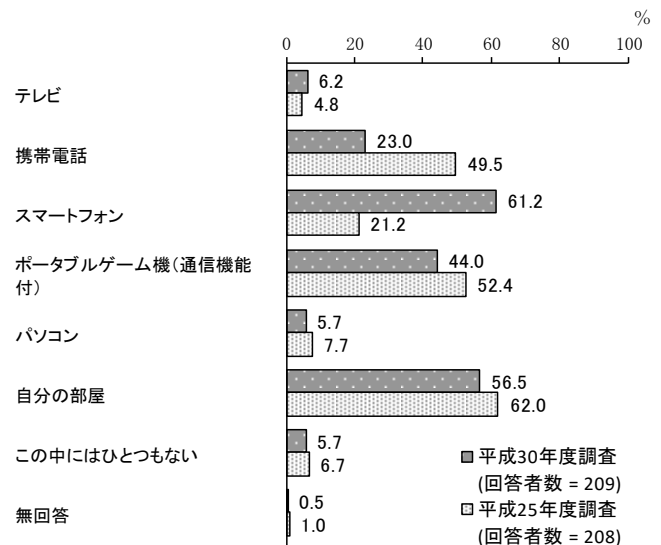
平成 25 年度調査と比較すると、「学習塾の友達」の割合が増加しています。一方、「メールやSNSの友達」の割合が減少しています。



問 22 あなたは自分専用として、次のものを持っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

「スマートフォン」の割合が 61.2%と最も高く、次いで「自分の部屋」の割合が 56.5%、「ポータブルゲーム機(通信機能付)」の割合が 44.0%となっています。

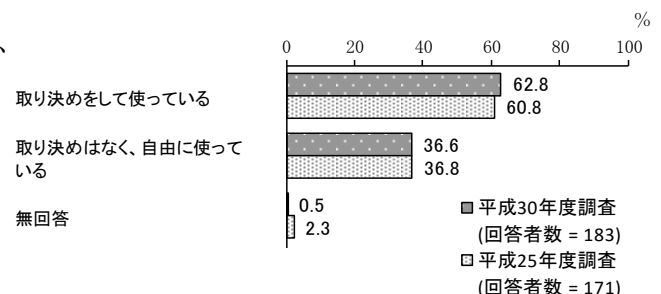
平成 25 年度調査と比較すると、「スマートフォン」の割合が増加しています。一方、「携帯電話」「ポータブルゲーム機(通信機能付)」「自分の部屋」の割合が減少しています。



問 23 自分専用として、問 22 の「2. 携帯電話」「3. スマートフォン」「4. ポータブルゲーム機」を持っている方に伺います。
利用について家族できちんと取り決めをして使っていますか。
(あてはまるもの 1 つに○)

「取り決めをして使っている」の割合が 62.8%、「取り決めはなく、自由に使っている」の割合が 36.6%となっています。

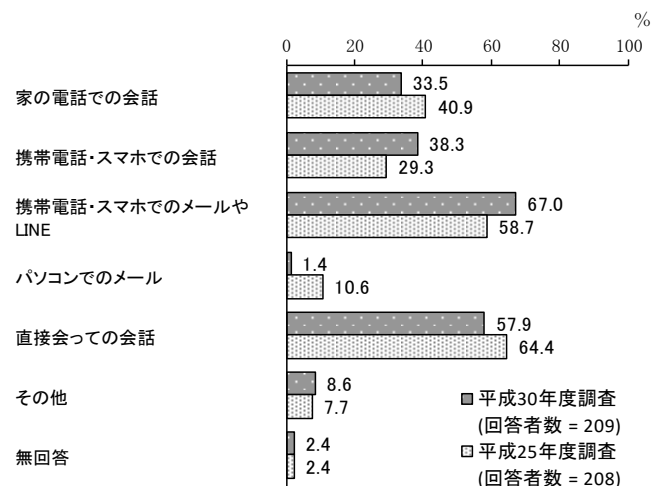
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 24 休日などに友達とコミュニケーションを図るときに使っている方法は次のうちどれですか。(よく使うもの 3 つに○)

「携帯電話・スマホでのメールやLINE」の割合が 67.0%と最も高く、次いで「直接会っての会話」の割合が 57.9%、「携帯電話・スマホでの会話」の割合が 38.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「携帯電話・スマホでの会話」「携帯電話・スマホでのメールやLINE」の割合が増加しています。一方、「家の電話での会話」「パソコンでのメール」「直接会っての会話」の割合が減少しています。

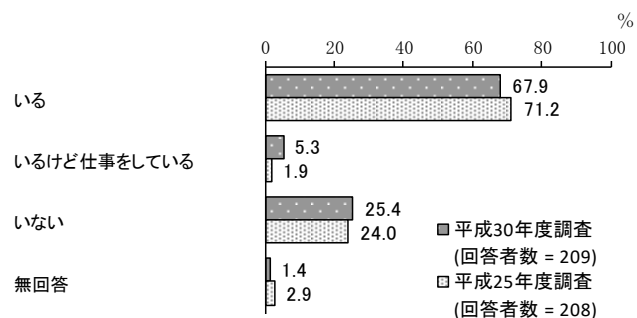


(4) 放課後や休日について

問 25 ふだん学校が終わって家に帰ると、家に誰かいますか。
(あてはまるもの1つに○)

「いる」の割合が 67.9%と最も高く、次いで
「いない」の割合が 25.4%となっています。

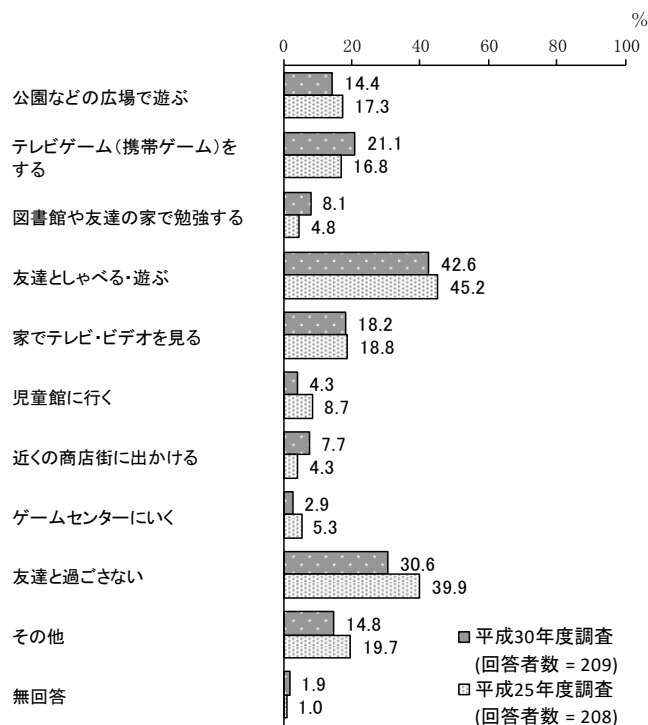
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化は
みられません。



問 26 学校が終わってから友達とどんな事をして過ごしていますか。
(あてはまるもの3つまで○)

「友達としゃべる・遊ぶ」の割合が 42.6%と最
も高く、次いで「友達と過ごさない」の割合が
30.6%、「テレビゲーム(携帯ゲーム)をする」の
割合が 21.1%となっています。

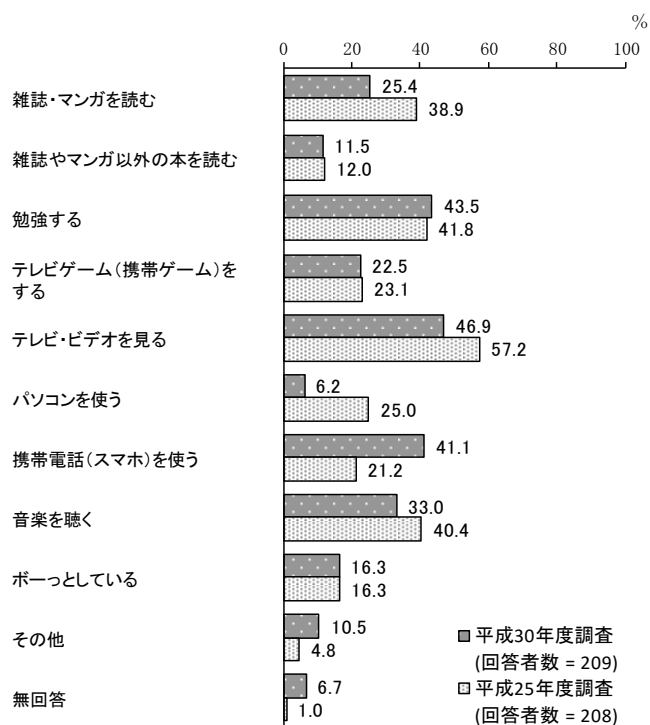
平成 25 年度調査と比較すると、「友達と過ごさ
ない」の割合が減少しています。



問 27 自宅に1人でいる時はどんなふうに過ごしていますか。
(あてはまるもの3つまで○)

「テレビ・ビデオを見る」の割合が46.9%と最も高く、次いで「勉強する」の割合が43.5%、「携帯電話(スマホ)を使う」の割合が41.1%となっています。

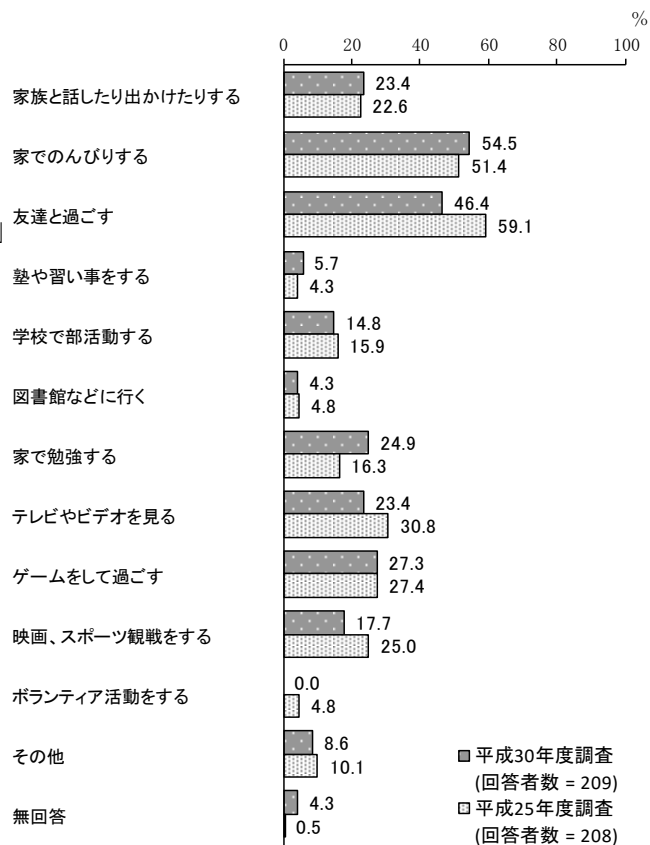
平成25年度調査と比較すると、「携帯電話(スマホ)を使う」の割合が増加しています。一方、「雑誌・マンガを読む」「テレビ・ビデオを見る」「パソコンを使う」「音楽を聴く」の割合が減少しています。



問 28 自由な時間が今より増えたらどんなことをして過ごしたいですか。
(あてはまるもの3つまで○)

「家ででのんびりする」の割合が54.5%と最も高く、次いで「友達と過ごす」の割合が46.4%、「ゲームをして過ごす」の割合が27.3%となっています。

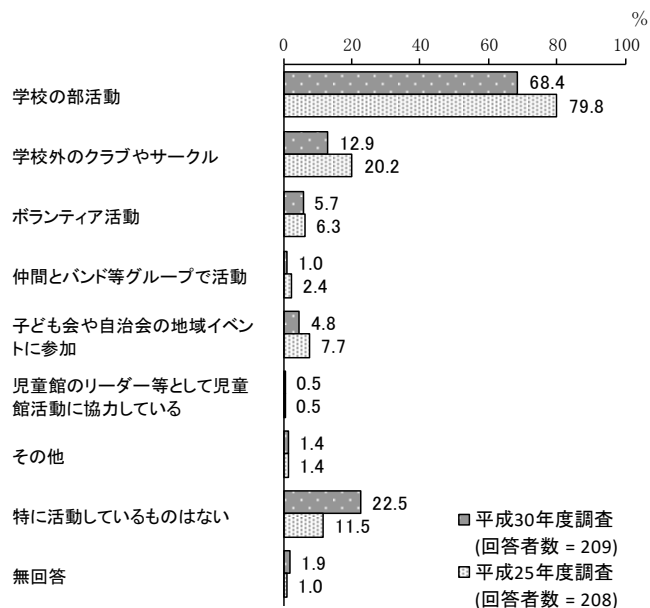
平成25年度調査と比較すると、「家で勉強する」の割合が増加しています。一方、「友達と過ごす」「テレビやビデオを見る」「映画、スポーツ観戦をする」の割合が減少しています。



問 29 普段、学校や地域で活動している事について（あてはまるものすべてに○）

「学校の部活動」の割合が 68.4%と最も高く、次いで「特に活動しているものはない」の割合が 22.5%、「学校外のクラブやサークル」の割合が 12.9%となっています。

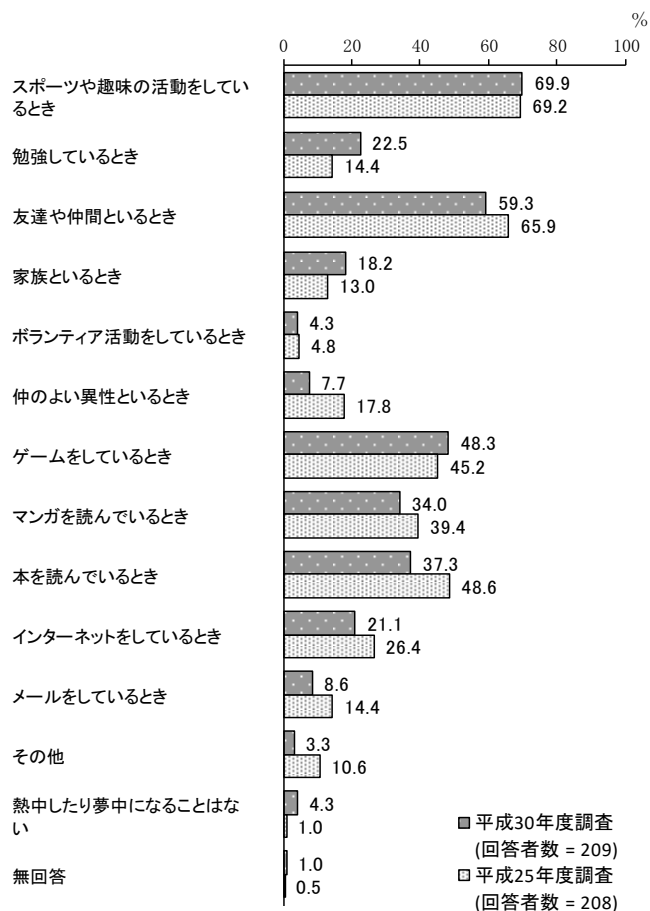
平成 25 年度調査と比較すると、「特に活動しているものはない」の割合が増加しています。一方、「学校の部活動」「学校外のクラブやサークル」の割合が減少しています。



問 30 あなたが何かに熱中したり夢中になれるのはどんなときですか。（あてはまるものすべてに○）

「スポーツや趣味の活動をしているとき」の割合が 69.9%と最も高く、次いで「友達や仲間といるとき」の割合が 59.3%、「ゲームをしているとき」の割合が 48.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「勉強しているとき」「家族といるとき」の割合が増加しています。一方、「友達や仲間といるとき」「仲のよい異性といるとき」「マンガを読んでいるとき」「本を読んでいるとき」「インターネットをしているとき」「メールをしているとき」の割合が減少しています。

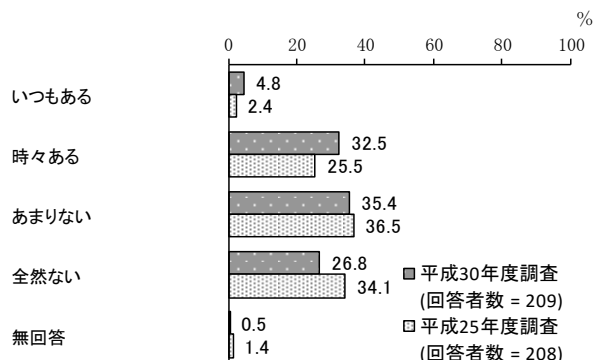


問 31 あなたが友達といるとき、次のように感じることがありますか。
(①～⑦それぞれあてはまる番号に○)

ア 友達の言いなりになってしまう

「あまりない」の割合が 35.4%と最も高く、次いで「時々ある」の割合が 32.5%、「全然ない」の割合が 26.8%となっています。

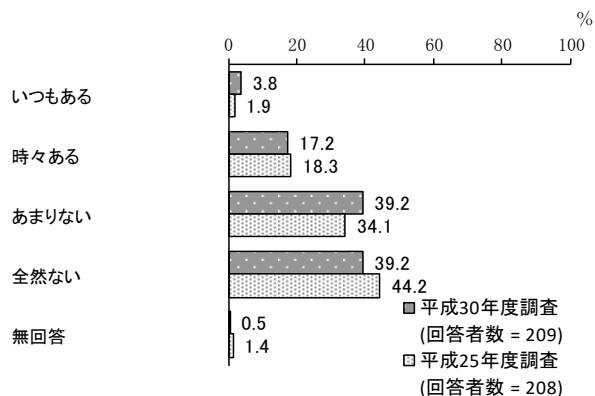
平成 25 年度調査と比較すると、「時々ある」の割合が増加しています。一方、「全然ない」の割合が減少しています。



イ 大勢の仲間といると仲間はずれにいったように感じる

「あまりない」、「全然ない」の割合が 39.2%と最も高く、次いで「時々ある」の割合が 17.2%となっています。

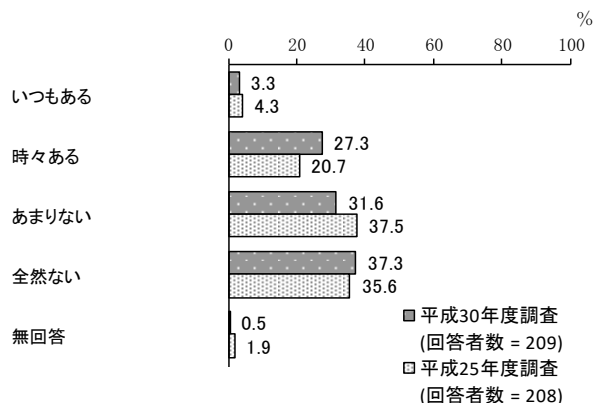
平成 25 年度調査と比較すると、「あまりない」の割合が増加しています。一方、「全然ない」の割合が減少しています。



ウ 友達といるとき自分が無理をしていると感じる

「全然ない」の割合が 37.3%と最も高く、次いで「あまりない」の割合が 31.6%、「時々ある」の割合が 27.3%となっています。

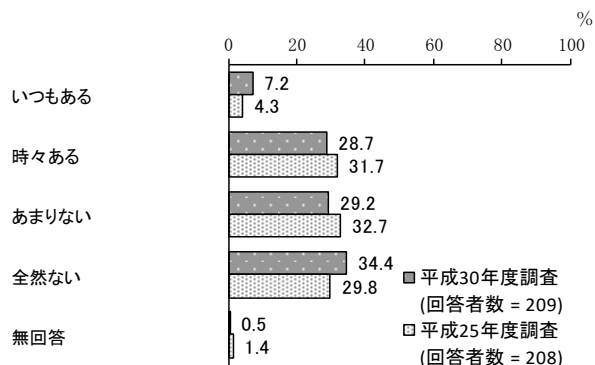
平成 25 年度調査と比較すると、「時々ある」の割合が増加しています。一方、「あまりない」の割合が減少しています。



エ 人前で思っていることをうまくいえない

「全然ない」の割合が 34.4%と最も高く、次いで「あまりない」の割合が 29.2%、「時々ある」の割合が 28.7%となっています。

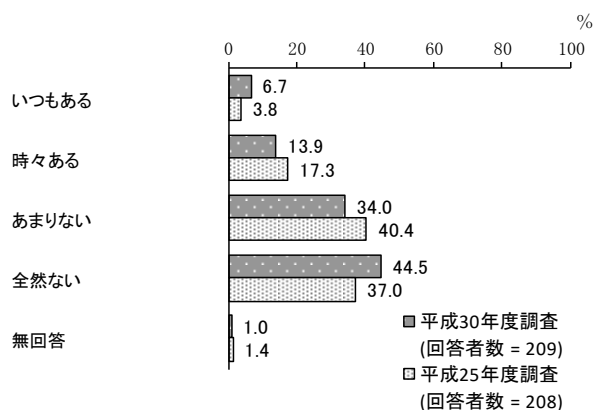
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



オ 友達から頼まれると断れない自分が嫌い

「全然ない」の割合が 44.5%と最も高く、次いで「あまりない」の割合が 34.0%、「時々ある」の割合が 13.9%となっています。

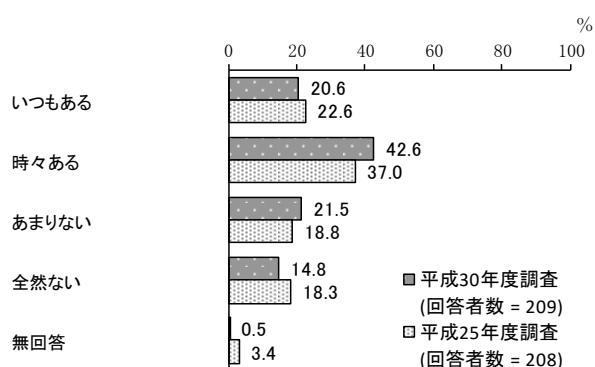
平成 25 年度調査と比較すると、「全然ない」の割合が増加しています。一方、「あまりない」の割合が減少しています。



カ 自分がどう見られているか気になる

「時々ある」の割合が 42.6%と最も高く、次いで「あまりない」の割合が 21.5%、「いつもある」の割合が 20.6%となっています。

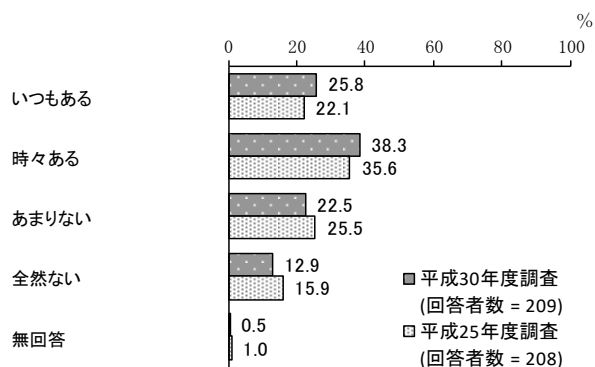
平成 25 年度調査と比較すると、「時々ある」の割合が増加しています。



キ 友達に気に入られたいと思う

「時々ある」の割合が 38.3%と最も高く、次いで「いつもある」の割合が 25.8%、「あまりない」の割合が 22.5%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(5) あなたの将来について

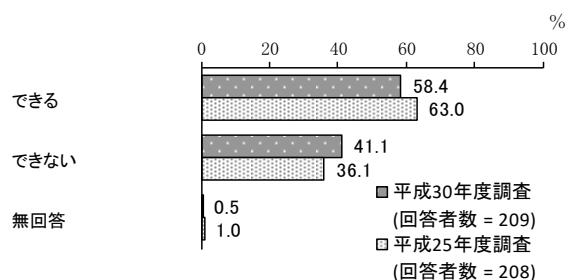
問 32 将来の職業についてお聞きます。(それぞれにあてはまるものを選んで○)

ア 将来の職業のイメージをぼんやりとでも思い描くことはできますか。

(あてはまるもの 1 つに○)

「できる」の割合が 58.4%、「できない」の割合が 41.1%となっています。

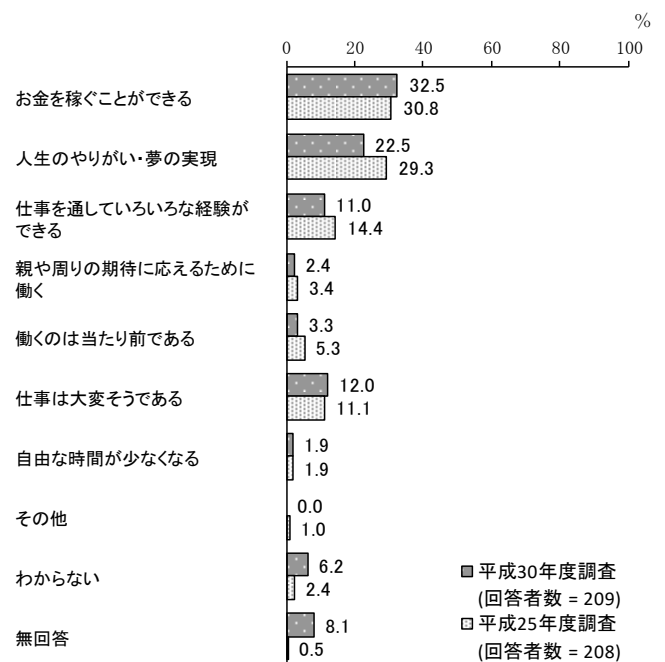
平成 25 年度調査と比較すると、「できない」の割合が増加しています。



イ 仕事に対するイメージについて、あなたの考えをお答えください。(最も近いもの1つに○)

「お金を稼ぐことができる」の割合が32.5%と最も高く、次いで「人生のやりがい・夢の実現」の割合が22.5%、「仕事は大変そうである」の割合が12.0%となっています。

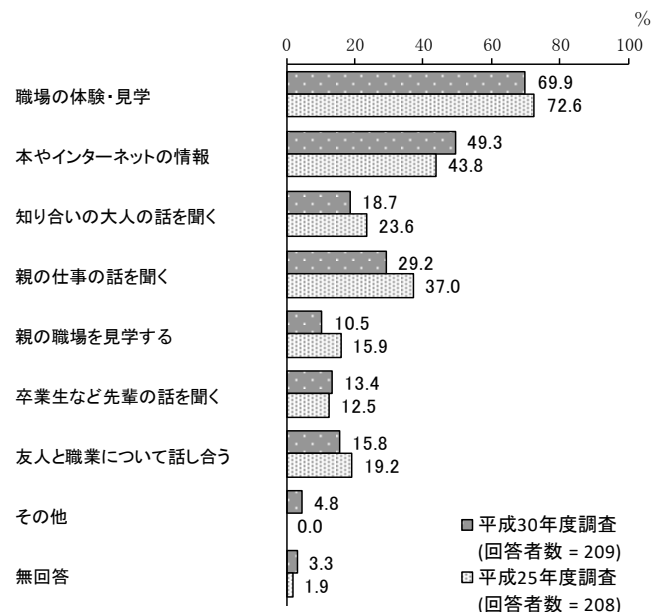
平成25年度調査と比較すると、「人生のやりがい・夢の実現」の割合が減少しています。



ウ 職業のイメージを具体的にするために役立つものはなんだと思いますか。(あてはまるもの3つまで○)

「職場の体験・見学」の割合が69.9%と最も高く、次いで「本やインターネットの情報」の割合が49.3%、「親の仕事の話を聞く」の割合が29.2%となっています。

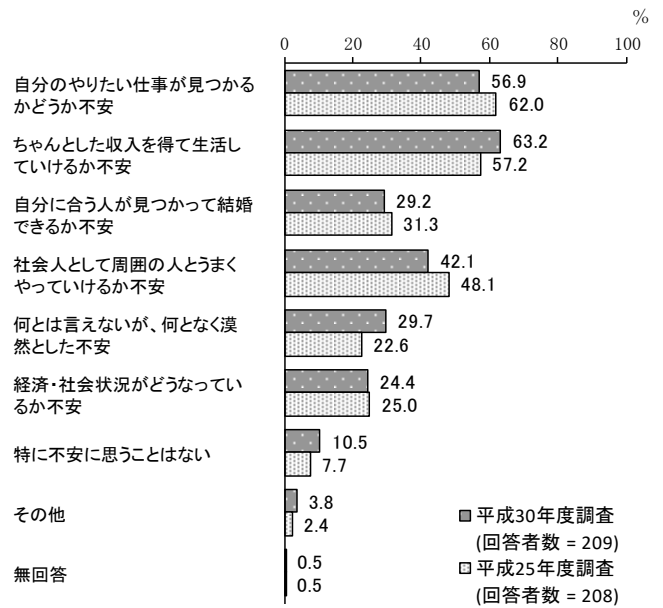
平成25年度調査と比較すると、「本やインターネットの情報」の割合が増加しています。一方、「親の仕事の話を聞く」「親の職場を見学する」の割合が減少しています。



問 33 学業を終えて社会に出た時の事を考えて、どのようなことを不安に思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

「ちゃんとした収入を得て生活していけるか不安」の割合が 63.2%と最も高く、次いで「自分のやりたい仕事が見つかるかどうか不安」の割合が 56.9%、「社会人として周囲の人とうまくやっていけるか不安」の割合が 42.1%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「ちゃんとした収入を得て生活していけるか不安」「何とは言えないが、何となく漠然とした不安」の割合が増加しています。一方、「自分のやりたい仕事が見つかるかどうか不安」「社会人として周囲の人とうまくやっていけるか不安」の割合が減少しています。

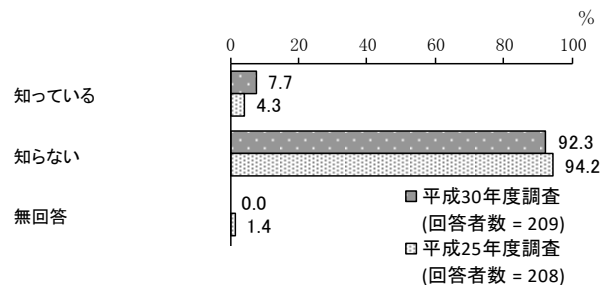


(6) 子どもの権利について

問 34 「日野市子ども条例」を知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

「知っている」の割合が 7.7%、「知らない」の割合が 92.3%となっています。

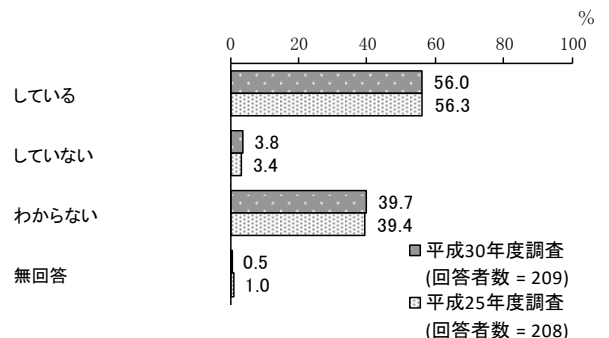
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 35 あなたは、自分を大切にしていますか。(あてはまるもの1つに○)

「している」の割合が 56.0%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 39.7%となっています。

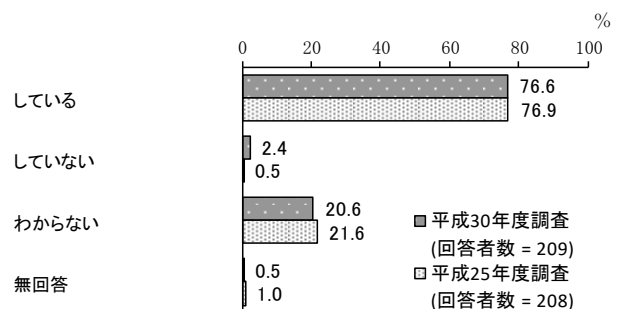
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 36 あなたは、他の人を大切にしていますか。(あてはまるもの1つに○)

「している」の割合が 76.6%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 20.6%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

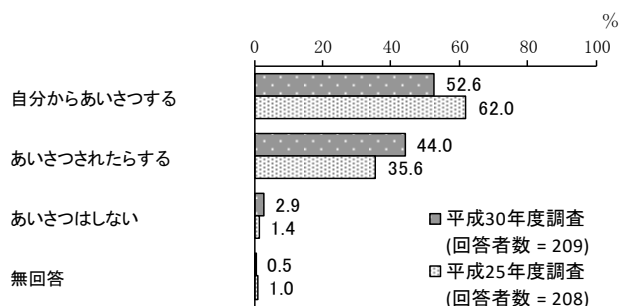


(7) 社会環境について

問 37 近所の人とあいさつしますか。(あてはまるもの1つに○)

「自分からあいさつする」の割合が 52.6%と最も高く、次いで「あいさつされたらする」の割合が 44.0%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「あいさつされたらする」の割合が増加しています。一方、「自分からあいさつする」の割合が減少しています。

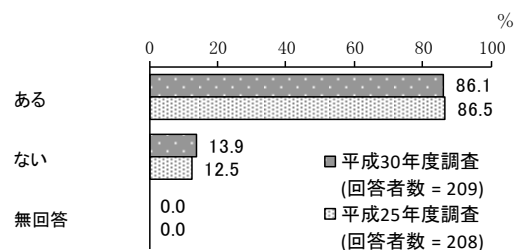


問 38 親や学校の先生以外の大人からほめられたり、注意されたことがありますか。(それぞれにあてはまるものを選んで○)

ア ほめられたこと。

「ある」の割合が 86.1%、「ない」の割合が 13.9%となっています。

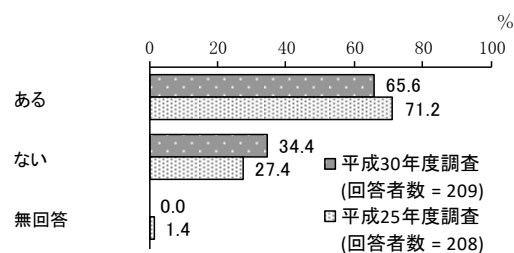
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



イ 注意されたこと。

「ある」の割合が 65.6%、「ない」の割合が 34.4%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「ない」の割合が増加しています。一方、「ある」の割合が減少しています。

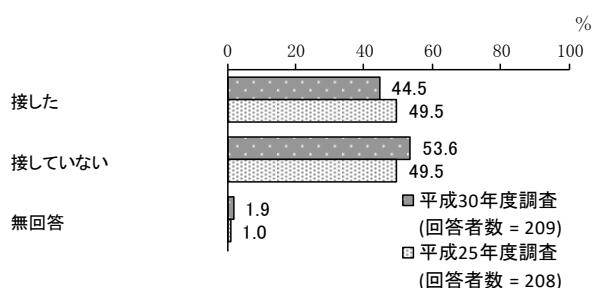


問 39 小学校にまだ通っていない小さな子どもと接することについてお聞きします。(それぞれにあてはまるものを選んで○)

ア 最近、小さい子どもと接しましたか。

「接した」の割合が 44.5%、「接していない」の割合が 53.6%となっています。

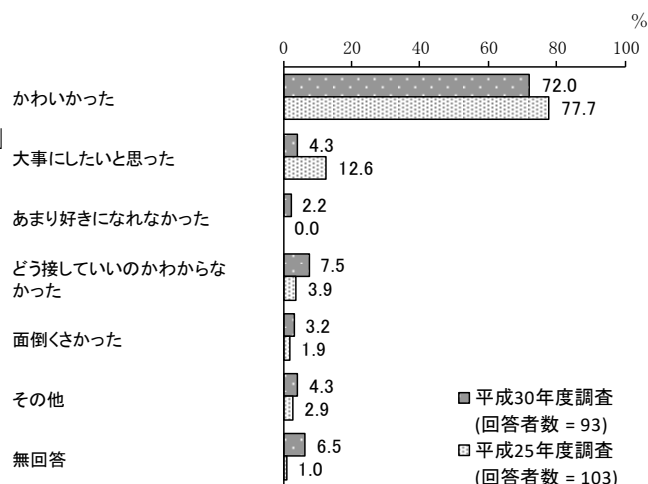
平成 25 年度調査と比較すると、「接した」の割合が減少しています。



イ 問 39①で「1. 接した」に○をした方に伺います。接してみてどう感じましたか。
(あてはまるもの1つに○)

「かわいかった」の割合が72.0%と最も高くなっています。

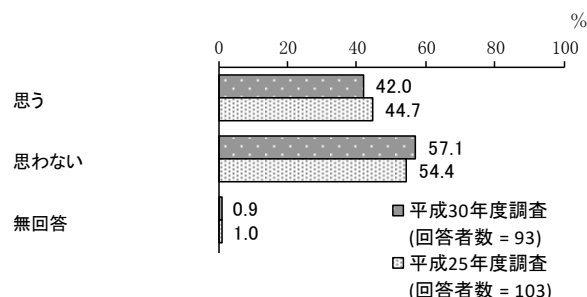
平成25年度調査と比較すると、「かわいかった」「大事にしたいと思った」の割合が減少しています。



ウ 問 39①で「2. 接していない」に○をした方に伺います。接してみたいと思いますか。

「思う」の割合が42.0%、「思わない」の割合が57.1%となっています。

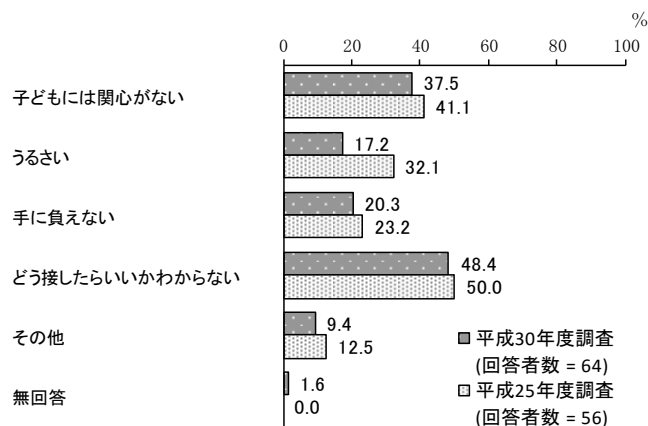
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



エ 問 39③で「2. 思わない」に○をした方に伺います。その理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「どう接したらいいかわからない」の割合が48.4%と最も高く、次いで「子どもには関心がない」の割合が37.5%、「手に負えない」の割合が20.3%となっています。

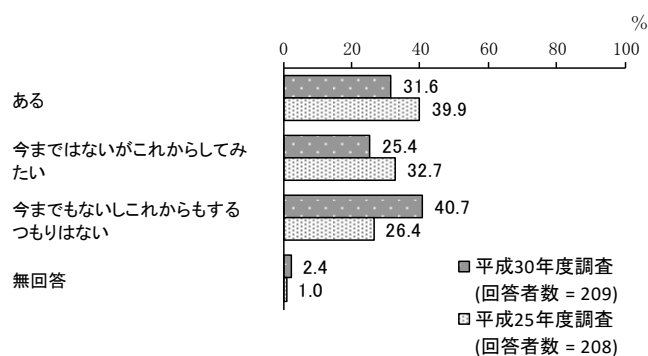
平成25年度調査と比較すると、「うるさい」の割合が減少しています。



**問 40 放課後、休日、夏休みなどにボランティアをしたことがありますか。
(あてはまるもの1つに○)**

「今までもないしこれからするつもりはない」の割合が40.7%と最も高く、次いで「ある」の割合が31.6%、「今まではないがこれからしてみたい」の割合が25.4%となっています。

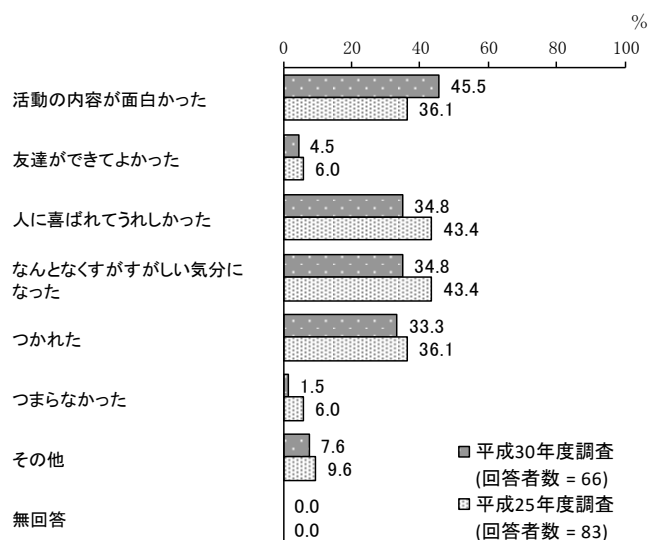
平成25年度調査と比較すると、「今までもないしこれからするつもりはない」の割合が増加しています。一方、「ある」「今まではないがこれからしてみたい」の割合が減少しています。



**問 41 問 40 で「1. ある」に○をした方に伺います。
ボランティアをしてみてどう感じましたか。(あてはまるものすべてに○)**

「活動の内容が面白かった」の割合が45.5%と最も高く、次いで「人に喜ばれてうれしかった」、「なんとなくすがすがしい気分になった」の割合が34.8%となっています。

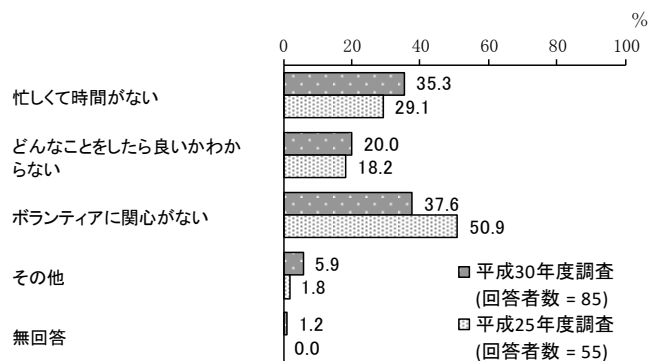
平成25年度調査と比較すると、「活動の内容が面白かった」の割合が増加しています。一方、「人に喜ばれてうれしかった」「なんとなくすがすがしい気分になった」の割合が減少しています。



問 42 問 40 で「3. 今までもないしこれからするつもりはない」に○をした方に伺います。それはどうしてですか。(あてはまるもの1つに○)

「ボランティアに関心がない」の割合が37.6%と最も高く、次いで「忙しくて時間がない」の割合が35.3%、「どんなことをしたら良いかわからない」の割合が20.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「忙しくて時間がない」の割合が増加しています。一方、「ボランティアに関心がない」の割合が減少しています。

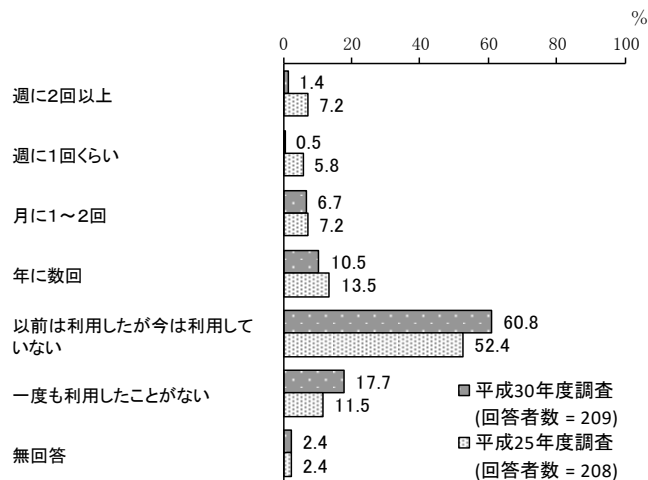


問 43 児童館の利用についてお聞きします。(それぞれにあてはまるものを選んで○)

ア 現在、どの程度児童館を利用していますか。(あてはまるもの1つに○)

「以前は利用したが今は利用していない」の割合が60.8%と最も高く、次いで「一度も利用したことがない」の割合が17.7%、「年に数回」の割合が10.5%となっています。

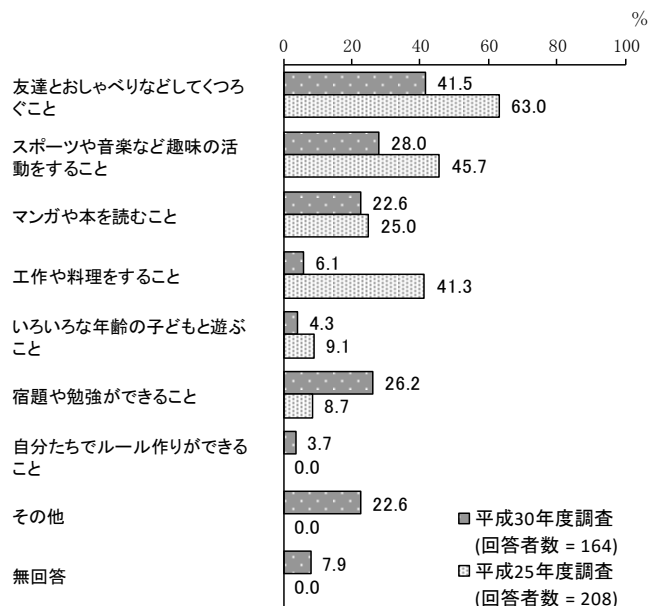
平成25年度調査と比較すると、「以前は利用したが今は利用していない」「一度も利用したことがない」の割合が増加しています。一方、「週に2回以上」「週に1回くらい」の割合が減少しています。



イ 上記ア で「5. 以前は利用したが今は利用していない」「6. 一度も利用したことがない」に○をした方に伺います。どんなことができれば児童館を利用したいですか。(あてはまるものすべてに○)

「友達とおしゃべりなどしてくつろぐこと」の割合が41.5%と最も高く、次いで「スポーツや音楽など趣味の活動をする事」の割合が28.0%、「宿題や勉強ができること」の割合が26.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「宿題や勉強ができること」の割合が増加しています。一方、「友達とおしゃべりなどしてくつろぐこと」「スポーツや音楽など趣味の活動をする事」「工作や料理をする事」「0」の割合が減少しています。

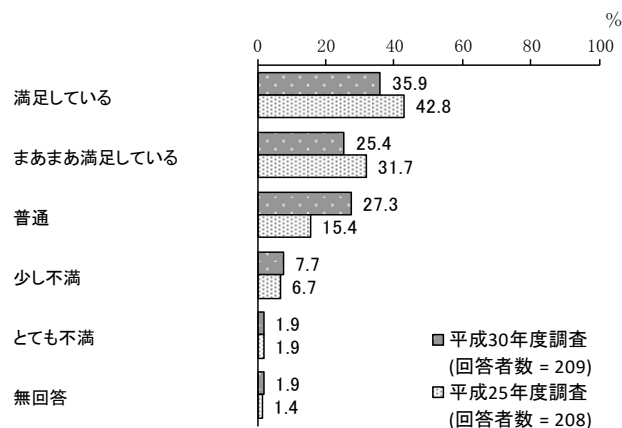


(8) 最後に

問 44 今の生活についてどう思いますか。(あてはまるもの1つに○)

「満足している」の割合が 35.9%と最も高く、次いで「普通」の割合が 27.3%、「まあまあ満足している」の割合が 25.4%となっています。

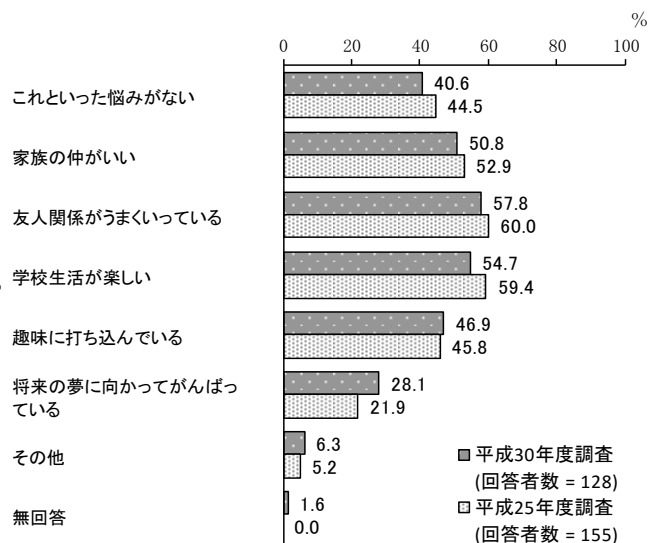
平成 25 年度調査と比較すると、「普通」の割合が増加しています。一方、「満足している」「まあまあ満足している」の割合が減少しています。



問 45 問 44 で「1. 満足している」か「2. まあまあ満足している」を選んだ方に伺います。そう思う理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

「友人関係がうまくいっている」の割合が 57.8%と最も高く、次いで「学校生活が楽しい」の割合が 54.7%、「家族の仲がいい」の割合が 50.8%となっています。

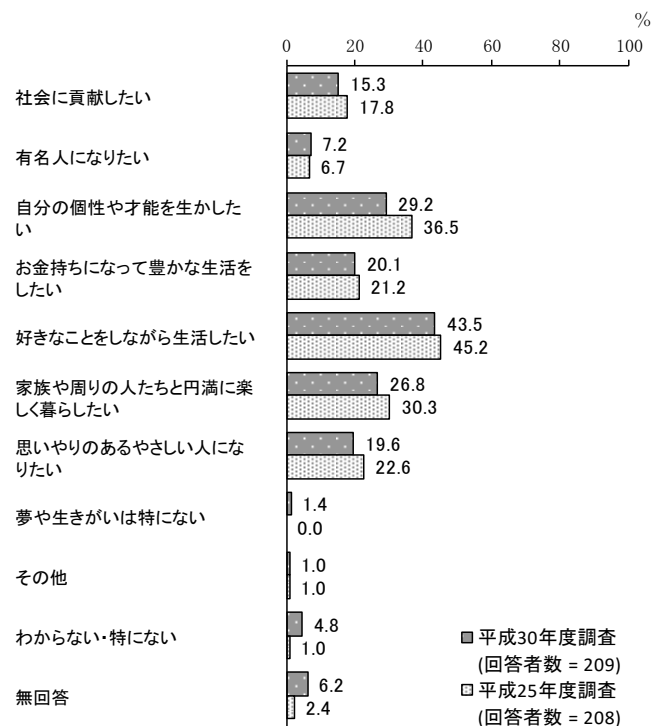
平成 25 年度調査と比較すると、「将来の夢に向かってがんばっている」の割合が増加しています。



問 46 あなたは、将来どのような大人になりたいですか。
(最も近いものを2つまで○をしてください)

「好きなことをしながら生活したい」の割合が43.5%と最も高く、次いで「自分の個性や才能を生かしたい」の割合が29.2%、「家族や周りの人々と円満に楽しく暮らしたい」の割合が26.8%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「自分の個性や才能を生かしたい」の割合が減少しています。



4 高校生

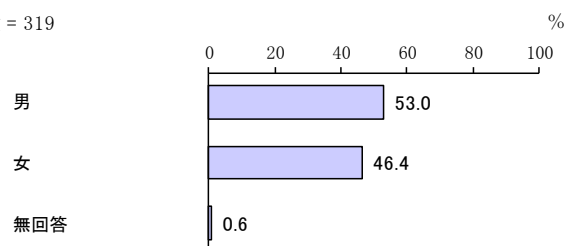
(1) あなたの事について

問1 あなたの性別・学年をお答えください。(それぞれにあてはまるものを選んで○)

ア 性別

「男」の割合が 53.0%、「女」の割合が 46.4%
となっています。

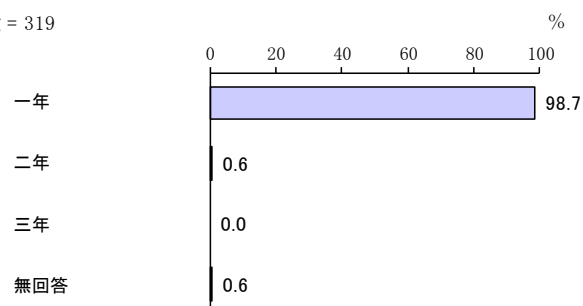
回答者数 = 319



イ 学年

「一年」の割合が 98.7%と最も高くなっています。

回答者数 = 319

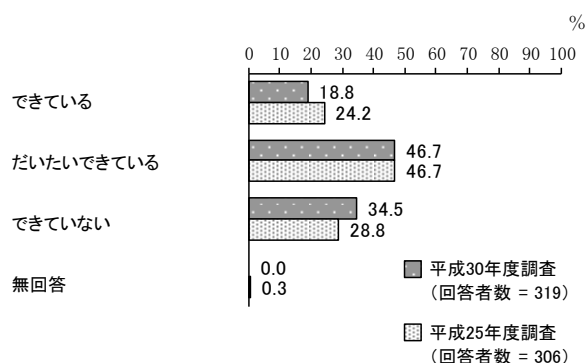


問2 普段から次のことをしていますか。(それぞれにあてはまるものを選んで○)

ア 早寝早起きをする

「だいたいできている」の割合が 46.7%と最も高く、次いで「できていない」の割合が 34.5%、
「できている」の割合が 18.8%となっています。

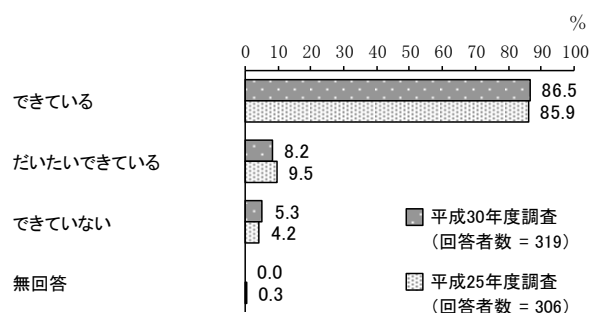
平成 25 年度調査 と比較すると、「できていない」の割合が増加しています。一方、「できている」の割合が減少しています。



イ 朝食をとる

「できている」の割合が 86.5%と最も高くなっています。

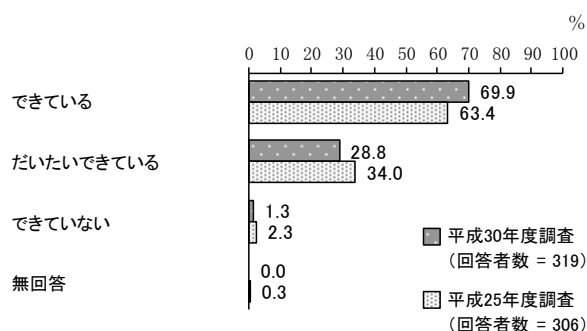
平成 25 年度調査 と比較すると、大きな変化はみられません。



ウ あいさつ・お礼をする

「できている」の割合が69.9%と最も高く、次いで「だいたいできている」の割合が28.8%となっています。

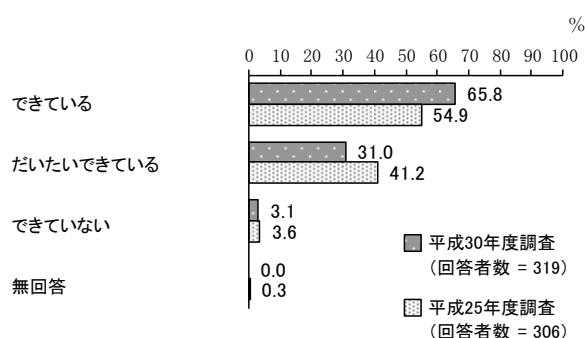
平成25年度調査と比較すると、「できている」の割合が増加しています。一方、「だいたいできている」の割合が減少しています。



エ 物を大切に使う

「できている」の割合が65.8%と最も高く、次いで「だいたいできている」の割合が31.0%となっています。

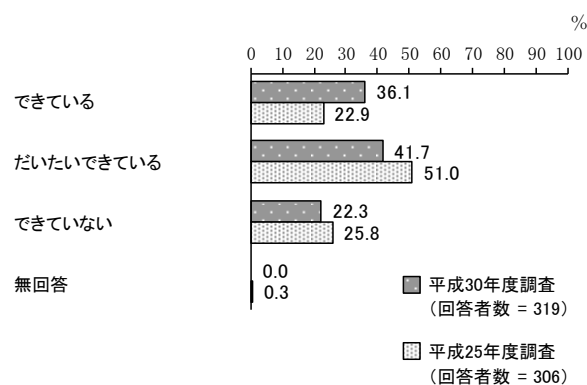
平成25年度調査と比較すると、「できている」の割合が増加しています。一方、「だいたいできている」の割合が減少しています。



オ お手伝いをする

「だいたいできている」の割合が41.7%と最も高く、次いで「できている」の割合が36.1%、「できていない」の割合が22.3%となっています。

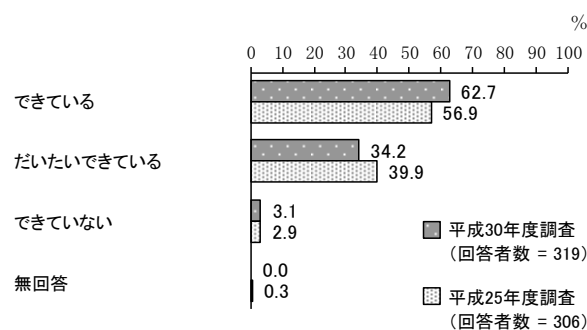
平成25年度調査と比較すると、「できている」の割合が増加しています。一方、「だいたいできている」の割合が減少しています。



カ 約束を守る

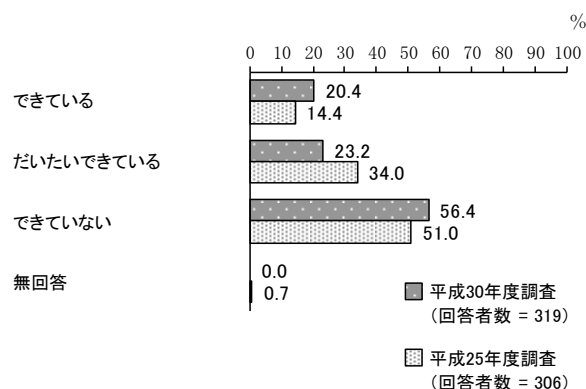
「できている」の割合が62.7%と最も高く、次いで「だいたいできている」の割合が34.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「できている」の割合が増加しています。一方、「だいたいできている」の割合が減少しています。



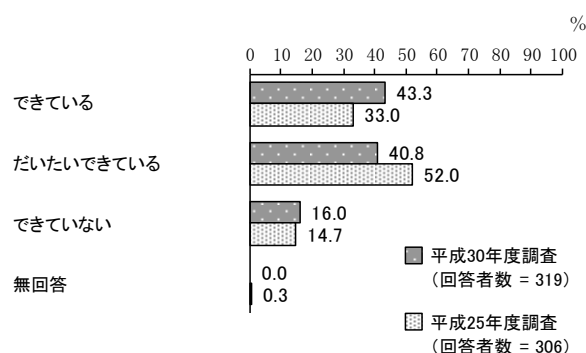
キ 料理をする

「できていない」の割合が56.4%と最も高く、次いで「だいたいできている」の割合が23.2%、「できている」の割合が20.4%となっています。平成25年度調査と比較すると、「できている」「できていない」の割合が増加しています。一方、「だいたいできている」の割合が減少しています。



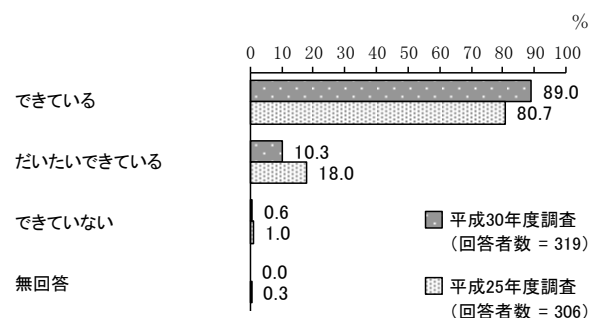
ク 後片付けをする

「できている」の割合が43.3%と最も高く、次いで「だいたいできている」の割合が40.8%、「できていない」の割合が16.0%となっています。平成25年度調査と比較すると、「できている」の割合が増加しています。一方、「だいたいできている」の割合が減少しています。



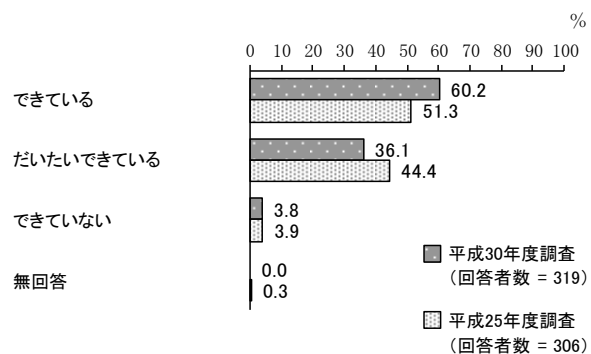
ケ からだを清潔に保つ

「できている」の割合が89.0%と最も高く、次いで「だいたいできている」の割合が10.3%となっています。平成25年度調査と比較すると、「できている」の割合が増加しています。一方、「だいたいできている」の割合が減少しています。



コ 公共の場所で騒がない

「できている」の割合が60.2%と最も高く、次いで「だいたいできている」の割合が36.1%となっています。平成25年度調査と比較すると、「できている」の割合が増加しています。一方、「だいたいできている」の割合が減少しています。

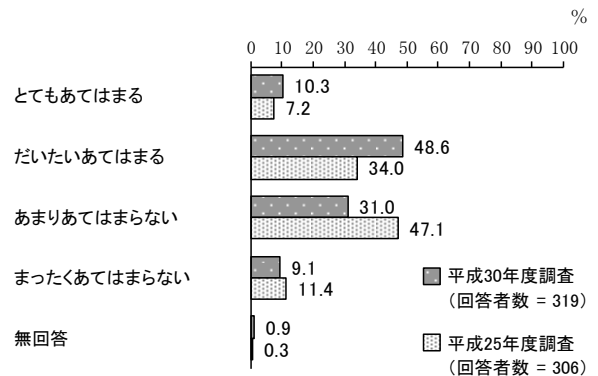


問3 次のことはあなたにどのくらいあてはまりますか。
(それぞれにあてはまるものを選んで○)

ア 自分のことが好きである

「だいたいあてはまる」の割合が48.6%と最も高く、次いで「あまりあてはまらない」の割合が31.0%、「とてもあてはまる」の割合が10.3%となっています。

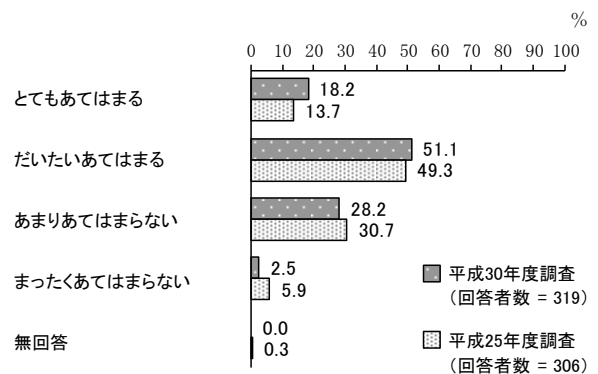
平成25年度調査と比較すると、「だいたいあてはまる」の割合が増加しています。一方、「あまりあてはまらない」の割合が減少しています。



イ 人前で自分の意見をきちんと言える

「だいたいあてはまる」の割合が51.1%と最も高く、次いで「あまりあてはまらない」の割合が28.2%、「とてもあてはまる」の割合が18.2%となっています。

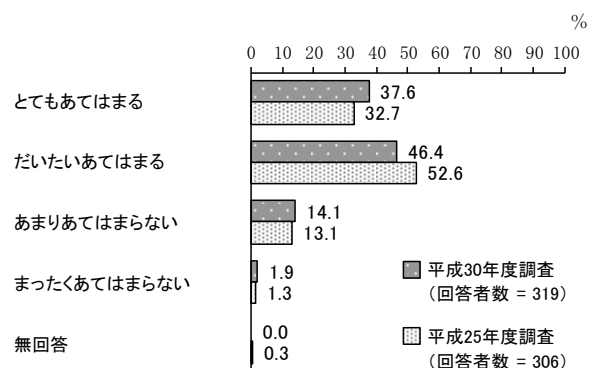
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



ウ 自分に自信がなくなる時がある

「だいたいあてはまる」の割合が46.4%と最も高く、次いで「とてもあてはまる」の割合が37.6%、「あまりあてはまらない」の割合が14.1%となっています。

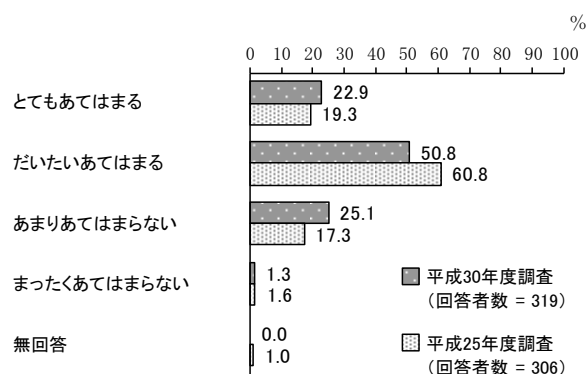
平成25年度調査と比較すると、「だいたいあてはまる」の割合が減少しています。



エ 困難があっても最後までやりとげようとする

「だいたいあてはまる」の割合が50.8%と最も高く、次いで「あまりあてはまらない」の割合が25.1%、「とてもあてはまる」の割合が22.9%となっています。

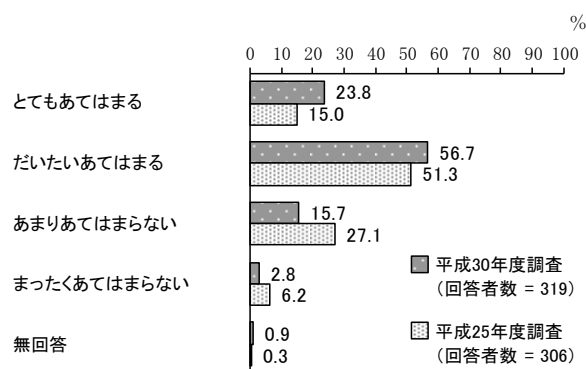
平成25年度調査と比較すると、「あまりあてはまらない」の割合が増加しています。一方、「だいたいあてはまる」の割合が減少しています。



オ 自分は愛されていると感じる

「だいたいあてはまる」の割合が56.7%と最も高く、次いで「とてもあてはまる」の割合が23.8%、「あまりあてはまらない」の割合が15.7%となっています。

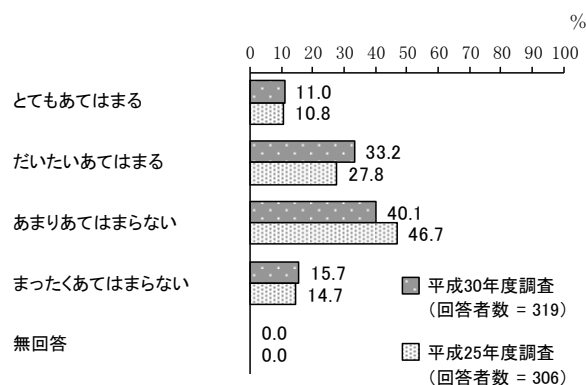
平成25年度調査と比較すると、「とてもあてはまる」「だいたいあてはまる」の割合が増加しています。一方、「あまりあてはまらない」の割合が減少しています。



カ 新しい友達をつくる自信がない

「あまりあてはまらない」の割合が40.1%と最も高く、次いで「だいたいあてはまる」の割合が33.2%、「まったくあてはまらない」の割合が15.7%となっています。

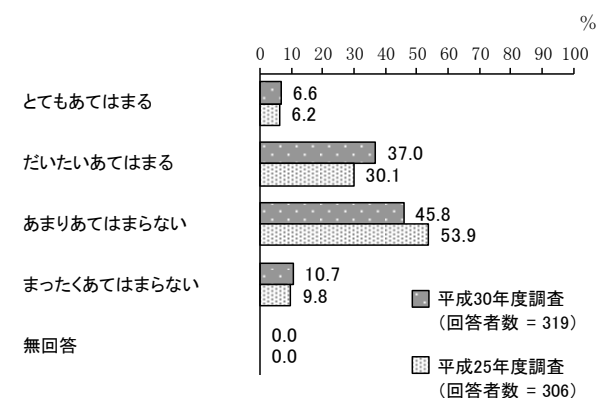
平成25年度調査と比較すると、「だいたいあてはまる」の割合が増加しています。一方、「あまりあてはまらない」の割合が減少しています。



キ 人並み以上に物事をうまくやれる

「あまりあてはまらない」の割合が45.8%と最も高く、次いで「だいたいあてはまる」の割合が37.0%、「まったくあてはまらない」の割合が10.7%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「だいたいあてはまる」の割合が増加しています。一方、「あまりあてはまらない」の割合が減少しています。

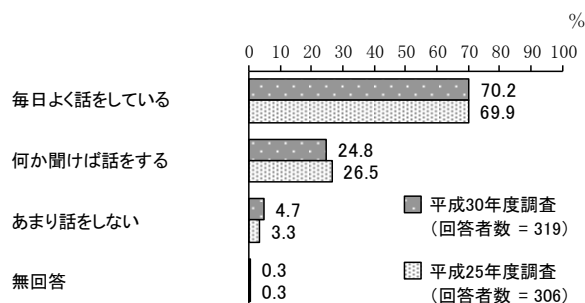


(2) あなたと親（保護者）の関係について

問4 あなたは親（保護者）とどのくらい話をしていますか。 （あてはまるもの1つに○）

「毎日よく話をしている」の割合が70.2%と最も高く、次いで「何か聞けば話をする」の割合が24.8%となっています。

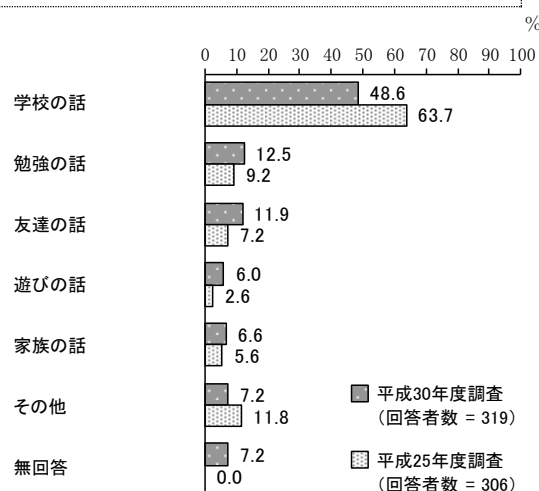
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問5 親（保護者）とどんな話をしますか。（あてはまるもの1つに○）

「学校の話」の割合が48.6%と最も高く、次いで「勉強の話」の割合が12.5%、「友達の話」の割合が11.9%となっています。

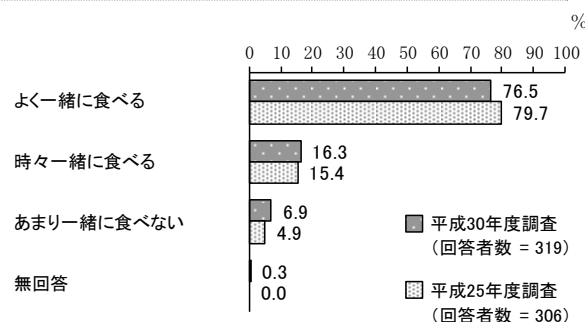
平成25年度調査と比較すると、「学校の話」の割合が減少しています。



問6 親（保護者）と一緒に御飯を食べますか。（あてはまるもの1つに○）

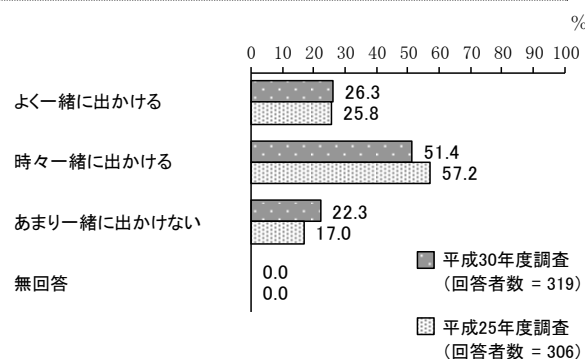
「よく一緒に食べる」の割合が76.5%と最も高く、次いで「時々一緒に食べる」の割合が16.3%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問7 親（保護者）と一緒に出かけることはありますか。（あてはまるもの1つに○）

「時々一緒に出かける」の割合が51.4%と最も高く、次いで「よく一緒に出かける」の割合が26.3%、「あまり一緒に出かけない」の割合が22.3%となっています。

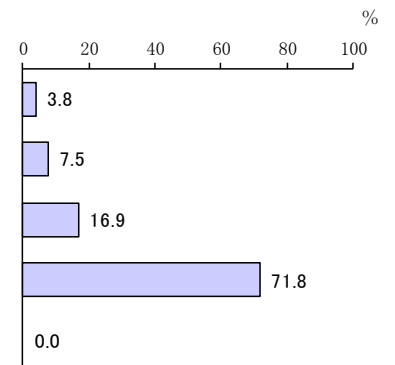


問8 親（保護者）からきつい言葉で怒られたり、強くたたかれたり食事をもらえなかったりしたことはありますか。（あてはまるもの1つに○）

「まったくない」の割合が71.8%と最も高く、次いで「たまにある」の割合が16.9%となっています。

回答者数 = 319

よくある
時々ある
たまにある
まったくない
無回答

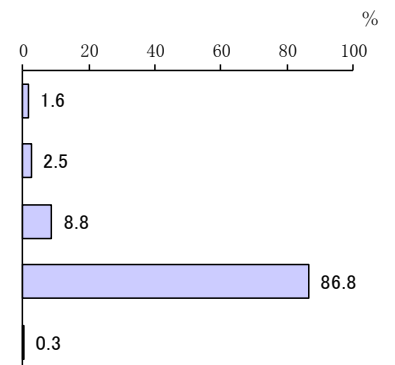


問9 親（保護者）に暴力をふるってしまったことはありますか。（あてはまるもの1つに○）

「まったくない」の割合が86.8%と最も高くなっています。

回答者数 = 319

よくある
時々ある
たまにある
まったくない
無回答

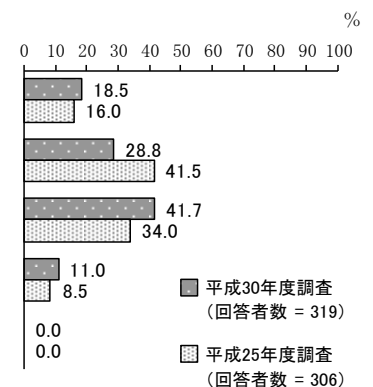


問10 家の手伝いをしていますか。（あてはまるもの1つに○）

「たまにする」の割合が41.7%と最も高く、次いで「時々する」の割合が28.8%、「よくする」の割合が18.5%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「たまにする」の割合が増加しています。一方、「時々する」の割合が減少しています。

よくする
時々する
たまにする
まったくしない
無回答

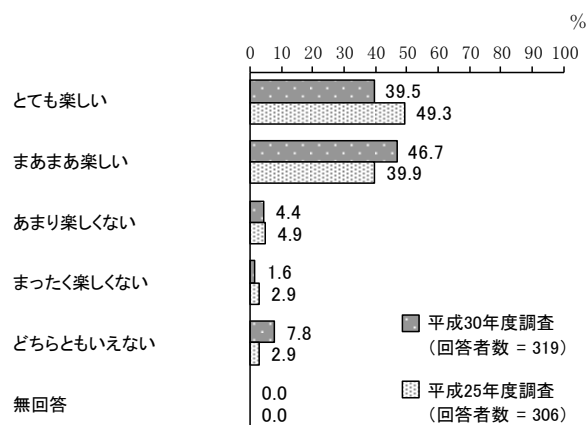


(3) 学校や友人について

問11 学校は毎日楽しいですか。(あてはまるもの1つに○)

「まあまあ楽しい」の割合が46.7%と最も高く、次いで「とても楽しい」の割合が39.5%となっています。

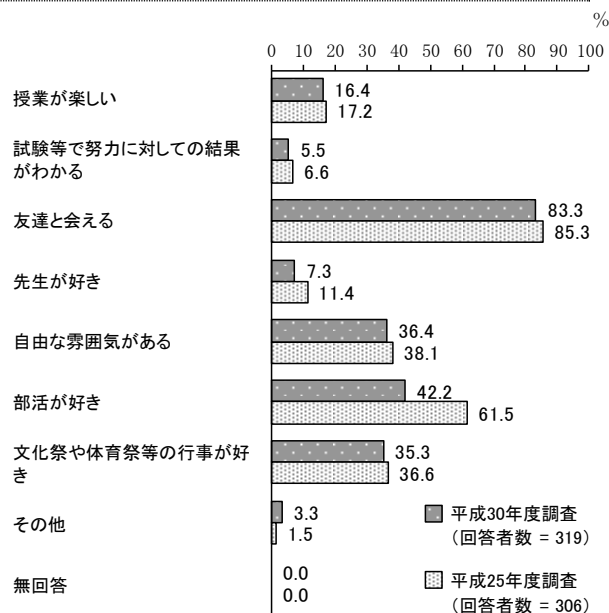
平成25年度調査と比較すると、「まあまあ楽しい」の割合が増加しています。一方、「とても楽しい」の割合が減少しています。



問12 問11で「1. とても楽しい」か「2. まあまあ楽しい」に○をした方に伺います。楽しい理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

「友達と会える」の割合が83.3%と最も高く、次いで「部活が好き」の割合が42.2%、「自由な雰囲気がある」の割合が36.4%となっています。

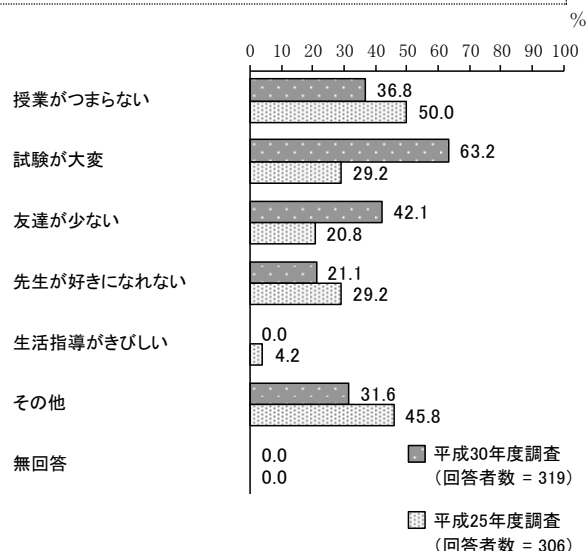
平成25年度調査と比較すると、「部活が好き」の割合が減少しています。



問13 問11で「3. あまり楽しくない」か「4. まったく楽しくない」に○をした方に伺います。楽しくない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

「試験が大変」の割合が63.2%と最も高く、次いで「友達が少ない」の割合が42.1%、「授業がつまらない」の割合が36.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「試験が大変」「友達が少ない」の割合が増加しています。一方、「授業がつまらない」「先生が好きになれない」の割合が減少しています。

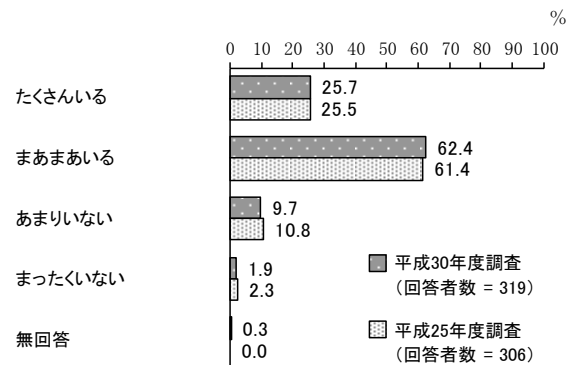


問 14 あなたと学校・クラス・友達との距離について下記の項目それぞれにあてはまるものをお答えください。(それぞれにあてはまるものを選んで○)

ア 自分の気持ちをわかってくれる友達がいる

「まあまあいる」の割合が 62.4%と最も高く、次いで「たくさんいる」の割合が 25.7%となっています。

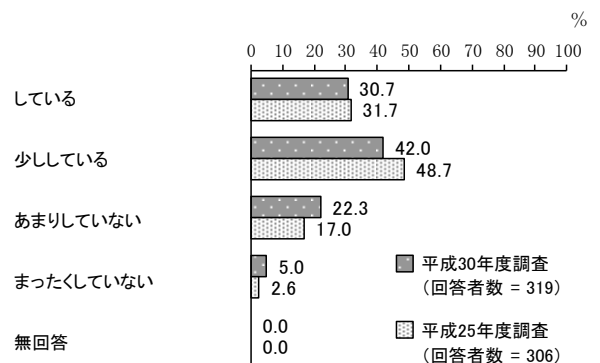
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



イ 自分を友達に理解してもらおうと努力している

「少ししている」の割合が 42.0%と最も高く、次いで「している」の割合が 30.7%、「あまりしていない」の割合が 22.3%となっています。

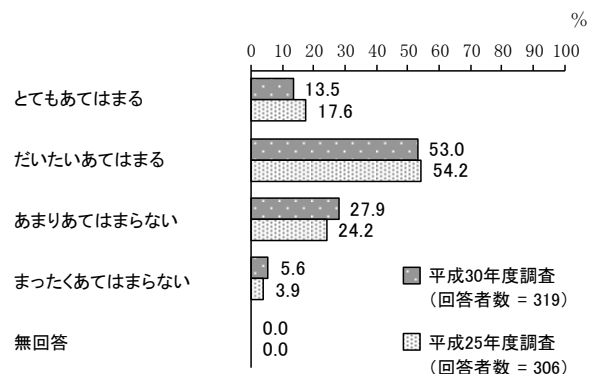
平成 25 年度調査と比較すると、「あまりしていない」の割合が増加しています。一方、「少ししている」の割合が減少しています。



ウ 誰とでも仲良くなれる

「だいたいあてはまる」の割合が 53.0%と最も高く、次いで「あまりあてはまらない」の割合が 27.9%、「とてもあてはまる」の割合が 13.5%となっています。

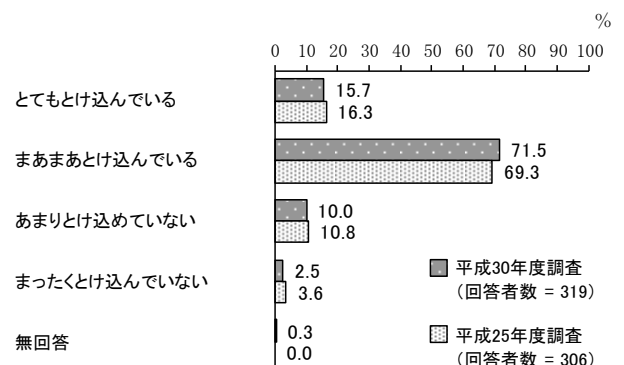
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



エ 自分はクラスにとけ込んでいる

「まあまあとけ込んでいる」の割合が 71.5%と最も高く、次いで「とてもとけ込んでいる」の割合が 15.7%、「あまりとけ込めていない」の割合が 10.0%となっています。

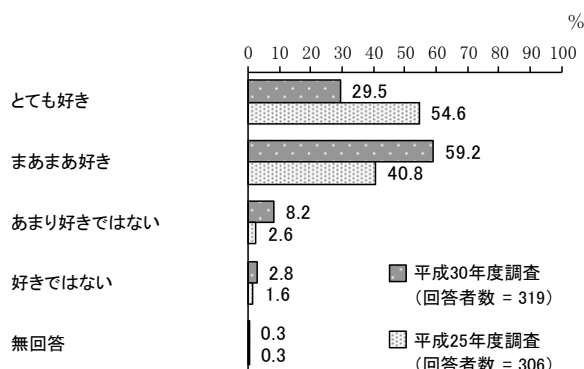
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



オ 今回のクラスは好きだ

「まあまあ好き」の割合が 59.2%と最も高く、次いで「とても好き」の割合が 29.5%となっています。

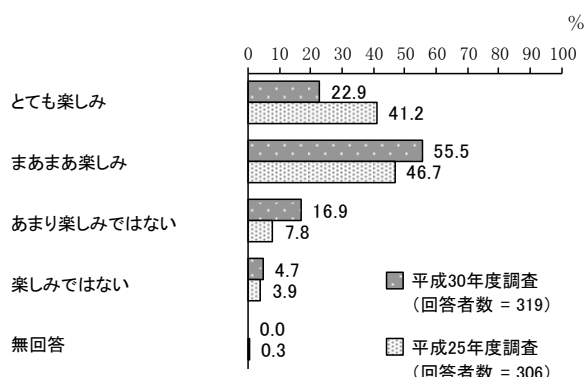
平成 25 年度調査と比較すると、「まあまあ好き」「あまり好きではない」の割合が増加しています。一方、「とても好き」の割合が減少しています。



カ 学校に行くことが楽しみだ

「まあまあ楽しみ」の割合が 55.5%と最も高く、次いで「とても楽しみ」の割合が 22.9%、「あまり楽しみではない」の割合が 16.9%となっています。

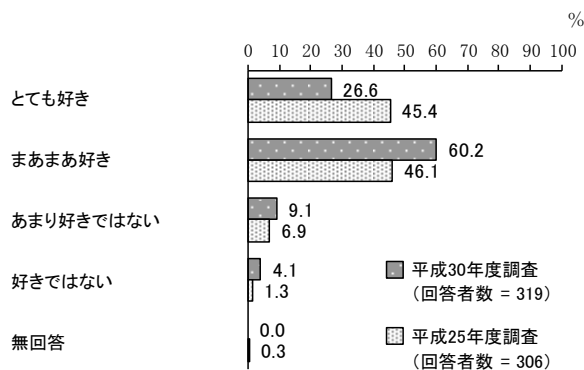
平成 25 年度調査と比較すると、「まあまあ楽しみ」「あまり楽しみではない」の割合が増加しています。一方、「とても楽しみ」の割合が減少しています。



キ 今回の学校は好きだ

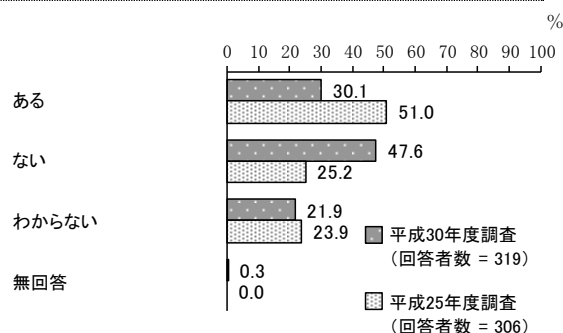
「まあまあ好き」の割合が 60.2%と最も高く、次いで「とても好き」の割合が 26.6%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「まあまあ好き」の割合が増加しています。一方、「とても好き」の割合が減少しています。



問 15 あなたは今、悩みがありますか。(あてはまるもの 1 つに○)

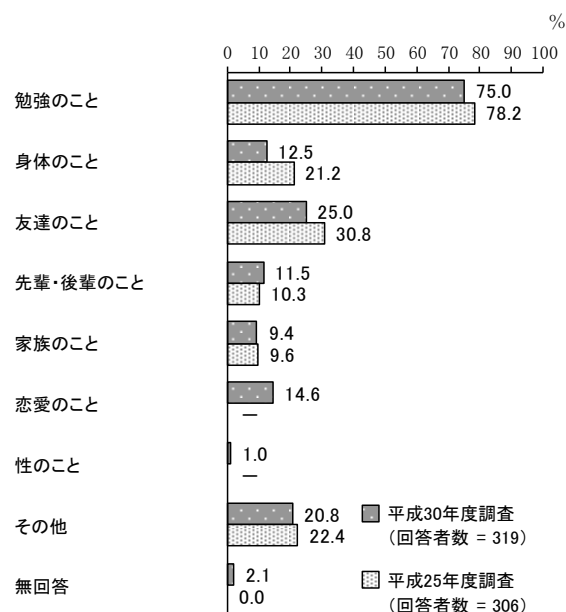
「ない」の割合が 47.6%と最も高く、次いで「ある」の割合が 30.1%、「わからない」の割合が 21.9%となっています。



問 16 問 15 で「1. ある」に○をした方に伺います。
 どんなことに悩んでいるかをお答えください。（あてはまるものすべてに○）

「勉強のこと」の割合が 75.0%と最も高く、次いで「友達のこと」の割合が 25.0%、「恋愛のこと」の割合が 14.6%となっています。

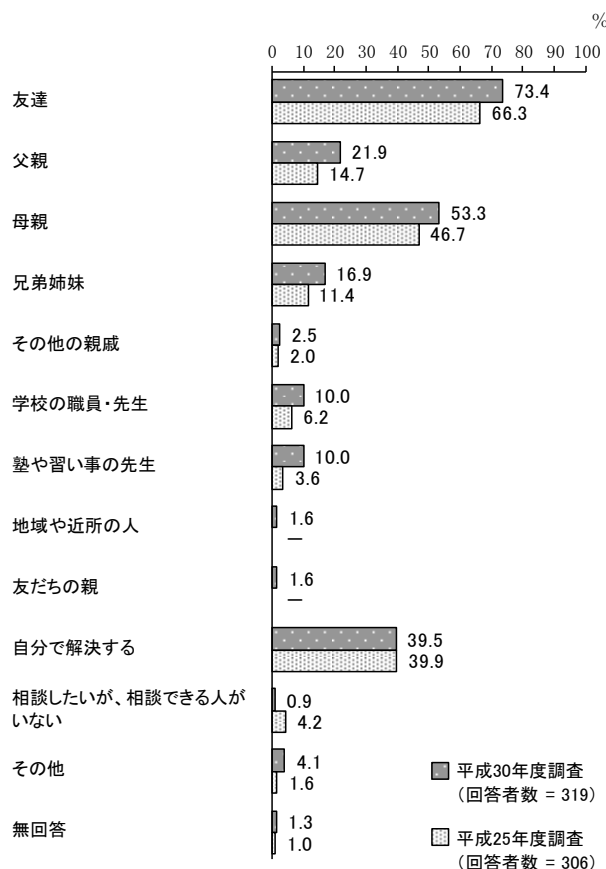
平成 25 年度調査と比較すると、「身体のこと」「友達のこと」の割合が減少しています。



問 17 困ったとき、誰に相談しますか。（あてはまるものすべてに○）

「友達」の割合が 73.4%と最も高く、次いで「母親」の割合が 53.3%、「自分で解決する」の割合が 39.5%となっています。

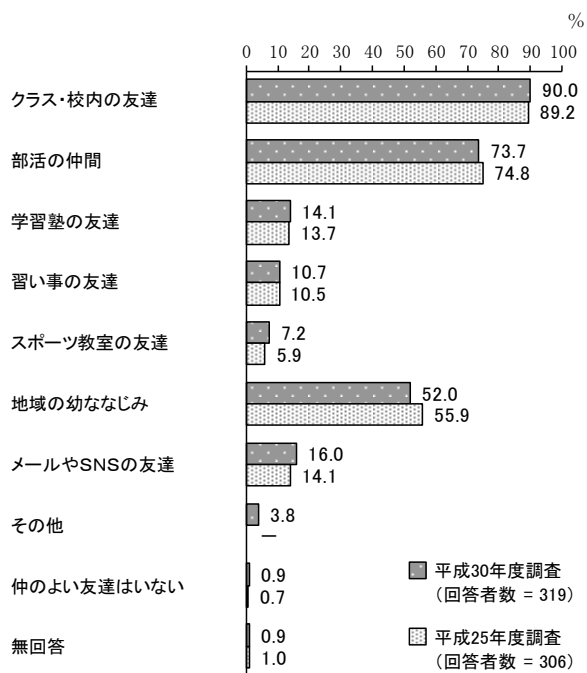
平成 25 年度調査と比較すると、「友達」「父親」「母親」「兄弟姉妹」「塾や習い事の先生」の割合が増加しています。



問 18 どのような仲のよい友達がいますか。(あてはまるものすべてに○)

「クラス・校内の友達」の割合が 90.0%と最も高く、次いで「部活仲間」の割合が 73.7%、「地域の幼なじみ」の割合が 52.0%となっています。

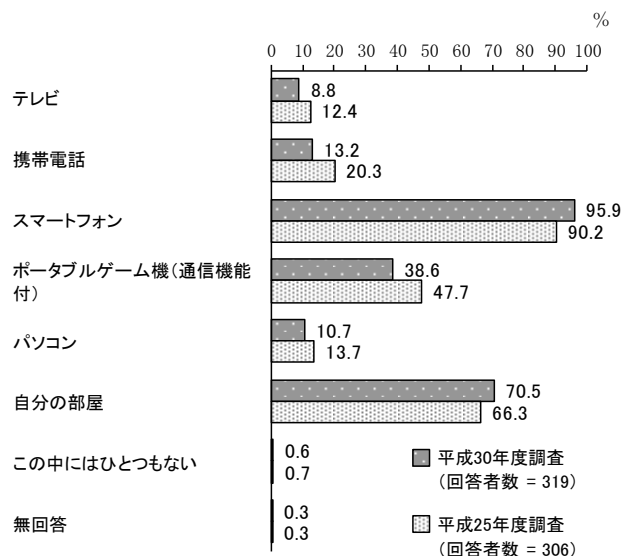
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 19 あなたは自分専用として、次のものを持っていますか。(あてはまるものすべてに○)

「スマートフォン」の割合が 95.9%と最も高く、次いで「自分の部屋」の割合が 70.5%、「ポータブルゲーム機(通信機能付)」の割合が 38.6%となっています。

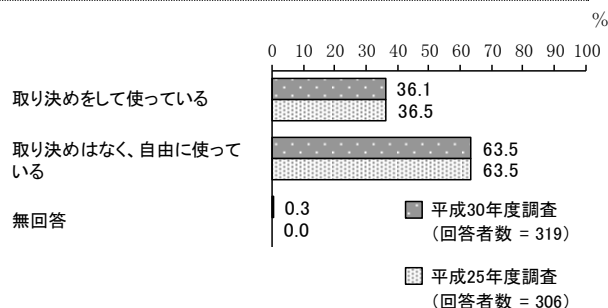
平成 25 年度調査と比較すると、「スマートフォン」の割合が増加しています。一方、「携帯電話」「ポータブルゲーム機(通信機能付)」の割合が減少しています。



問 20 自分専用として、問 19 の「2. 携帯電話」「3. スマートフォン」「4. ポータブルゲーム機」を持っている方に伺います。利用について家族できちんと取り決めをして使っていますか。(あてはまるもの 1 つに○)

「取り決めをして使っている」の割合が 36.1%、「取り決めはなく、自由に使っている」の割合が 63.5%となっています。

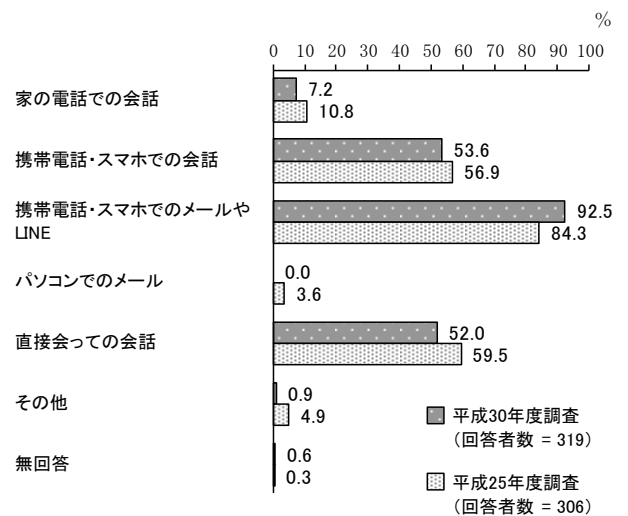
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 21 休日などに友達とコミュニケーションを図るときに使っている方法は次のうちどれですか。（よく使うもの3つに○）

「携帯電話・スマホでのメールやLINE」の割合が92.5%と最も高く、次いで「携帯電話・スマホでの会話」の割合が53.6%、「直接会っての会話」の割合が52.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「携帯電話・スマホでのメールやLINE」の割合が増加しています。一方、「直接会っての会話」の割合が減少しています。

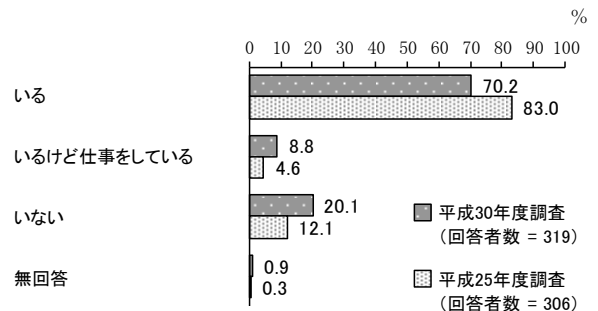


（４）放課後や休日の過ごし方について

問 22 ふだん学校が終って家に帰ると、家に誰かいますか。（あてはまるもの1つに○）

「いる」の割合が70.2%と最も高く、次いで「いない」の割合が20.1%となっています。

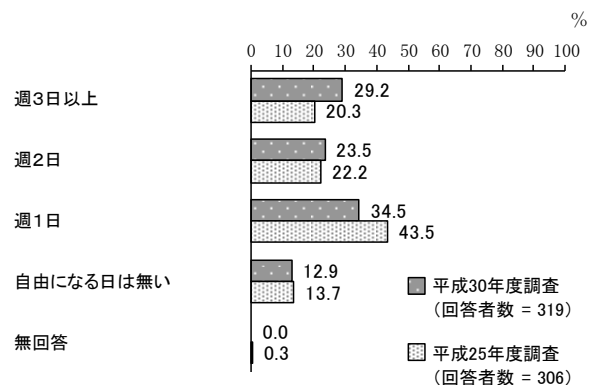
平成25年度調査と比較すると、「いない」の割合が増加しています。一方、「いる」の割合が減少しています。



問 23 一週間のうち、部活や塾その他の用事がなく自由に使える日は何日ですか。（あてはまるもの1つに○）

「週1日」の割合が34.5%と最も高く、次いで「週3日以上」の割合が29.2%、「週2日」の割合が23.5%となっています。

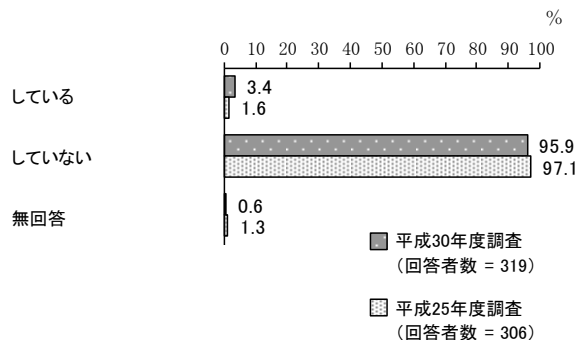
平成25年度調査と比較すると、「週3日以上」の割合が増加しています。一方、「週1日」の割合が減少しています。



問 24 今、アルバイトをしていますか。(あてはまるもの1つに○)

「している」の割合が3.4%、「していない」の割合が95.9%となっています。

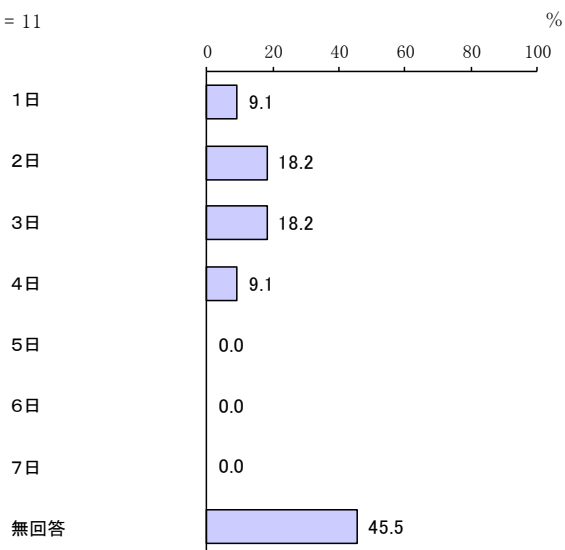
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



アルバイトをする日数

「2日」、「3日」の割合が18.2%と最も高くなっています。

回答者数 = 11

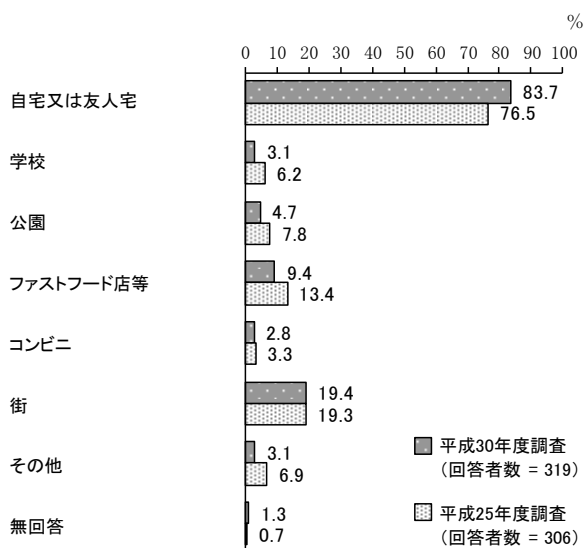


問 25 自由に使える時間は、どこで誰と何をして過ごしていますか。

①どこで

「自宅又は友人宅」の割合が83.7%と最も高く、次いで「街」の割合が19.4%となっています。

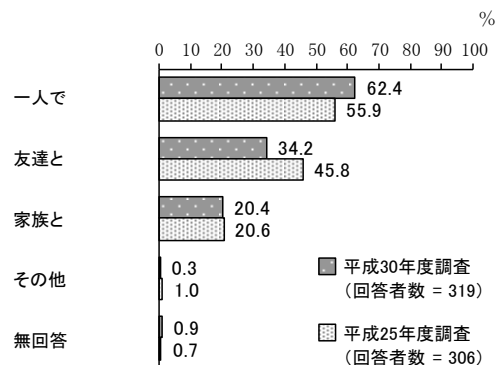
平成25年度調査と比較すると、「自宅又は友人宅」の割合が増加しています。



②誰と

「一人で」の割合が62.4%と最も高く、次いで「友達と」の割合が34.2%、「家族と」の割合が20.4%となっています。

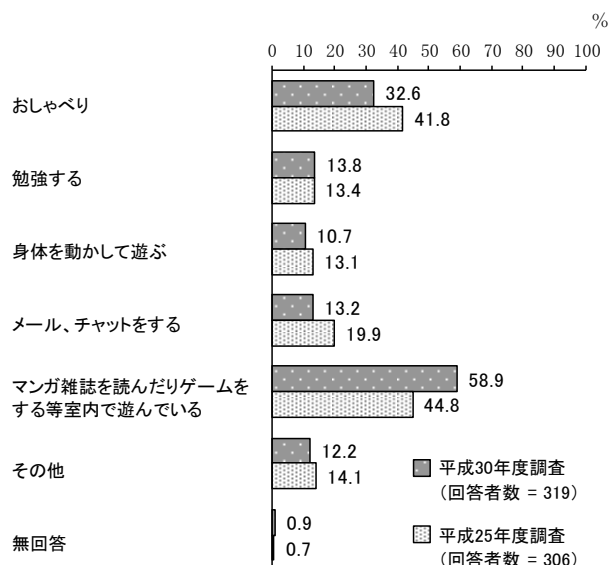
平成25年度調査と比較すると、「一人で」の割合が増加しています。一方、「友達と」の割合が減少しています。



③何をして

「マンガ雑誌を読んだりゲームをする等室内で遊んでいる」の割合が58.9%と最も高く、次いで「おしゃべり」の割合が32.6%、「勉強する」の割合が13.8%となっています。

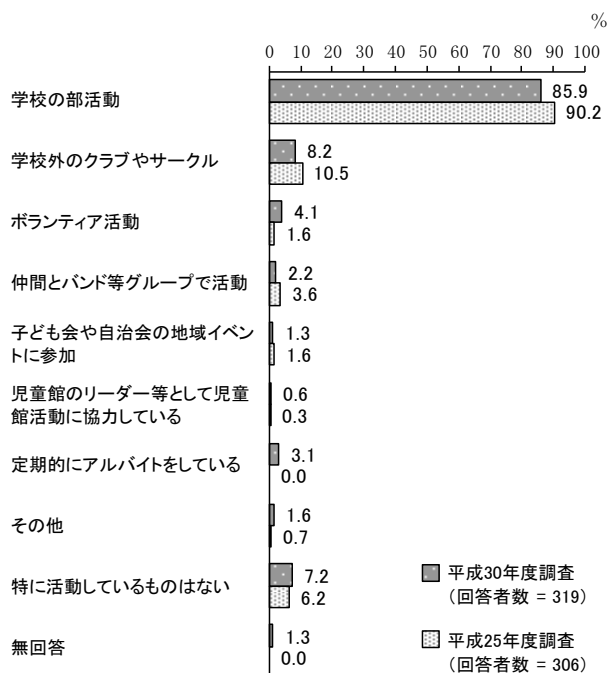
平成25年度調査と比較すると、「マンガ雑誌を読んだりゲームをする等室内で遊んでいる」の割合が増加しています。一方、「おしゃべり」「メール、チャットをする」の割合が減少しています。



問 26 普段、学校や地域で活動している事について、あてはまるものを選んでください。(あてはまるものすべてに○)

「学校の部活動」の割合が85.9%と最も高くなっています。

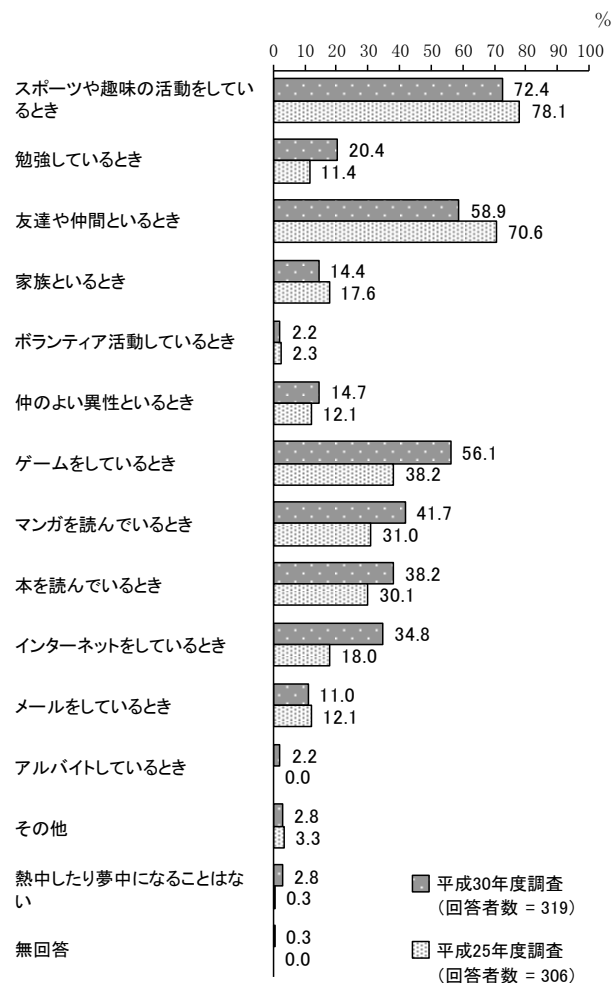
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 27 あなたが何かに熱中したり夢中になれるのはどんなときですか。
(あてはまるものすべてに○)

「スポーツや趣味の活動をしているとき」の割合が 72.4%と最も高く、次いで「友達や仲間といるとき」の割合が 58.9%、「ゲームをしているとき」の割合が 56.1%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「勉強しているとき」「ゲームをしているとき」「マンガを読んでいるとき」「本を読んでいるとき」「インターネットをしているとき」の割合が増加しています。一方、「スポーツや趣味の活動をしているとき」「友達や仲間といるとき」の割合が減少しています。

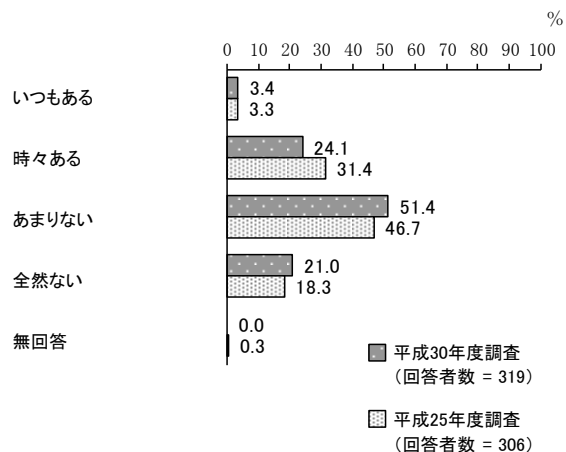


問 28 あなたが友達といるとき、次のように感じることはありませんか。
(①～⑦それぞれあてはまる番号に○)

①友達の言いなりになってしまう

「あまりない」の割合が 51.4%と最も高く、次いで「時々ある」の割合が 24.1%、「全然ない」の割合が 21.0%となっています。

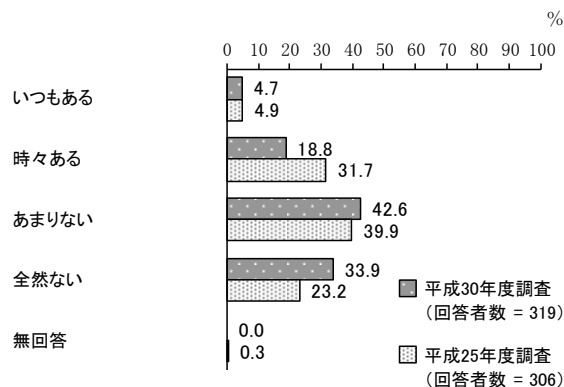
平成 25 年度調査と比較すると、「時々ある」の割合が減少しています。



②大勢の仲間という仲間はずれに思ったように感じる

「あまりない」の割合が42.6%と最も高く、次いで「全然ない」の割合が33.9%、「時々ある」の割合が18.8%となっています。

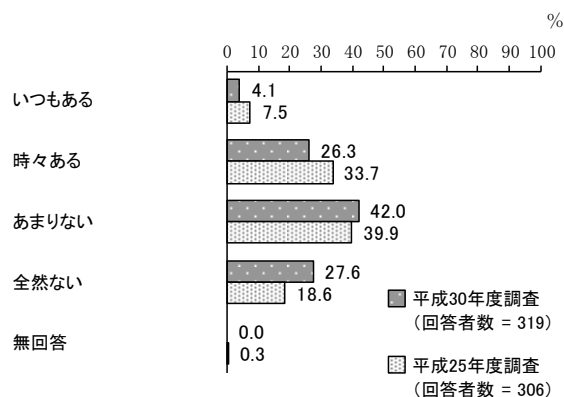
平成25年度調査と比較すると、「全然ない」の割合が増加しています。一方、「時々ある」の割合が減少しています。



③友達というとき自分が無理をしていると感じる

「あまりない」の割合が42.0%と最も高く、次いで「全然ない」の割合が27.6%、「時々ある」の割合が26.3%となっています。

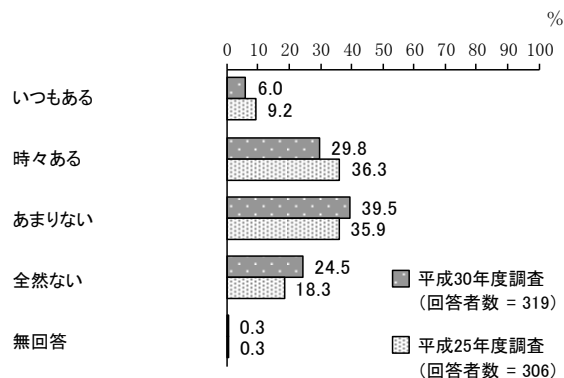
平成25年度調査と比較すると、「全然ない」の割合が増加しています。一方、「時々ある」の割合が減少しています。



④人前で思っていることをうまくいえない

「あまりない」の割合が39.5%と最も高く、次いで「時々ある」の割合が29.8%、「全然ない」の割合が24.5%となっています。

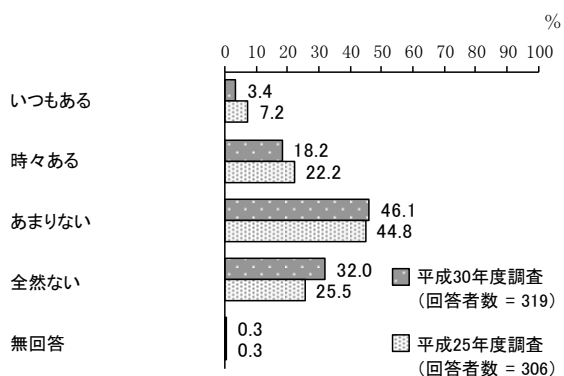
平成25年度調査と比較すると、「全然ない」の割合が増加しています。一方、「時々ある」の割合が減少しています。



⑤友達から頼まれると断れない自分が嫌い

「あまりない」の割合が46.1%と最も高く、次いで「全然ない」の割合が32.0%、「時々ある」の割合が18.2%となっています。

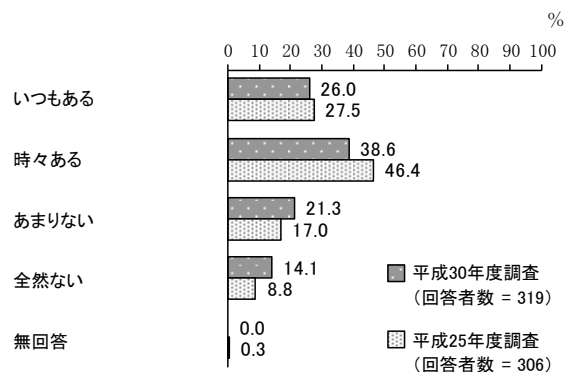
平成25年度調査と比較すると、「全然ない」の割合が増加しています。



⑥自分がどう見られているか気になる

「時々ある」の割合が38.6%と最も高く、次いで「いつもある」の割合が26.0%、「あまりない」の割合が21.3%となっています。

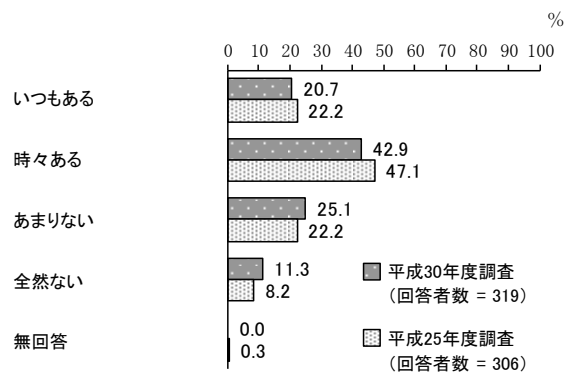
平成25年度調査と比較すると、「全然ない」の割合が増加しています。一方、「時々ある」の割合が減少しています。



⑦友達に気に入られたいと思う

「時々ある」の割合が42.9%と最も高く、次いで「あまりない」の割合が25.1%、「いつもある」の割合が20.7%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



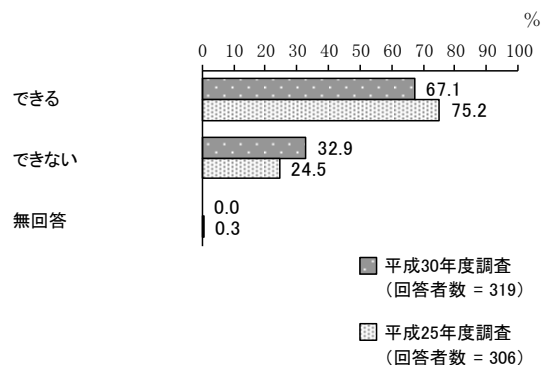
(5) あなたの将来について

問 29 将来の職業についてお聞きします。(それぞれにあてはまるものを選んで○)

ア 将来の職業のイメージをぼんやりとでも思い描くことはできますか

「できる」の割合が67.1%、「できない」の割合が32.9%となっています。

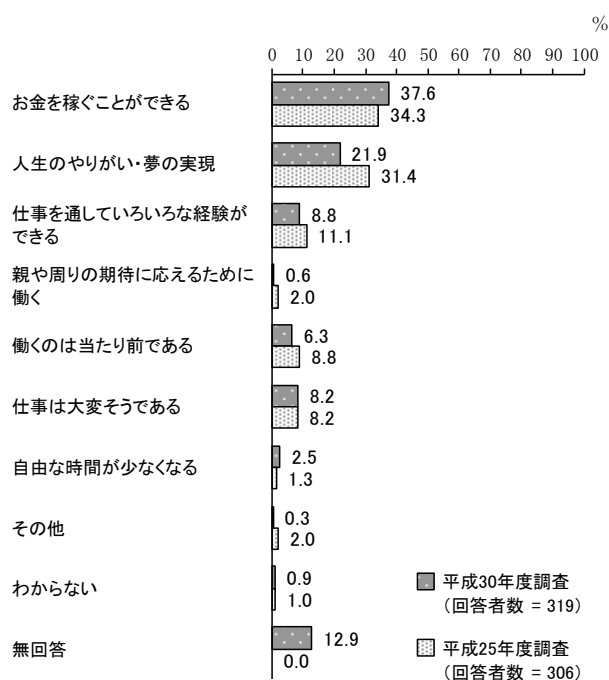
平成25年度調査と比較すると、「できない」の割合が増加しています。一方、「できる」の割合が減少しています。



イ 仕事に対するイメージについて、あなたの考えをお答えください

「お金を稼ぐことができる」の割合が 37.6%と最も高く、次いで「人生のやりがい・夢の実現」の割合が 21.9%となっています。

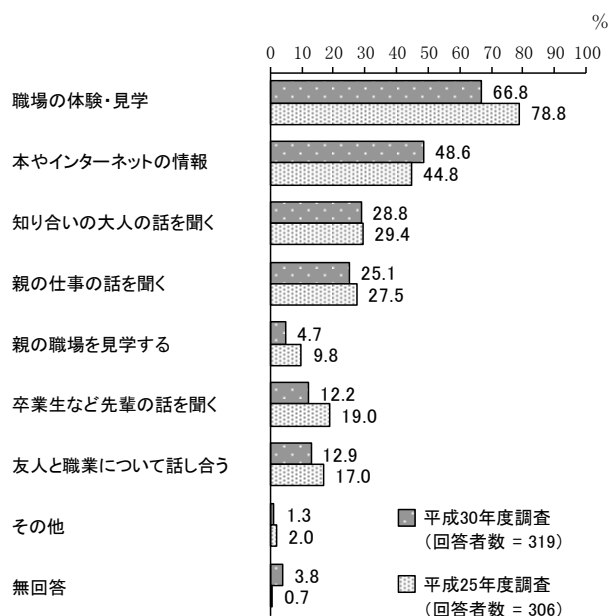
平成 25 年度調査と比較すると、「人生のやりがい・夢の実現」の割合が減少しています。



ウ 職業のイメージを具体的にするために役立つものはなんだと思いますか

「職場の体験・見学」の割合が 66.8%と最も高く、次いで「本やインターネットの情報」の割合が 48.6%、「知り合いの大人の話聞く」の割合が 28.8%となっています。

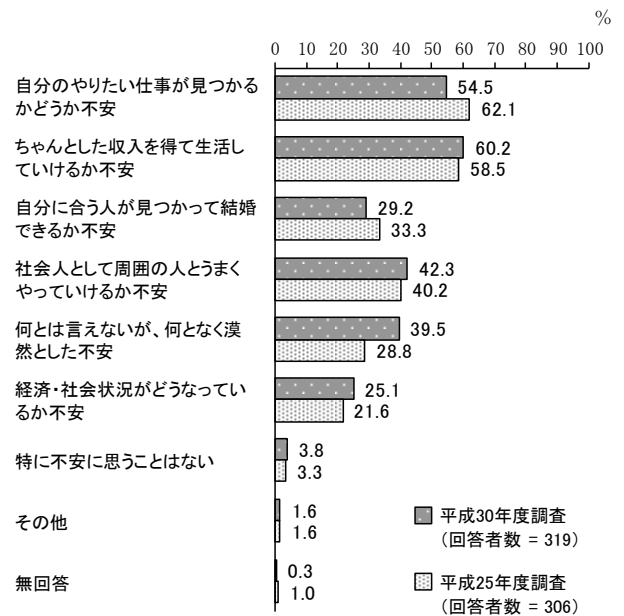
平成 25 年度調査と比較すると、「職場の体験・見学」「親の職場を見学する」「卒業生など先輩の話聞く」の割合が減少しています。



問 30 学業を終えて社会に出た時の事を考えて、どのようなことを不安に思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

「ちゃんとした収入を得て生活していけるか不安」の割合が 60.2%と最も高く、次いで「自分のやりたい仕事が見つかるかどうか不安」の割合が 54.5%、「社会人として周囲の人とうまくやっていけるか不安」の割合が 42.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「何とは言えないが、何となく漠然とした不安」の割合が増加しています。一方、「自分のやりたい仕事が見つかるかどうか不安」の割合が減少しています。

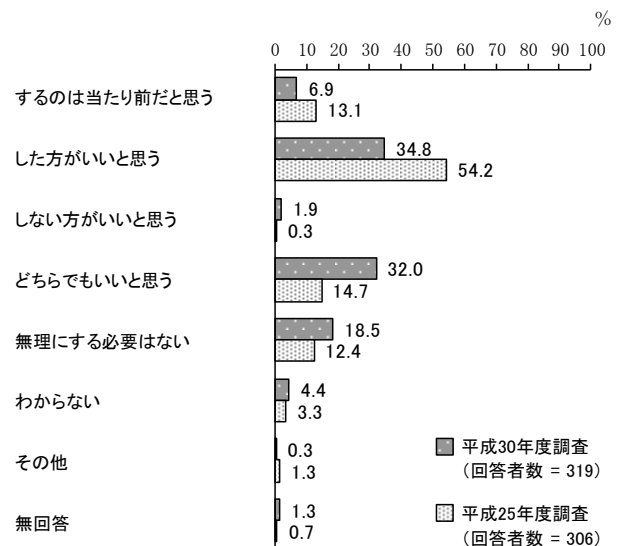


問 31 家族のあり方についてお聞きします。(それぞれにあてはまるものを選んで○)

ア 結婚についてどう思いますか

「した方がいいと思う」の割合が 34.8%と最も高く、次いで「どちらでもいいと思う」の割合が 32.0%、「無理にする必要はない」の割合が 18.5%となっています。

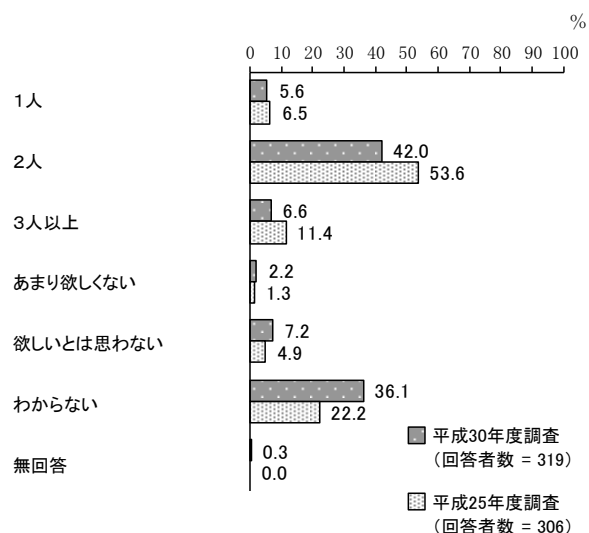
平成 25 年度調査と比較すると、「どちらでもいいと思う」「無理にする必要はない」の割合が増加しています。一方、「するのは当たり前だと思う」「した方がいいと思う」の割合が減少しています。



イ 欲しい子どもの人数は何人ですか

「2人」の割合が42.0%と最も高く、次いで「わからない」の割合が36.1%となっています。

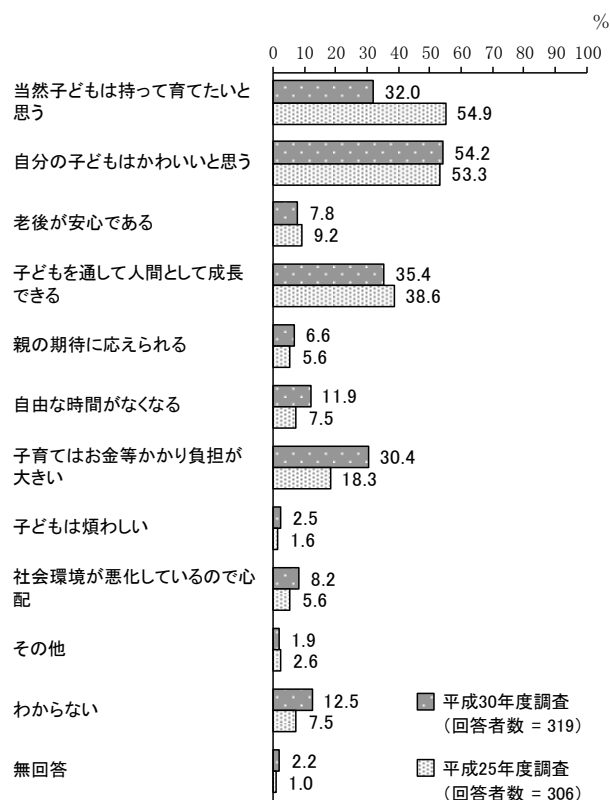
平成25年度調査と比較すると、「わからない」の割合が増加しています。一方、「2人」の割合が減少しています。



ウ 子どもを持つことのイメージについて、あなたの考えをお答えください

「自分の子どもはかわいいと思う」の割合が54.2%と最も高く、次いで「子どもを通して人間として成長できる」の割合が35.4%、「当然子どもは持つて育てたいと思う」の割合が32.0%となっています。

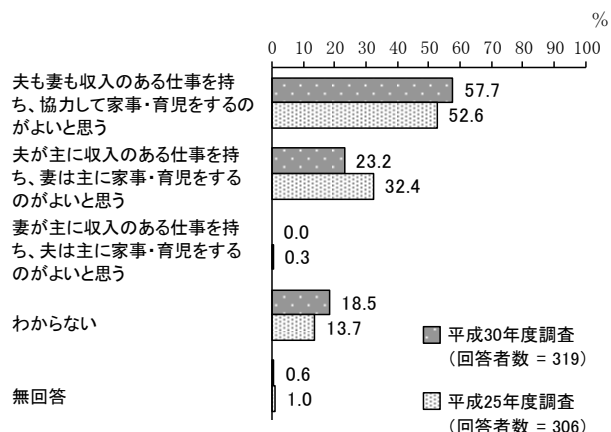
平成25年度調査と比較すると、「子育てはお金等かかり負担が大きい」の割合が増加しています。一方、「当然子どもは持つて育てたいと思う」の割合が減少しています。



エ 家事や育児の理想のイメージに近いものはどれですか

「夫も妻も収入のある仕事を持ち、協力して家事・育児をするのがよいと思う」の割合が 57.7% と最も高く、次いで「夫が主に収入のある仕事を持ち、妻は主に家事・育児をするのがよいと思う」の割合が 23.2%、「わからない」の割合が 18.5% となっています。

平成 25 年度調査 と比較すると、「夫も妻も収入のある仕事を持ち、協力して家事・育児をするのがよいと思う」の割合が増加しています。一方、「夫が主に収入のある仕事を持ち、妻は主に家事・育児をするのがよいと思う」の割合が減少しています。

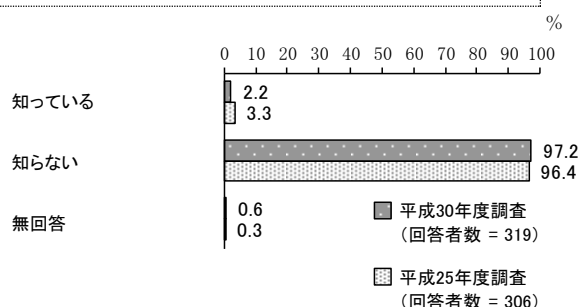


(6) 子どもの権利について

問 32 「日野市子ども条例」を知っていますか。(あてはまるもの 1 つに○)

「知っている」の割合が 2.2%、「知らない」の割合が 97.2% となっています。

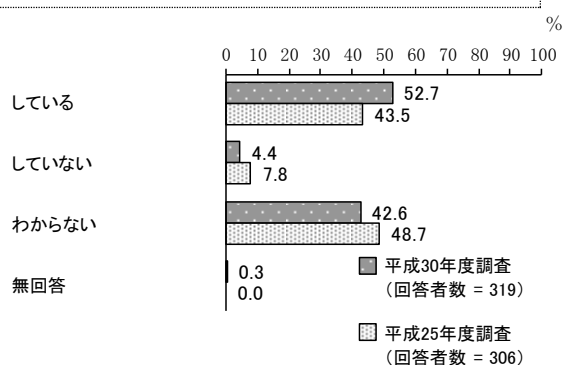
平成 25 年度調査 と比較すると、大きな変化はみられません。



問 33 あなたは、自分を大切にしていますか。(あてはまるもの 1 つに○)

「している」の割合が 52.7% と最も高く、次いで「わからない」の割合が 42.6% となっています。

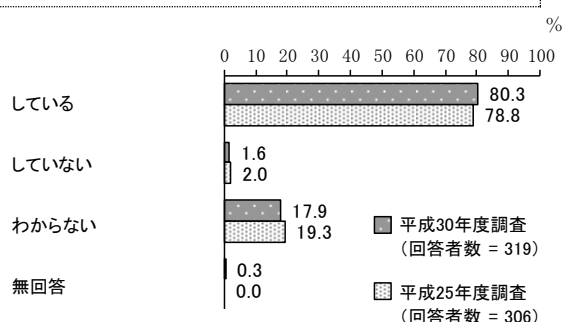
平成 25 年度調査 と比較すると、「している」の割合が増加しています。一方、「わからない」の割合が減少しています。



問 34 あなたは、他の人を大切にしていますか。(あてはまるもの 1 つに○)

「している」の割合が 80.3% と最も高く、次いで「わからない」の割合が 17.9% となっています。

平成 25 年度調査 と比較すると、大きな変化はみられません。

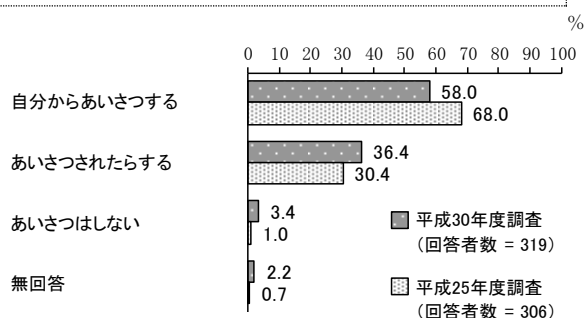


(7) 社会環境について

問 35 近所の人とあいさつしますか。(あてはまるもの1つに○)

「自分からあいさつする」の割合が 58.0%と最も高く、次いで「あいさつされたらする」の割合が 36.4%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「あいさつされたらする」の割合が増加しています。一方、「自分からあいさつする」の割合が減少しています。

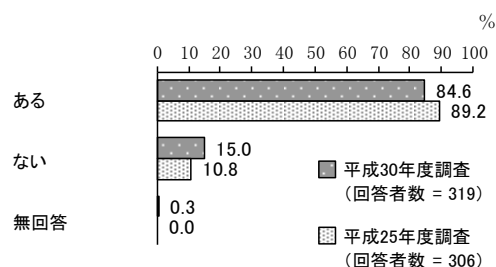


問 36 親や学校の先生以外の大人からほめられたり、注意されたことがありますか。(それぞれにあてはまるものを選んで○)

ア ほめられたこと

「ある」の割合が 84.6%、「ない」の割合が 15.0%となっています。

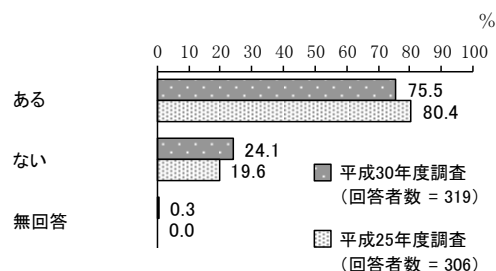
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



イ 注意されたこと

「ある」の割合が 75.5%、「ない」の割合が 24.1%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

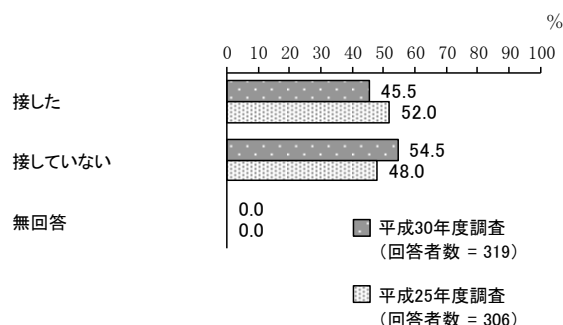


問 37 幼児とのふれあいについてお聞きます。(それぞれにあてはまるものを選んで○)

ア 最近、小さい子どもと接しましたか

「接した」の割合が 45.5%、「接していない」の割合が 54.5%となっています。

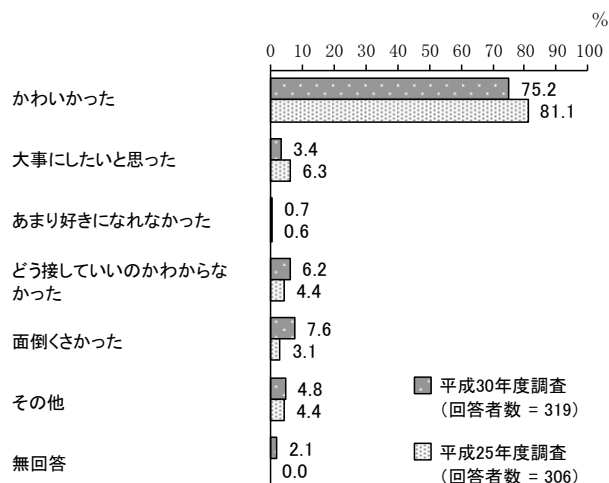
平成 25 年度調査と比較すると、「接していない」の割合が増加しています。一方、「接した」の割合が減少しています。



イ 子どもの印象はどうでしたか

「かわいかった」の割合が 75.2%と最も高くなっています。

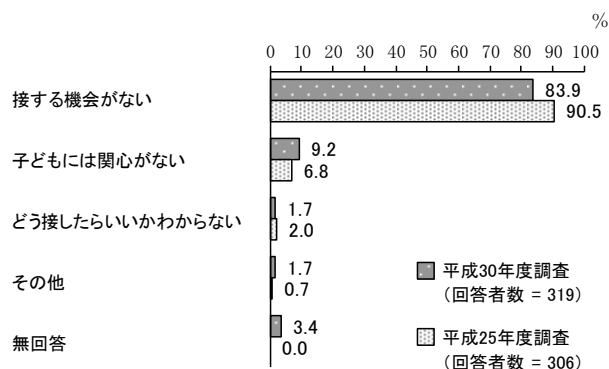
平成 25 年度調査と比較すると、「かわいかった」の割合が減少しています。



ウ 接していない理由は何ですか

「接する機会がない」の割合が 83.9%と最も高くなっています。

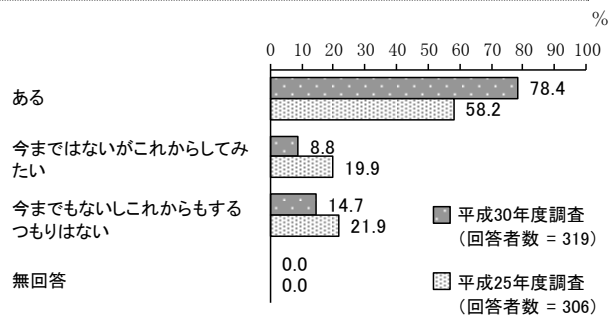
平成 25 年度調査と比較すると、「接する機会がない」の割合が減少しています。



問 38 放課後、休日、夏休みなどにボランティアをしたことがありますか。 (あてはまるものすべてに○)

「ある」の割合が 78.4%と最も高く、次いで「今までもないしこれからするつもりはない」の割合が 14.7%となっています。

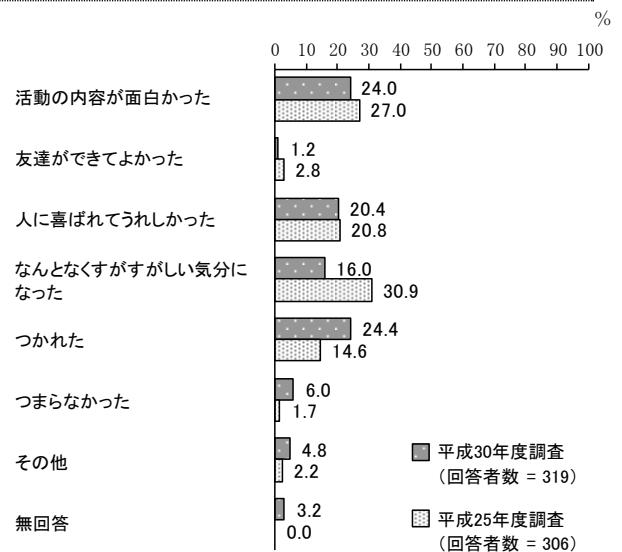
平成 25 年度調査と比較すると、「ある」の割合が増加しています。一方、「今まではないがこれからしてみたい」「今までもないしこれからするつもりはない」の割合が減少しています。



問 39 問 38 で「1. ある」に○をした方に伺います。
ボランティアをしてみてどう感じましたか。(あてはまるもの1つに○)

「つかれた」の割合が 24.4%と最も高く、次いで「活動の内容が面白かった」の割合が 24.0%、「人に喜ばれてうれしかった」の割合が 20.4%となっています。

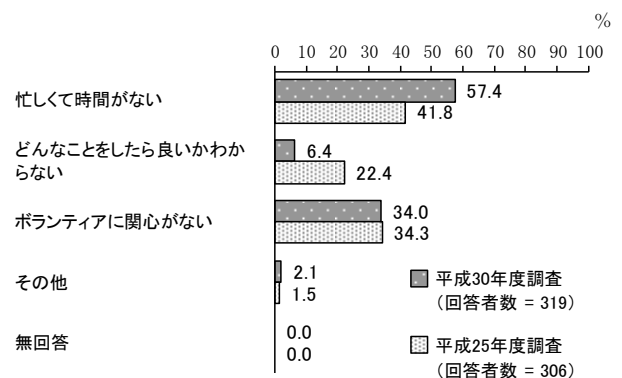
平成 25 年度調査と比較すると、「つかれた」の割合が増加しています。一方、「なんとなくすがすがしい気分になった」の割合が減少しています。



問 40 問 38 で「3. 今までもないしこれからもするつもりはない」に○をした方に伺います。それはどうしてですか。(あてはまるもの1つに○)

「忙しくて時間がない」の割合が 57.4%と最も高く、次いで「ボランティアに関心がない」の割合が 34.0%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「忙しくて時間がない」の割合が増加しています。一方、「どんなことをしたら良いかわからない」の割合が減少しています。

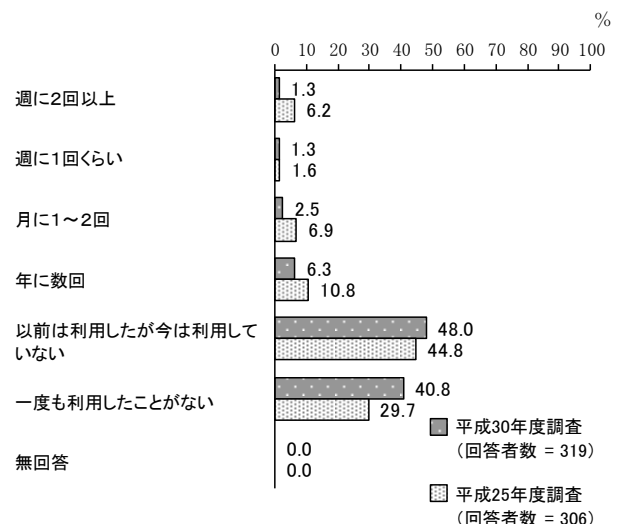


問 41 児童館の利用についてお聞きします。(それぞれにあてはまるものを選んで○)

ア 現在、どの程度児童館を利用していますか

「以前は利用したが今は利用していない」の割合が 48.0%と最も高く、次いで「一度も利用したことがない」の割合が 40.8%となっています。

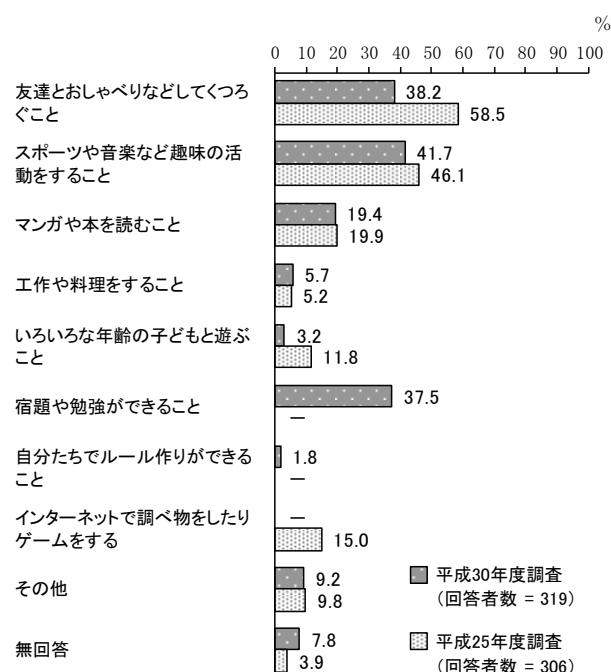
平成 25 年度調査と比較すると、「一度も利用したことがない」の割合が増加しています。



イ どんなことができれば児童館を利用したいですか

「スポーツや音楽など趣味の活動をする事」の割合が41.7%と最も高く、次いで「友達とおしゃべりなどしてくつろぐこと」の割合が38.2%、「宿題や勉強ができること」の割合が37.5%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「友達とおしゃべりなどしてくつろぐこと」「いろいろな年齢の子供と遊ぶこと」の割合が減少しています。

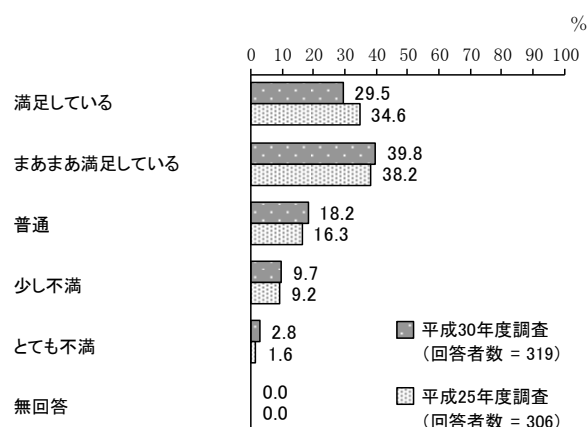


(8) 最後に

問 42 今の生活についてどう思いますか。(あてはまるもの1つに○)

「まあまあ満足している」の割合が39.8%と最も高く、次いで「満足している」の割合が29.5%、「普通」の割合が18.2%となっています。

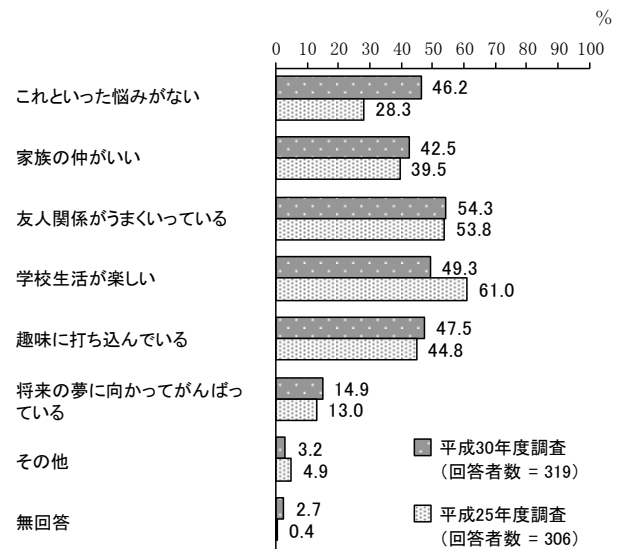
平成25年度調査と比較すると、「満足している」の割合が減少しています。



問 43 問 42 で「1. 満足している」か「2. まあまあ満足している」を選んだ方に伺います。そう思う理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

「友人関係がうまくいっている」の割合が 54.3%と最も高く、次いで「学校生活が楽しい」の割合が 49.3%、「趣味に打ち込んでいる」の割合が 47.5%となっています。

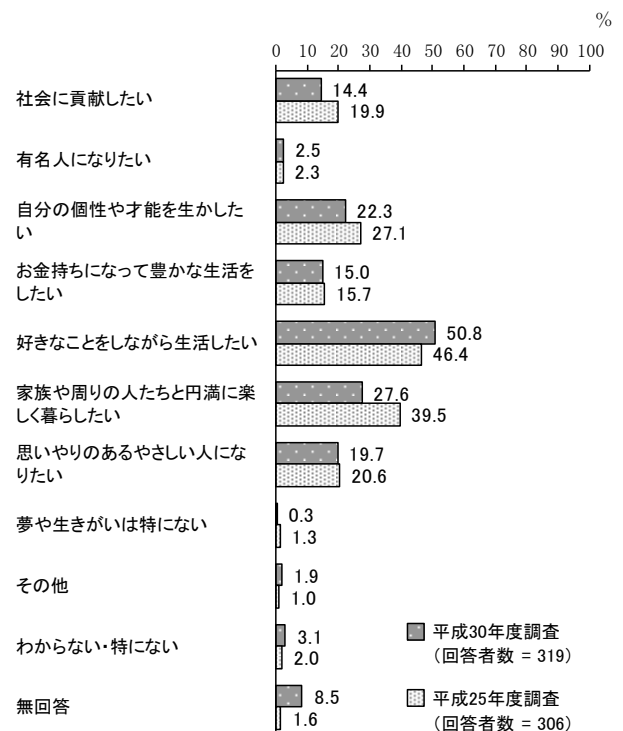
平成 25 年度調査と比較すると、「これといった悩みがない」の割合が増加しています。一方、「学校生活が楽しい」の割合が減少しています。



問 44 あなたは、将来どのような大人になりたいですか。（最も近いもの2つまで○）

「好きなことをしながら生活したい」の割合が 50.8%と最も高く、次いで「家族や周りの人たちと円満に楽しく暮らしたい」の割合が 27.6%、「自分の個性や才能を生かしたい」の割合が 22.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「社会に貢献したい」「家族や周りの人たちと円満に楽しく暮らしたい」の割合が減少しています。



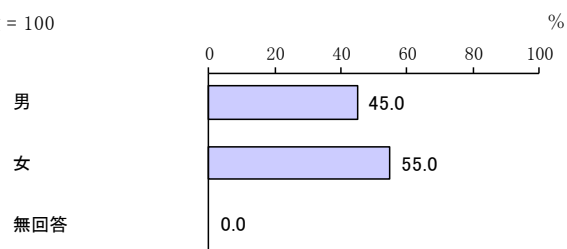
5 18歳から30歳代

(1) あなたと家族について

問1 あなたの性別をお答えください。

「男」の割合が45.0%、「女」の割合が55.0%
となっています。

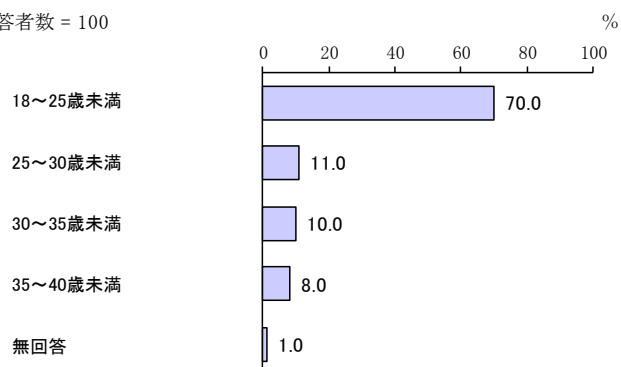
回答者数 = 100



問2 あなたの年齢は何歳ですか。(あてはまるもの1つに○)

「18～25歳未満」の割合が70.0%と最も高く、
次いで「25～30歳未満」の割合が11.0%、「30～
35歳未満」の割合が10.0%となっています。

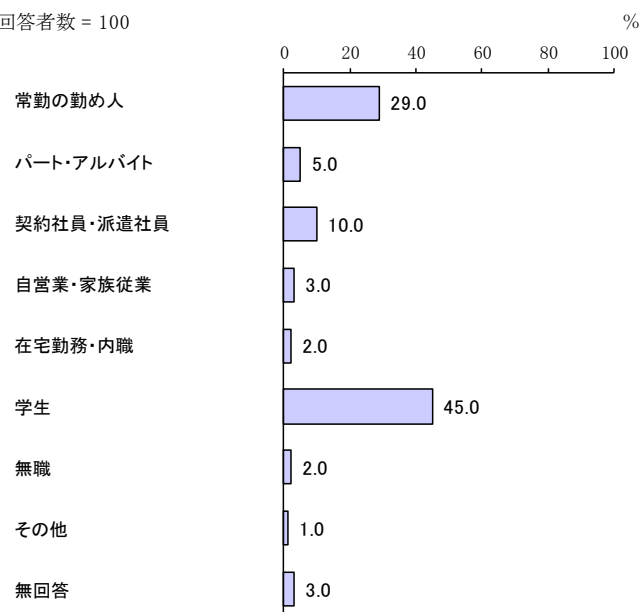
回答者数 = 100



問3 あなたの職業は何ですか。(あてはまるもの1つに○)

「学生」の割合が45.0%と最も高く、次いで
「常勤の勤め人」の割合が29.0%、「契約社員・
派遣社員」の割合が10.0%となっています。

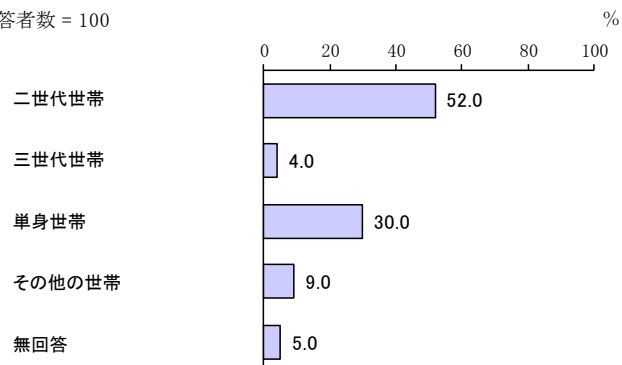
回答者数 = 100



問4 あなたの家族構成はどれに該当しますか。(あてはまるもの1つに○)

「二世世代世帯」の割合が52.0%と最も高く、次いで「単身世帯」の割合が30.0%となっています。

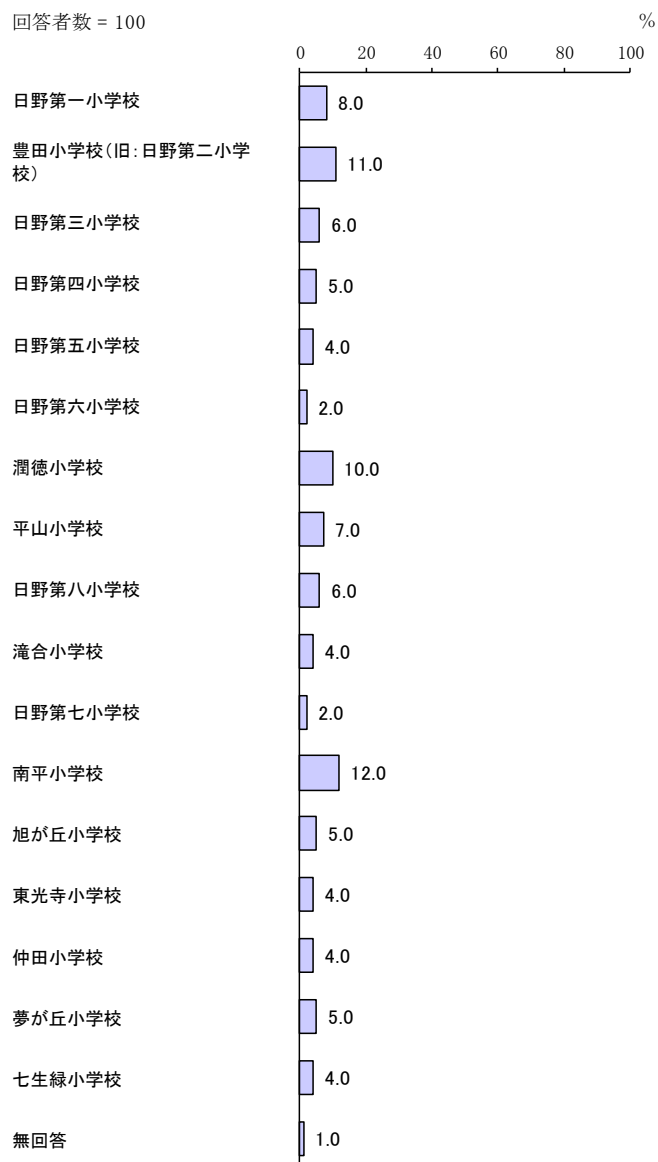
回答者数 = 100



問5 あなたはどの小学校の学区域にお住まいですか。(あてはまるもの1つに○)

「南平小学校」の割合が12.0%と最も高く、次いで「豊田小学校(旧:日野第二小学校)」の割合が11.0%、「潤徳小学校」の割合が10.0%となっています。

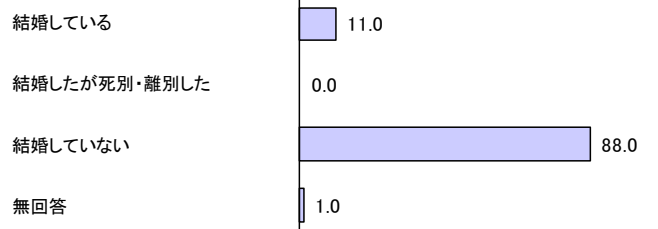
回答者数 = 100



問6 結婚していますか。(あてはまるもの1つに○)

「結婚していない」の割合が88.0%と最も高く、次いで「結婚している」の割合が11.0%となっています。

回答者数 = 100

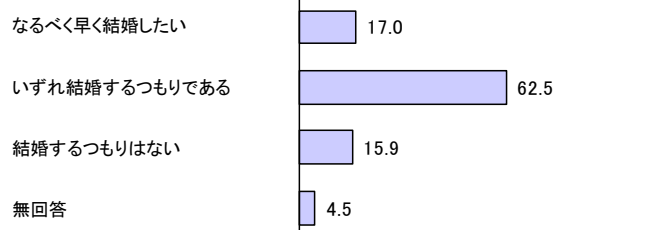


問7 問6で「2. 結婚したが死別・離別した」か「3. 結婚していない」を選んだ方に伺います。

結婚についてどのように考えていますか。(あてはまるもの1つに○)

「いずれ結婚するつもりである」の割合が62.5%と最も高く、次いで「なるべく早く結婚したい」の割合が17.0%、「結婚するつもりはない」の割合が15.9%となっています。

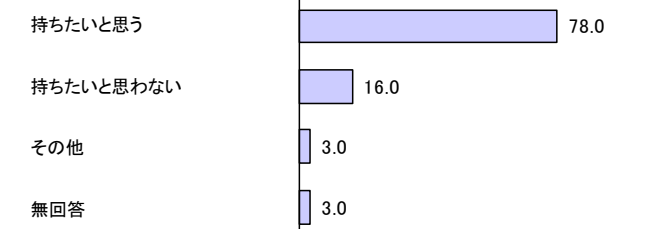
回答者数 = 88



問9 これから子どもを持ちたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

「持ちたいと思う」の割合が78.0%、「持ちたいと思わない」の割合が16.0%となっています。

回答者数 = 100

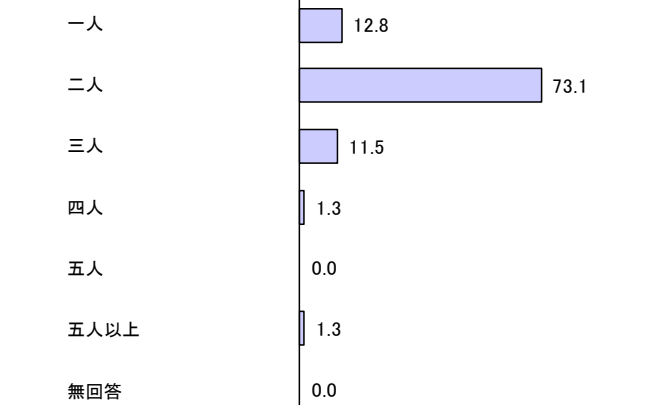


問11 問9で「1. 持ちたいと思う」を選んだ方に伺います。

あなたが理想とする子どもの人数は何人ですか。(あてはまるもの1つに○)

「二人」の割合が73.1%と最も高く、次いで「一人」の割合が12.8%、「三人」の割合が11.5%となっています。

回答者数 = 78

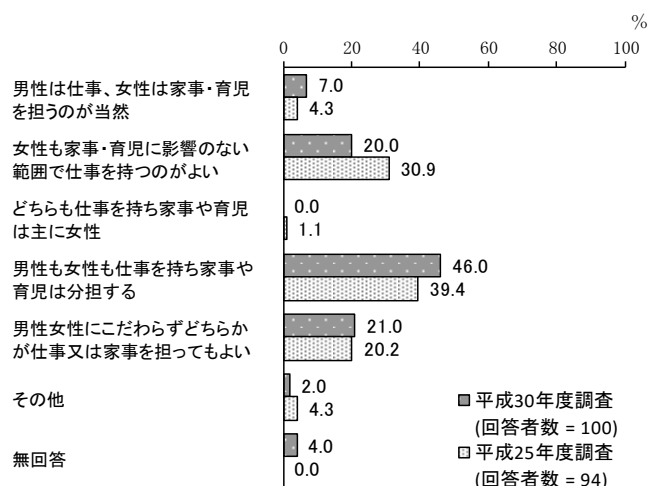


(2) 家庭と仕事について

問 12 家庭と仕事の両立についてどのように考えていますか。
(あてはまるもの1つに○)

「男性も女性も仕事を持ち家事や育児は分担する」の割合が46.0%と最も高く、次いで「男性女性にこだわらずどちらかが仕事又は家事を担ってもよい」の割合が21.0%、「女性も家事・育児に影響のない範囲で仕事を持つのがよい」の割合が20.0%となっています。

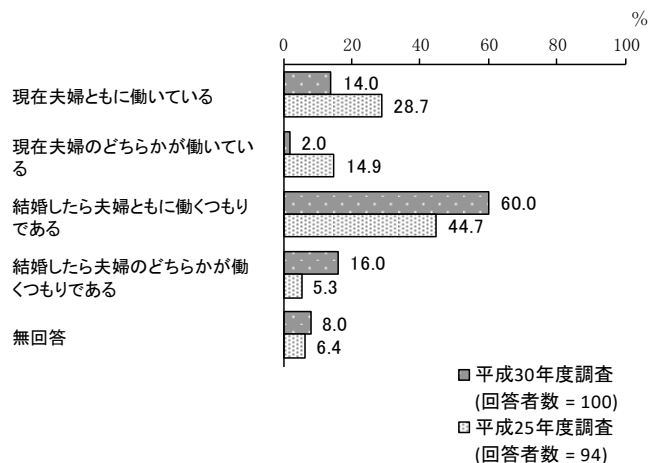
平成25年度調査と比較すると、「男性も女性も仕事を持ち家事や育児は分担する」の割合が増加しています。一方、「女性も家事・育児に影響のない範囲で仕事を持つのがよい」の割合が減少しています。



問 13 夫婦の就労状況についてどう考えていますか。(あてはまるもの1つに○)

「結婚したら夫婦ともに働くつもりである」の割合が60.0%と最も高く、次いで「結婚したら夫婦のどちらかが働くつもりである」の割合が16.0%、「現在夫婦ともに働いている」の割合が14.0%となっています。

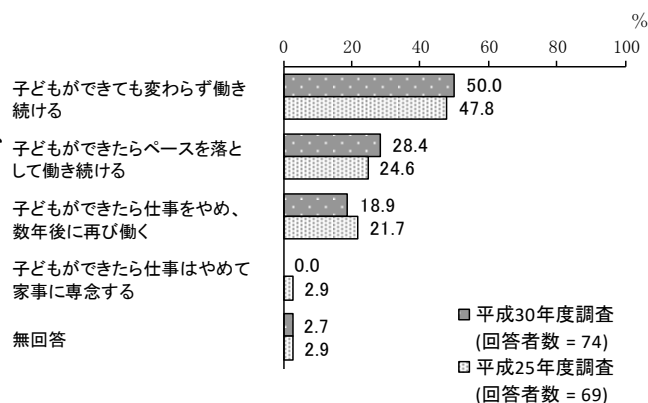
平成25年度調査と比較すると、「結婚したら夫婦ともに働くつもりである」「結婚したら夫婦のどちらかが働くつもりである」の割合が増加しています。一方、「現在夫婦ともに働いている」「現在夫婦のどちらかが働いている」の割合が減少しています。



問 14 問 13 で「1. 現在夫婦ともに働いている」か「3. 結婚したら夫婦ともに働くつもりである」を選んだ方に伺います。
 あなた自身について今後どのようにしたいとお考えですか。
 （あてはまるもの 1 つに○）

「子どもができて後も変わらず働き続ける」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「子どもができたからペースを落として働き続ける」の割合が 28.4%、「子どもができたなら仕事をやめ、数年後に再び働く」の割合が 18.9%となっています。

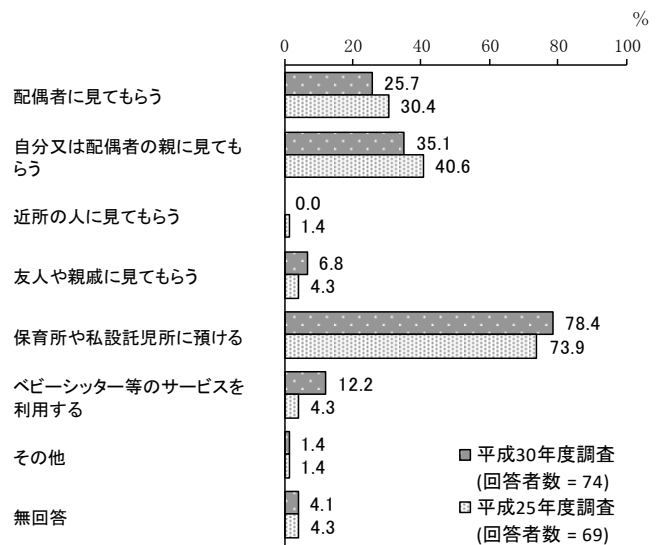
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 15 問 13 で「1. 現在夫婦ともに働いている」か「3. 結婚したら夫婦ともに働くつもりである」を選んだ方に伺います。
働いている間、子どもの世話はどうしたいとお考えですか。
(あてはまるもの3つまで○)

「保育所や私設託児所に預ける」の割合が78.4%と最も高く、次いで「自分又は配偶者の親に見てもらう」の割合が35.1%、「配偶者に見てもらう」の割合が25.7%となっています。

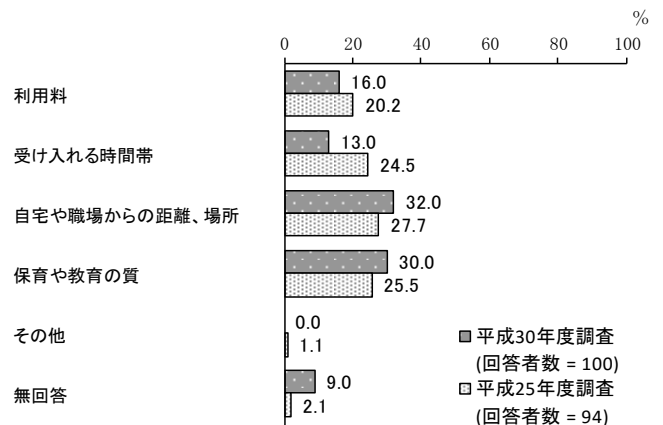
平成 25 年度調査と比較すると、「ベビーシッター等のサービスを利用する」の割合が増加しています。一方、「自分又は配偶者の親に見てもらう」の割合が減少しています。



問 16 あなたが子育て支援事業を受けるとしたら、何を最も重視しますか。
(あてはまるもの1つに○)

「自宅や職場からの距離、場所」の割合が32.0%と最も高く、次いで「保育や教育の質」の割合が30.0%、「利用料」の割合が16.0%となっています。

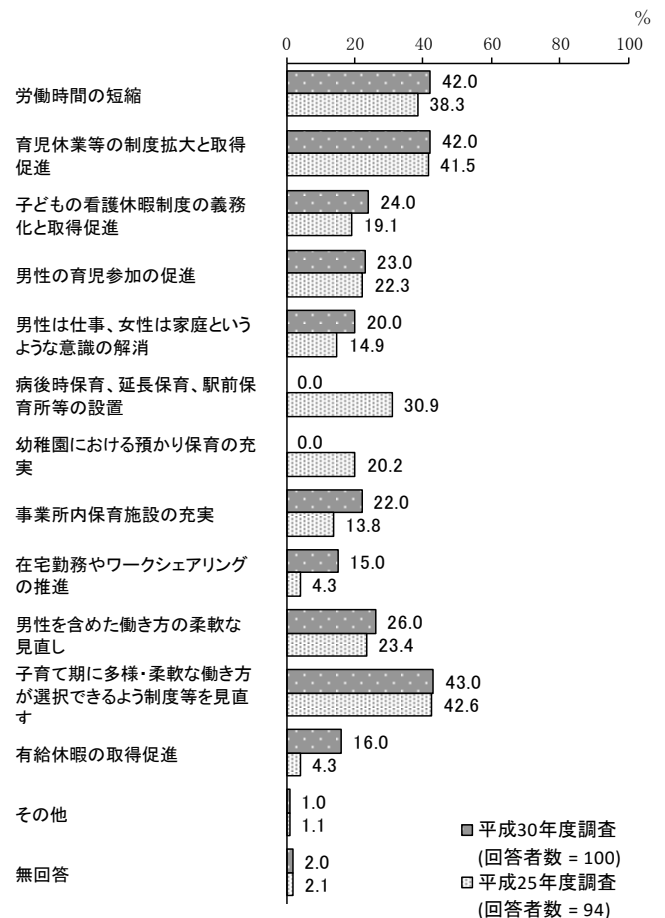
平成 25 年度調査と比較すると、「受け入れる時間帯」の割合が減少しています。



問 17 女性が結婚や出産後も仕事を続けていく上で必要な条件だと思われることは何ですか。（あてはまるもの3つまで○）

「子育て期に多様・柔軟な働き方が選択できるよう制度等を見直す」の割合が 43.0%と最も高く、次いで「労働時間の短縮」、「育児休業等の制度拡大と取得促進」の割合が 42.0%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「男性は仕事、女性は家庭」というような意識の解消」「事業所内保育施設の充実」「在宅勤務やワークシェアリングの推進」「有給休暇の取得促進」の割合が増加しています。一方、「病後時保育、延長保育、駅前保育所等の設置」「幼稚園における預かり保育の充実」の割合が減少しています。

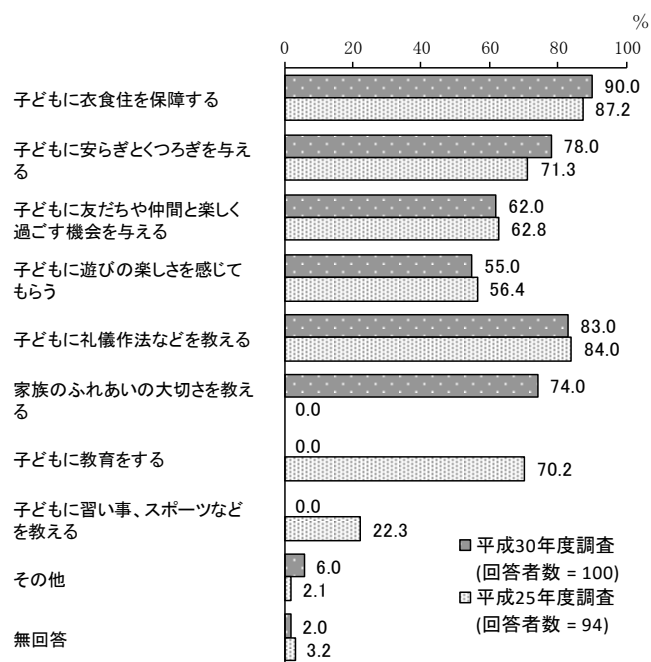


(3) 家庭や地域の養育力について

問 18 子育てにおいて家庭が果たすべき役割について、必要と思う項目を選んでください。(あてはまるものすべてに○)

「子どもに衣食住を保障する」の割合が 90.0%と最も高く、次いで「子どもに礼儀作法などを教える」の割合が 83.0%、「子どもに安らぎとくつろぎを与える」の割合が 78.0%となっています。

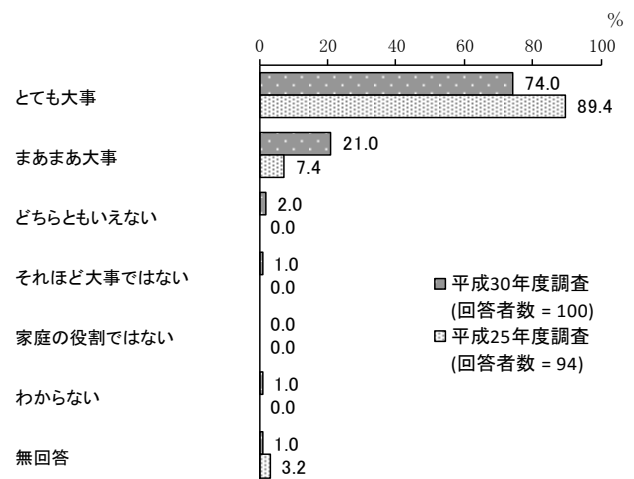
平成 25 年度調査と比較すると、「子どもに安らぎとくつろぎを与える」「家族のふれあいの大切さを教える」の割合が増加しています。一方、「子どもに教育をする」「子どもに習い事、スポーツなどを教える」の割合が減少しています。



問 19 子どもに「しつけ」をするのは、家庭の大事な役割だと思いますか。
(あてはまるもの1つに○)

「とても大事」の割合が74.0%と最も高く、次いで「まあまあ大事」の割合が21.0%となっています。

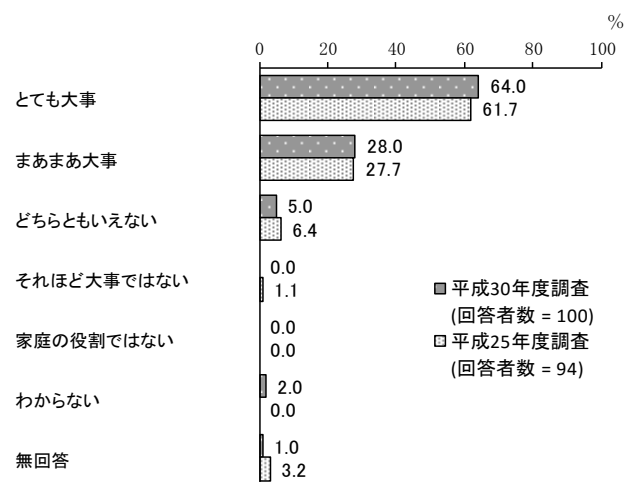
平成25年度調査と比較すると、「まあまあ大事」の割合が増加しています。一方、「とても大事」の割合が減少しています。



問 20 子どもに「教育」をするのは家庭の大事な役割だと思いますか。
(あてはまるもの1つに○)

「とても大事」の割合が64.0%と最も高く、次いで「まあまあ大事」の割合が28.0%となっています。

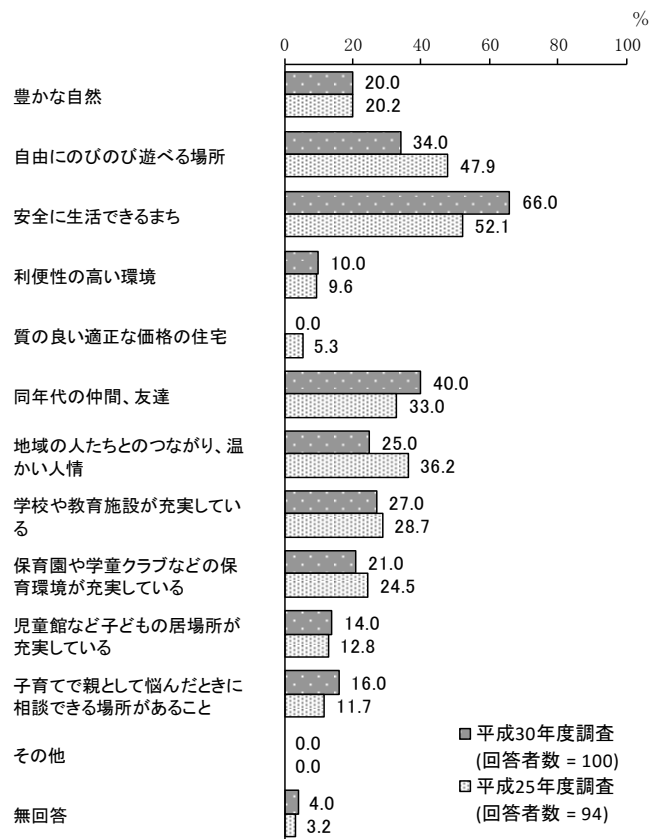
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 21 子どもを育てる環境として何を重視しますか。(あてはまるもの3つまで○)

「安全に生活できるまち」の割合が 66.0%と最も高く、次いで「同年代の仲間、友達」の割合が 40.0%、「自由にのびのび遊べる場所」の割合が 34.0%となっています。

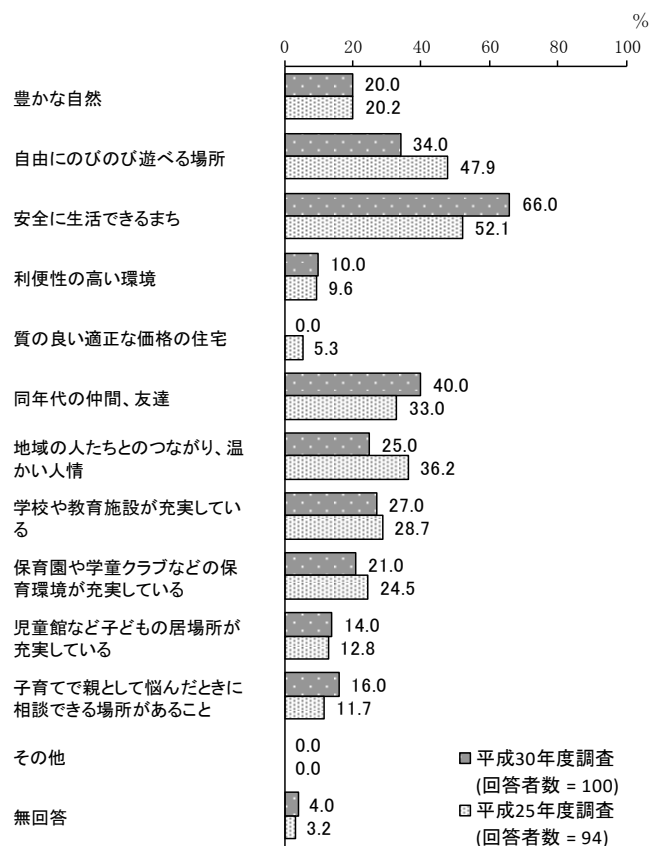
平成 25 年度調査と比較すると、「安全に生活できるまち」「同年代の仲間、友達」の割合が増加しています。一方、「自由にのびのび遊べる場所」「質の良い適正な価格の住宅」「地域の人たちとのつながり、温かい人情」の割合が減少しています。



問 22 子育てをしやすい地域を作るために、地域の人々が果たすべき役割について必要と思う項目を選んでください。(あてはまるものすべてに○)

「地域で子どもを見守り育てるという気持ちを持つ」の割合が 61.0%と最も高く、次いで「子ども会やお祭りなど子どもの参加できる活動や行事に関わる」の割合が 55.0%、「地域で子どもの安全確保に向けた取組の推進」の割合が 48.0%となっています。

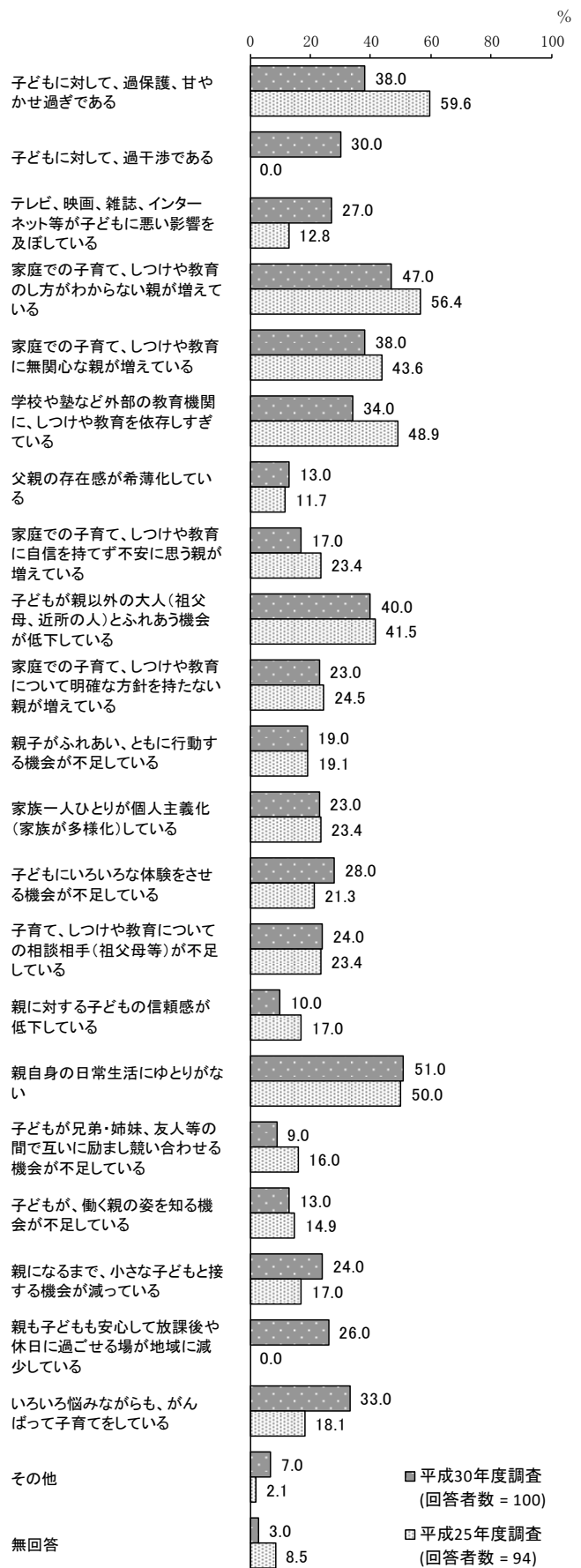
平成 25 年度調査と比較すると、「安全に生活できるまち」「同年代の仲間、友達」の割合が増加しています。一方、「自由にのびのび遊べる場所」「質の良い適正な価格の住宅」「地域の人たちとのつながり、温かい人情」の割合が減少しています。



問 23 最近の子育て中の家庭について、あてはまると思うことは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「親自身の日常生活にゆとりがない」の割合が51.0%と最も高く、次いで「家庭での子育て、しつけや教育のし方がわからない親が増えている」の割合が47.0%、「子どもが親以外の大人（祖父母、近所の人）とふれあう機会が低下している」の割合が40.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「子どもに対して、過干渉である」「テレビ、映画、雑誌、インターネット等が子どもに悪い影響を及ぼしている」「家庭での子育て、しつけや教育に無関心な親が増えている」「学校や塾など外部の教育機関に、しつけや教育を依存しすぎている」「父親の存在感が希薄化している」「家庭での子育て、しつけや教育に自信を持てず不安に思う親が増えている」「子どもが親以外の大人（祖父母、近所の人）とふれあう機会が低下している」「家庭での子育て、しつけや教育について明確な方針を持たない親が増えている」「親子がふれあい、ともに行動する機会が不足している」「家族一人ひとりが個人主義化（家族が多様化）している」「子どもにいろいろな体験をさせる機会が不足している」「子育て、しつけや教育についての相談相手（祖父母等）が不足している」「親に対する子どもの信頼感が低下している」「親自身の日常生活にゆとりがない」「子どもが兄弟・姉妹、友人等の間で互いに励まし競い合わせる機会が不足している」「子どもが、働く親の姿を知る機会が不足している」「親になるまで、小さな子どもと接する機会が減っている」「親も子どもも安心して放課後や休日に過ごせる場が地域に減少している」「いろいろな悩みながらも、がんばって子育てをしている」の割合が増加しています。一方、「子どもに対して、過保護、甘やかせ過ぎである」「家庭での子育て、しつけや教育のし方がわからない親が増えている」「家庭での子育て、しつけや教育に無関心な親が増えている」「学校や塾など外部の教育機関に、しつけや教育を依存しすぎている」「いろいろな悩みながらも、がんばって子育てをしている」の割合が減少しています。



6 子育て関連事業者・団体

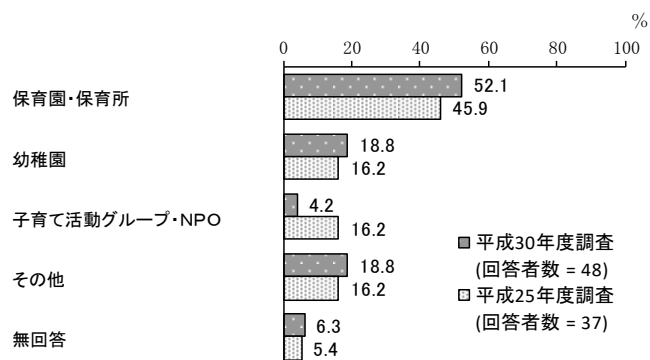
(1) 施設・グループの概要について

問1 貴施設・貴グループの活動内容の種類についてお答えください。

施設の種類

「保育園・保育所」の割合が52.1%と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が18.8%となっています。

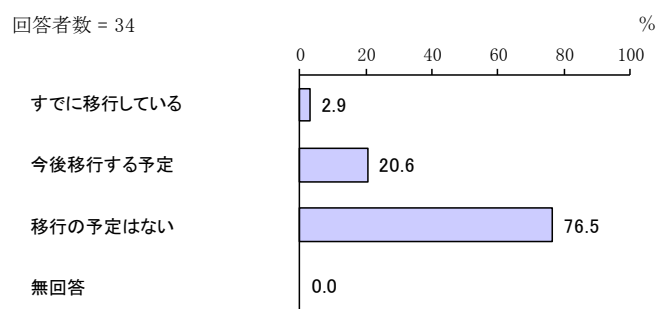
平成25年度調査と比較すると、「保育園・保育所」の割合が増加しています。一方、「子育て活動グループ・NPO」の割合が減少しています。



問2 前問の「施設の種類」で「1. 保育園・保育所」または「2. 幼稚園」に○をつけた方に伺います。

認定こども園へ移行する考えはありますか。(あてはまるもの1つに○)

「移行の予定はない」の割合が76.5%と最も高く、次いで「今後移行する予定」の割合が20.6%となっています。



問3 問2で「1. すでに移行している」または「2. 今後移行する予定」に○をつけた方に伺います。
移行した類型はどれですか。(あてはまるもの1つに○)

「保育所型」が4件となっています。「幼保連携型」、「幼稚園型」が2件となっています。

回答者数 = 8

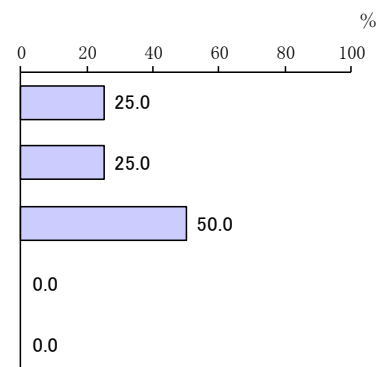
幼保連携型

幼稚園型

保育所型

地方裁量型

無回答



問4 問2で「1. すでに移行している」または「2. 今後移行する予定」に○をつけた方に伺います。
新制度へ移行した理由をお聞かせください。(あてはまるものすべてに○)

「保護者・子どものため」が6件となっています。「これまで通りの活動ができるから」、「児童福祉施設、学校の法的位置づけとなるから」が3件となっています。

回答者数 = 8

これまで通りの活動ができるから

児童福祉施設、学校の法的位置づけとなるから

運営的に増収となるから

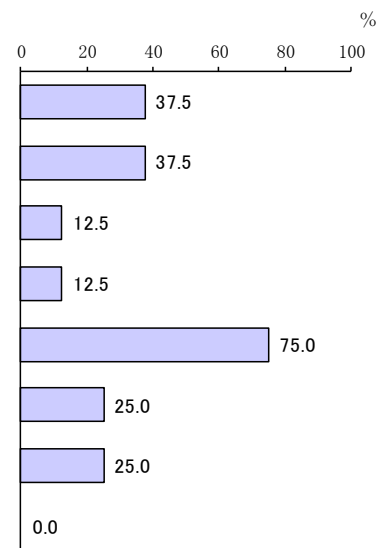
地域に選べる保育所・幼稚園がないから

保護者・子どものため

職員の処遇改善につながるから

その他

無回答

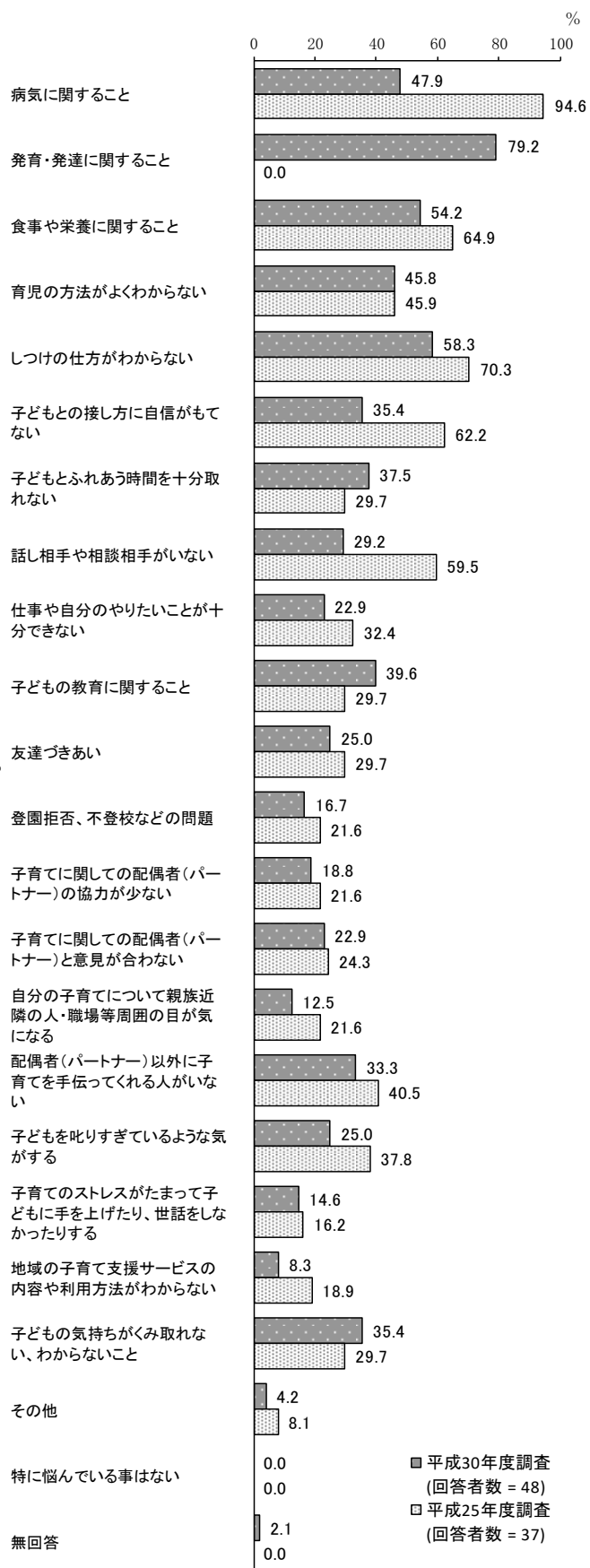


(2) 家庭や地域での子育ての実態について

問5 日々子どもやその親たちと接する中で、親が子育てに関してどのような悩みや問題を抱えていると感じますか。(あてはまるものすべてに○)

「発育・発達に関すること」の割合が79.2%と最も高く、次いで「しつけの仕方がわからない」の割合が58.3%、「食事や栄養に関すること」の割合が54.2%となっています。

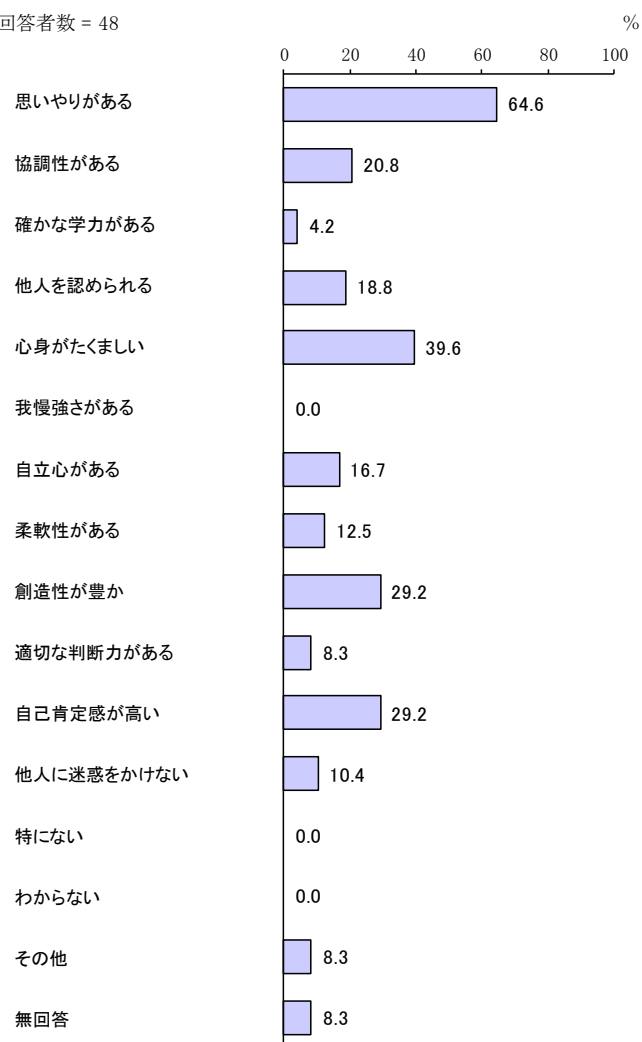
平成25年度調査と比較すると、「発育・発達に関すること」「子どもとふれあう時間を十分取れない」「子どもの教育に関すること」「子どもの気持ちちがくみ取れない、わからないこと」の割合が増加しています。一方、「病気に関すること」「食事や栄養に関すること」「しつけの仕方がわからない」「子どもとの接し方に自信がもてない」「話し相手や相談相手がいらない」「仕事や自分のやりたいことが十分できない」「自分の子育てについて親族近隣の人・職場等周囲の目が気になる」「配偶者（パートナー）以外に子育てを手伝ってくれる人がいない」「子どもを叱りすぎているような気がする」「地域の子育て支援サービスの内容や利用方法がわからない」の割合が減少しています。



問7 日野市の子どもたちに、どのような子どもに育てほしいと思いますか。
(主なものを3つまで○)

「思いやりがある」の割合が64.6%と最も高く、次いで「心身がたくましい」の割合が39.6%、「創造性が豊か」、「自己肯定感が高い」の割合が29.2%となっています。

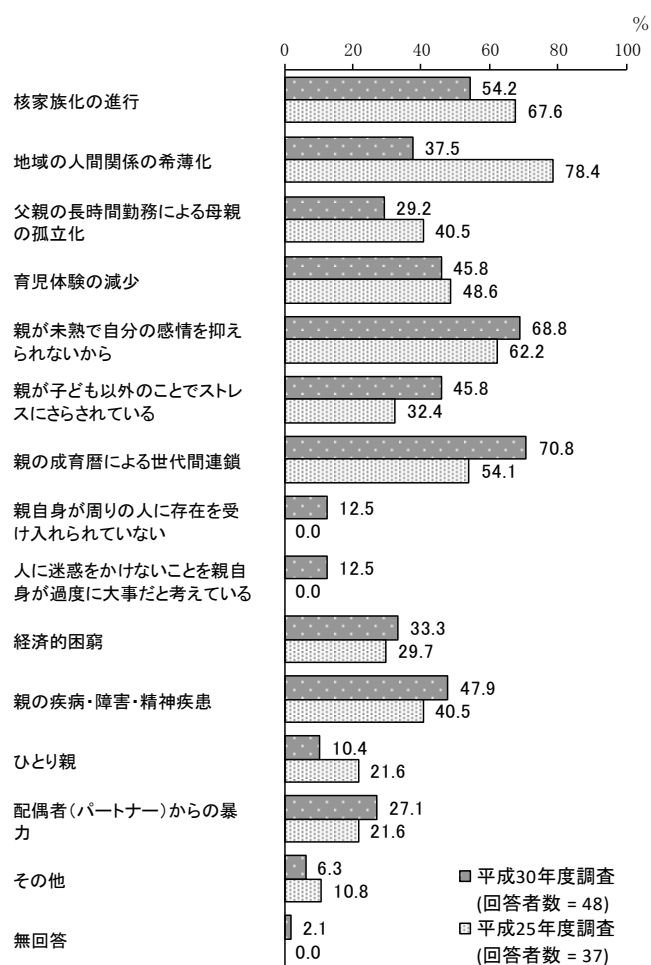
回答者数 = 48



**問8 現在、児童虐待が大きな問題となっています。虐待の原因は何だと思いませんか。
(あてはまるものすべてに○)**

「親の成育暦による世代間連鎖」の割合が70.8%と最も高く、次いで「親が未熟で自分の感情を抑えられないから」の割合が68.8%、「核家族化の進行」の割合が54.2%となっています。

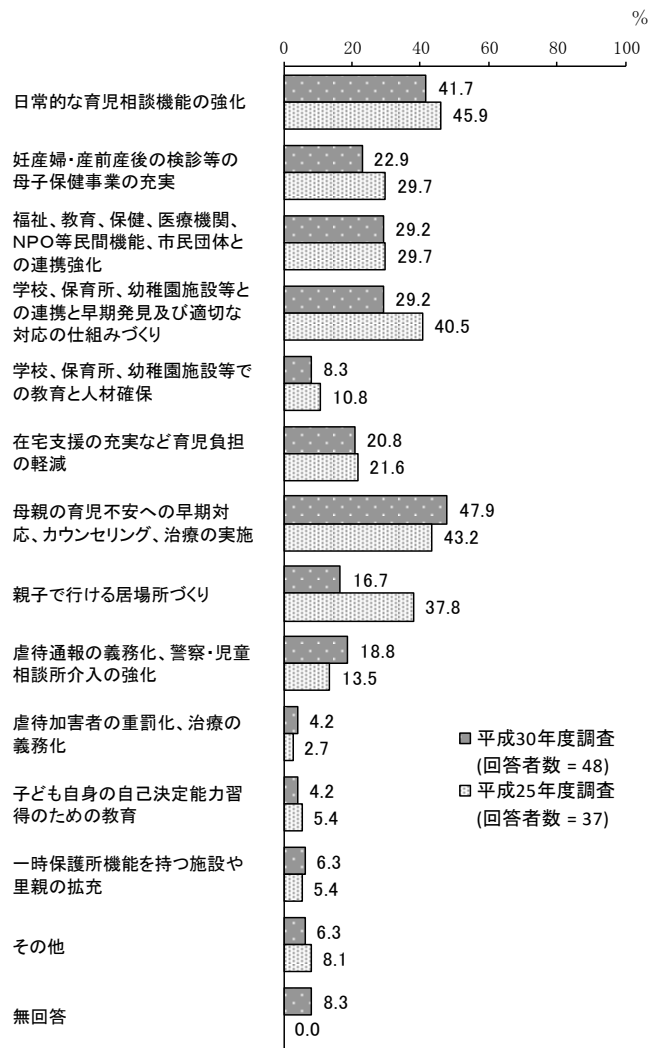
平成25年度調査と比較すると、「親が未熟で自分の感情を抑えられないから」「親が子ども以外のことでストレスにさらされている」「親の成育暦による世代間連鎖」「親自身が周りの人に存在を受け入れられていない」「人に迷惑をかけないことを親自身が過度に大事だと考えている」「親の疾病・障害・精神疾患」「配偶者（パートナー）からの暴力」の割合が増加しています。一方、「核家族化の進行」「地域の人間関係の希薄化」「父親の長時間勤務による母親の孤立化」「育児体験の減少」の割合が減少しています。



問9 児童虐待を防止するにはどのような取り組みが必要だと思いますか。
(あてはまるもの3つまで○)

「母親の育児不安への早期対応、カウンセリング、治療の実施」の割合が47.9%と最も高く、次いで「日常的な育児相談機能の強化」の割合が41.7%、「福祉、教育、保健、医療機関、NPO等民間機能、市民団体との連携強化」、「学校、保育所、幼稚園施設等との連携と早期発見及び適切な対応の仕組みづくり」の割合が29.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「虐待通報の義務化、警察・児童相談所介入の強化」の割合が増加しています。一方、「妊産婦・産前産後の検診等の母子保健事業の充実」「学校、保育所、幼稚園施設等との連携と早期発見及び適切な対応の仕組みづくり」「親子で行ける居場所づくり」の割合が減少しています。



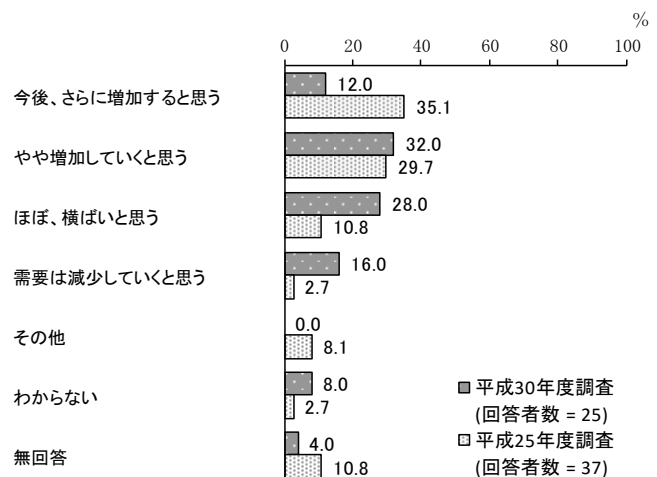
(3) サービスの動向について

(保育関連施設の方、該当される場合にお答えください。)

問10 今後の保育サービスの需要について、どのような見通しを持っていますか。
(あてはまるもの1つに○)

「やや増加していくと思う」の割合が32.0%と最も高く、次いで「ほぼ、横ばいと思う」の割合が28.0%、「需要は減少していくと思う」の割合が16.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「ほぼ、横ばいと思う」「需要は減少していくと思う」「わからない」の割合が増加しています。一方、「今後、さらに増加すると思う」の割合が減少しています。

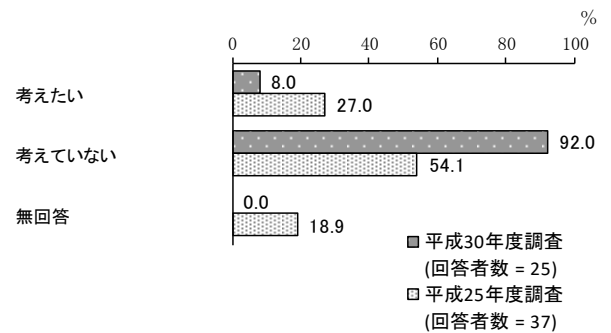


問 11 問 10 で答えた見通しの下で平日の保育サービスの定員・時間についてお答えください。(①～④項目それぞれ1つだけ○)

①基本定員の拡大について

「考えたい」の割合が8.0%、「考えていない」の割合が92.0%となっています。

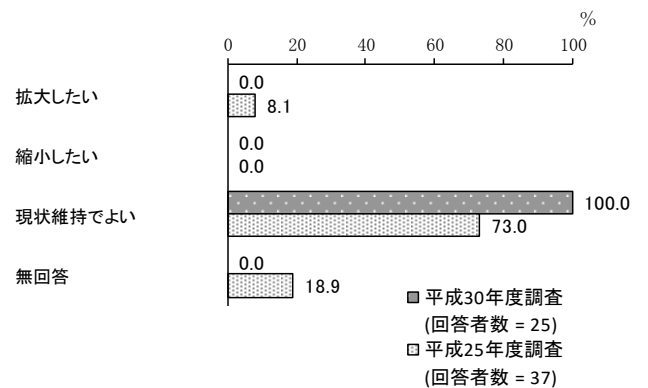
平成25年度調査と比較すると、「考えていない」の割合が増加しています。一方、「考えたい」の割合が減少しています。



②基本となる営業時間について

「現状維持でよい」の割合が100.0%と最も高くなっています。

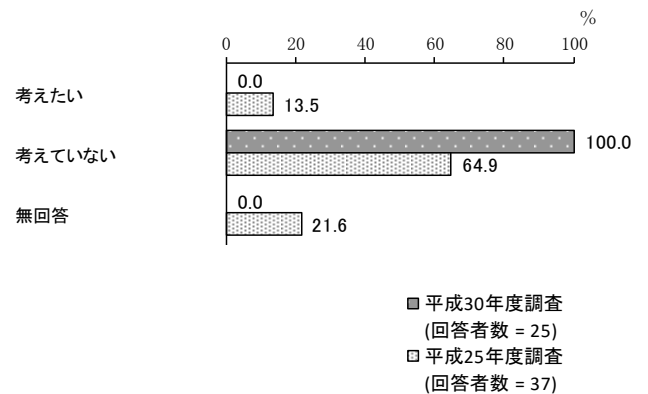
平成25年度調査と比較すると、「現状維持でよい」の割合が増加しています。一方、「拡大したい」の割合が減少しています。



③延長保育の拡大について

「考えていない」の割合が100.0%と最も高くなっています。

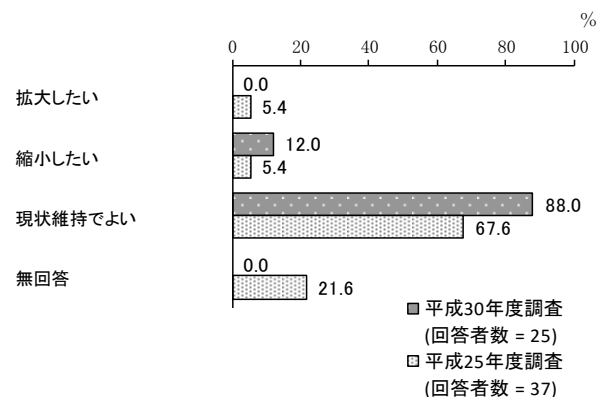
平成25年度調査と比較すると、「考えていない」の割合が増加しています。一方、「考えたい」の割合が減少しています。



④延長保育の時間の拡大について

「現状維持でよい」の割合が88.0%と最も高く、次いで「縮小したい」の割合が12.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「縮小したい」「現状維持でよい」の割合が増加しています。一方、「拡大したい」の割合が減少しています。

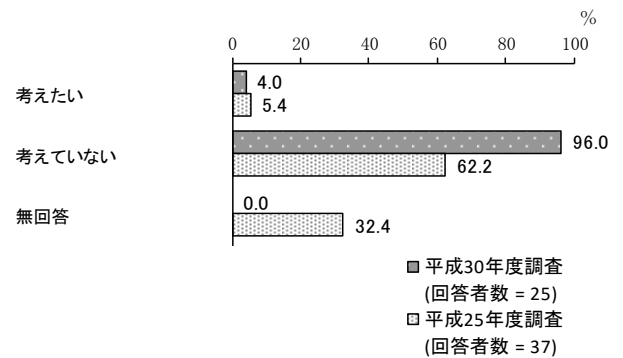


問 12 土曜の保育サービスの定員・時間についてお答えください。
(①～④項目それぞれ1つだけ○)

①基本定員の拡大について

「考えたい」の割合が4.0%、「考えていない」の割合が96.0%となっています。

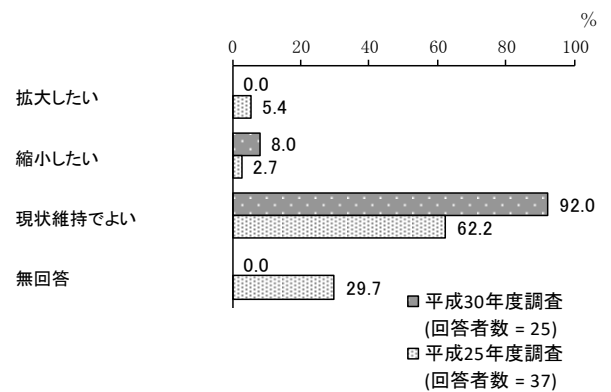
平成25年度調査と比較すると、「考えていない」の割合が増加しています。



②基本となる営業時間について

「現状維持でよい」の割合が92.0%と最も高くなっています。

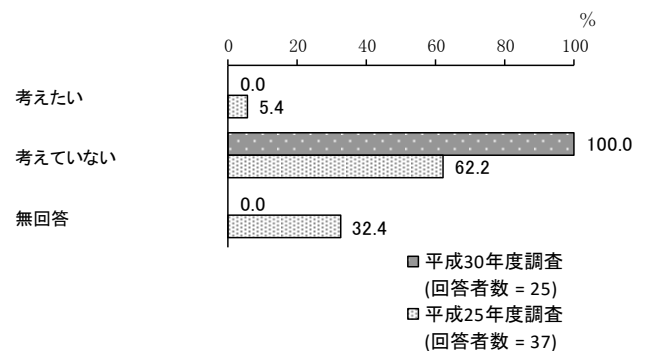
平成25年度調査と比較すると、「縮小したい」「現状維持でよい」の割合が増加しています。一方、「拡大したい」の割合が減少しています。



③延長保育の拡大について

「考えていない」の割合が100.0%と最も高くなっています。

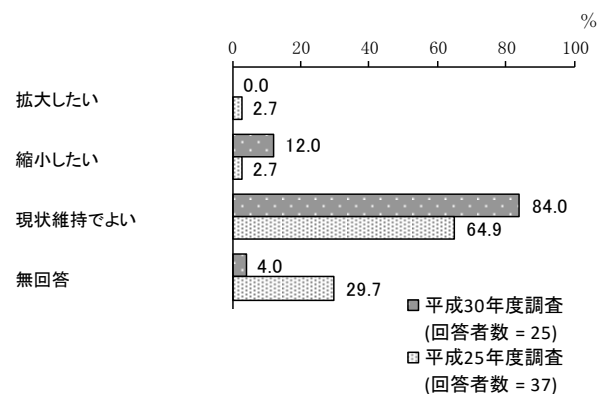
平成25年度調査と比較すると、「考えていない」の割合が増加しています。一方、「考えたい」の割合が減少しています。



④延長保育の時間の拡大について

「現状維持でよい」の割合が84.0%と最も高く、次いで「縮小したい」の割合が12.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「縮小したい」「現状維持でよい」の割合が増加しています。

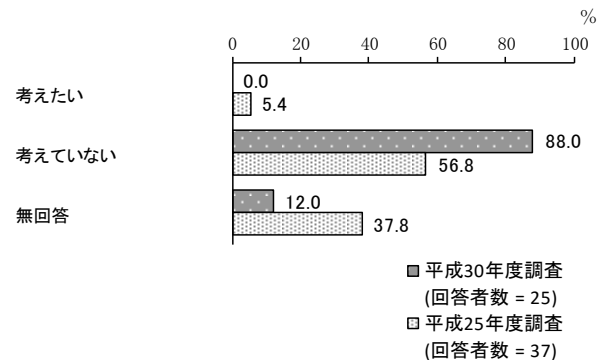


問 13 休日の保育サービスの定員・時間についてお答えください。
(①～④項目それぞれ1つだけ○)

①基本定員の拡大について

有効回答がありませんでした。

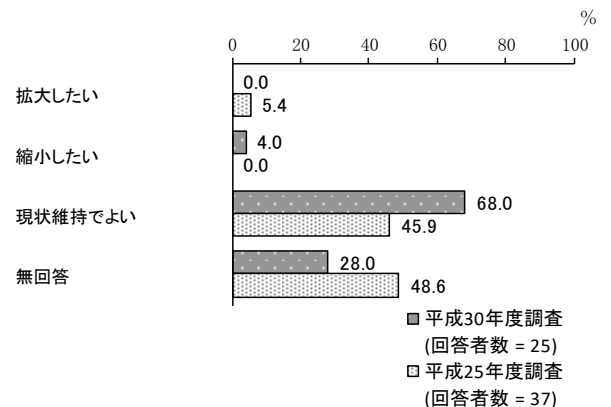
平成 25 年度調査と比較すると、「考えていない」の割合が増加しています。一方、「考えたい」の割合が減少しています。



②基本となる営業時間について

「現状維持でよい」の割合が 68.0%と最も高くなっています。

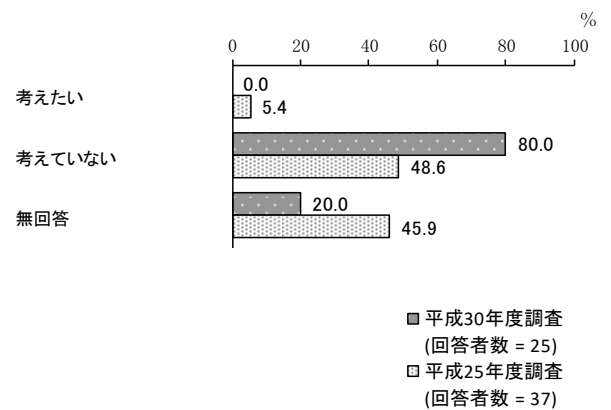
平成 25 年度調査と比較すると、「現状維持でよい」の割合が増加しています。一方、「拡大したい」の割合が減少しています。



③延長保育の拡大について

「考えていない」の割合が 80.0%と最も高くなっています。

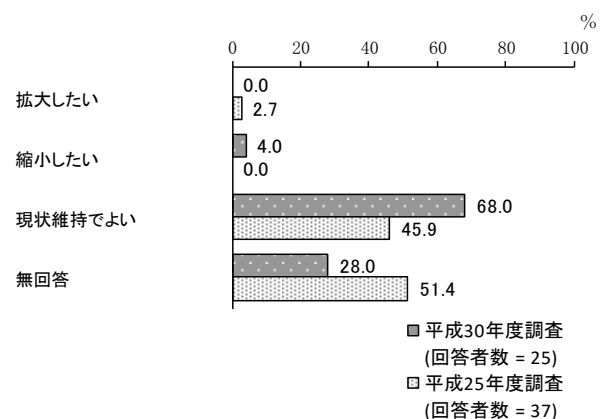
平成 25 年度調査と比較すると、「考えていない」の割合が増加しています。一方、「考えたい」の割合が減少しています。



④延長保育の時間の拡大について

「現状維持でよい」の割合が 68.0%と最も高くなっています。

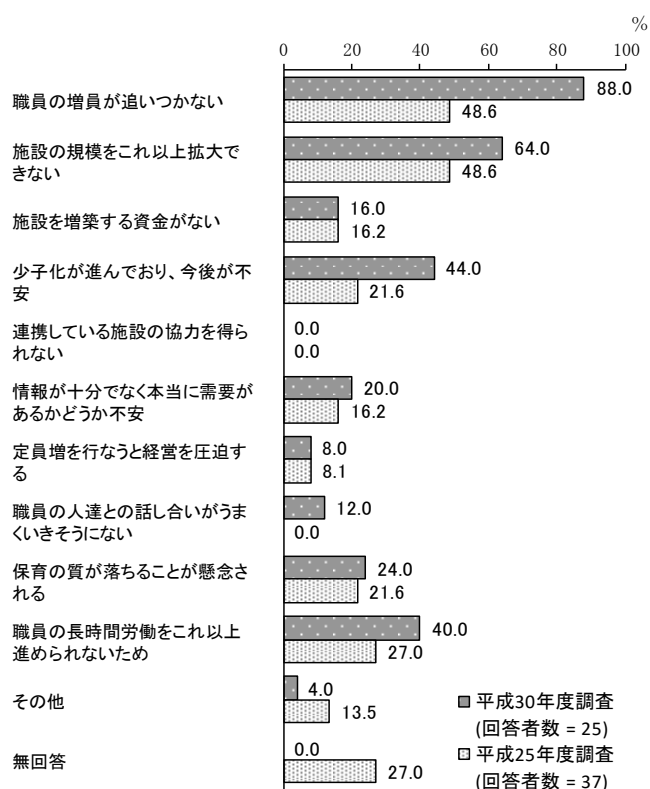
平成 25 年度調査と比較すると、「現状維持でよい」の割合が増加しています。



問 14 入所・利用定員を増やす場合、障害となる要素をお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

「職員の増員が追いつかない」の割合が 88.0%と最も高く、次いで「施設の規模をこれ以上拡大できない」の割合が 64.0%、「少子化が進んでおり、今後が不安」の割合が 44.0%となっています。

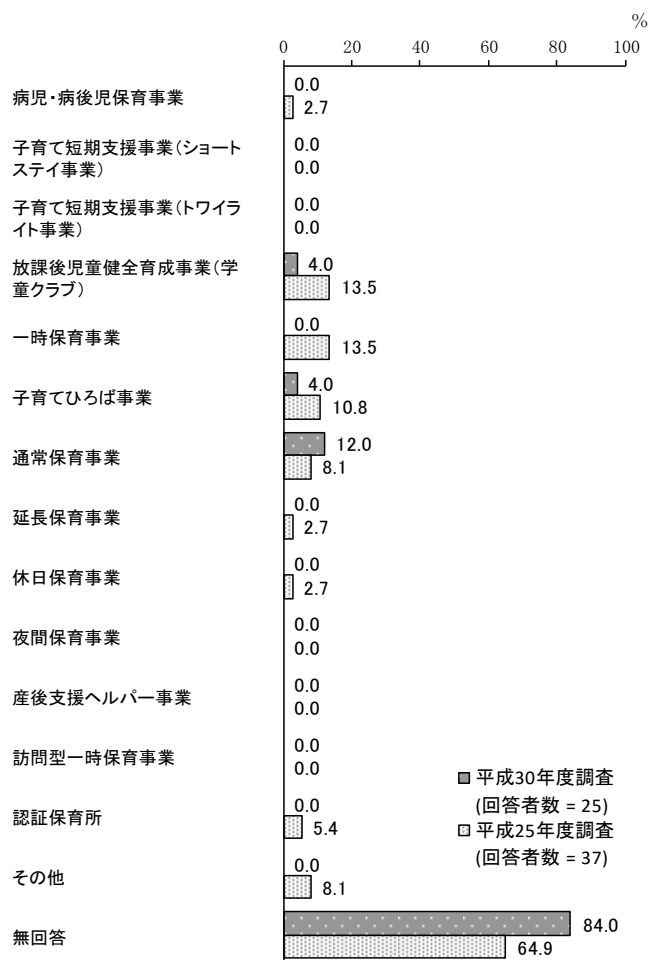
平成 25 年度調査と比較すると、「職員の増員が追いつかない」「施設の規模をこれ以上拡大できない」「少子化が進んでおり、今後が不安」「職員の人達との話し合いがうまくいきそうにない」「職員の長時間労働をこれ以上進められないため」の割合が増加しています。



問 15 今後実施を検討している事業があれば選んでください。
(あてはまるものすべてに○)

「通常保育事業」の割合が 12.0%と最も高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「放課後児童健全育成事業(学童クラブ)」「一時保育事業」「子育てひろば事業」「認証保育所」の割合が減少しています。

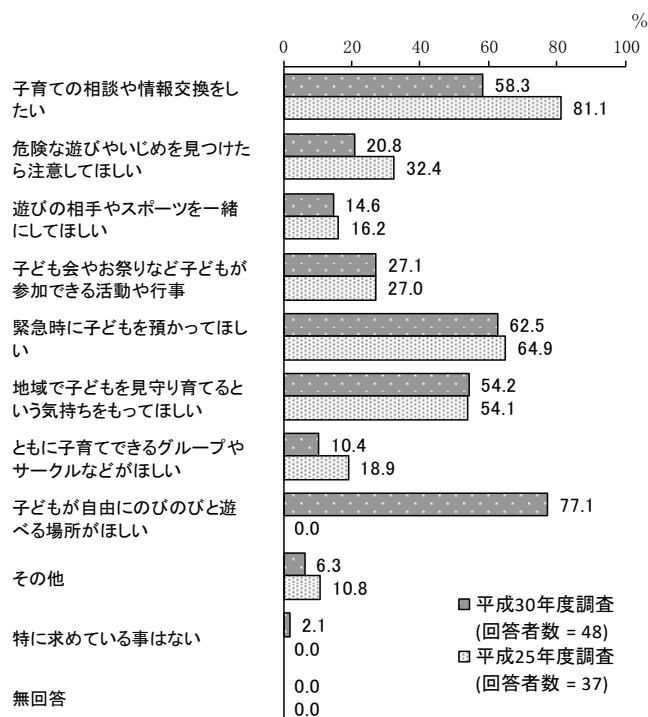


(4) 子育て支援活動について

問 16 日々の事業や活動を通して保護者の方と接する中で、保護者の方々が子育てをするにあたって地域に求めている事はどんな事だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

「子どもが自由にのびのびと遊べる場所がほしい」の割合が77.1%と最も高く、次いで「緊急時に子どもを預かってほしい」の割合が62.5%、「子育ての相談や情報交換をしたい」の割合が58.3%となっています。

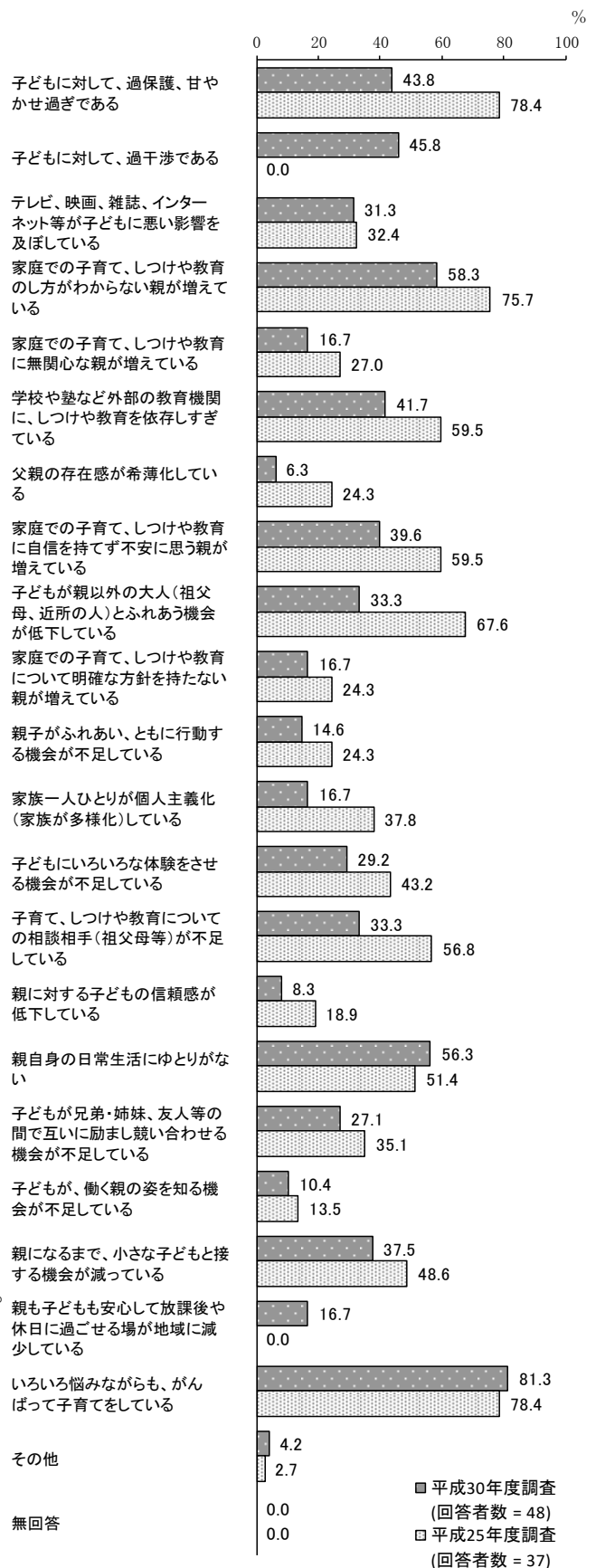
平成25年度調査と比較すると、「子どもが自由にのびのびと遊べる場所がほしい」の割合が増加しています。一方、「子育ての相談や情報交換をしたい」「危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい」「ともに子育てできるグループやサークルなどがほしい」の割合が減少しています。



問 17 最近の子育て中の家庭について、あてはまると思うことは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「いろいろ悩みながらも、がんばって子育てをしている」の割合が 81.3%と最も高く、次いで「家庭での子育て、しつけや教育のし方がわからない親が増えている」の割合が 58.3%、「親自身の日常生活にゆとりがない」の割合が 56.3%となっています。

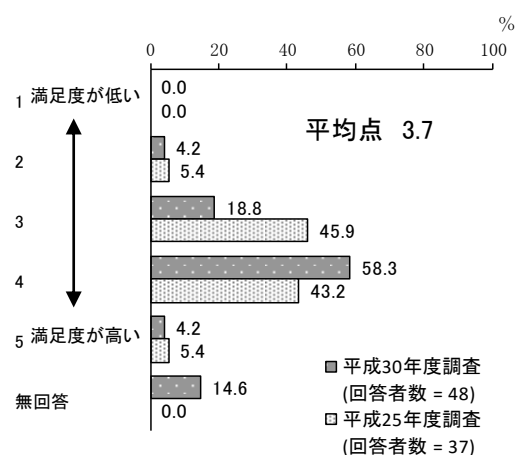
平成 25 年度調査と比較すると、「子どもに対して、過干渉である」「親も子どもも安心して放課後や休日に過ごせる場が地域に減少している」の割合が増加しています。一方、「子どもに対して、過保護、甘やかせ過ぎである」「家庭での子育て、しつけや教育のし方がわからない親が増えている」「家庭での子育て、しつけや教育に無関心な親が増えている」「学校や塾など外部の教育機関に、しつけや教育を依存しすぎている」「父親の存在感が希薄化している」「家庭での子育て、しつけや教育に自信を持てず不安に思う親が増えている」「子どもが親以外の大人(祖父母、近所の人)とふれあう機会が低下している」「家庭での子育て、しつけや教育について明確な方針を持たない親が増えている」「親子がふれあい、ともに行動する機会が不足している」「家族一人ひとりが個人主義化(家族が多様化)している」「子どもにいろいろな体験をさせる機会が不足している」「子育て、しつけや教育についての相談相手(祖父母等)が不足している」「親に対する子どもの信頼感が低下している」「親自身の日常生活にゆとりがない」「子どもが兄弟・姉妹、友人等の中で互いに励まし競い合わせる機会が不足している」「子どもが、働く親の姿を知る機会が不足している」「親になるまで、小さな子どもと接する機会が減っている」「親も子どもも安心して放課後や休日に過ごせる場が地域に減少している」の割合が減少しています。



問 19 日野市における子育て環境や支援への満足度についてお答えください。
(あてはまるもの1つに○)

「4」の割合が58.3%と最も高く、次いで「3」の割合が18.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「4」の割合が増加しています。一方、「3」の割合が減少しています。



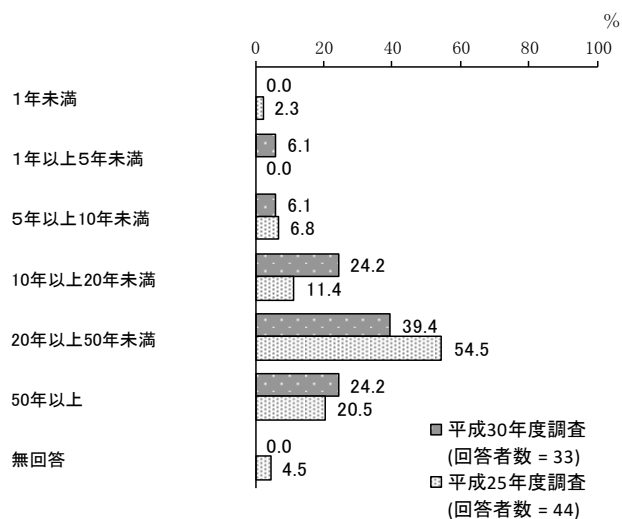
7 企業

(1) 事業所の概要について

問2 日野市で業務を始めてから何年経っていますか。(あてはまるもの1つに○)

「20年以上50年未満」の割合が39.4%と最も高く、次いで「10年以上20年未満」、「50年以上」の割合が24.2%となっています。

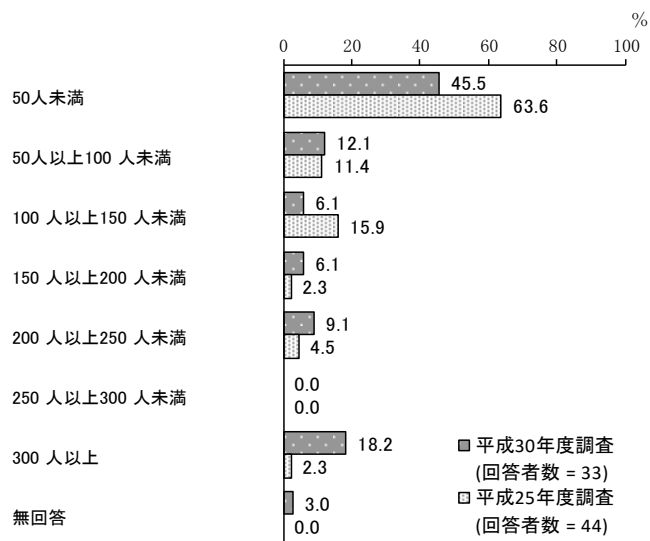
平成25年度調査と比較すると、「1年以上5年未満」「10年以上20年未満」の割合が増加しています。一方、「20年以上50年未満」の割合が減少しています。



問3 現在、社員（職員）の人数はどのくらいいますか。(あてはまるもの1つに○)

「50人未満」の割合が45.5%と最も高く、次いで「300人以上」の割合が18.2%、「50人以上100人未満」の割合が12.1%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「300人以上」の割合が増加しています。一方、「50人未満」「100人以上150人未満」の割合が減少しています。

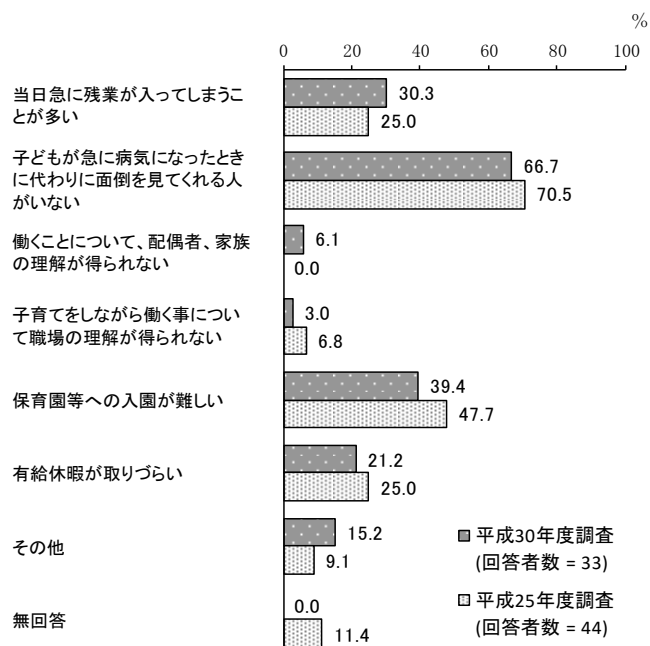


(2) 子育ての実態・必要な対策について

問4 仕事と子育てを両立（ワークライフバランス）させる上で障害となっていると感じることは何ですか。
（貴事業所の社員（職員）について、3つまで○をつけてください。）

「子どもが急に病気になったときに代わりに面倒を見てくれる人がいない」の割合が66.7%と最も高く、次いで「保育園等への入園が難しい」の割合が39.4%、「当日急に残業が入ってしまうことが多い」の割合が30.3%となっています。

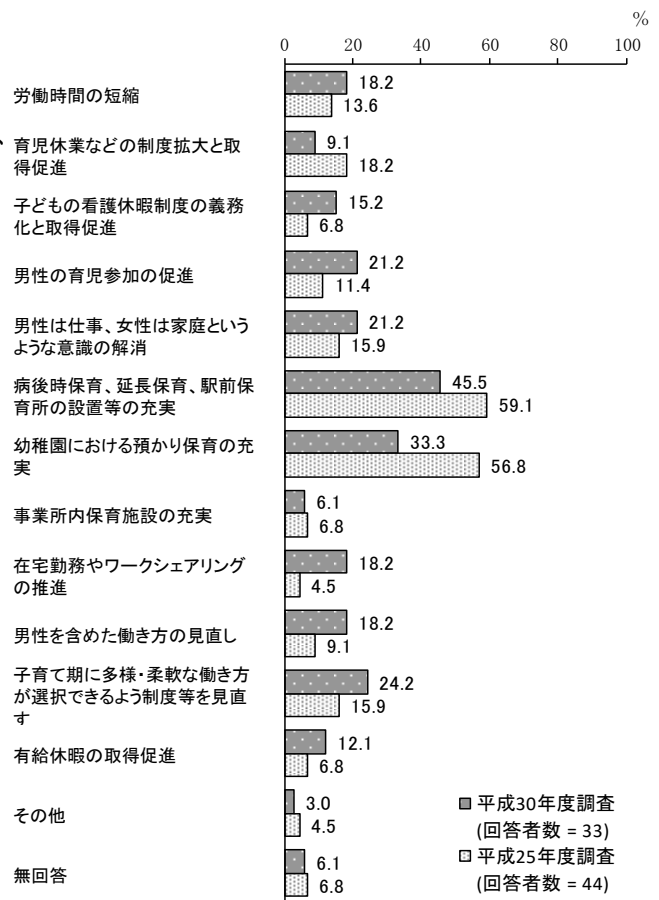
平成25年度調査と比較すると、「当日急に残業が入ってしまうことが多い」「働くことについて、配偶者、家族の理解が得られない」の割合が増加しています。一方、「保育園等への入園が難しい」の割合が減少しています。



問5 今後、仕事と子育ての両立（ワークライフバランス）が可能な環境を整備・充実していく上で何が最も重要と考えますか。（あてはまるもの3つまで○）

「病後時保育、延長保育、駅前保育所の設置等の充実」の割合が45.5%と最も高く、次いで「幼稚園における預かり保育の充実」の割合が33.3%、「子育て期に多様・柔軟な働き方が選択できるような制度等を見直す」の割合が24.2%となっています。

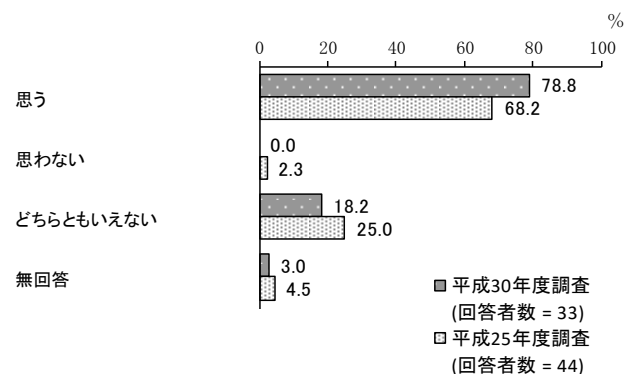
平成25年度調査と比較すると、「子どもの看護休暇制度の義務化と取得促進」「男性の育児参加の促進」「男性は仕事、女性は家庭というような意識の解消」「在宅勤務やワークシェアリングの推進」「男性を含めた働き方の見直し」「子育て期に多様・柔軟な働き方が選択できるような制度等を見直す」「有給休暇の取得促進」の割合が増加しています。一方、「育児休業などの制度拡大と取得促進」「病後時保育、延長保育、駅前保育所の設置等の充実」「幼稚園における預かり保育の充実」の割合が減少しています。



問6 仕事と家庭（育児）の両立しやすい環境を整えることは貴社（事業所）にとってメリットがあると思いますか。（あてはまるもの1つに○）

「思う」の割合が78.8%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が18.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「思う」の割合が増加しています。一方、「どちらともいえない」の割合が減少しています。

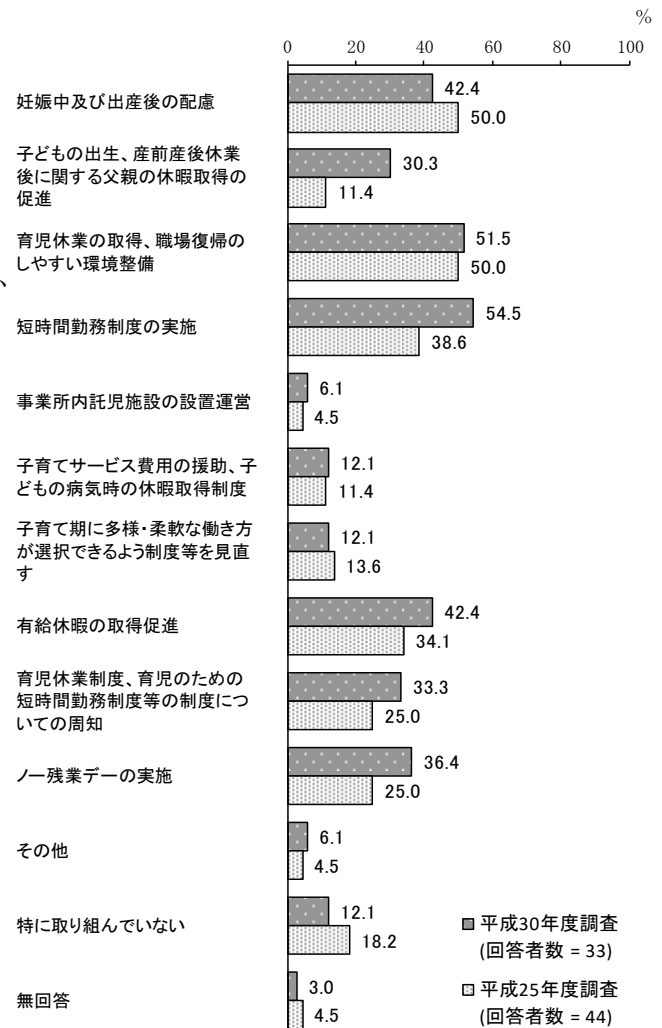


問7 子育て世代が働きやすい職場作りの実態や今後の意向についてお聞きします。

ア 現在取り組んでいること

「短時間勤務制度の実施」の割合が54.5%と最も高く、次いで「育児休業の取得、職場復帰のしやすい環境整備」の割合が51.5%、「妊娠中及び出産後の配慮」、「有給休暇の取得促進」の割合が42.4%となっています。

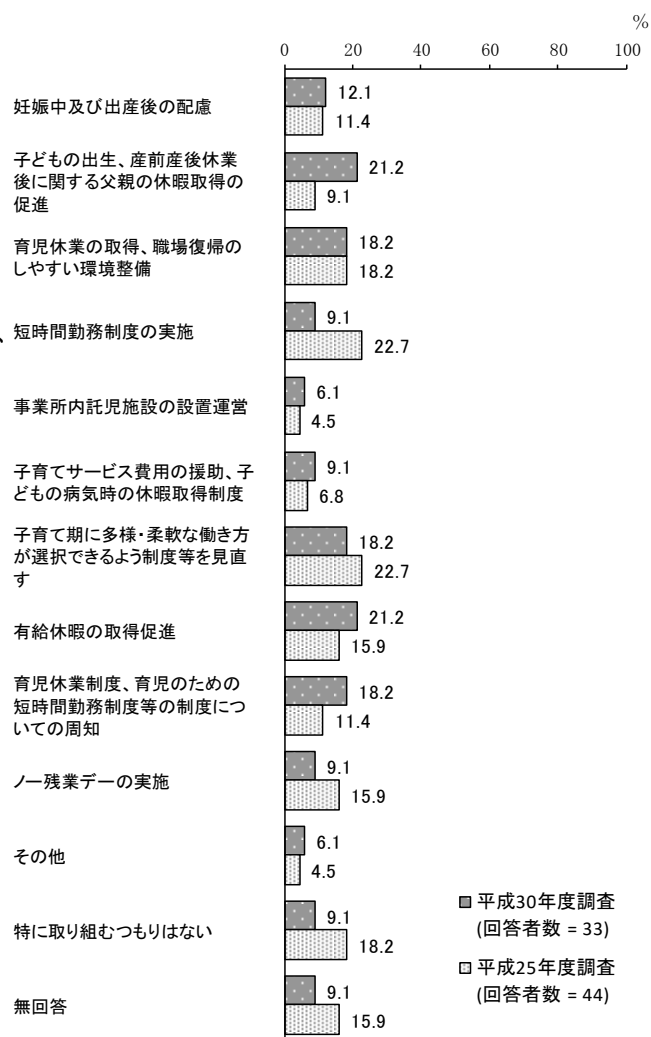
平成25年度調査と比較すると、「子どもの出生、産前産後休業後に関する父親の休暇取得の促進」「短時間勤務制度の実施」「有給休暇の取得促進」「育児休業制度、育児のための短時間勤務制度等の制度についての周知」「ノー残業デーの実施」の割合が増加しています。一方、「妊娠中及び出産後の配慮」「特に取り組んでいない」の割合が減少しています。



イ 今後取り組みたいと思っていること

「子どもの出生、産前産後休業後に関する父親の休暇取得の促進」、「有給休暇の取得促進」の割合が21.2%と最も高く、次いで「育児休業の取得、職場復帰のしやすい環境整備」、「子育て期に多様・柔軟な働き方が選択できるよう制度等を見直す」の割合が18.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「子どもの出生、産前産後休業後に関する父親の休暇取得の促進」「有給休暇の取得促進」「育児休業制度、育児のための短時間勤務制度等の制度についての周知」の割合が増加しています。一方、「短時間勤務制度の実施」「ノー残業デーの実施」「特に取り組むつもりはない」の割合が減少しています。

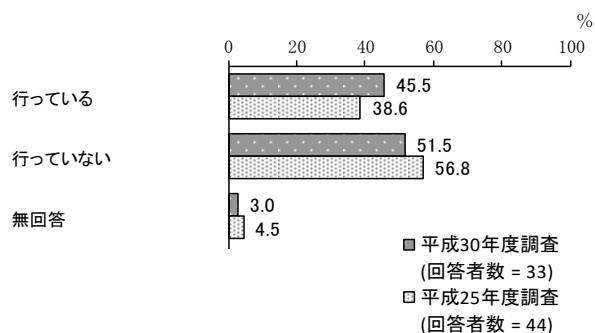


問8 子どもたちの育ちを支援するために企業としてどのような協力ができるとお考えですか。

ア 現在、子どもの体験活動や就労体験など具体的な支援を行っていますか。

「行っている」の割合が45.5%、「行っていない」の割合が51.5%となっています。

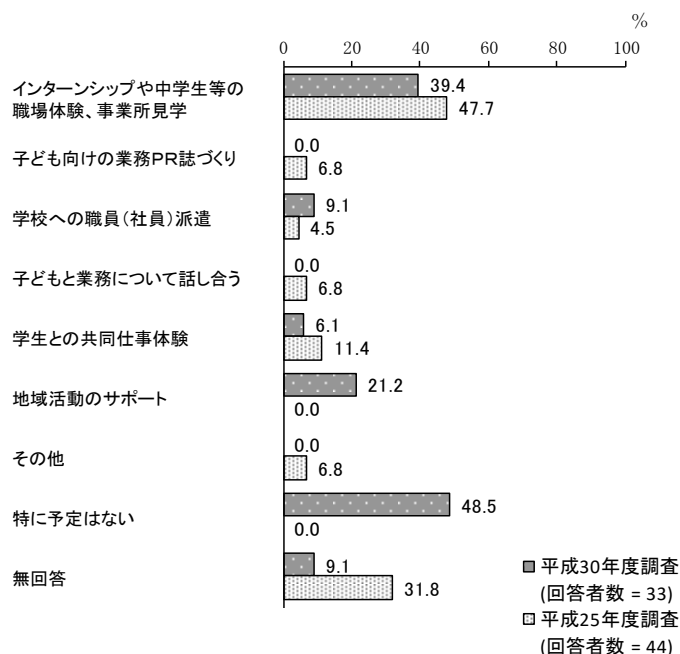
平成25年度調査と比較すると、「行っている」の割合が増加しています。一方、「行っていない」の割合が減少しています。



イ 今後、取り組む可能性があると思われる内容はどのようなものですか。

「特に予定はない」の割合が48.5%と最も高く、次いで「インターンシップや中学生等の職場体験、事業所見学」の割合が39.4%、「地域活動のサポート」の割合が21.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「地域活動のサポート」「特に予定はない」の割合が増加しています。一方、「インターンシップや中学生等の職場体験、事業所見学」「子ども向けの業務PR誌づくり」「子どもと業務について話し合う」「学生との共同仕事体験」の割合が減少しています。

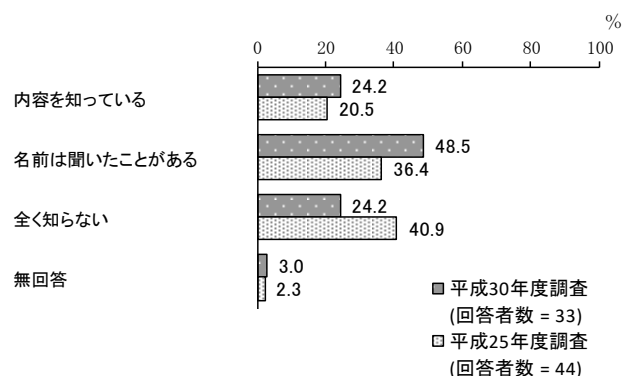


問9 次世代育成支援対策推進法と一般事業主行動計画についてお聞きます。
(①～③項目それぞれ1つだけ○)

ア 次世代育成支援対策推進法についてご存知ですか。

「名前は聞いたことがある」の割合が48.5%と最も高く、次いで「内容を知っている」、「全く知らない」の割合が24.2%となっています。

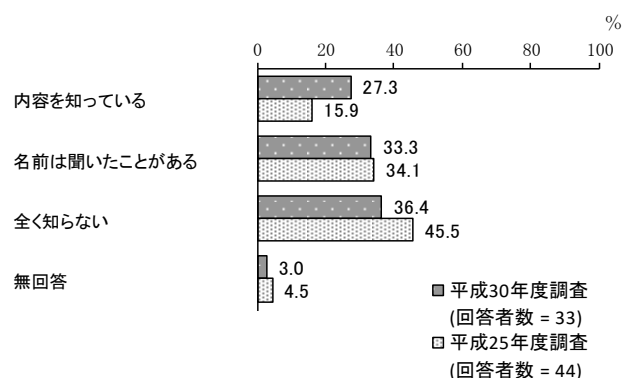
平成25年度調査と比較すると、「名前は聞いたことがある」の割合が増加しています。一方、「全く知らない」の割合が減少しています。



イ 次世代育成支援対策推進法に基づく「一般事業主行動計画」をご存知ですか。

「全く知らない」の割合が36.4%と最も高く、次いで「名前は聞いたことがある」の割合が33.3%、「内容を知っている」の割合が27.3%となっています。

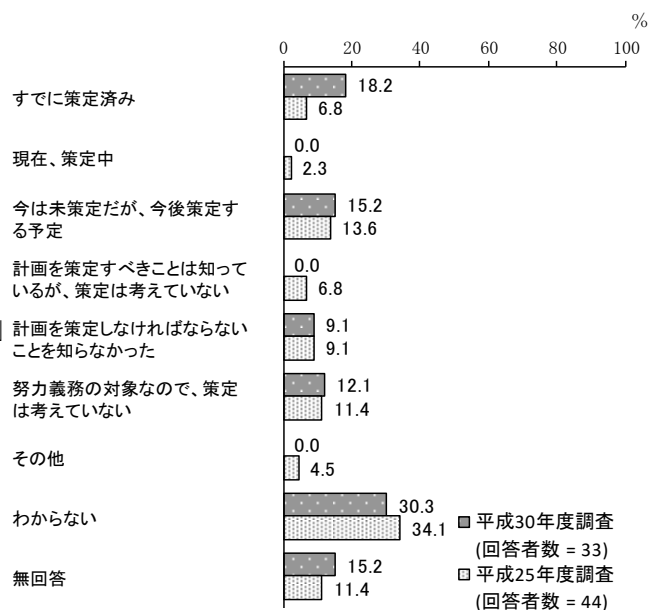
平成25年度調査と比較すると、「内容を知っている」の割合が増加しています。一方、「全く知らない」の割合が減少しています。



ウ 「一般事業主行動計画」の策定に対する取組状況をお聞きます。

「わからない」の割合が30.3%と最も高く、次いで「すでに策定済み」の割合が18.2%、「今は未策定だが、今後策定する予定」の割合が15.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「すでに策定済み」の割合が増加しています。一方、「計画を策定すべきことは知っているが、策定は考えていない」の割合が減少しています。

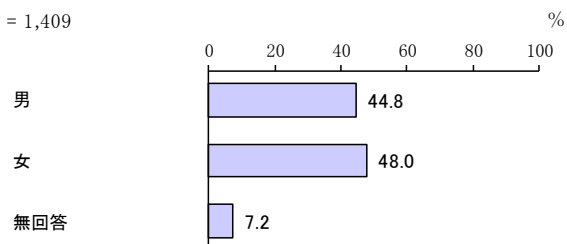


8 小学生本人

男・女

「男」の割合が 44.8%、「女」の割合が 48.0%
となっています。

回答者数 = 1,409

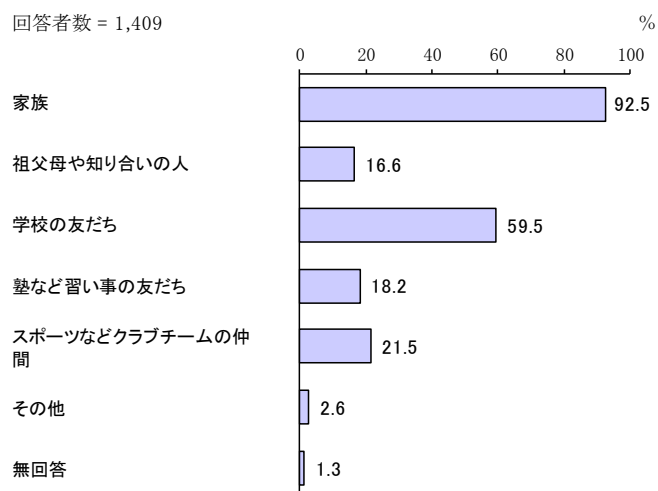


問 1 あなたは、放課後や休日は誰と過ごしていますか。また誰と過ごしたいですか。
(あてはまるものすべてに○)

ア 過ごしている人

「家族」の割合が 92.5%と最も高く、次いで
「学校の友だち」の割合が 59.5%、「スポーツな
どクラブチームの仲間」の割合が 21.5%となっ
ています。

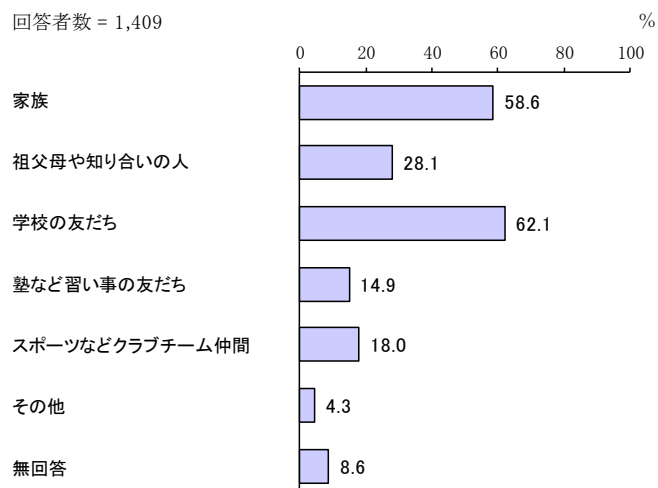
回答者数 = 1,409



イ 過ごしたい人

「学校の友だち」の割合が 62.1%と最も高く、
次いで「家族」の割合が 58.6%、「祖父母や知
り合いの人」の割合が 28.1%となっています。

回答者数 = 1,409

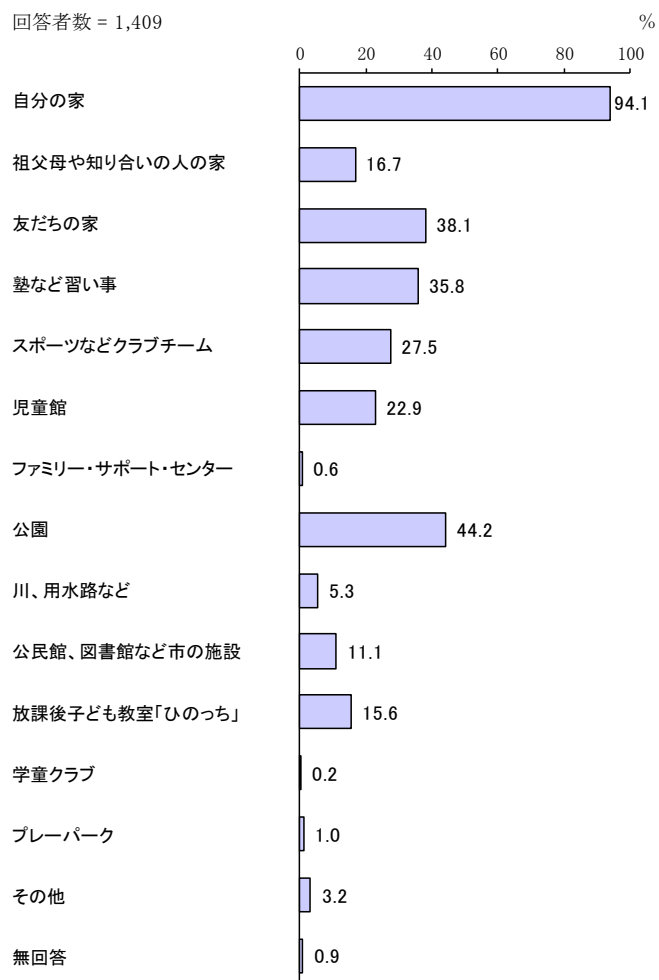


問2 あなたは、放課後や休日はどこで過ごしていますか。またどこで過ごしたいですか。（あてはまるものすべてに○）

ア 過ごしている場所

「自分の家」の割合が94.1%と最も高く、次いで「公園」の割合が44.2%、「友だちの家」の割合が38.1%となっています。

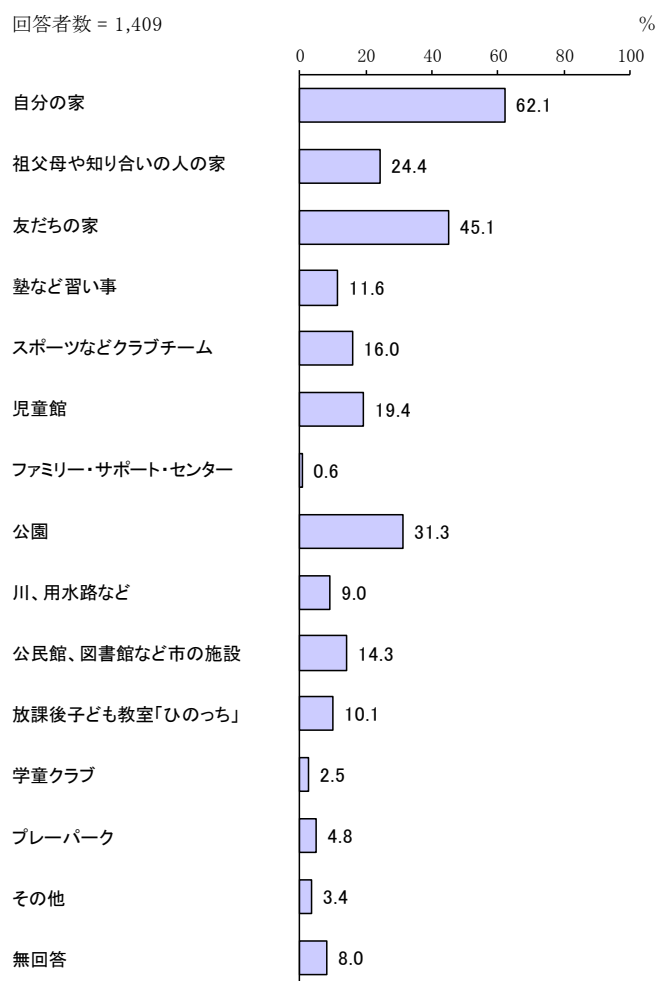
回答者数 = 1,409



イ 過ごしたい場所

「自分の家」の割合が 62.1%と最も高く、次いで「友だちの家」の割合が 45.1%、「公園」の割合が 31.3%となっています。

回答者数 = 1,409

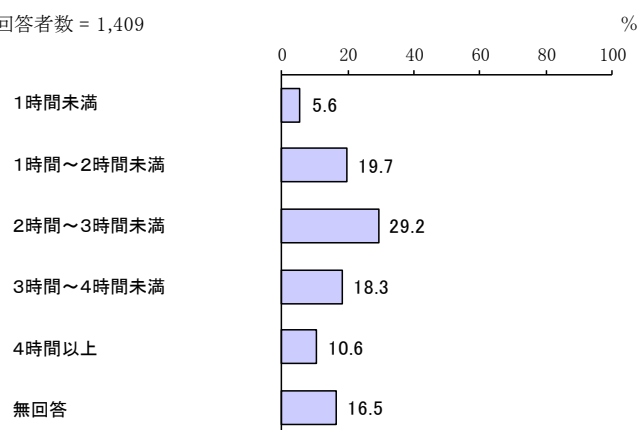


問3 あなたは、平日、休日は何時間くらい遊んでいますか。
() 内に数字でご記入ください。

ア 遊んでいる時間（平日）

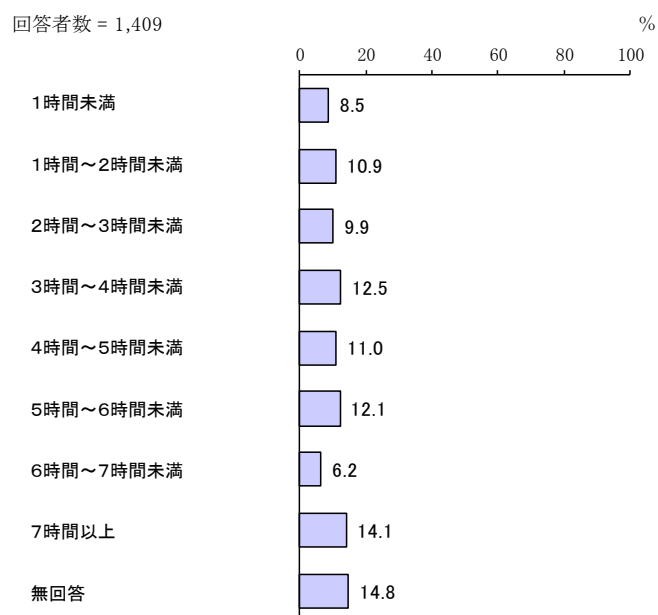
「2時間～3時間未満」の割合が 29.2%と最も高く、次いで「1時間～2時間未満」の割合が 19.7%、「3時間～4時間未満」の割合が 18.3%となっています。

回答者数 = 1,409



イ 遊んでいる時間（休日）

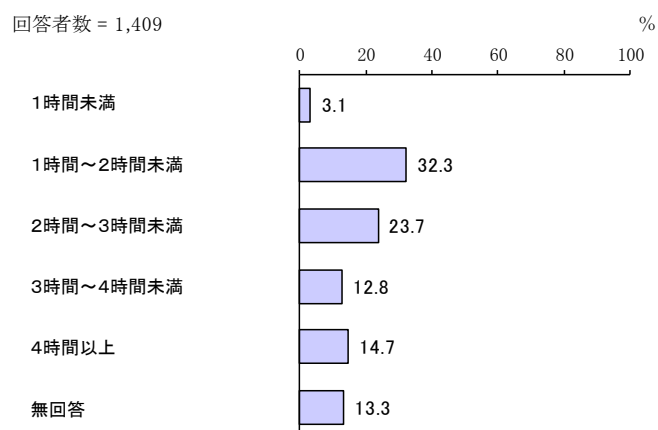
「7時間以上」の割合が14.1%と最も高く、次いで「3時間～4時間未満」の割合が12.5%、「5時間～6時間未満」の割合が12.1%となっています。



問4 あなたは、平日、休日は何時間くらい宿題や習い事（スポーツなどクラブチーム含む）をしていますか。（ ）内に数字でご記入ください。

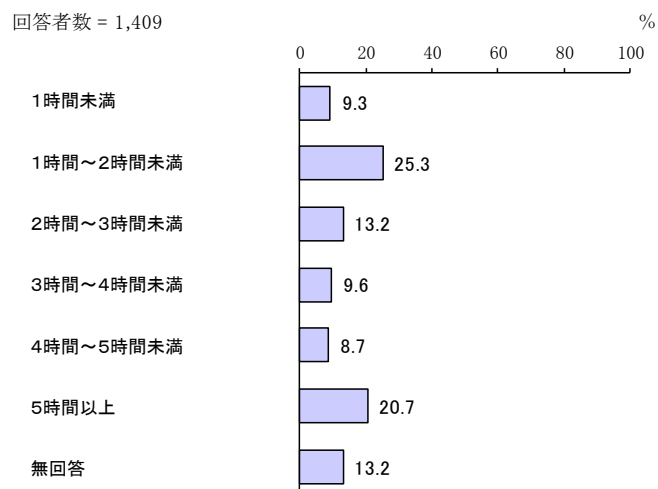
ア 宿題や習い事時間（平日）

「1時間～2時間未満」の割合が32.3%と最も高く、次いで「2時間～3時間未満」の割合が23.7%、「4時間以上」の割合が14.7%となっています。



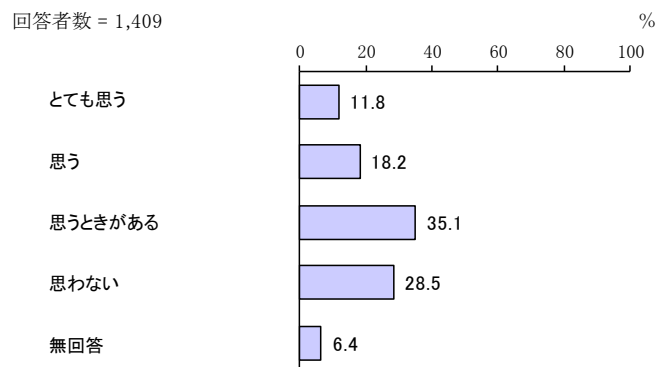
イ 宿題や習い事時間（休日）

「1時間～2時間未満」の割合が25.3%と最も高く、次いで「5時間以上」の割合が20.7%、「2時間～3時間未満」の割合が13.2%となっています。



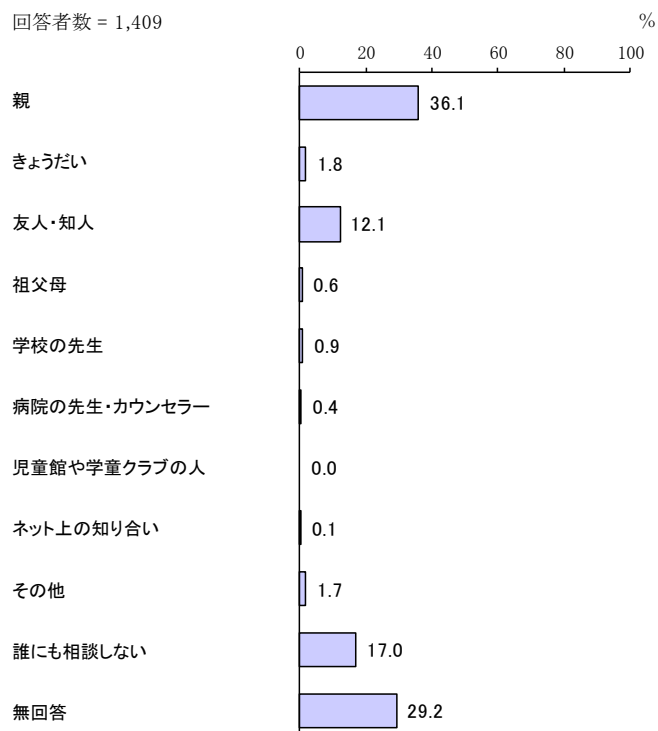
問5 あなたは、ふだん悩み事を誰かに相談したいと思いますか。 (あてはまるもの1つに○)

「思うときがある」の割合が35.1%と最も高く、次いで「思わない」の割合が28.5%、「思う」の割合が18.2%となっています。



問6 あなたは、ふだん悩み事を誰に相談しますか。(あてはまるもの1つに○)

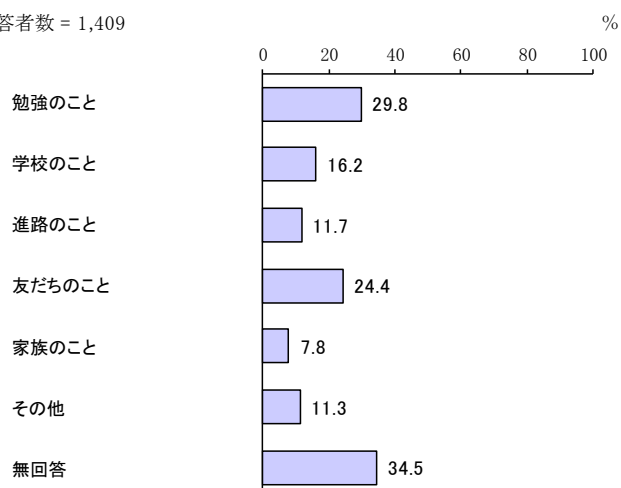
「親」の割合が36.1%と最も高く、次いで「誰にも相談しない」の割合が17.0%、「友人・知人」の割合が12.1%となっています。



問7 あなたが、現在の悩んでいることや不安に思っているものがあれば、次の中から選んでください。（あてはまるものすべてに○）

「勉強のこと」の割合が29.8%と最も高く、次いで「友だちのこと」の割合が24.4%、「学校のこと」の割合が16.2%となっています。

回答者数 = 1,409



問8 あなたは、ふだんの生活の中で、楽しいな、面白いな、と思う時はどんな時ですか。（あてはまるものすべてに○）

「友達と遊んでいる時」の割合が86.5%と最も高く、次いで「家族、きょうだいと過ごしている時」の割合が56.1%、「学校にいる時」の割合が43.6%となっています。

回答者数 = 1,409

